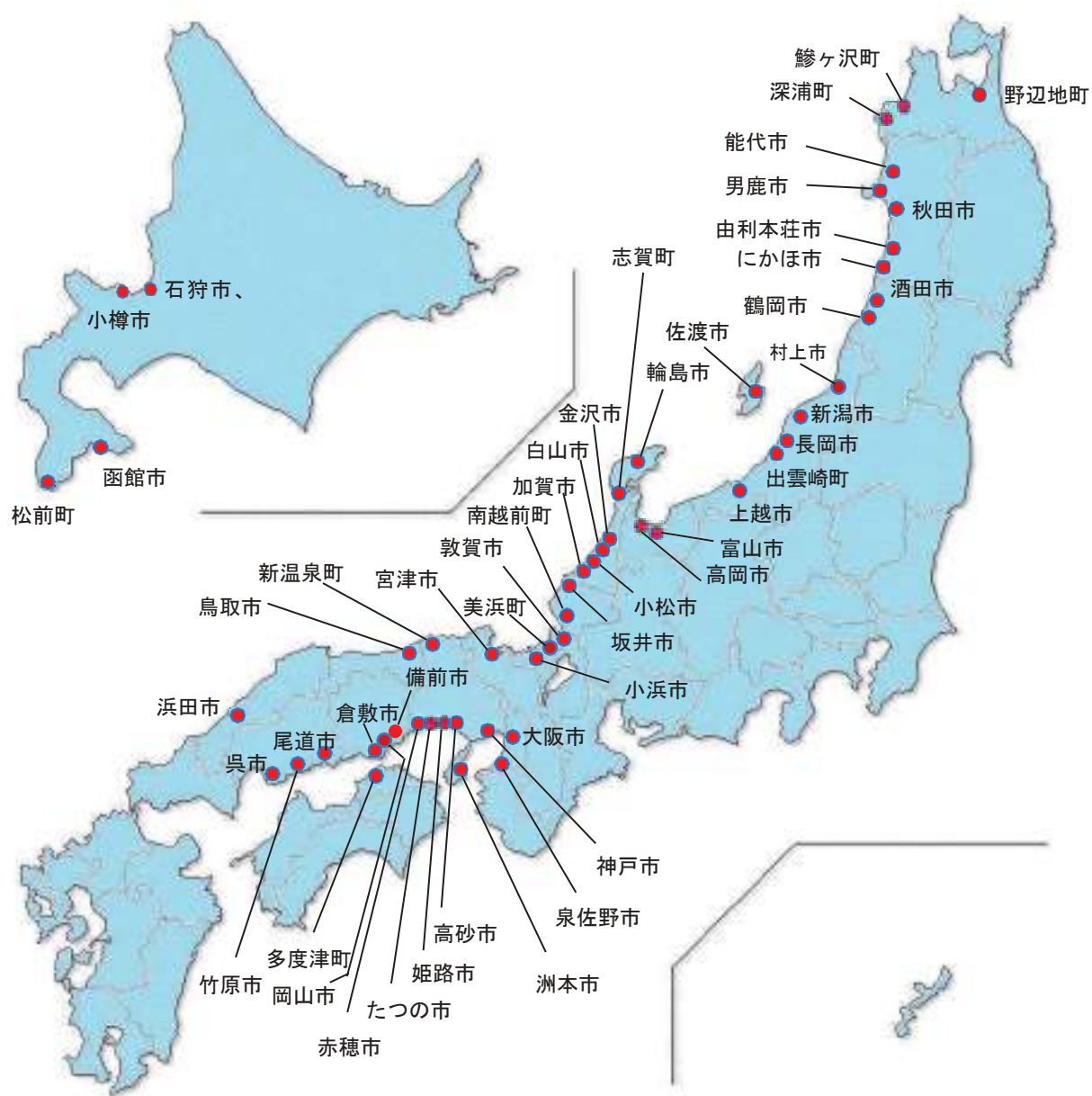
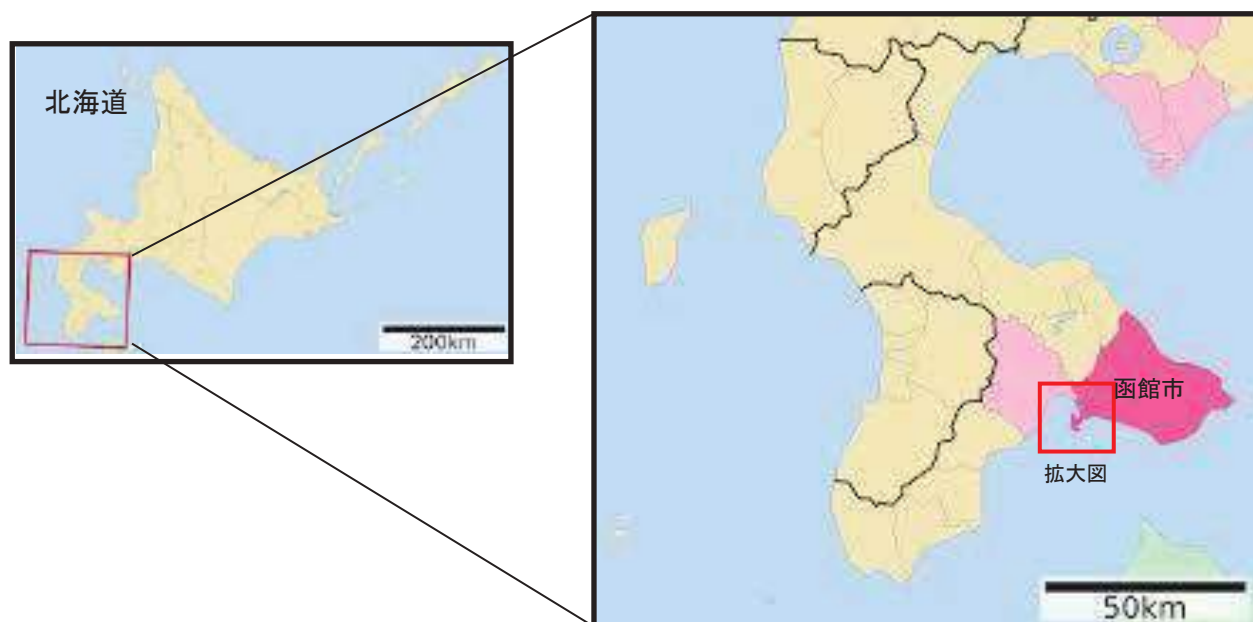


① 申請者	北海道函館市、松前町、青森県鯉ヶ沢町、深浦町、秋田県秋田市、山形県酒田市、◎新潟県新潟市、長岡市、石川県加賀市、福井県敦賀市、南越前町、北海道小樽市、石狩市、青森県野辺地町、秋田県にかほ市、男鹿市、能代市、由利本荘市、新潟県佐渡市、上越市、富山県富山市、高岡市、石川県輪島市、小松市、福井県坂井市、小浜市、京都府宮津市、大阪府大阪市、兵庫県神戸市、高砂市、新潟県新潟市、赤穂市、洲本市、鳥取県鳥取市、島根県浜田市、岡山県倉敷市、広島県尾道市、呉市山形県鶴岡市、新潟県出雲崎町、石川県金沢市、兵庫県姫路市、たつの市、香川県多度津町、広島県竹原市、石川県白山市、志賀町、大阪府泉佐野市、岡山県備前市、福井県美浜町、新潟県村上市、岡山県岡山市	② タイプ	地域型 / シリアル型 A B C D E
③ タイトル			
荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～			
④ ストーリーの概要（200字程度）			
日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。 そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。 また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。 これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。			
  			
⑤ 担当者連絡先			
担当者氏名			
電 話		FAX	
E-mail			
住 所			

日本遺産認定 北前船寄港地・船主集落（16 道府県 52市町）



市町村の位置図（函館市）



構成文化財の位置図（函館市）

拡大図



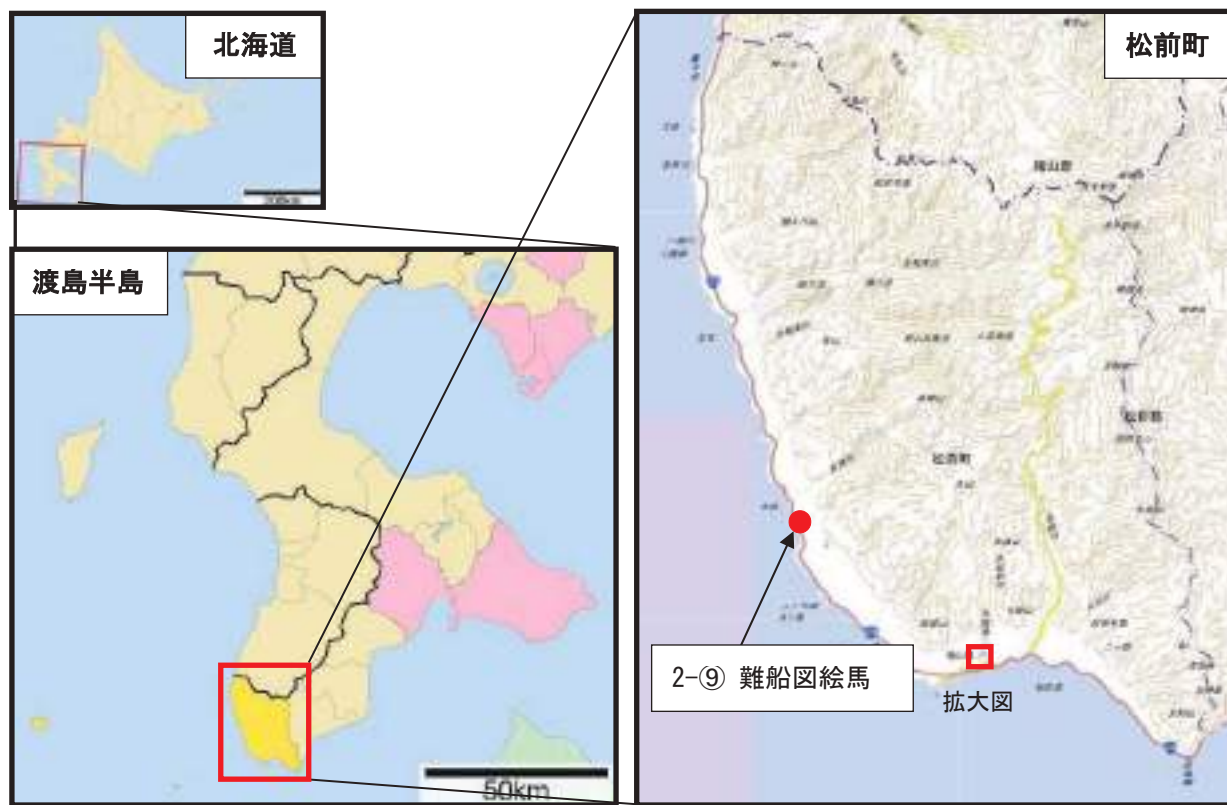
拡大図 1



拡大図 2



市町村の位置図（松前町）

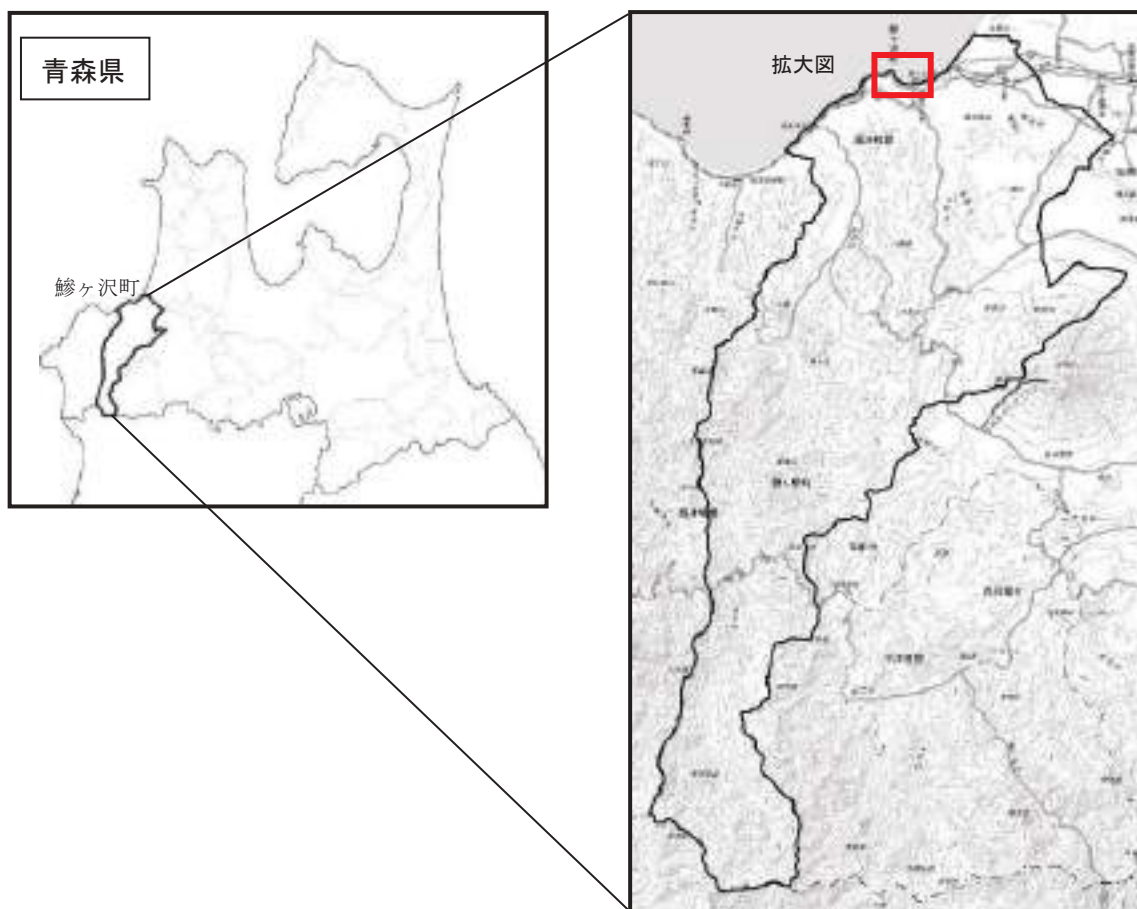


構成文化財の位置図（松前町）

拡大図

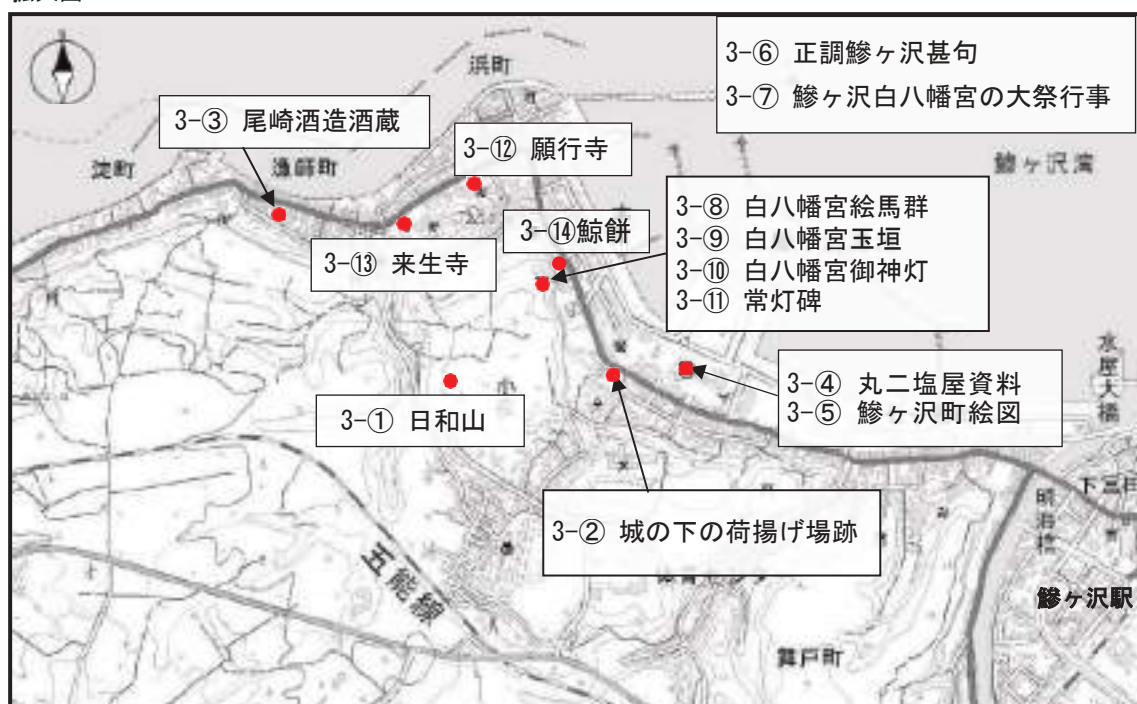


市町村の位置図（鱒ヶ沢町）

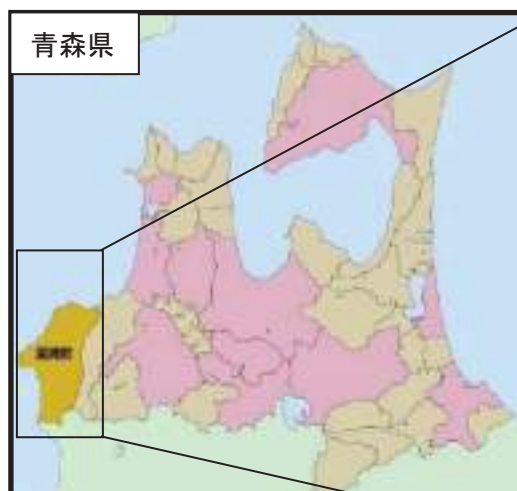


構成文化財の位置図（鱒ヶ沢町）

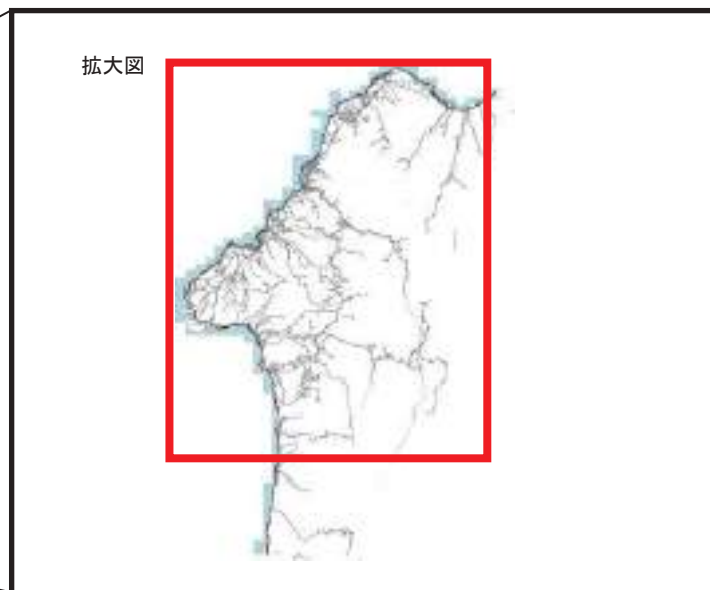
拡大図



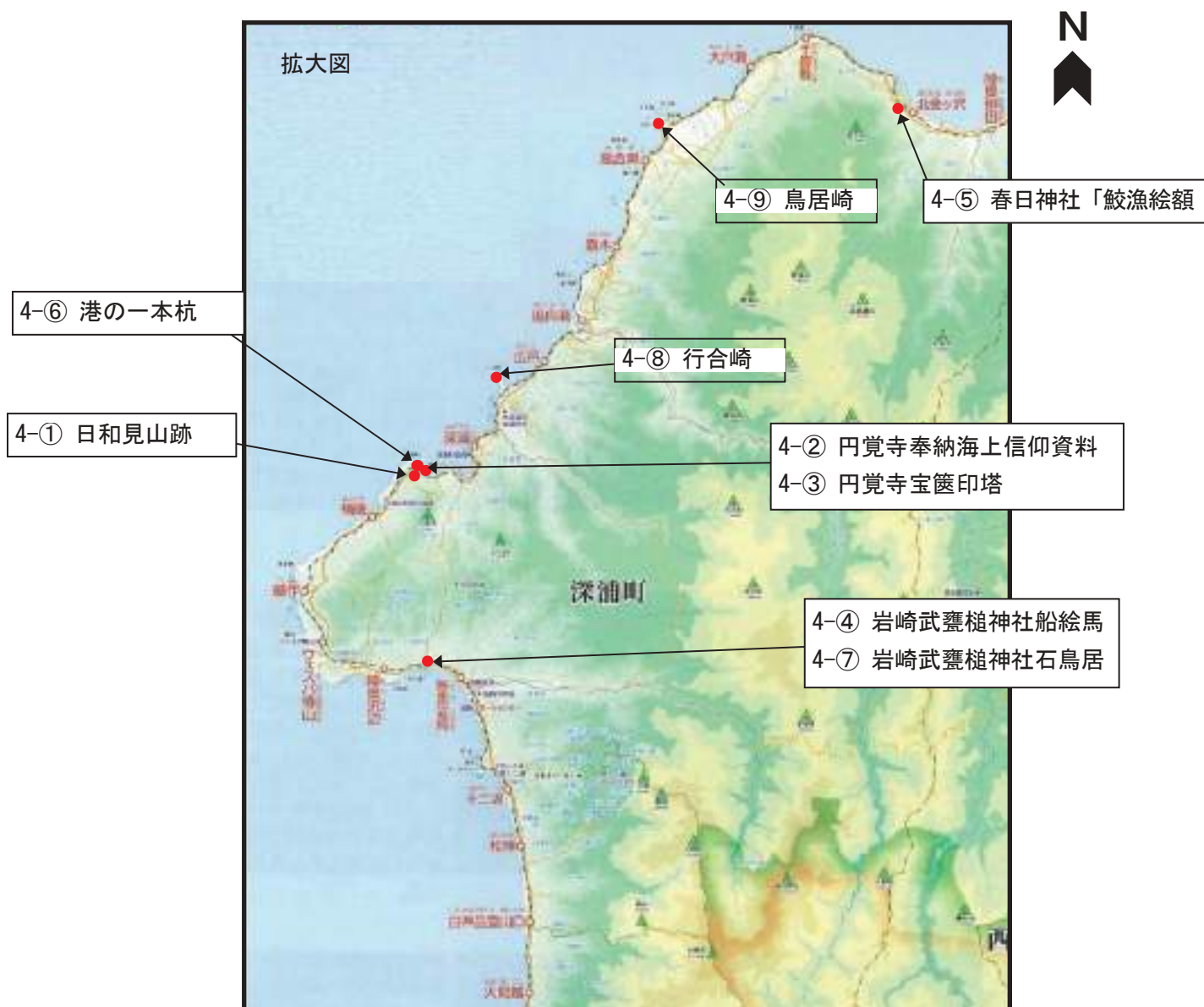
市町村の位置図（深浦町）



拡大図



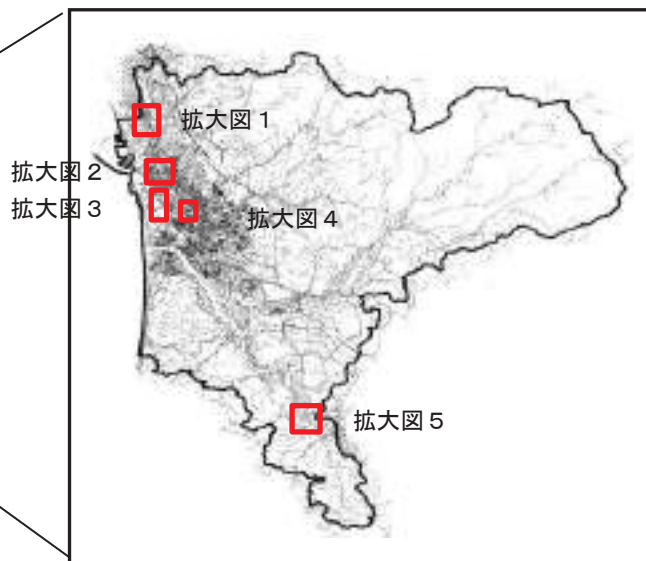
構成文化財の位置図（深浦町）



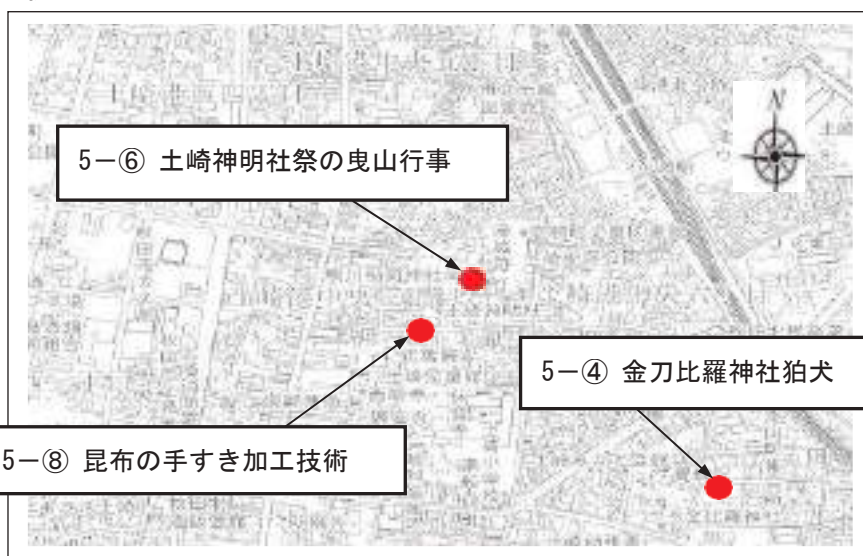
市町村の位置図（秋田市）



構成文化財の位置図（秋田市）



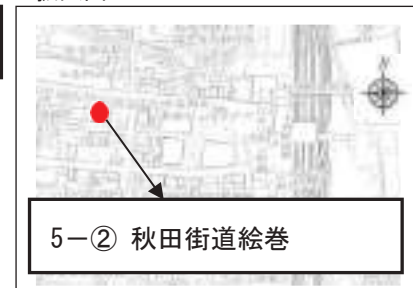
拡大図 2



拡大図 1



拡大図 4



拡大図 3

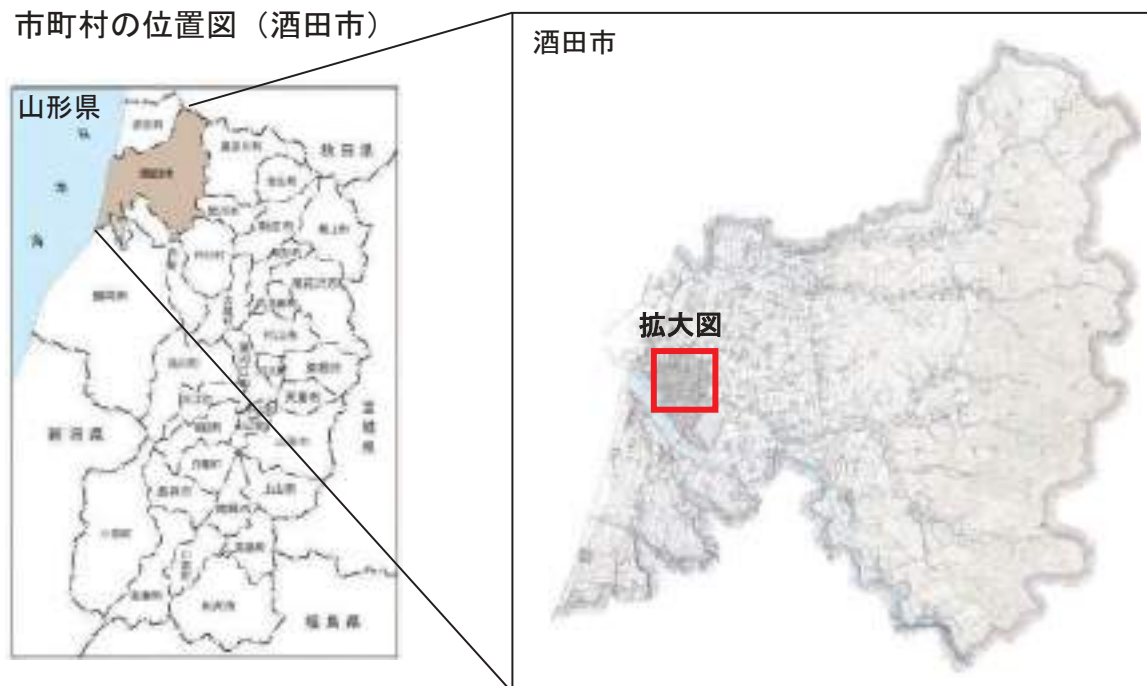


拡大図 5



※5-⑦は国土地理院の地図を利用

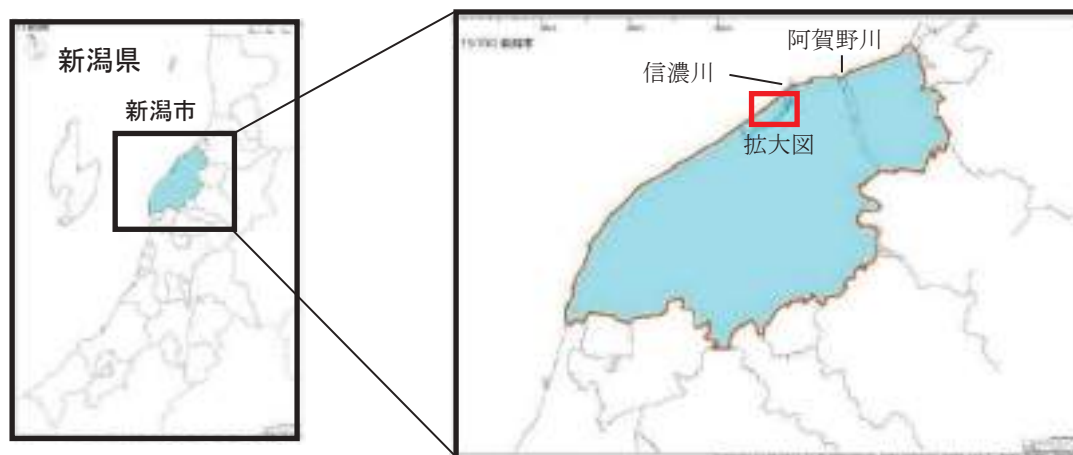
市町村の位置図（酒田市）



構成文化財の位置図（酒田市）



市町村の位置図（新潟市）



構成文化財の位置図（新潟市）



市町村の位置図（長岡市）



拡大図



構成文化財の位置図（長岡市）

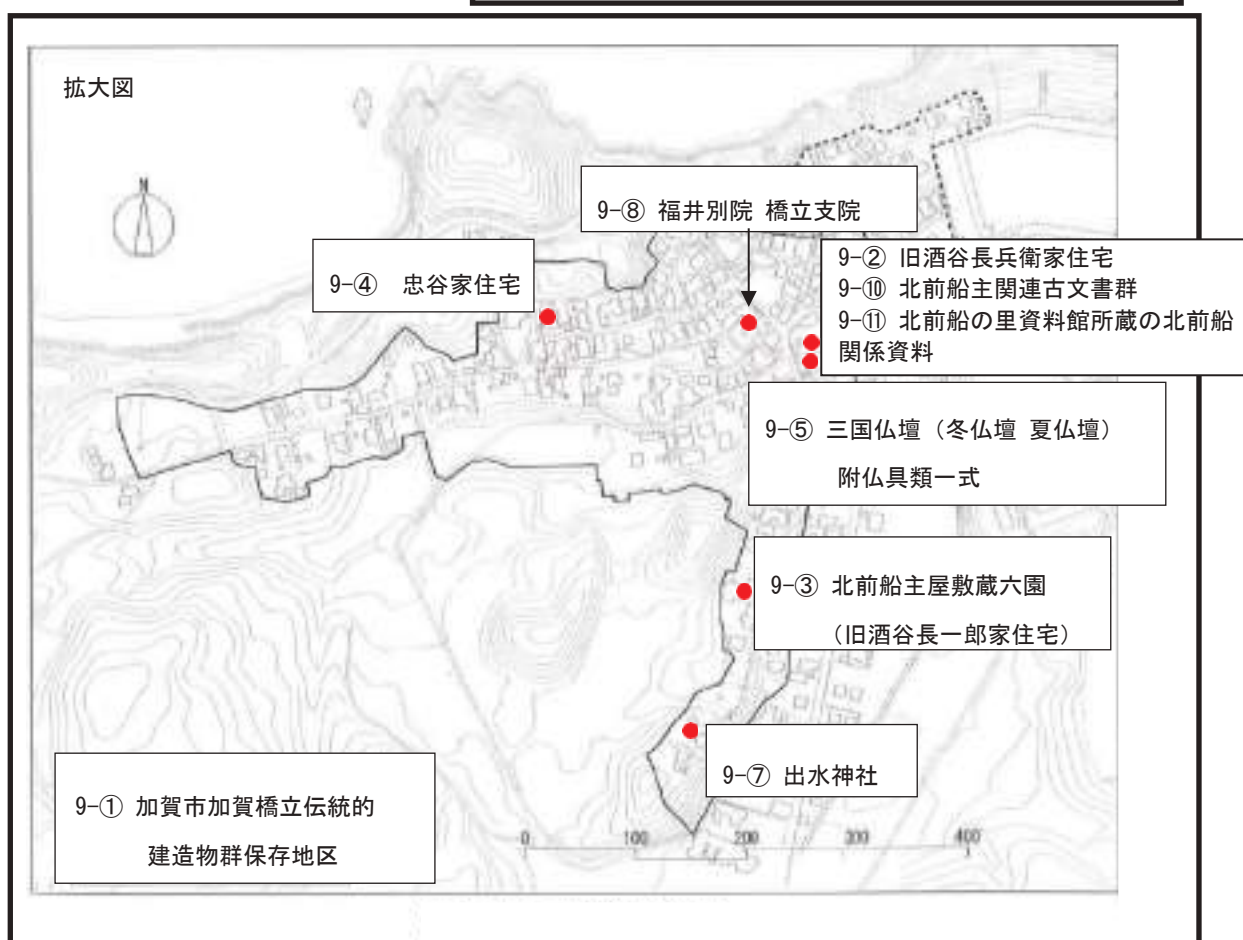
拡大図



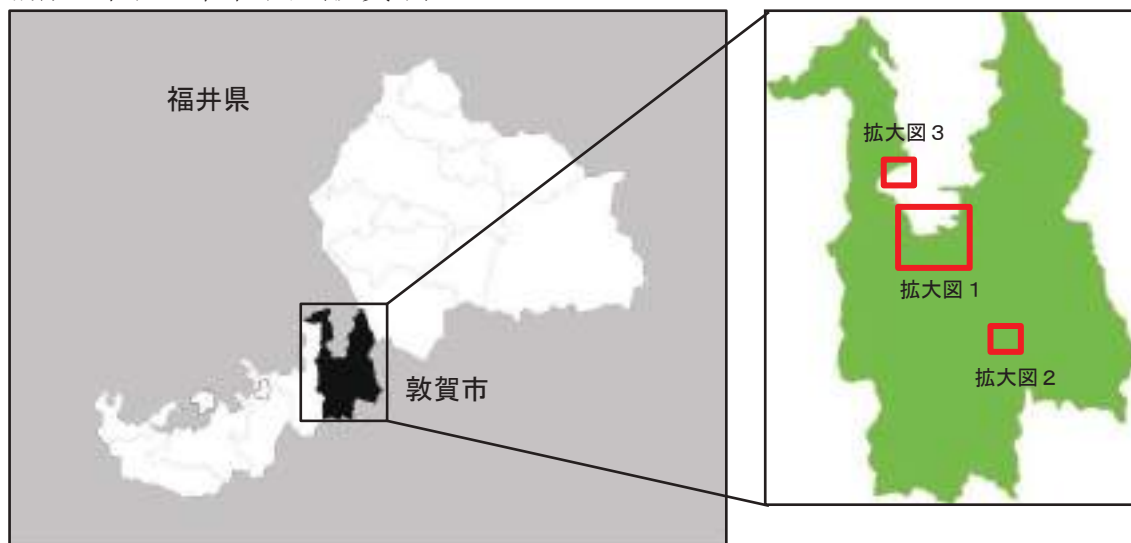
市町村の位置図（加賀市）



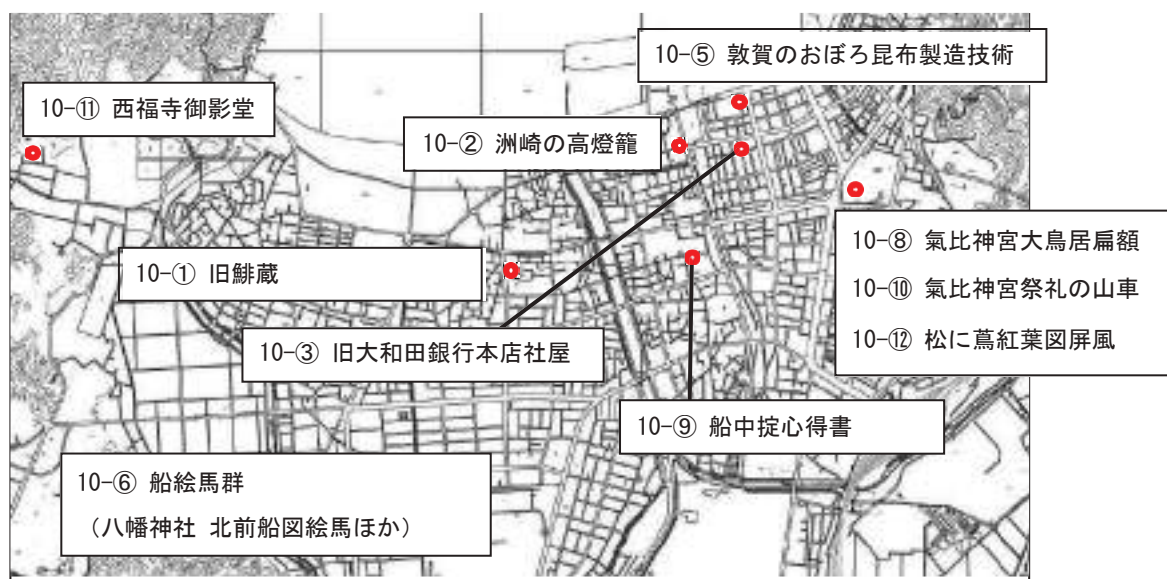
構成文化財の位置図（加賀市）



構成文化財の位置図（敦賀市）



拡大図 1



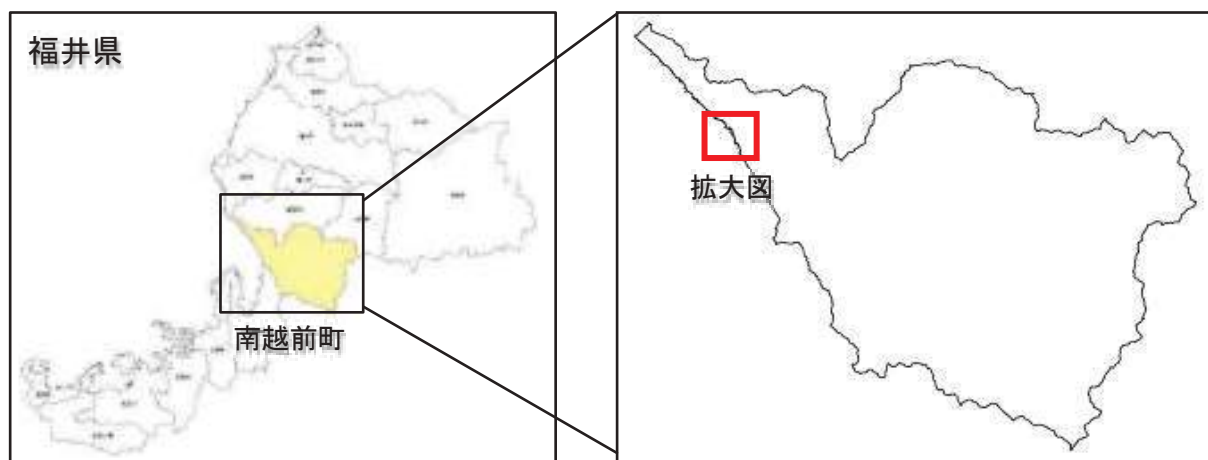
拡大図 2



拡大図 3



市町村の位置図（南越前町）

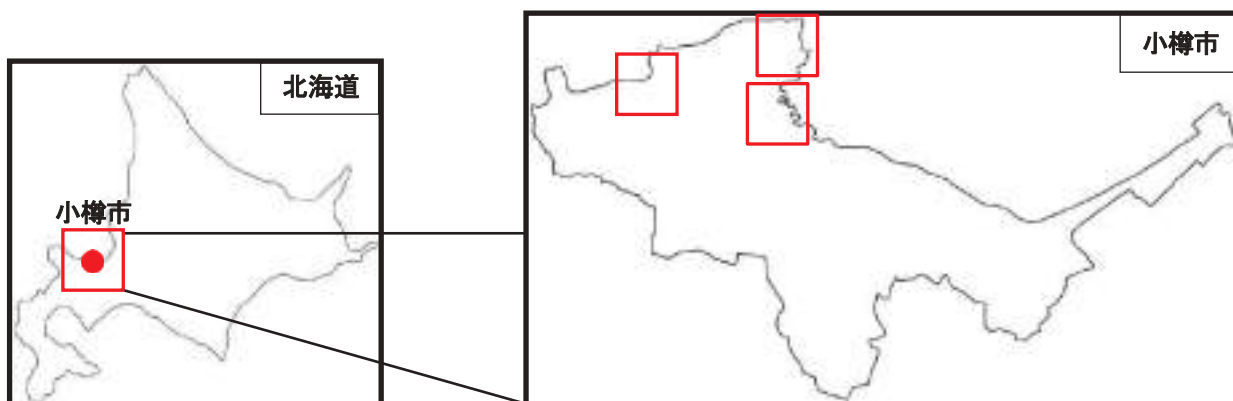


構成文化財の位置図（南越前町）

拡大図



市町村の位置図（小樽市）



構成文化財の位置図（小樽市）

拡大図

12-② 旧北浜地区倉庫群
(旧大家倉庫、旧小樽倉庫)
12-⑥ 北前船関係古写真
12-⑦ 西川家文書

12-② 旧北浜地区倉庫群
(旧右近倉庫、旧広海
倉庫、旧増田倉庫)

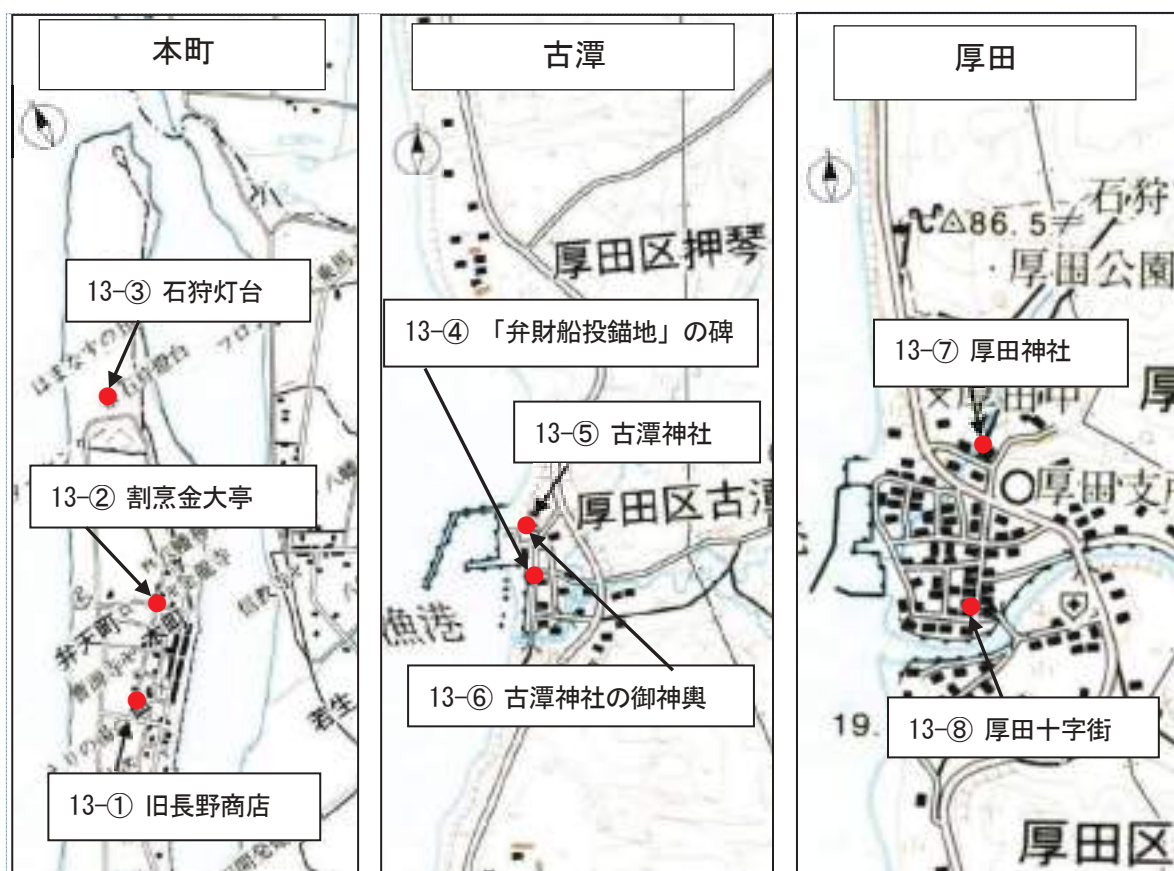


市町村の位置図（石狩市）



構成文化財の位置図（石狩市）

拡大図

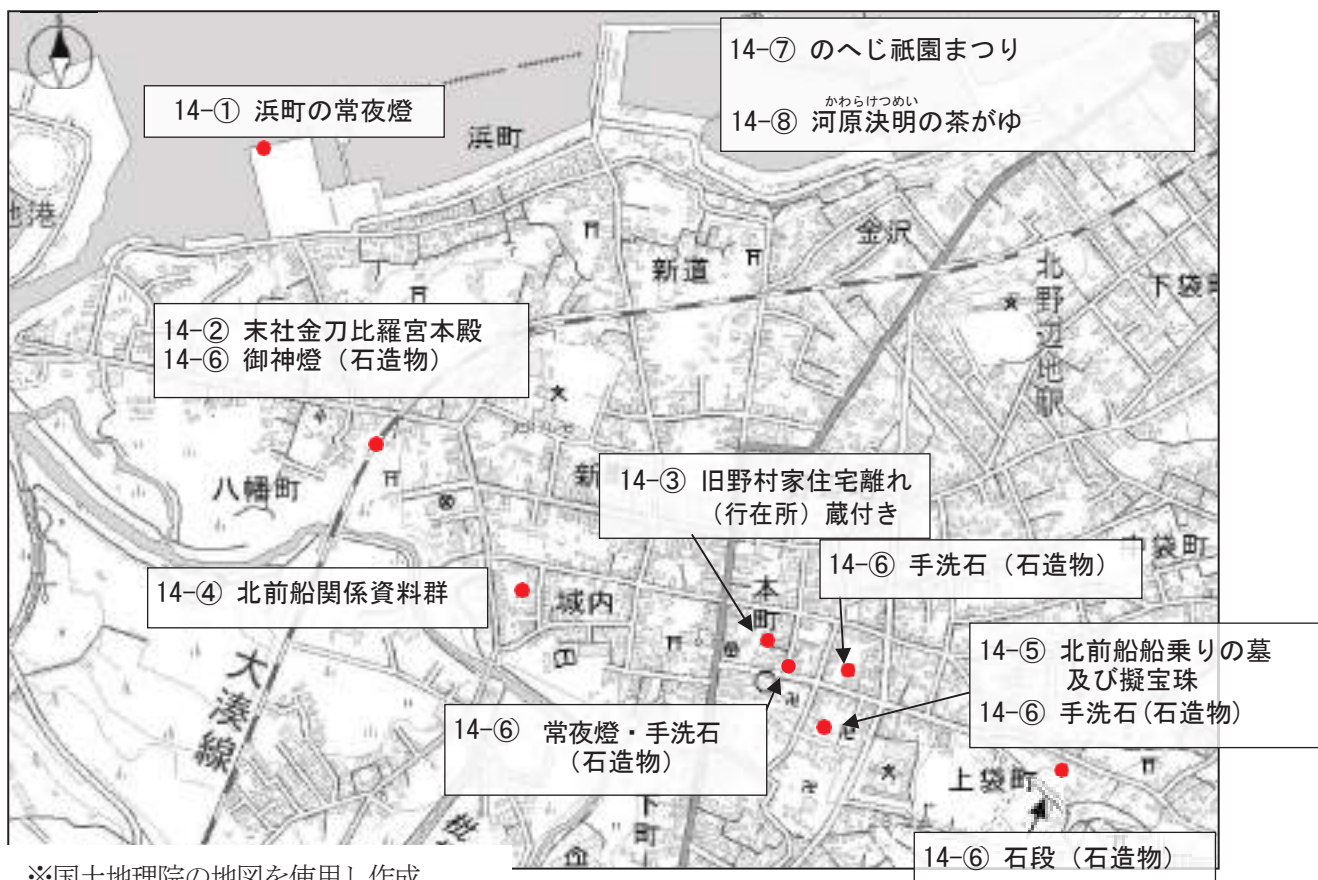


市町村の位置図（野辺地町）



構成文化財の位置図（野辺地町）

拡大図

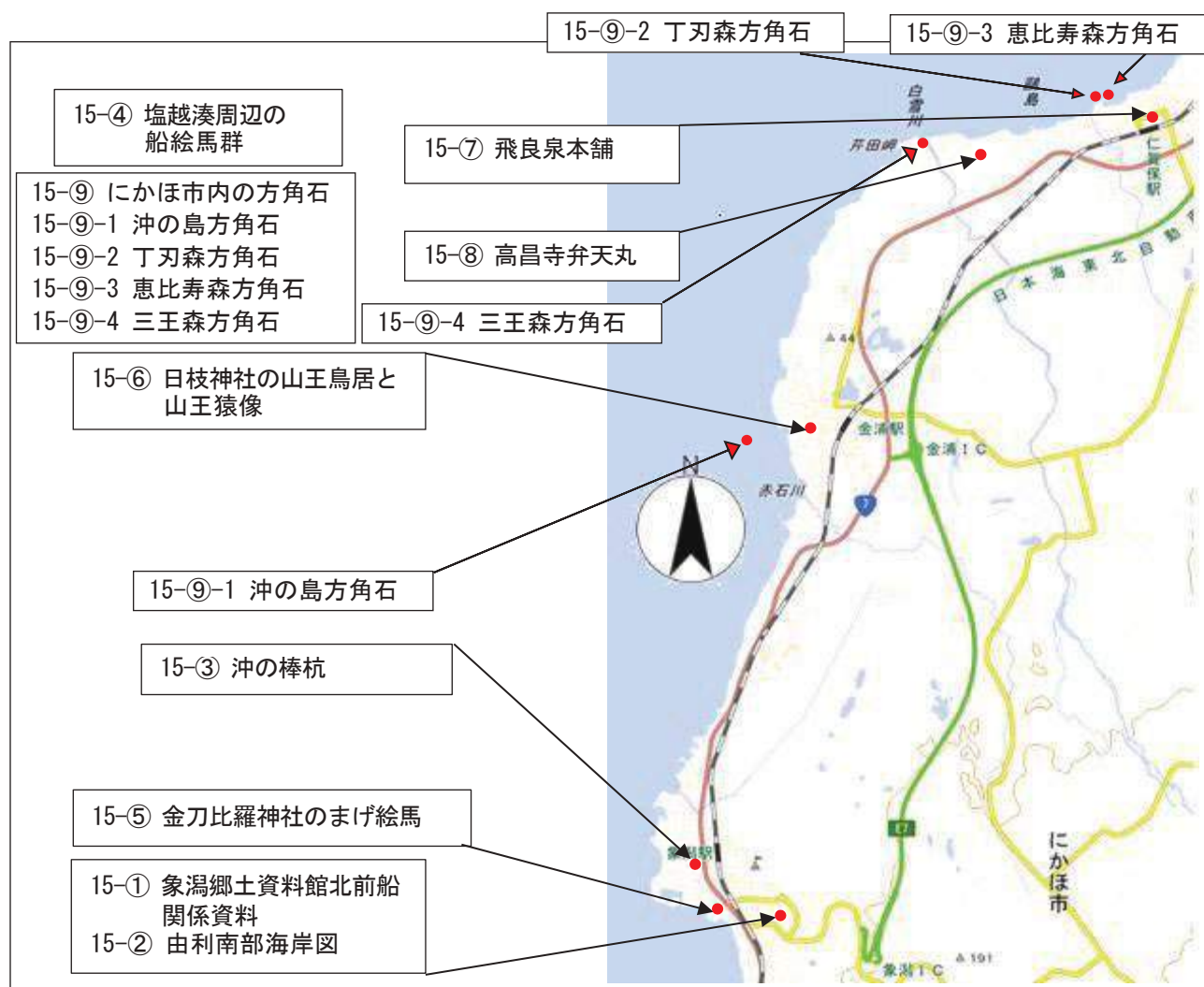


※国土地理院の地図を使用し作成

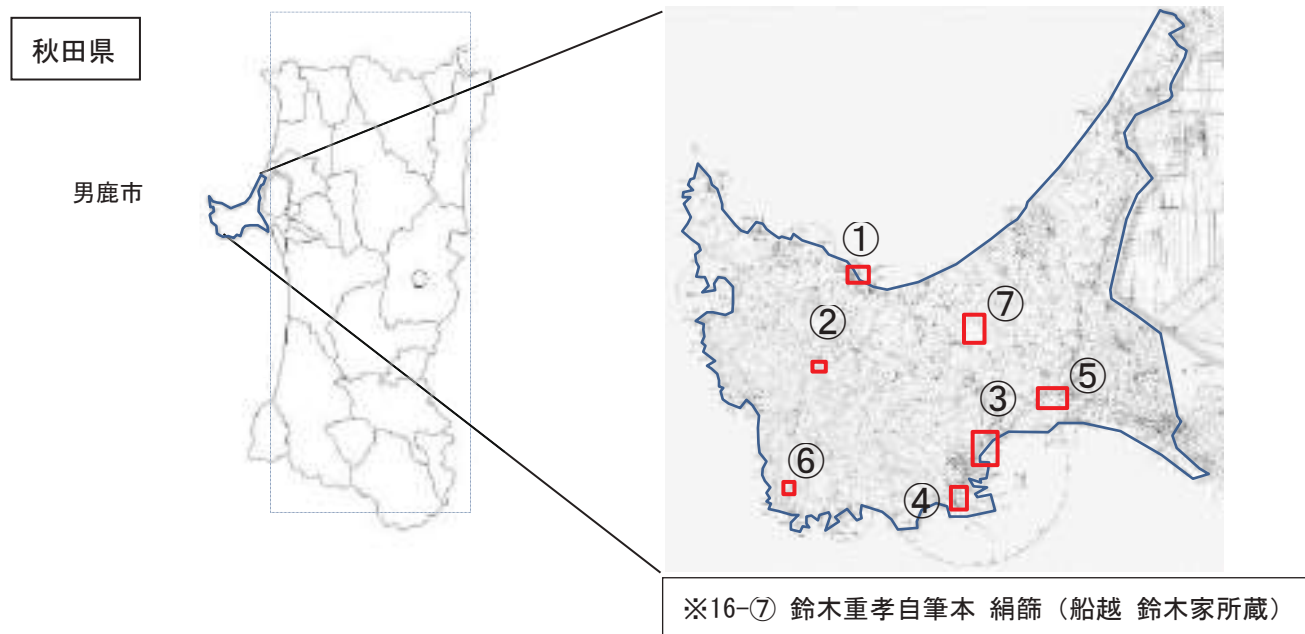
市町村の位置図（にかほ市）



構成文化財の位置図（にかほ市）



市町村の位置図（男鹿市）



構成文化財の位置図（男鹿市）

拡大図



構成文化財の位置図（男鹿市）

拡大図



構成文化財の位置図（男鹿市）

拡大図



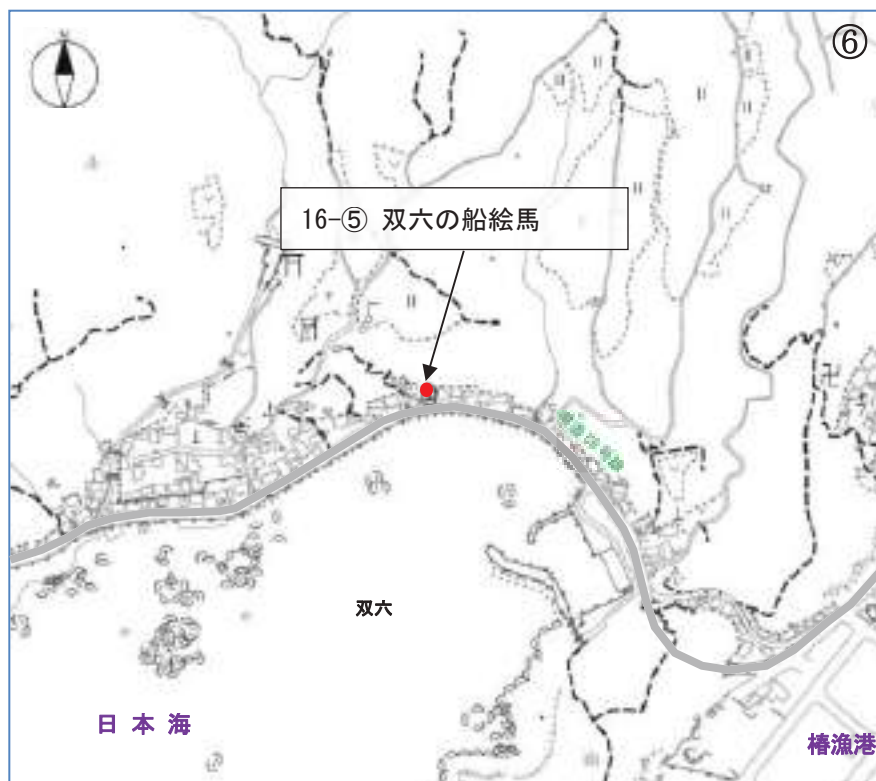
構成文化財の位置図（男鹿市）

拡大図



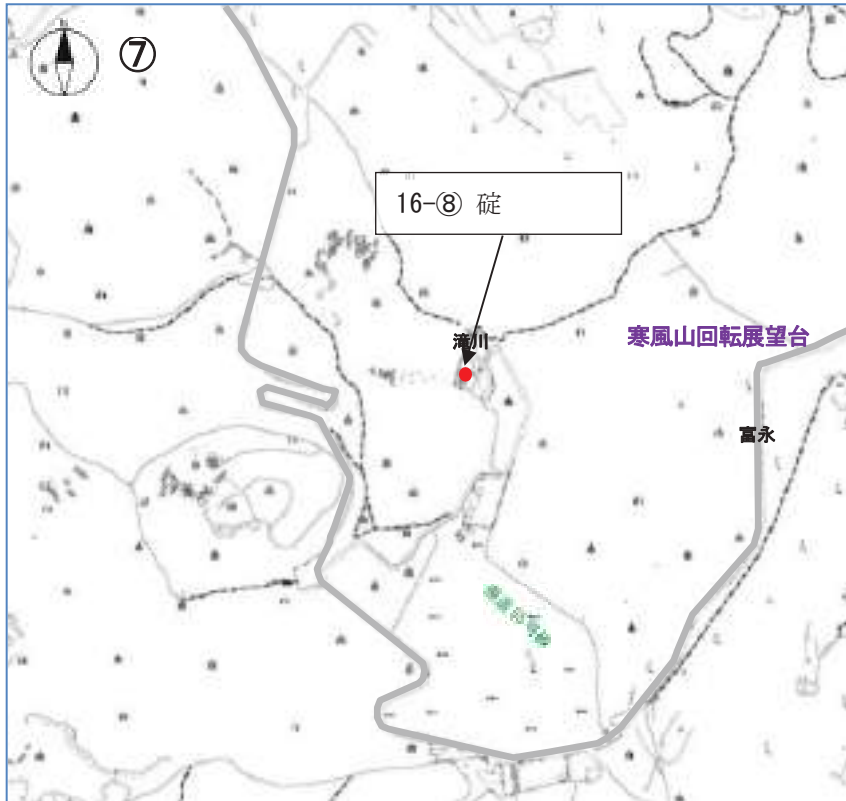
構成文化財の位置図（男鹿市）

拡大図

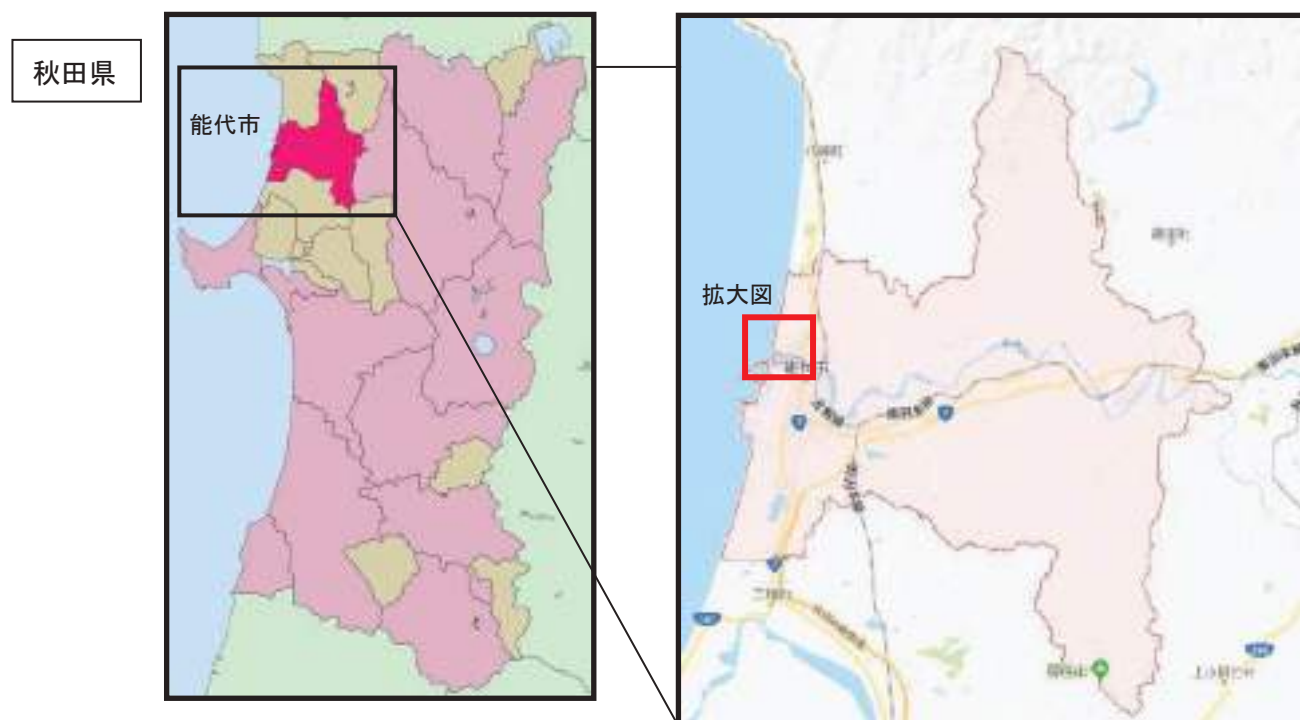


構成文化財の位置図（男鹿市）

拡大図



市町村の位置図（能代市）

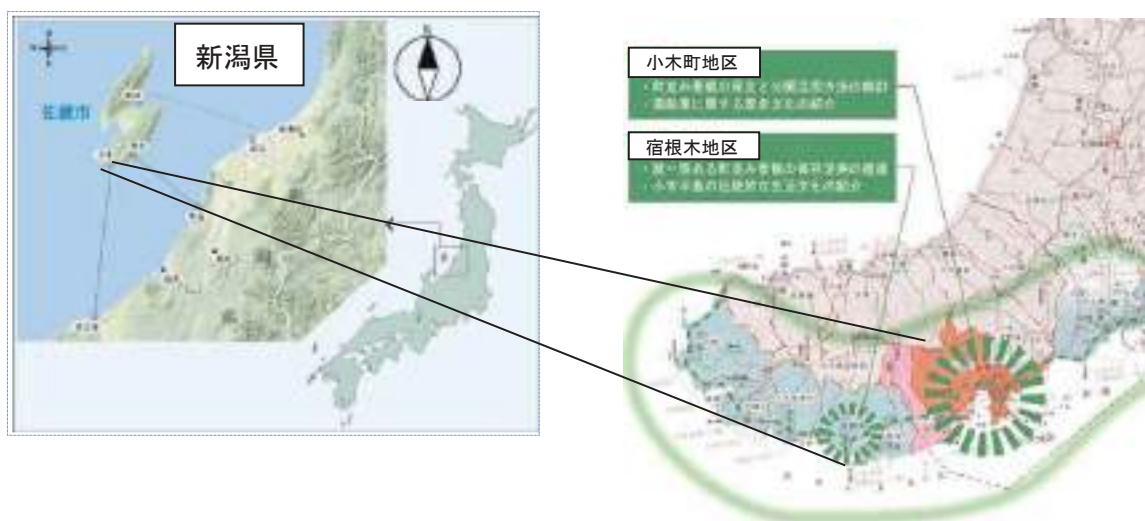


構成文化財の位置図（能代市）

拡大図



市町村の位置図（佐渡市）



構成文化財の位置図（佐渡市）

拡大図

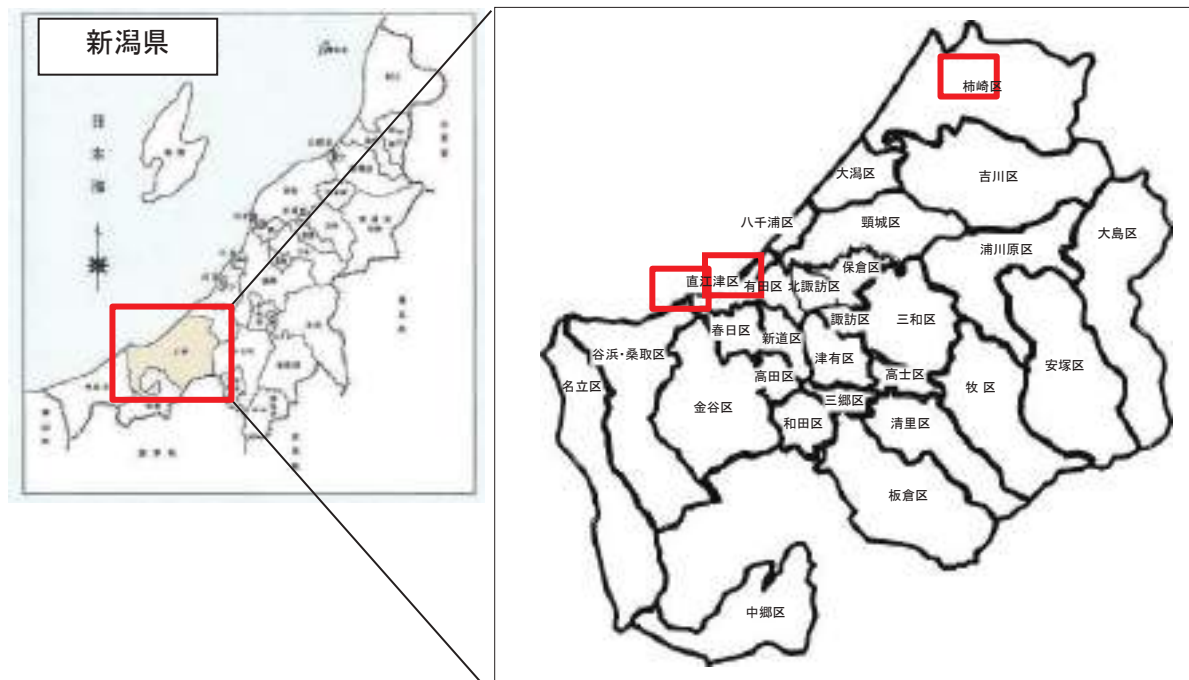


【宿根木地区】

【小木町地区】

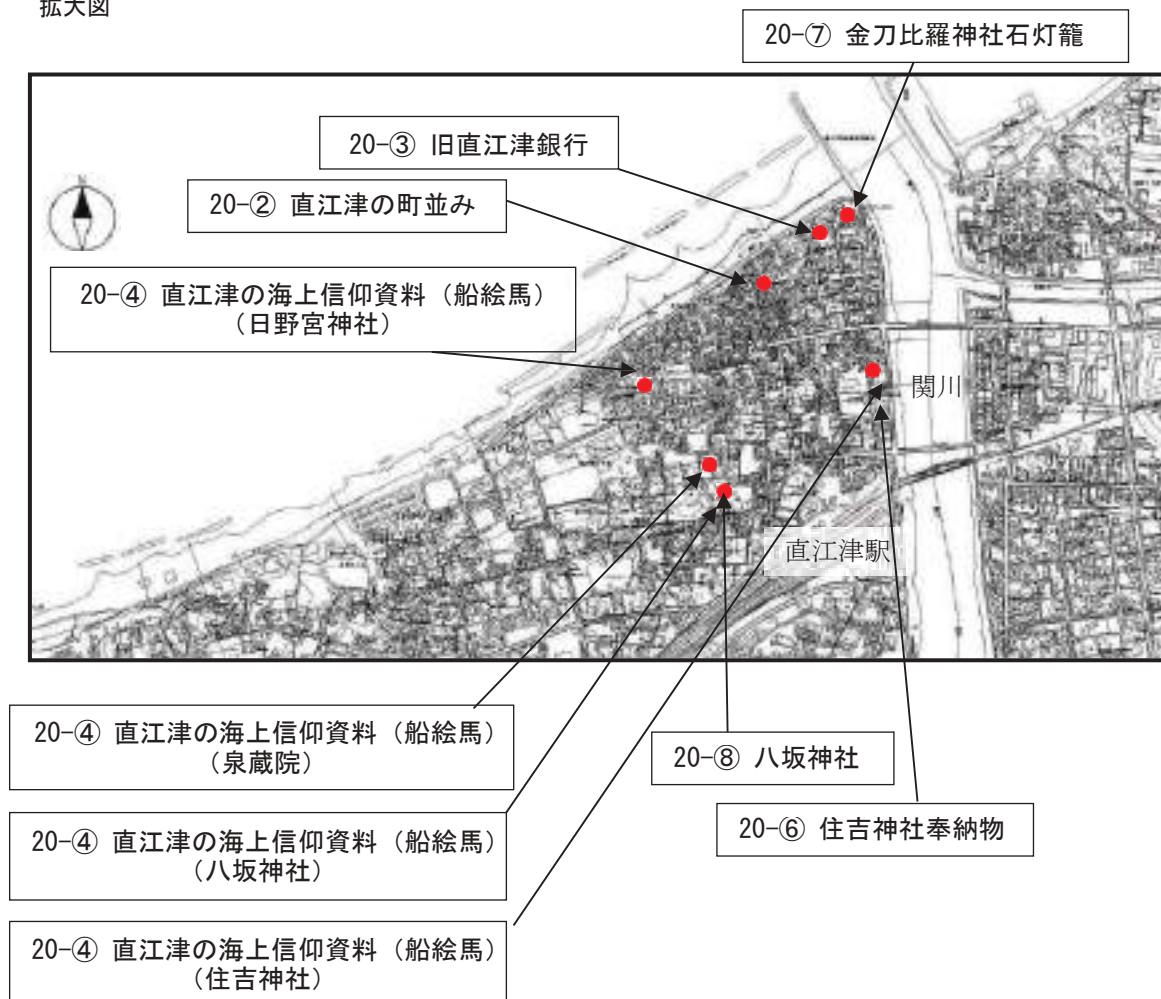


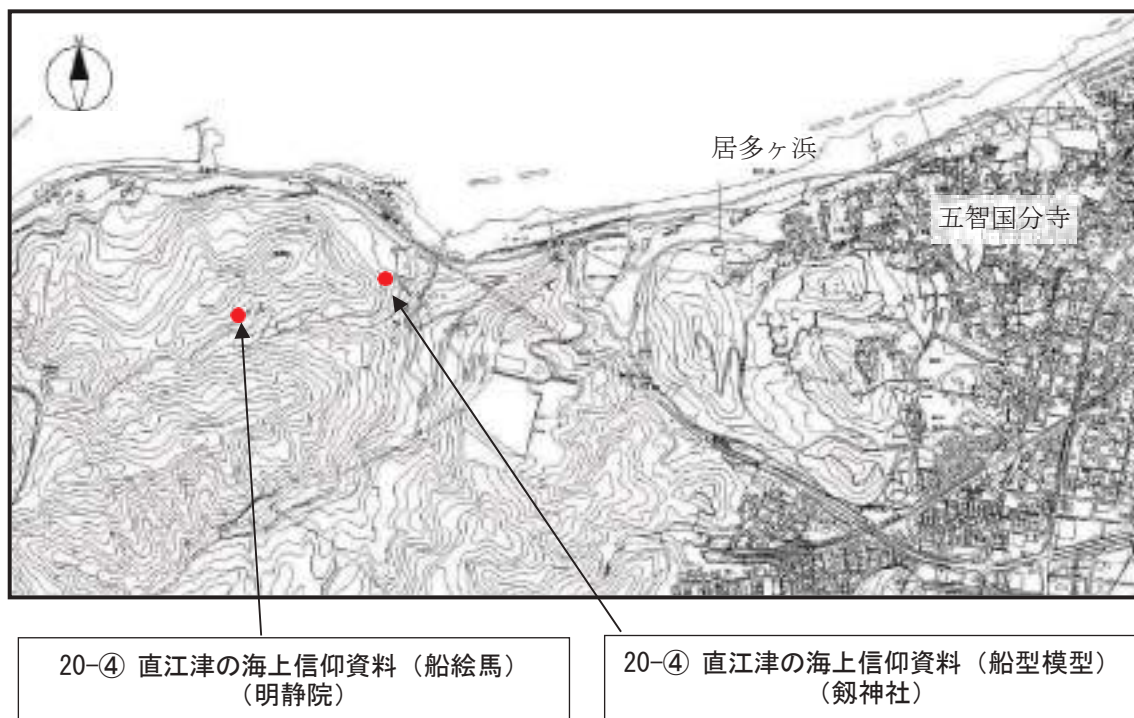
市町村の位置図（上越市）



構成文化財の位置図（上越市）

拡大図





- 20-⑤ 北前船関連資料
- 20-⑨ 直江津・高田祇園祭の御旅所行事
と屋台巡行
- 20-⑩ 米大舟
- 20-⑪ 直江津舟方節

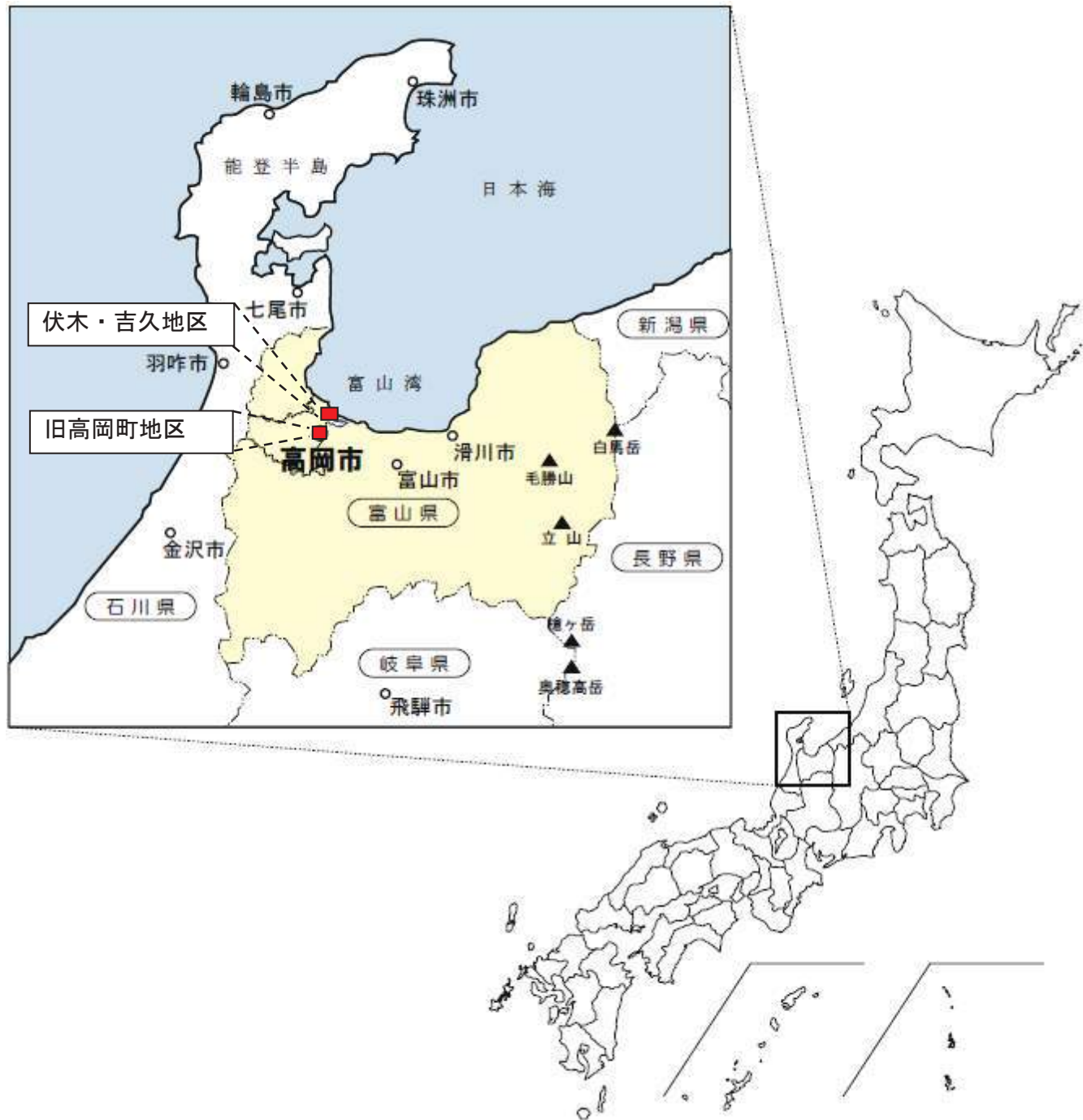
市町村の位置図（富山市）



構成文化財の位置図（富山市）



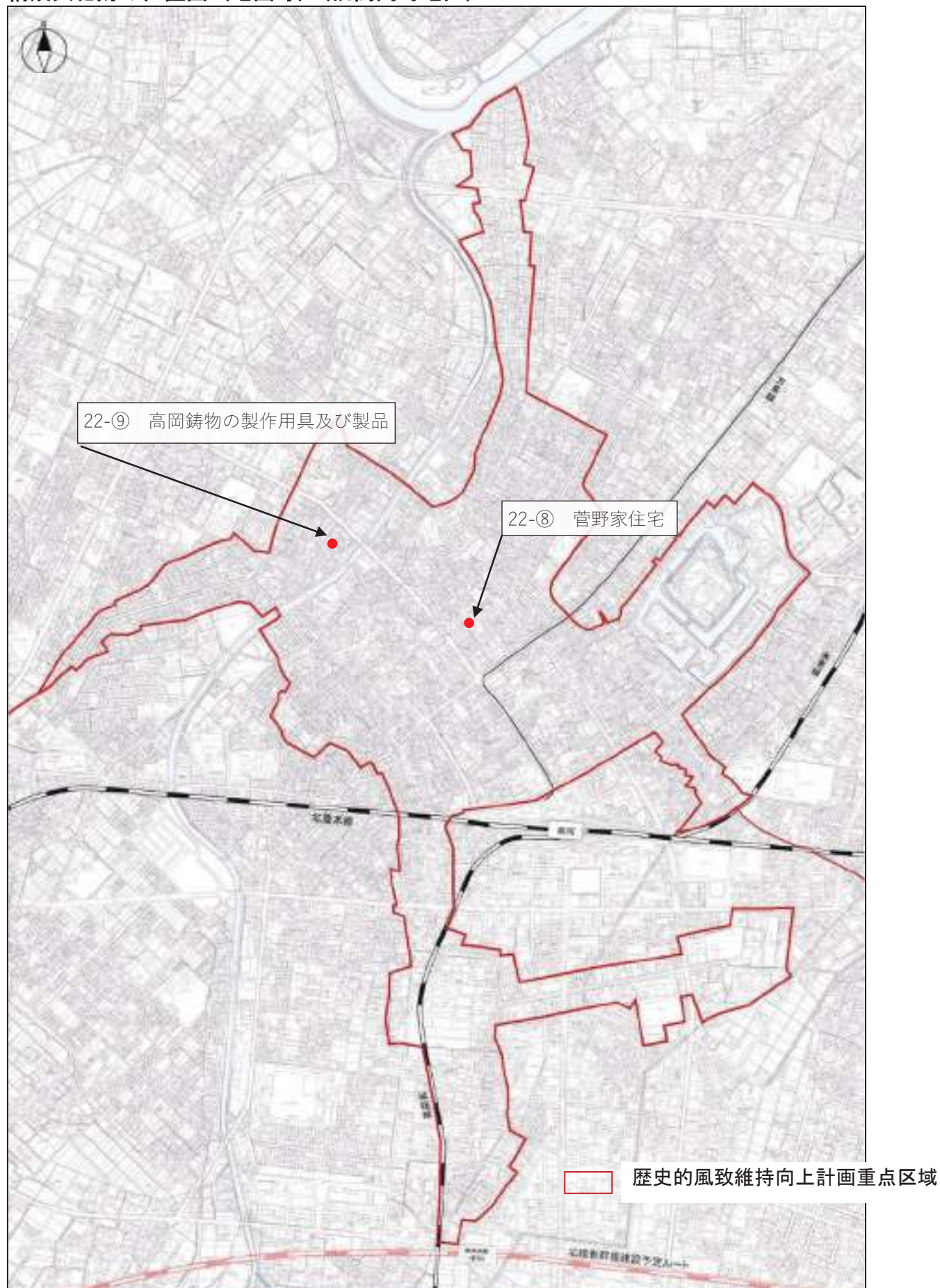
市町村の位置図（地図等）



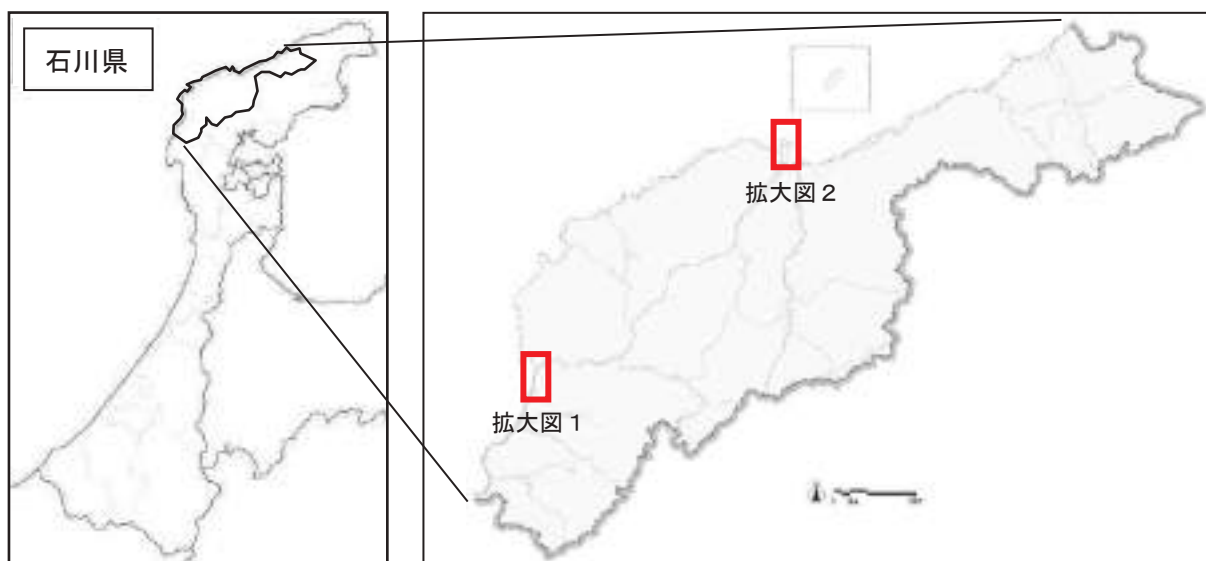
構成文化財の位置図（地図等）（伏木・吉久地区）



構成文化財の位置図（地図等）（旧高岡町地区）



市町村の位置図（輪島市）



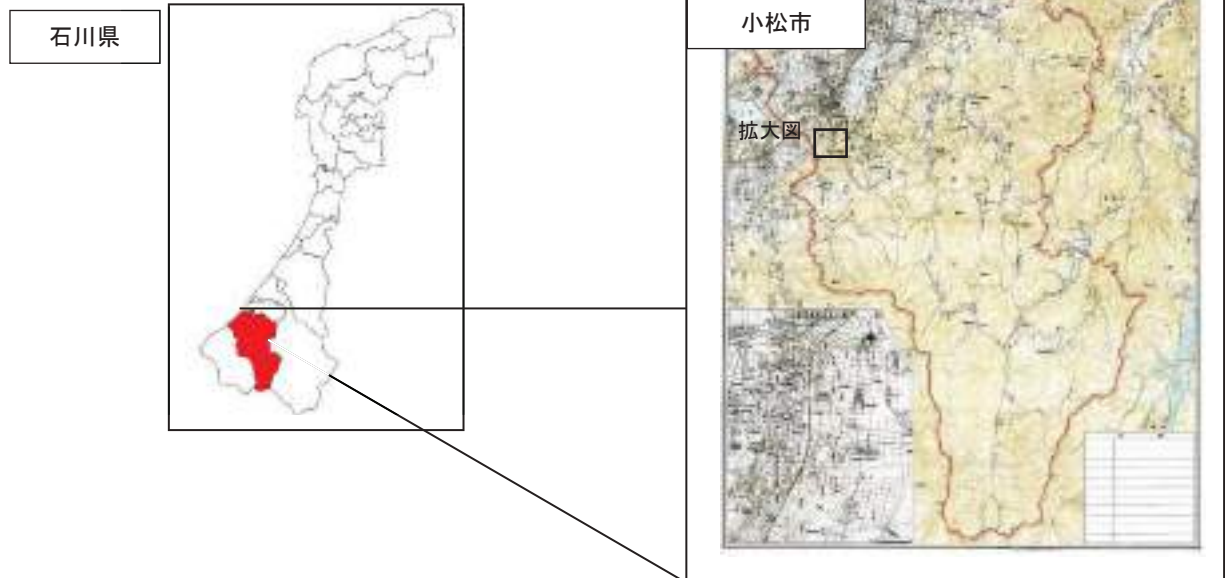
拡大図 1



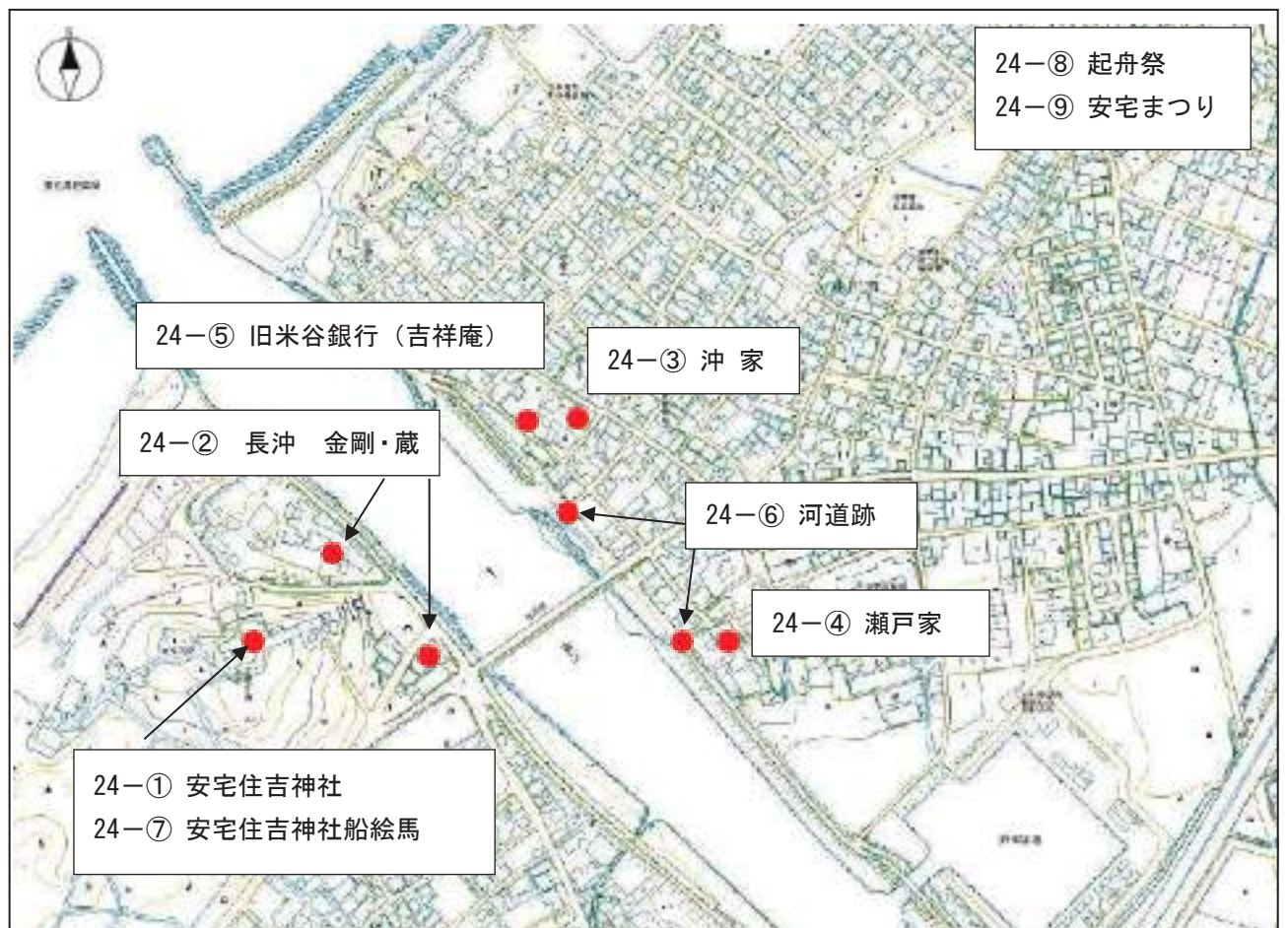
拡大図 2



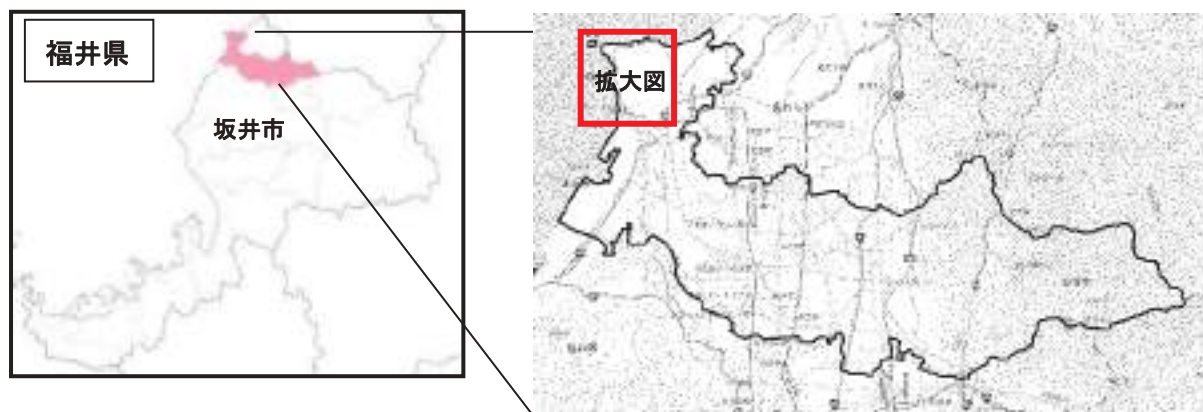
市町村の位置図（小松市）



構成文化財の位置図（小松市）

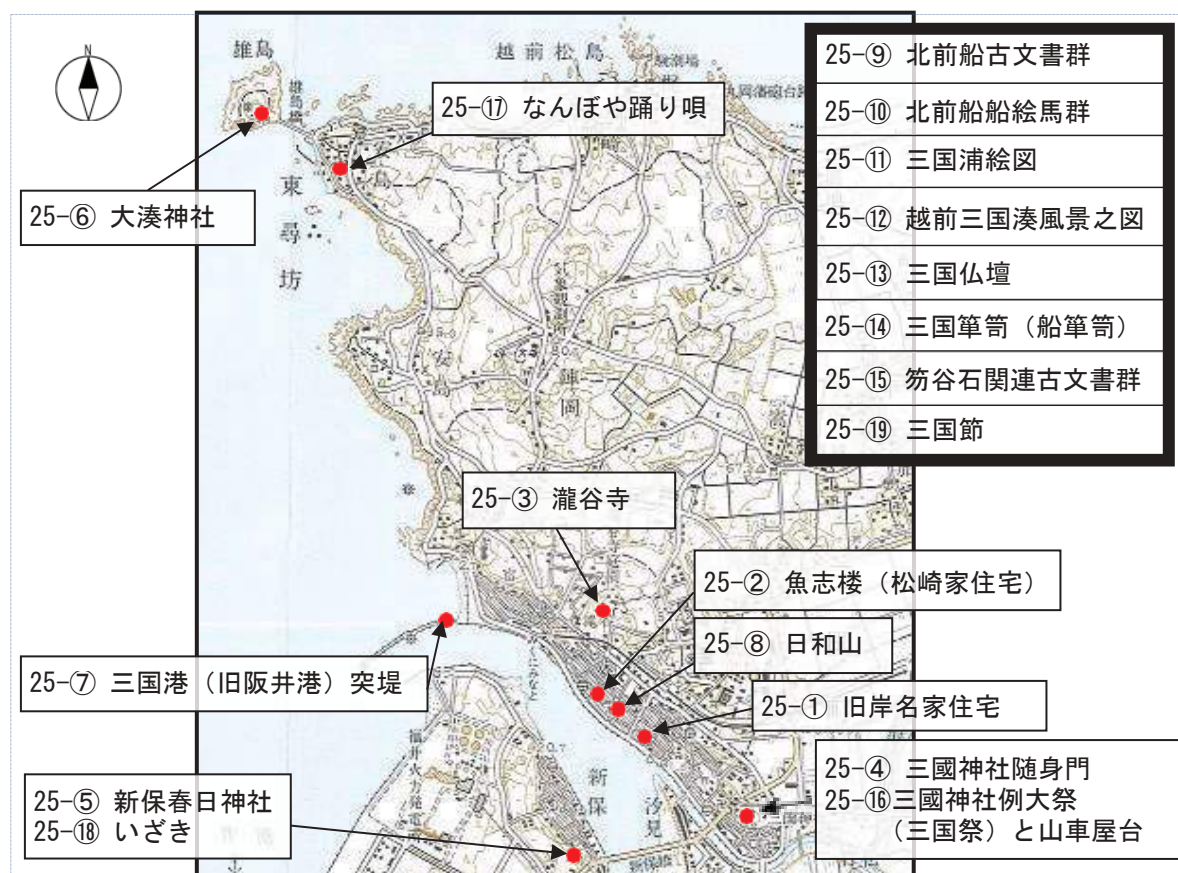


市町村の位置図（坂井市）

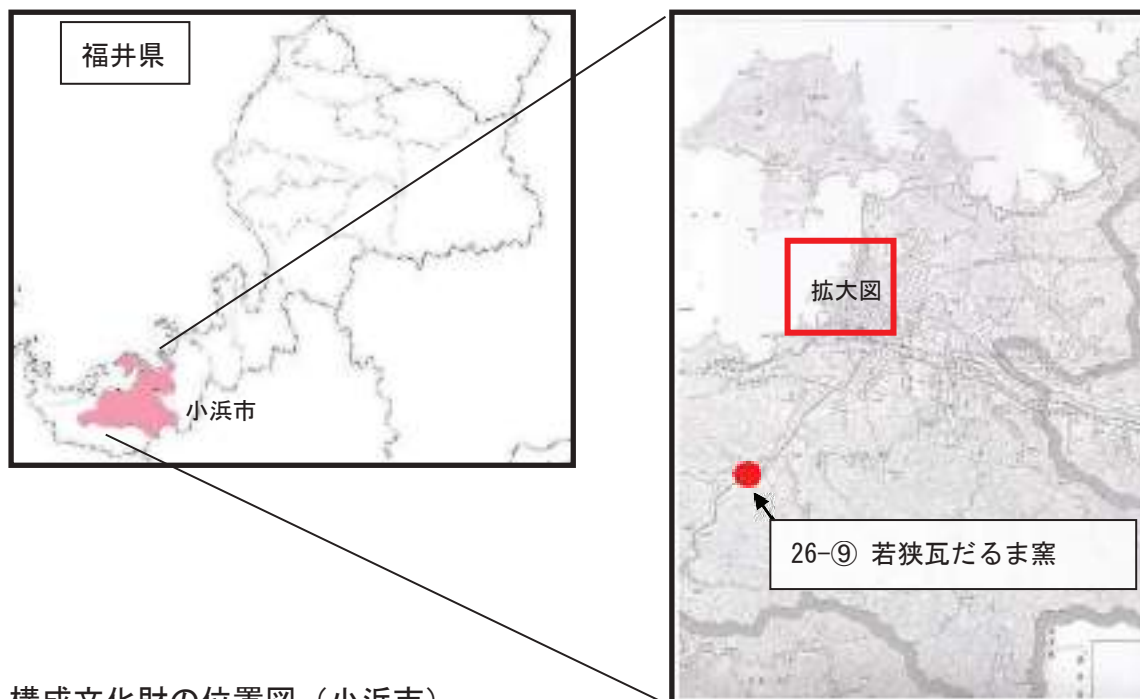


構成文化財の位置図（坂井市）

拡大図

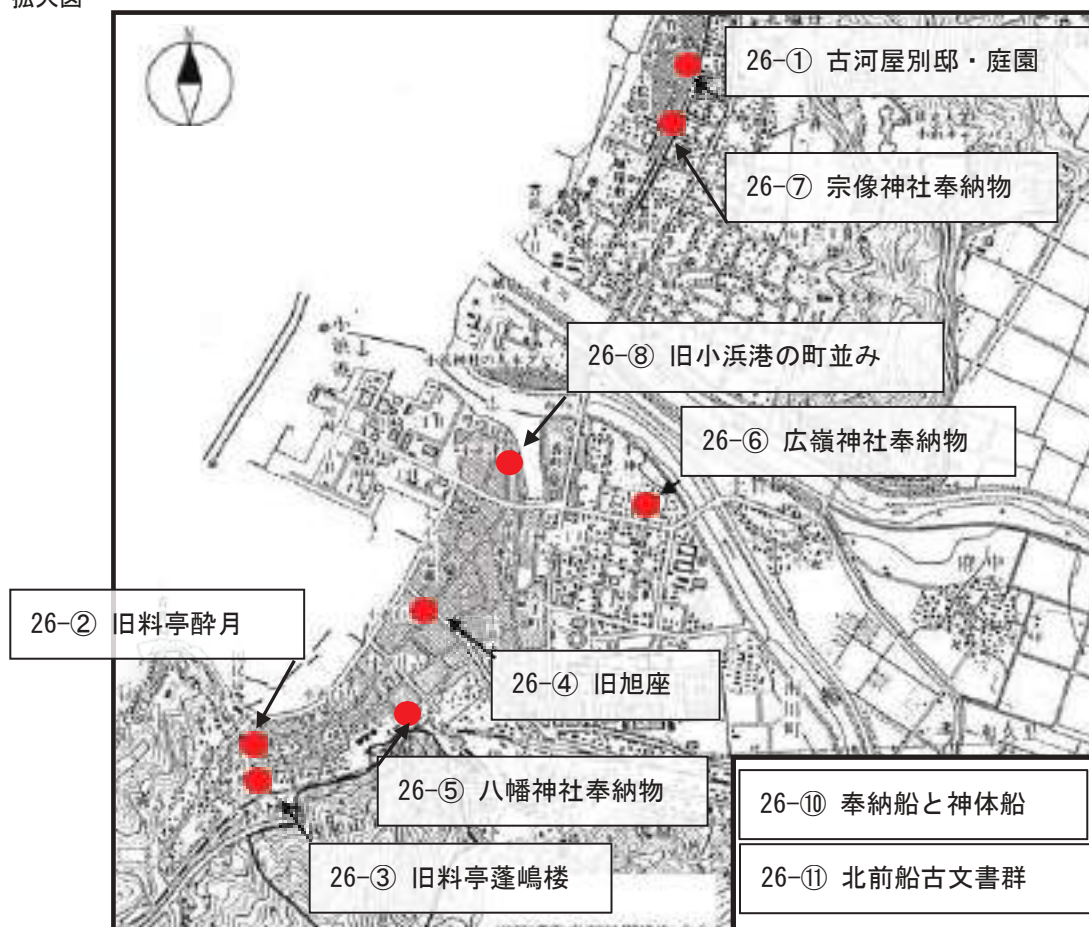


市町村の位置図（小浜市）

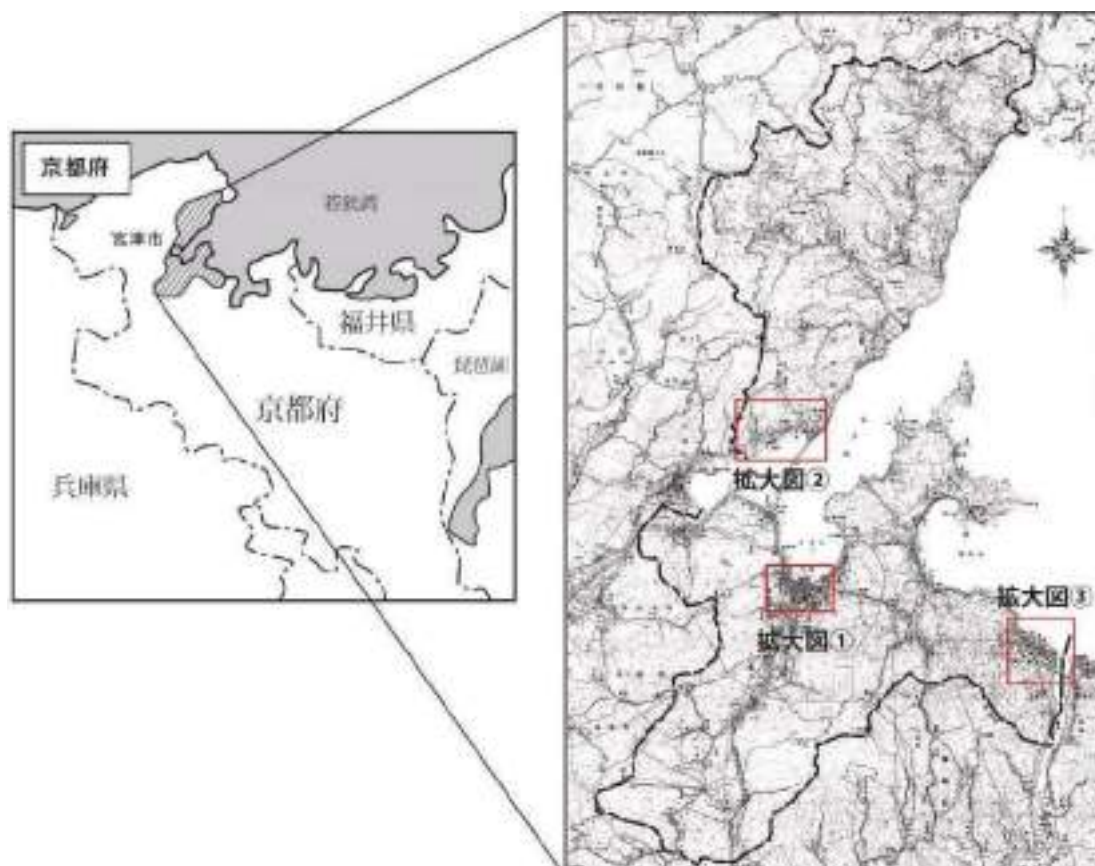


構成文化財の位置図（小浜市）

拡大図

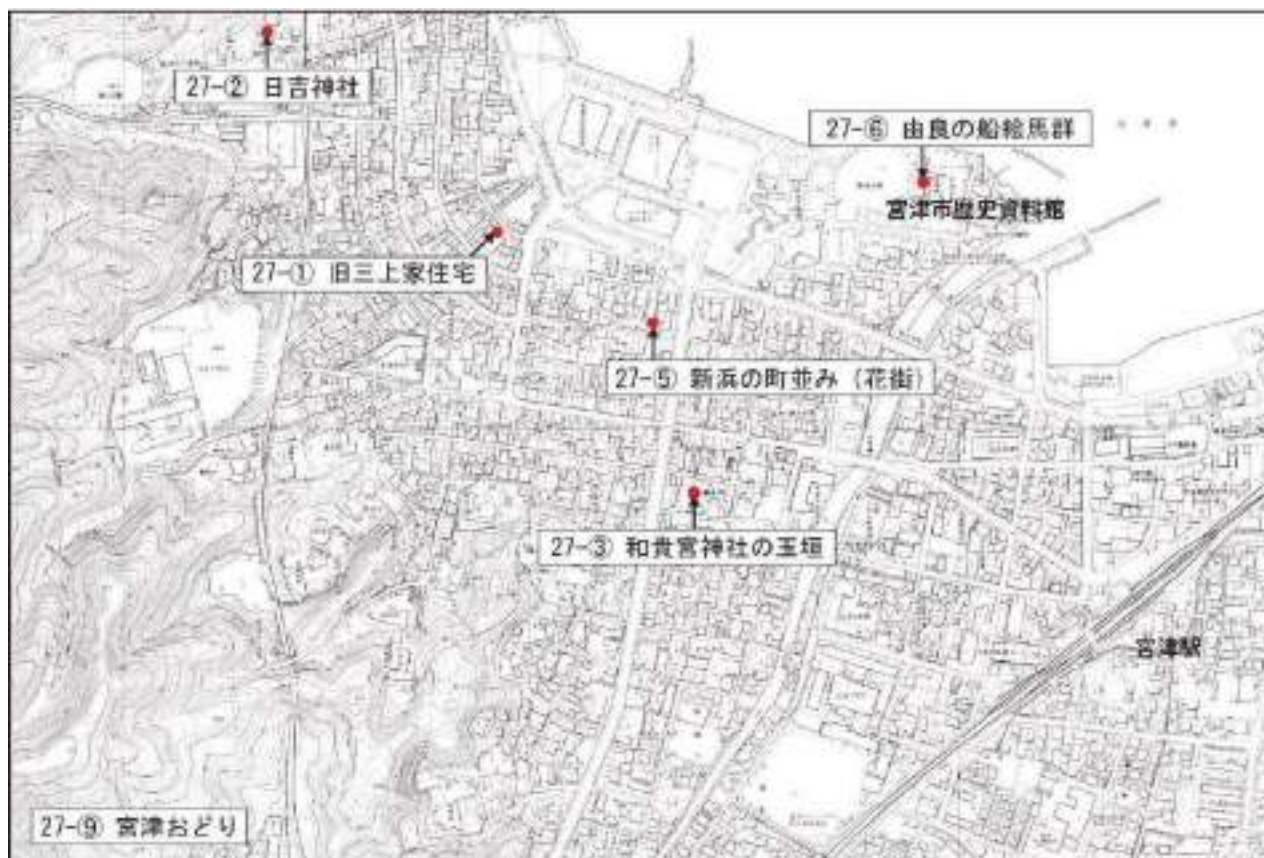


市町村の位置図（宮津市）



構成文化財の位置図（宮津市）

拡大図①



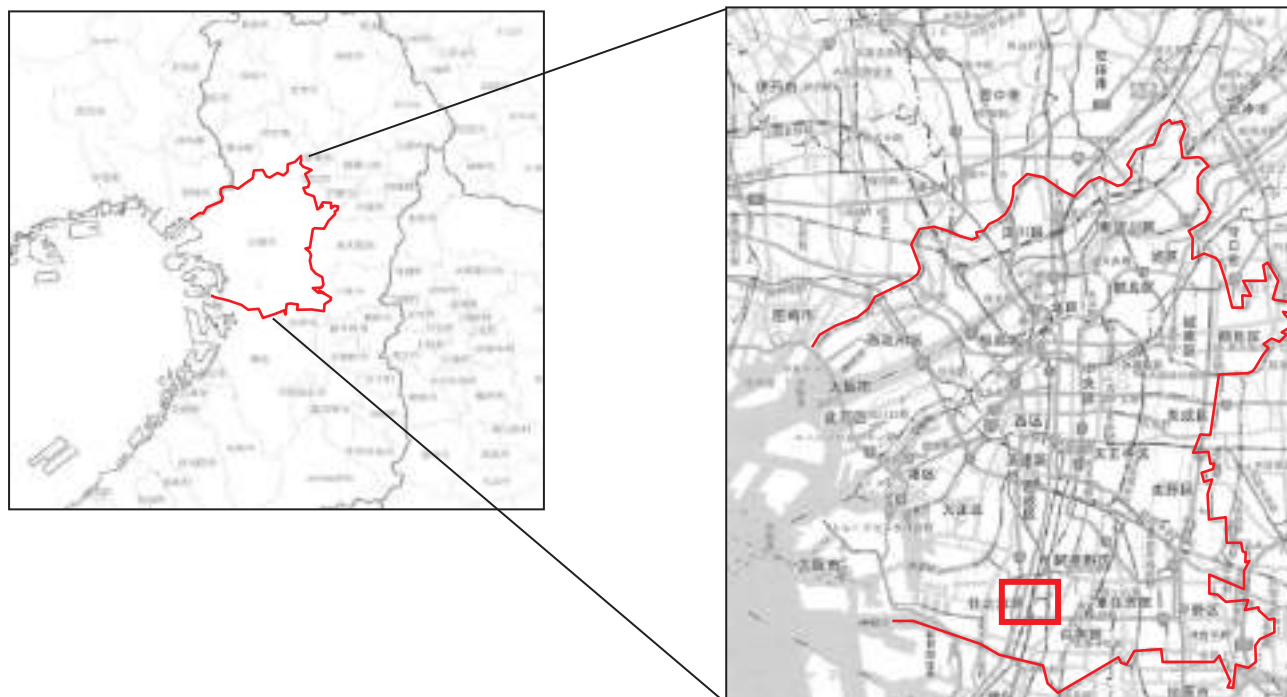
拡大図②



拡大図③



市町村の位置図（大阪市）

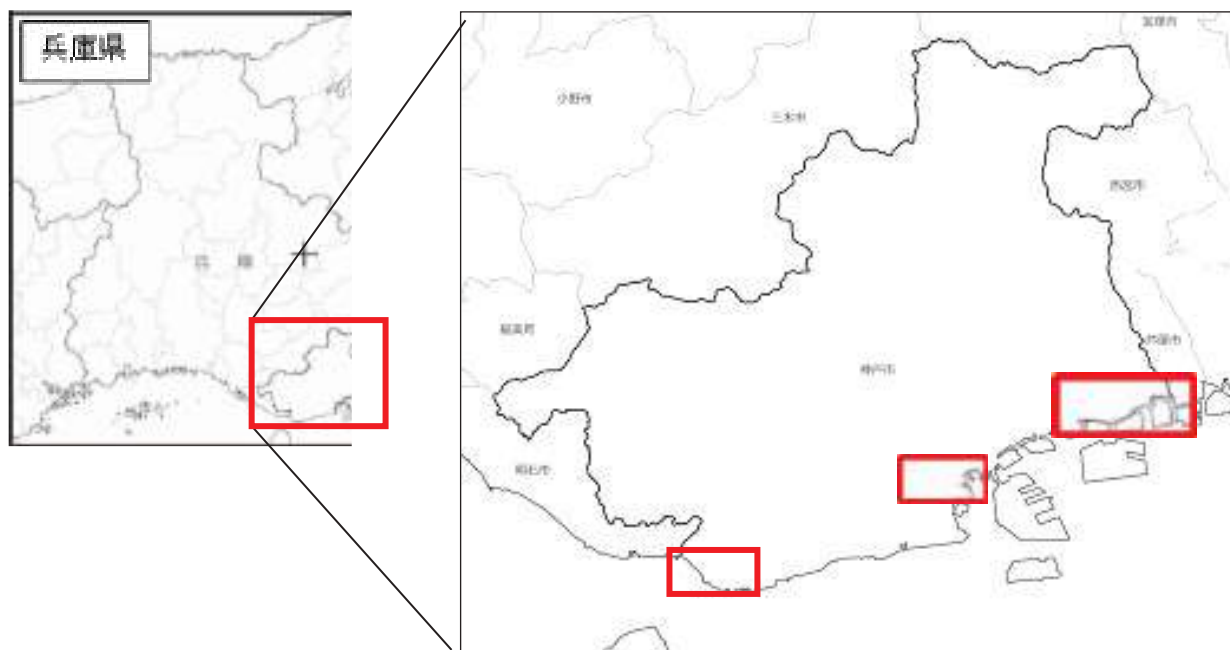


構成文化財の位置図（大阪市）

拡大図



市町村の位置図（神戸市）



構成文化財の位置図（神戸市）

拡大図

①



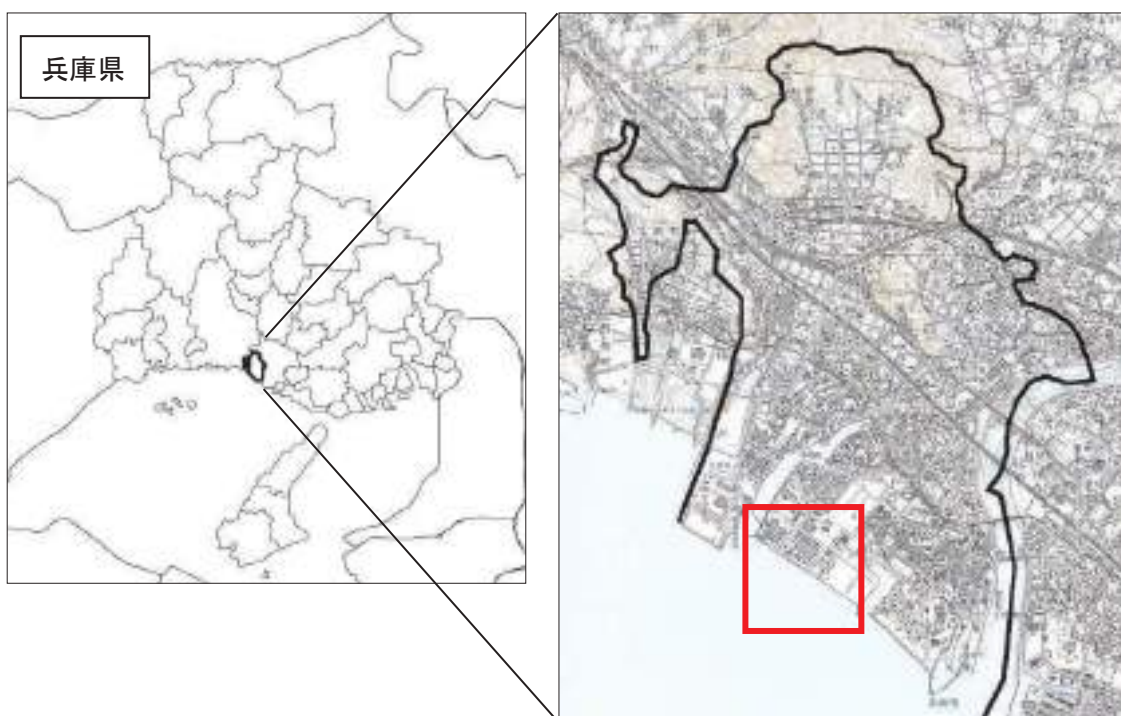
②



③

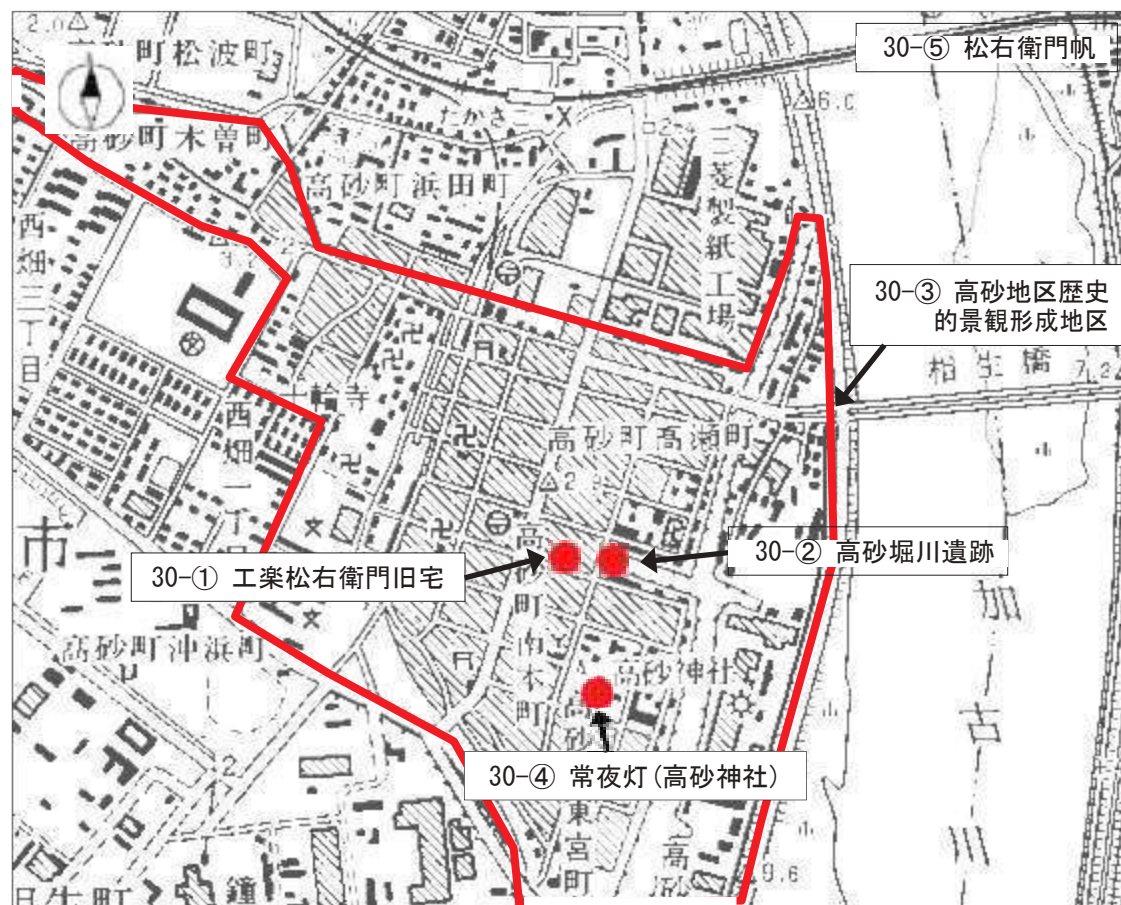


市町村の位置図（高砂市）

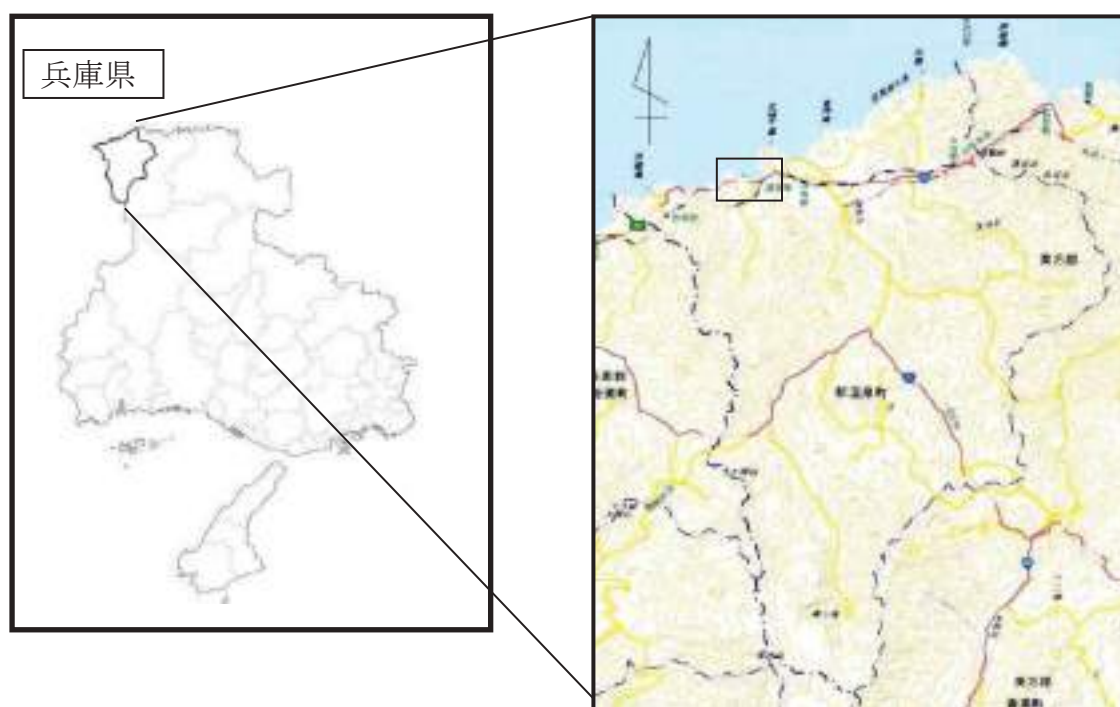


構成文化財の位置図（高砂市）

拡大図



市町村の位置図(新温泉町)



構成文化財の位置図 (新温泉町)
拡大図

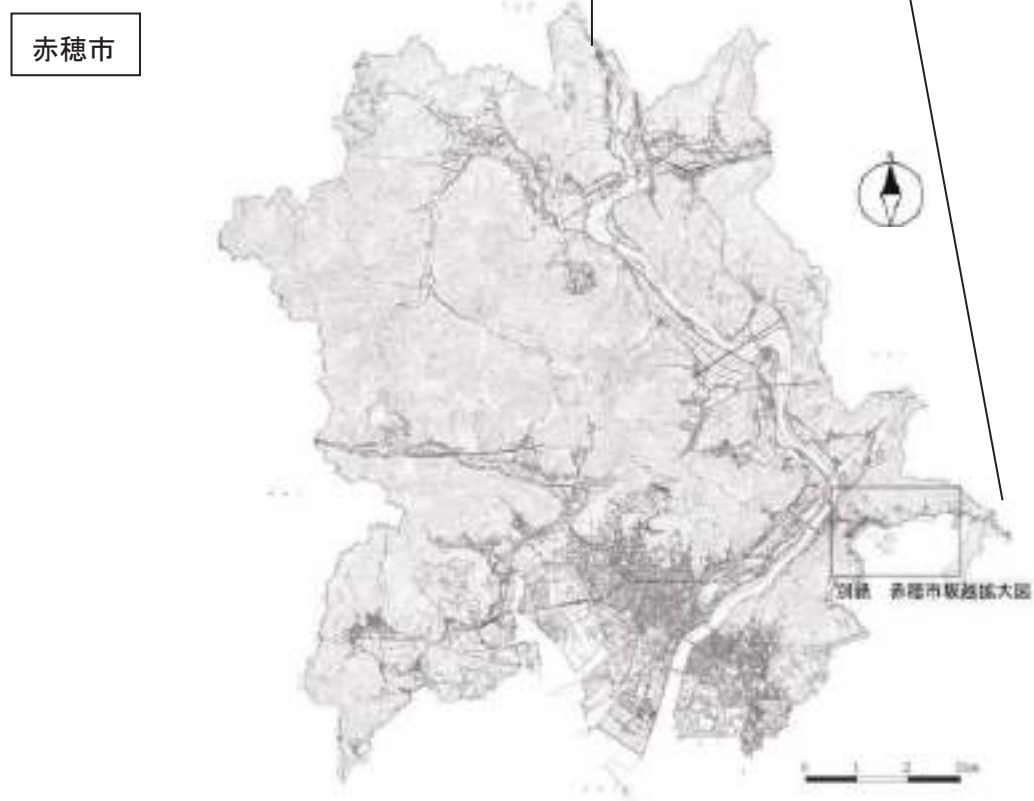


市町村の位置図（赤穂市）

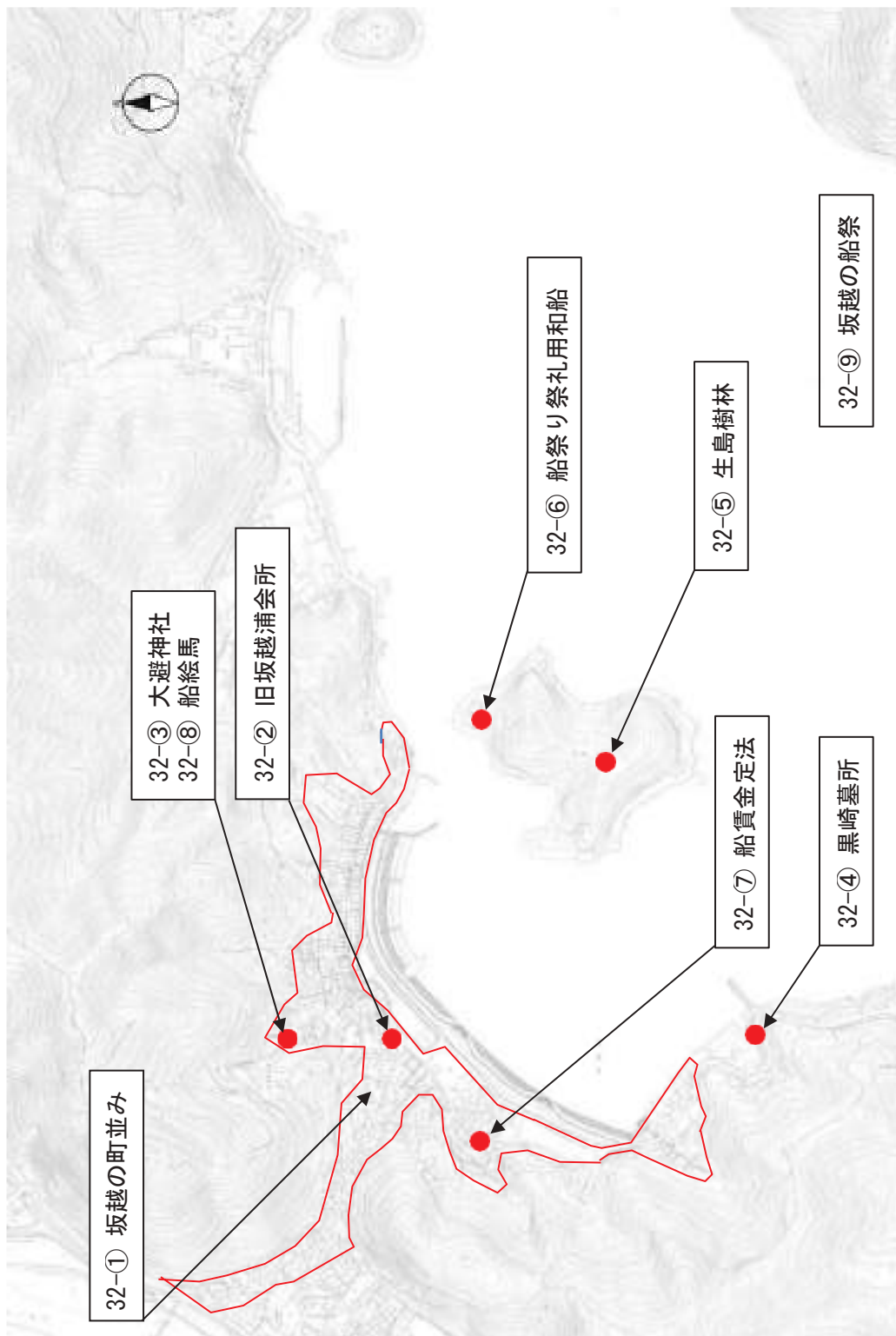


構成文化財の位置図（赤穂市）

拡大図



構成文化財の位置図（赤穂市） 赤穂市坂越拡大図

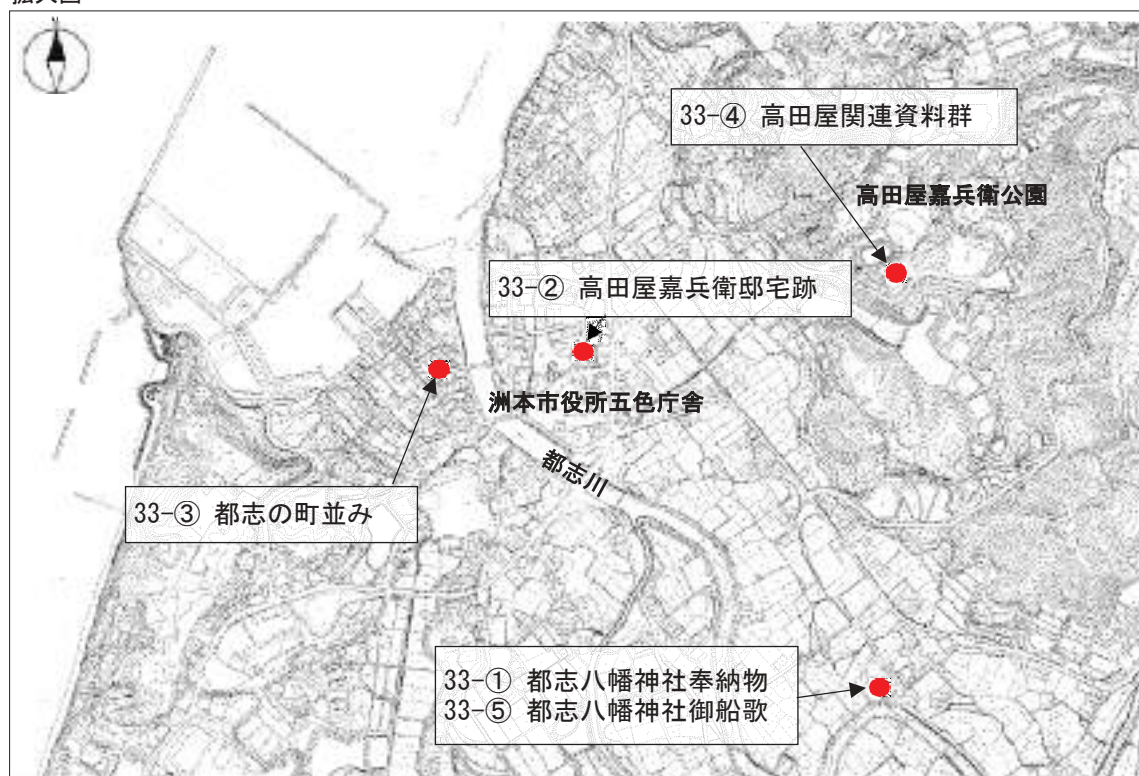


市町村の位置図（洲本市）

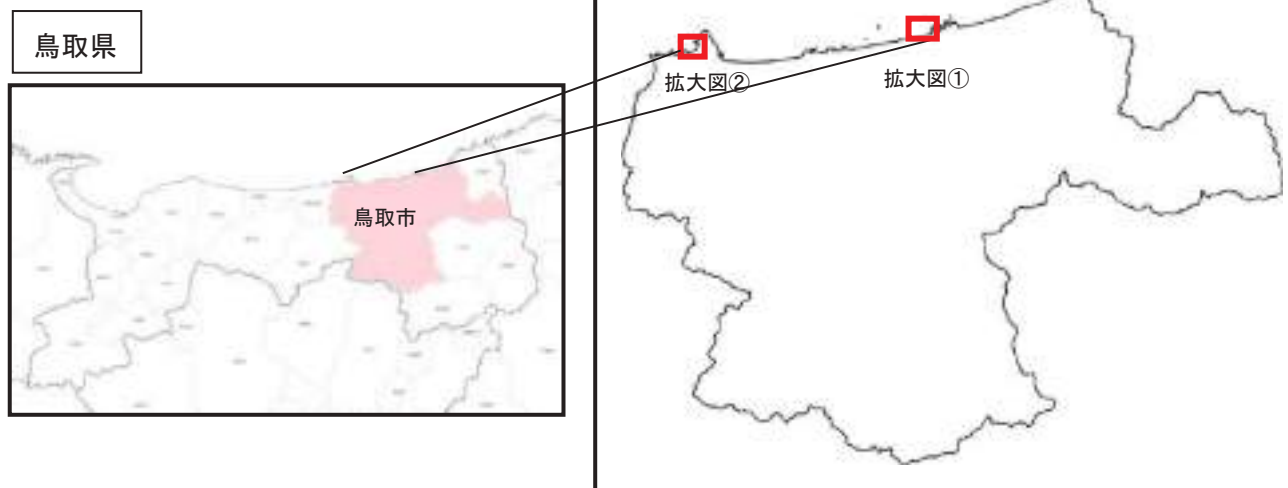


構成文化財の位置図（洲本市）

拡大図



市町村の位置図（鳥取市）

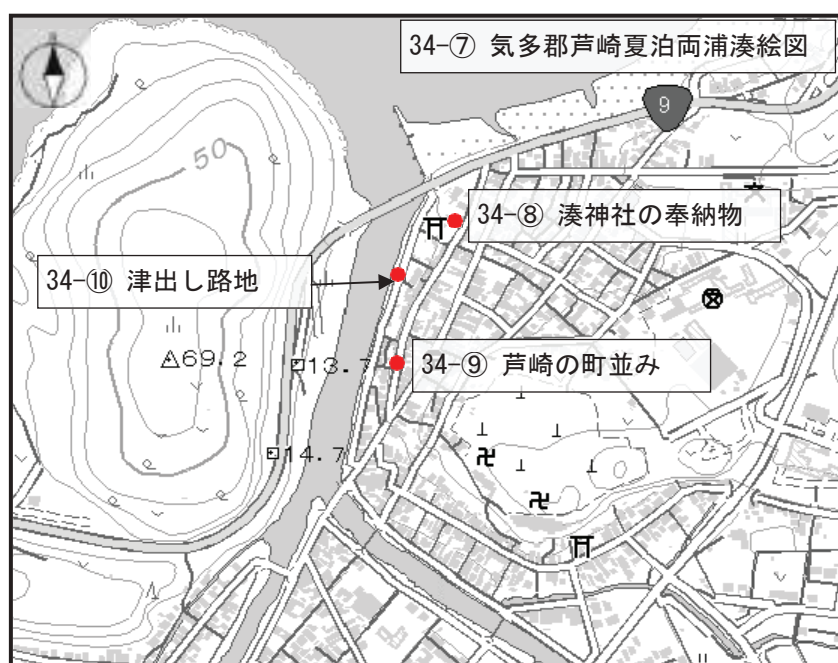


構成文化財の位置図（鳥取市）

拡大図①



拡大図②



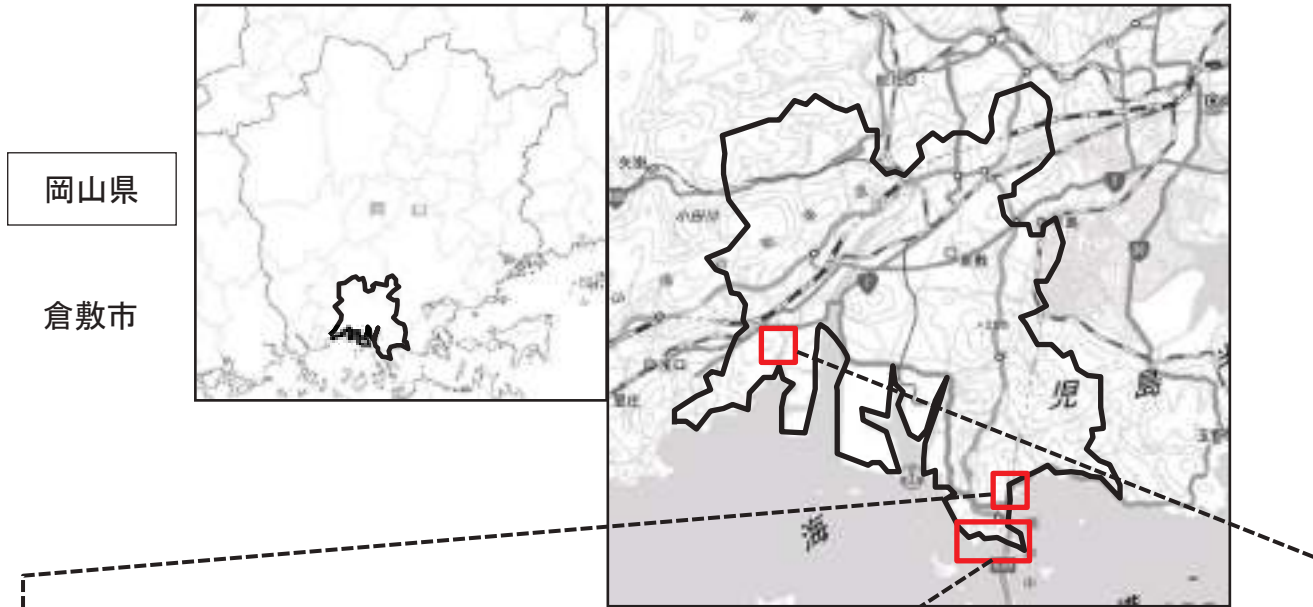
市町村の位置図（浜田市）



構成文化財の位置図（浜田市外ノ浦町）

拡大図





構成文化財の位置図（倉敷市）

拡大図

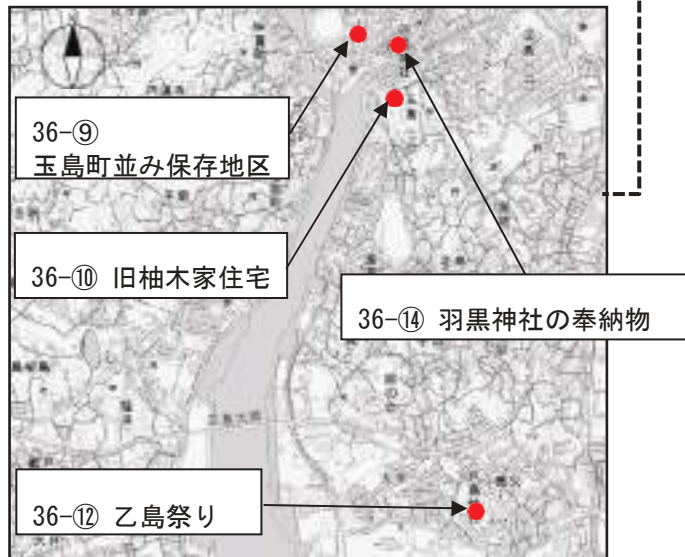
（下津井）



（野崎浜）



（玉島）



市町村の位置図（尾道市）



構成文化財の位置図（尾道市旧市街地）

拡大図①



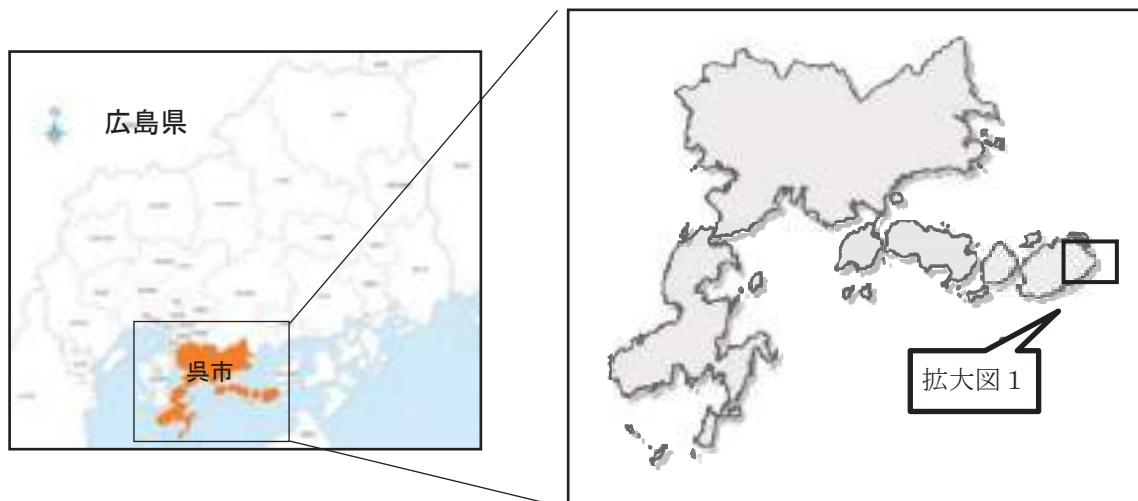
拡大図②



拡大図③

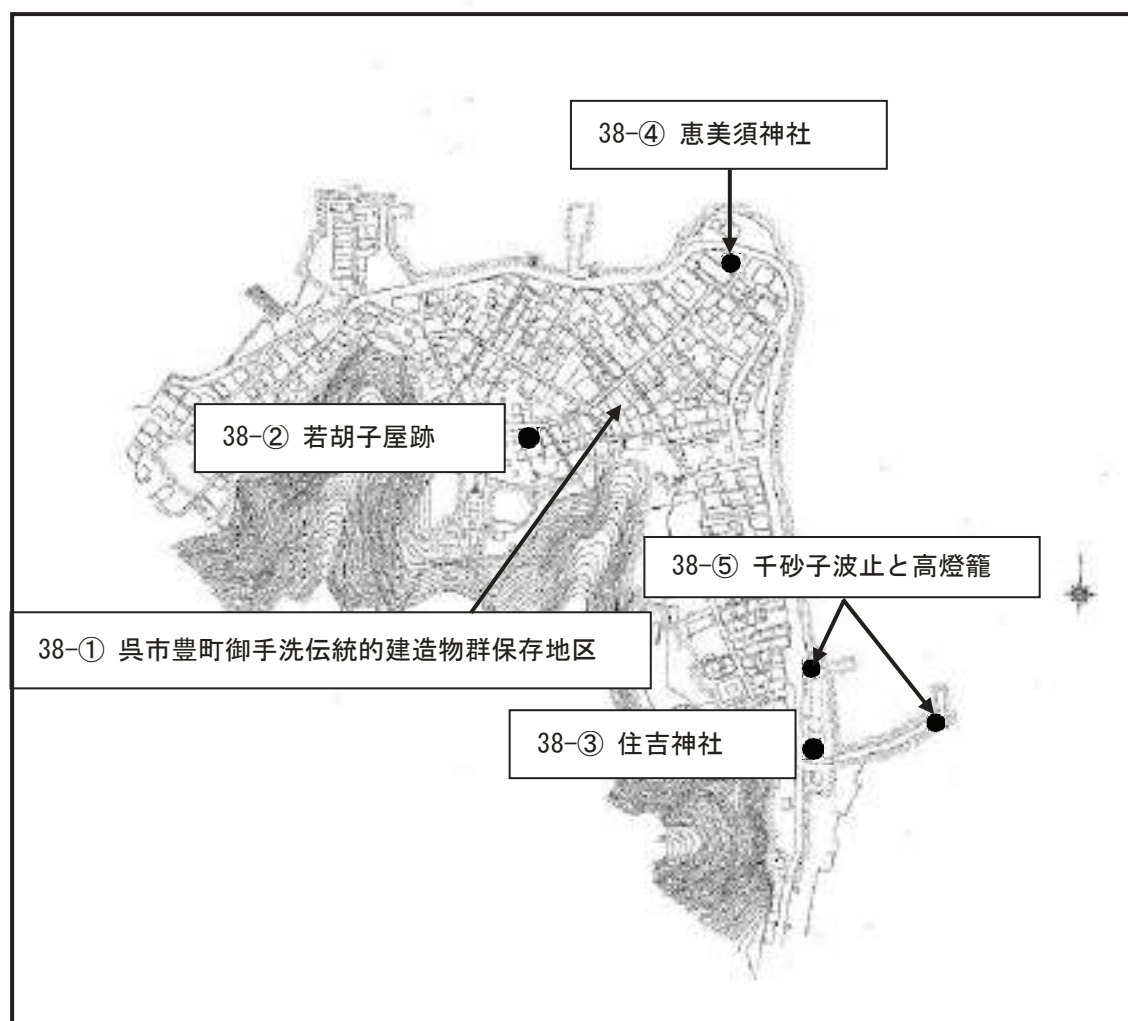


市町村の位置図（呉市）



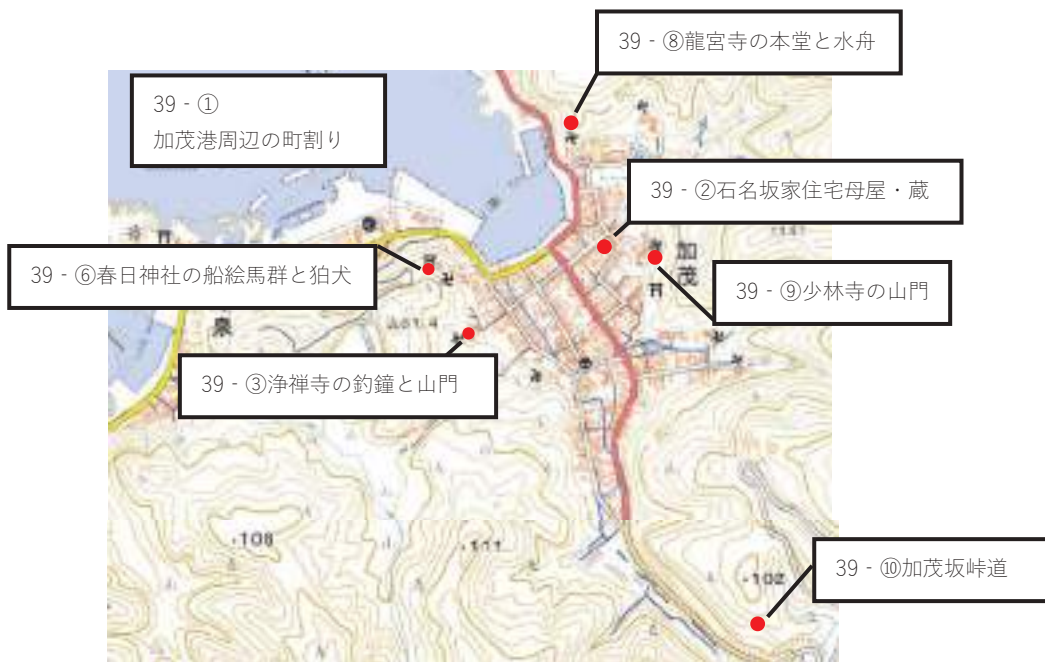
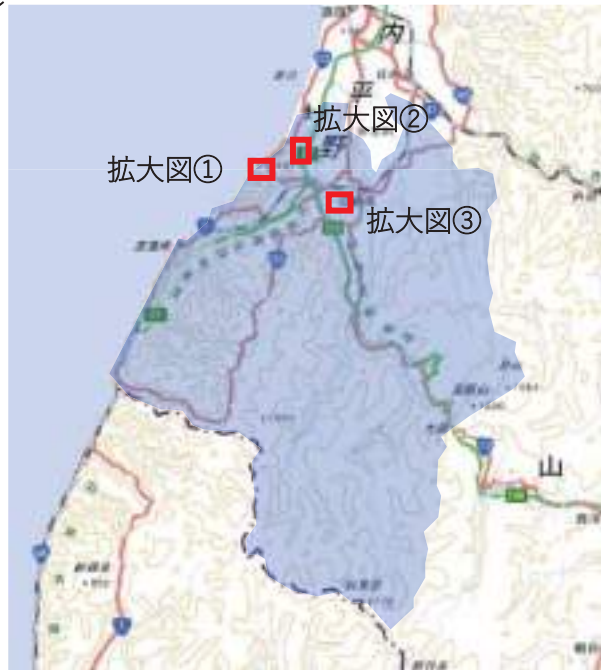
構成文化財の位置図（呉市）

拡大図 1

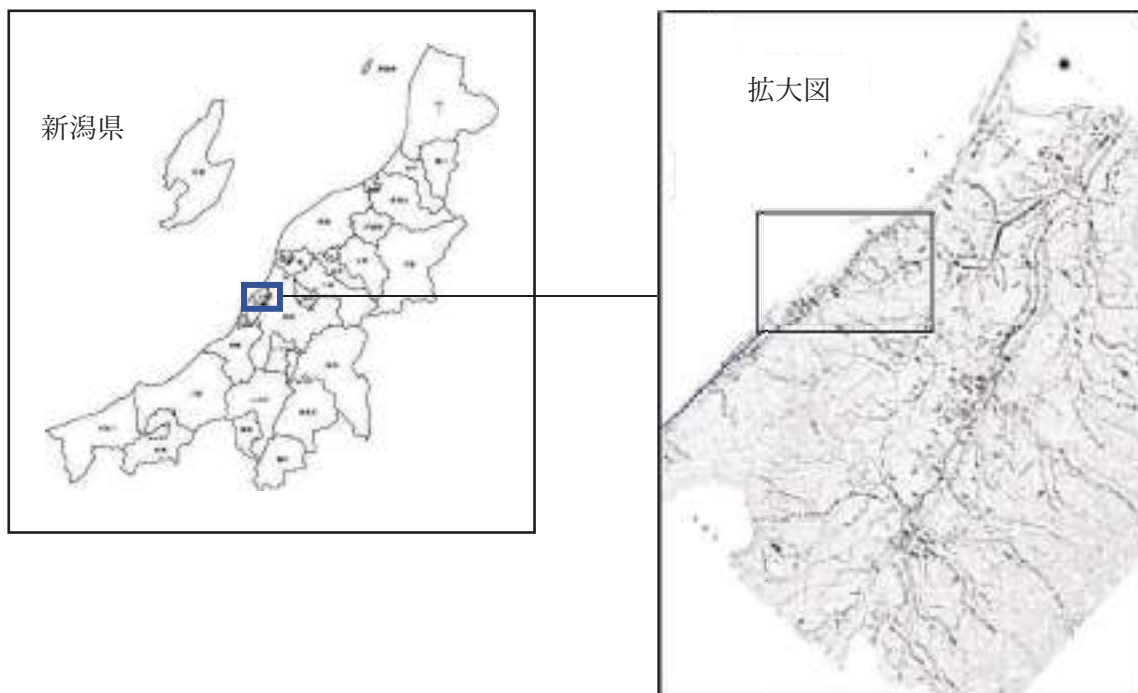


市町村の位置図（鶴岡市）

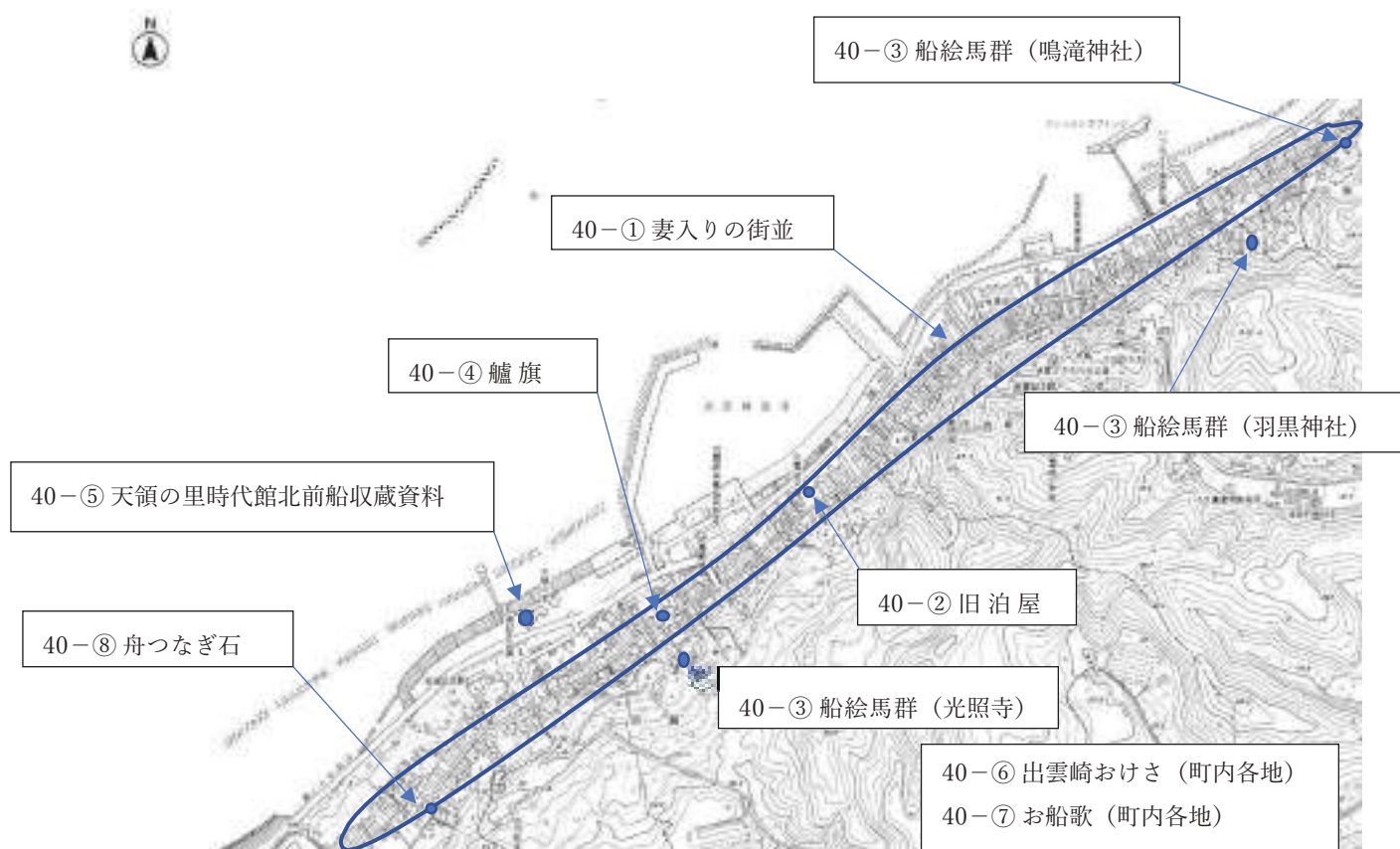
山形県



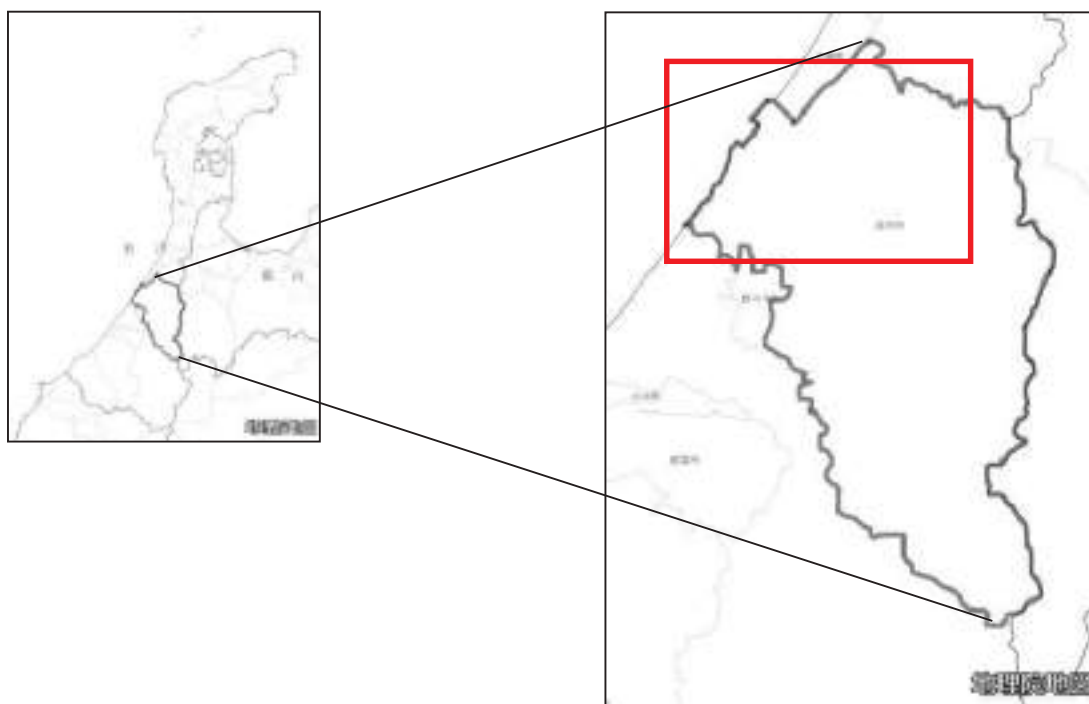
市町村の位置図（出雲崎町）



構成文化財の位置図（出雲崎町）



市町村の位置図（金沢市）



拡大図

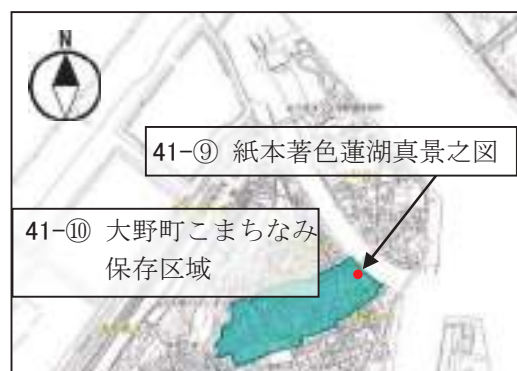


構成文化財の位置図（金沢市）

拡大図 1



拡大図 2

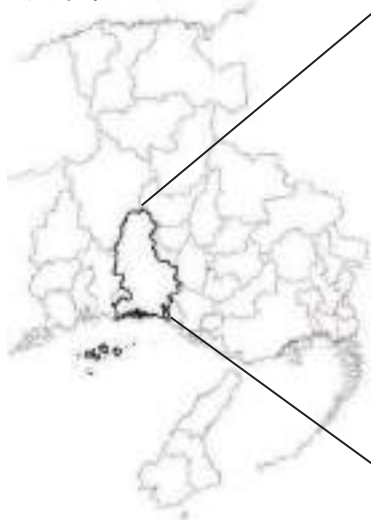


拡大図 3



拡大図 4





42-③ 中島家住宅

42-⑥ 北前船古文書群

42-① 浜の宮天満宮の神牛

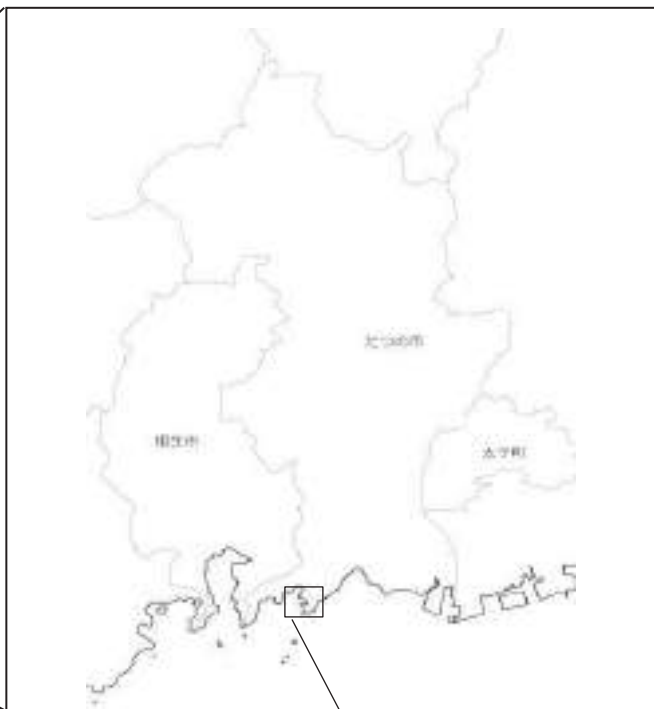
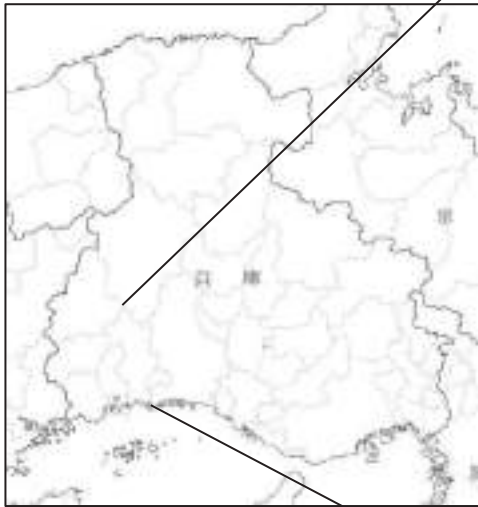
42-② 湛保



市町村の位置図 (たつの市)

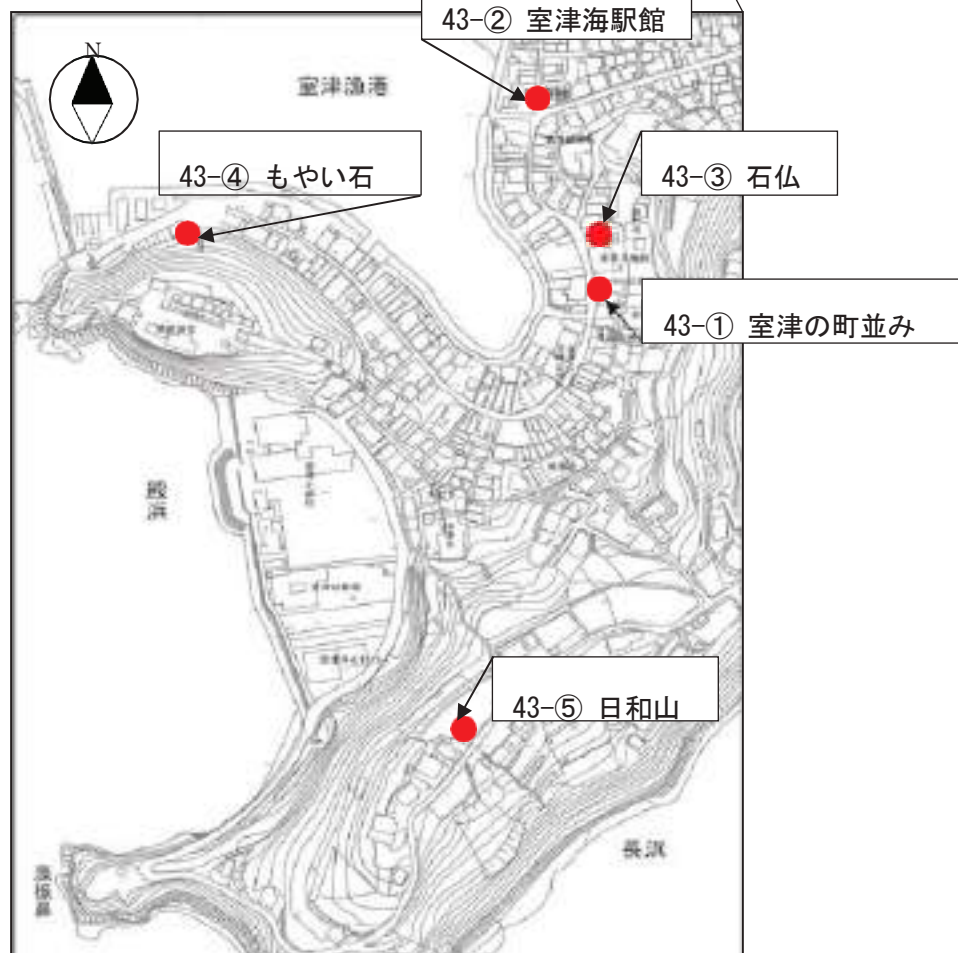
兵庫県

たつの市

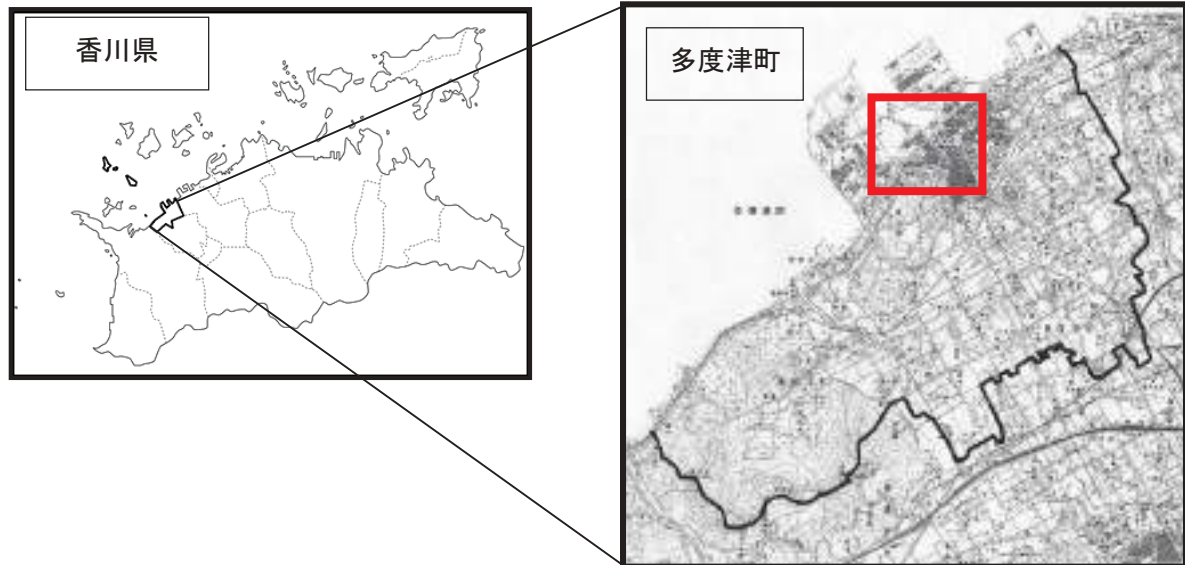


構成文化財の位置図 (たつの市)

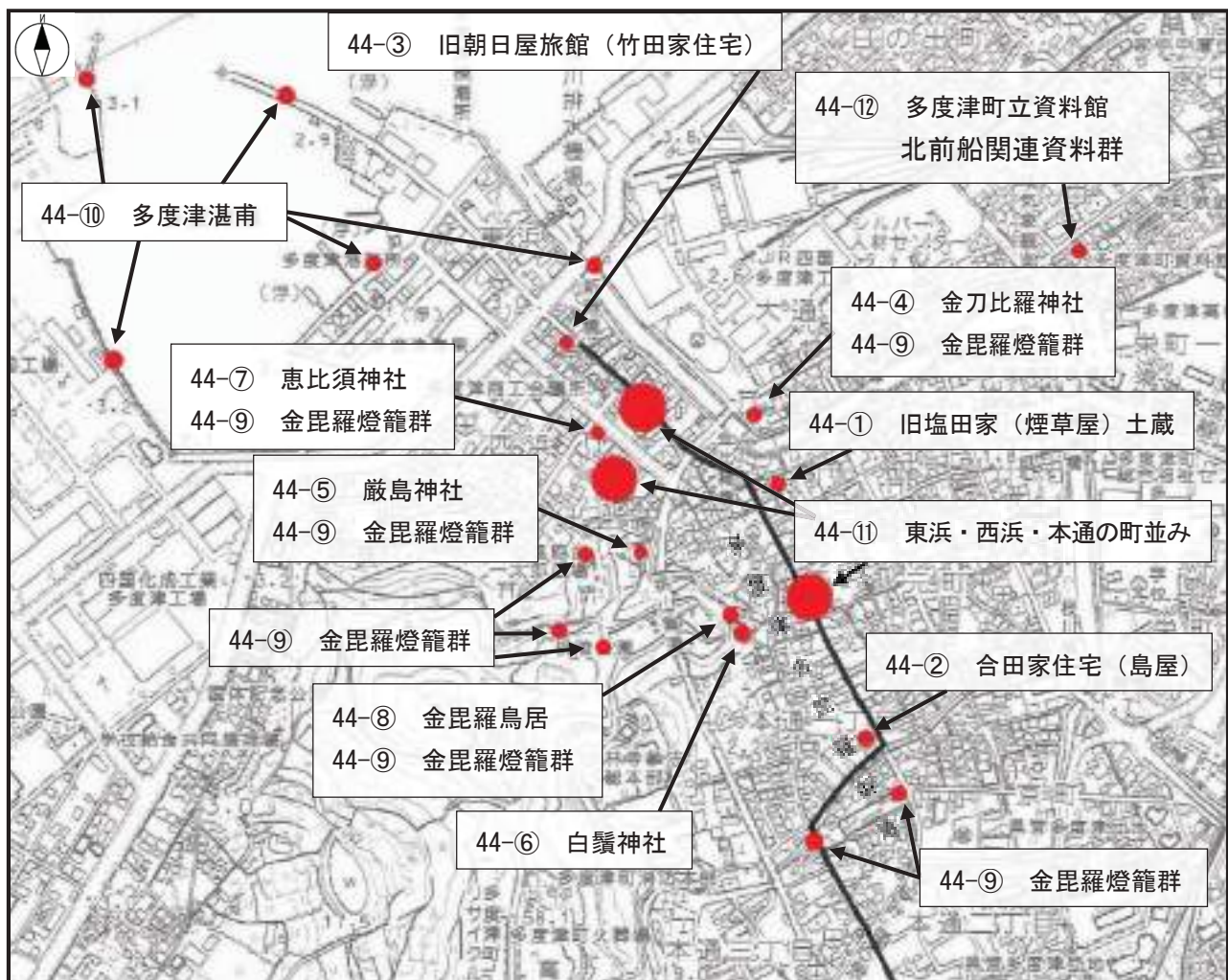
拡大図



市町村の位置図 (多度津町)



構成文化財の位置図 (多度津町)



市町村の位置図（竹原市）

広島県

竹原市

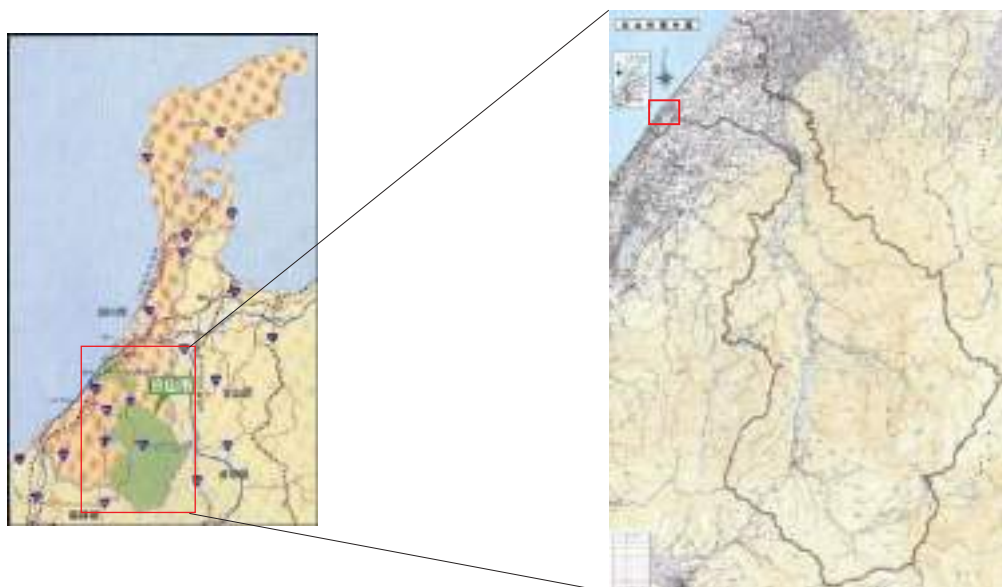


構成文化財の位置図（竹原市）

拡大図



市町村の位置図（白山市）



構成文化財の位置図（白山市）



市町村の位置図（志賀町）

石川県

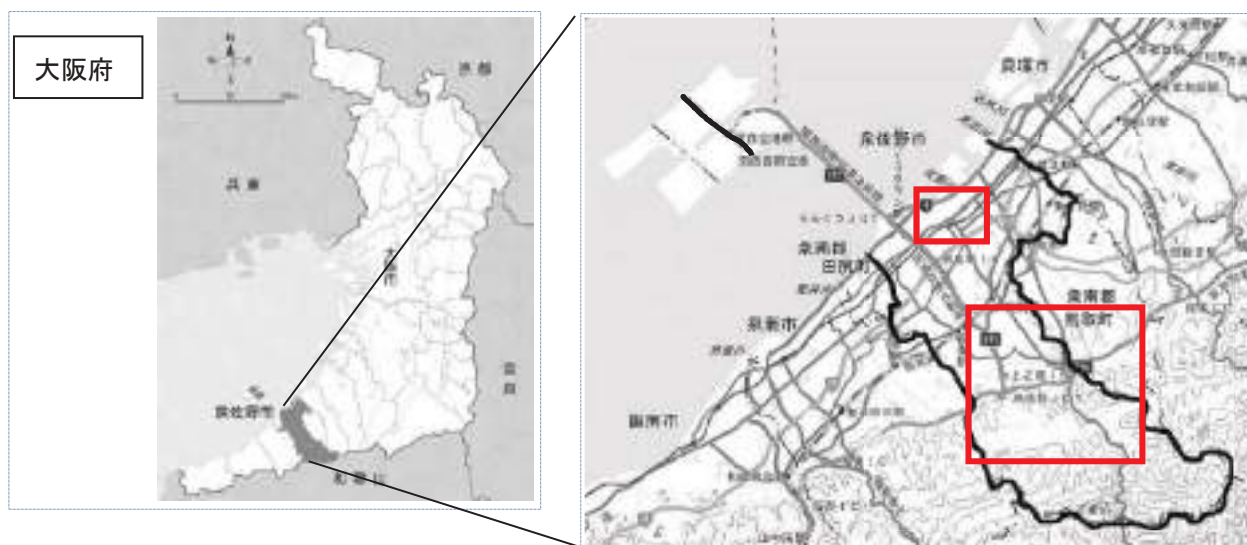


構成文化財の位置図（志賀町）

拡大図



市町村の位置図（泉佐野市）



構成文化財の位置図（泉佐野市）

拡大図

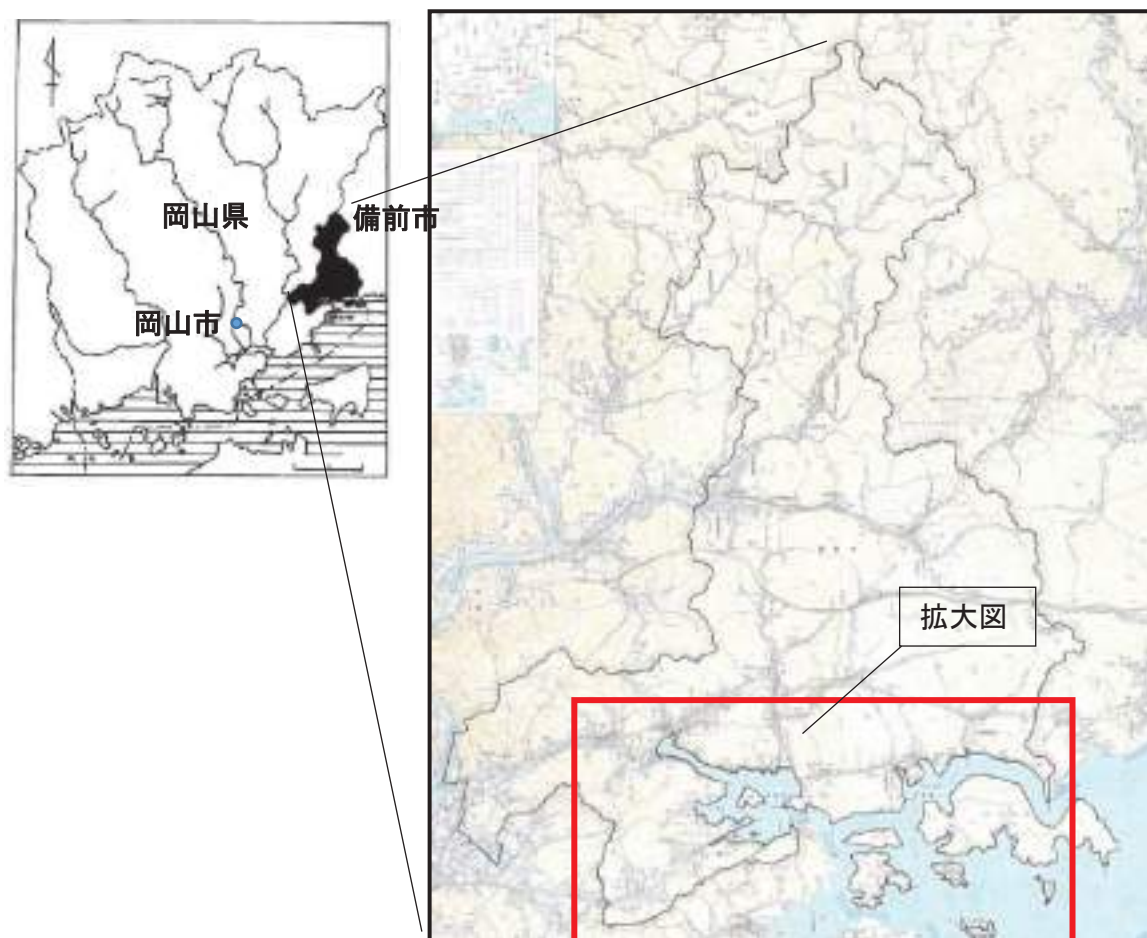


48-⑤ 妙浄寺梵鐘

拡大図



市町村の位置図（備前市）

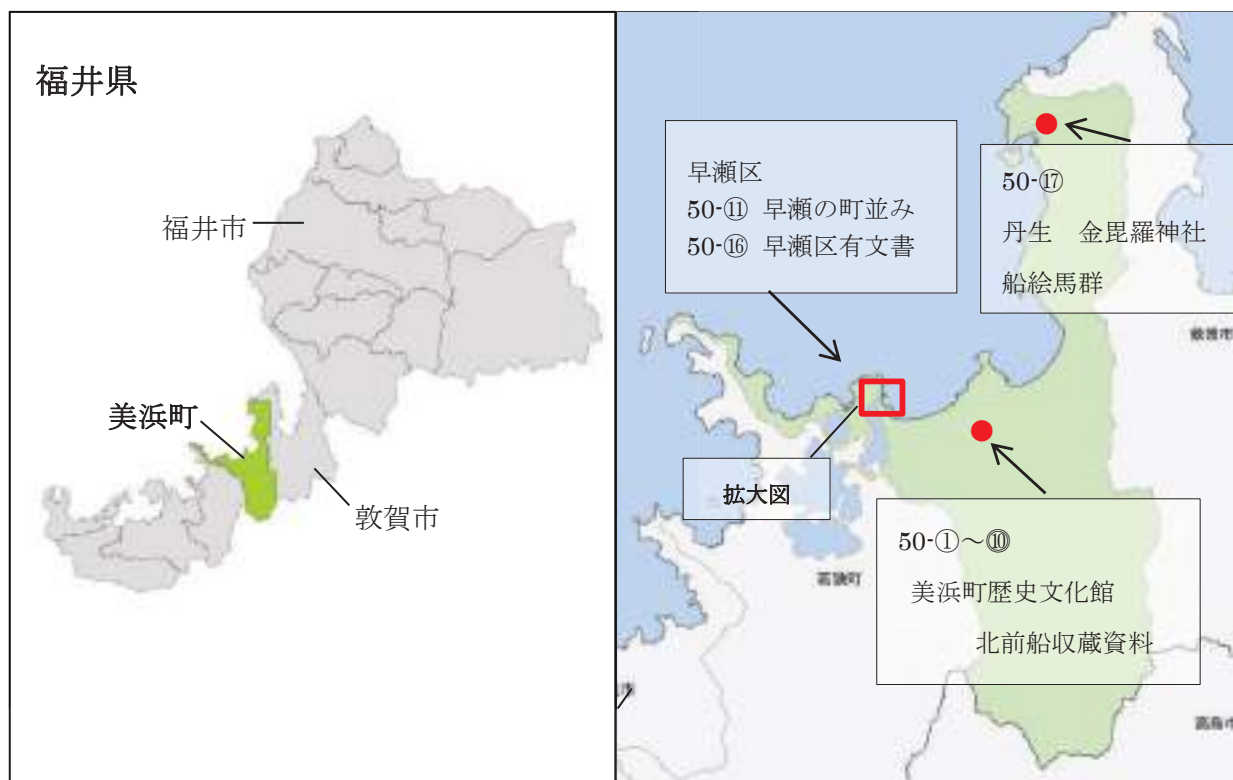


構成文化財の位置図（備前市）

拡大図



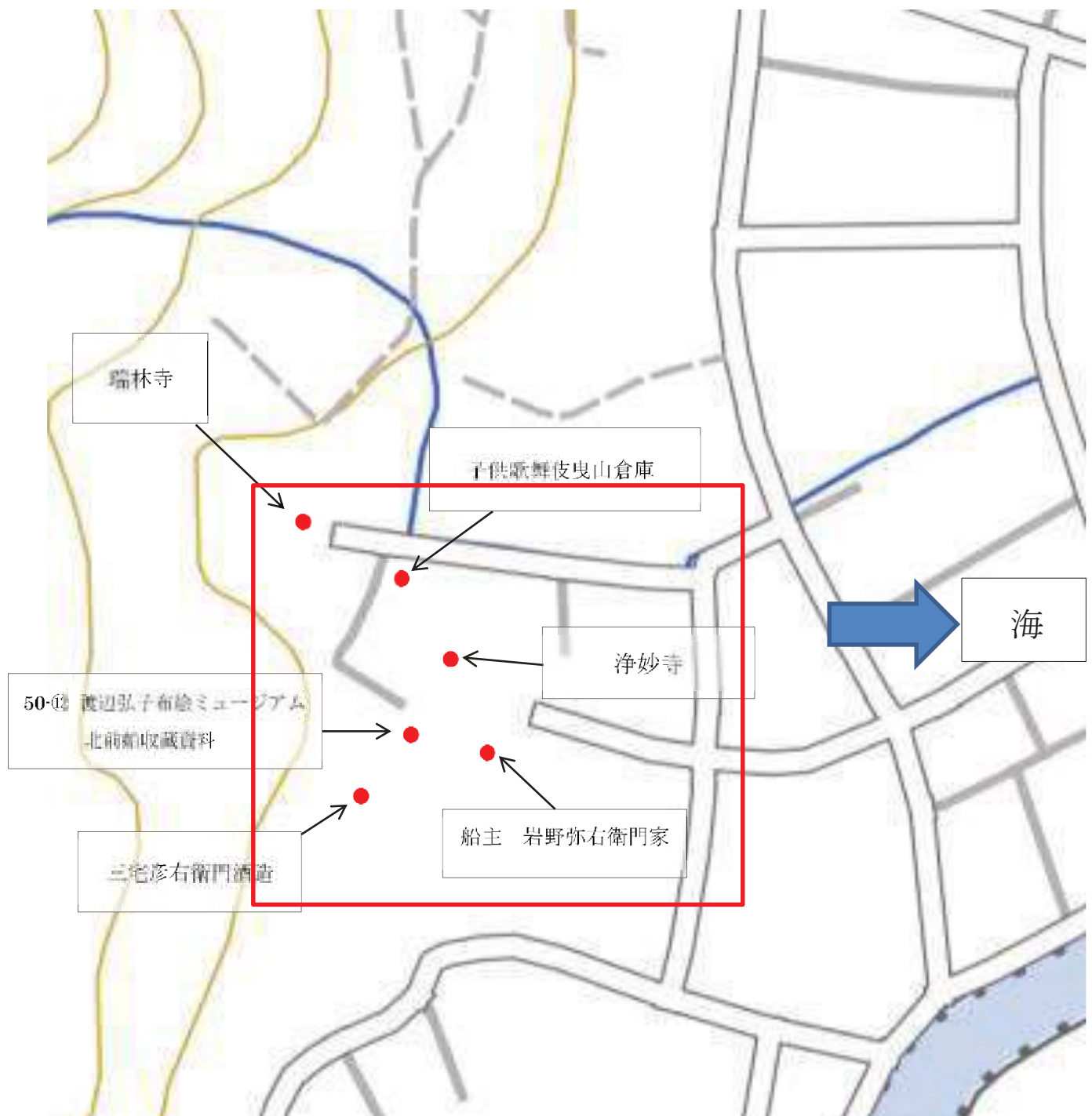
市町村の位置図（美浜町）・構成文化財の位置図



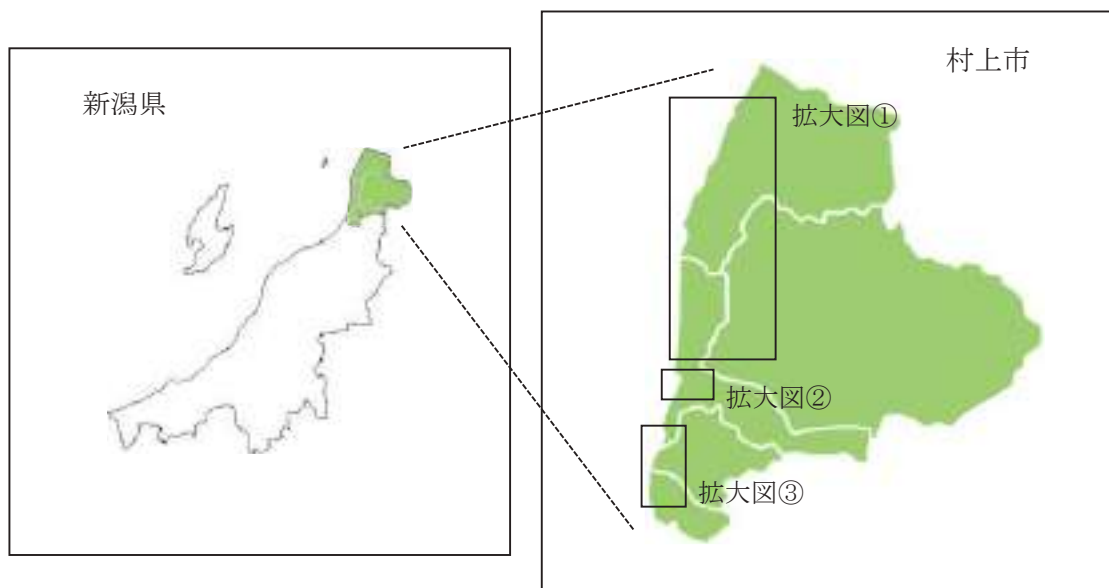
早瀬区拡大図



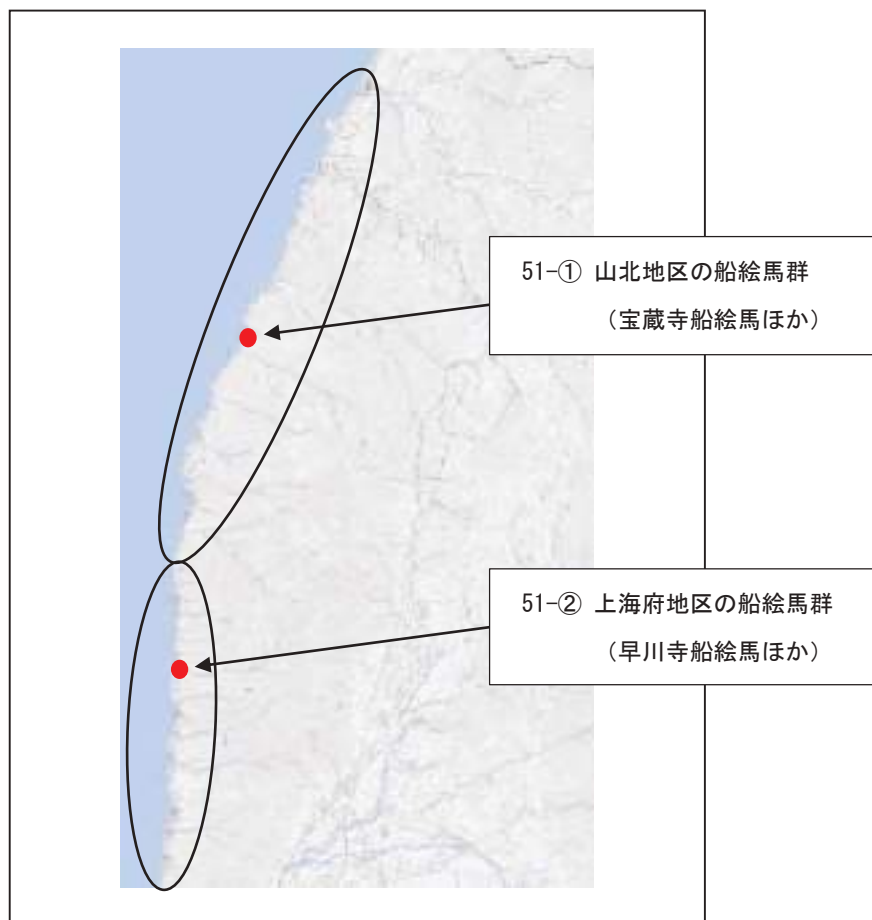
早瀬区町並みエリア拡大図



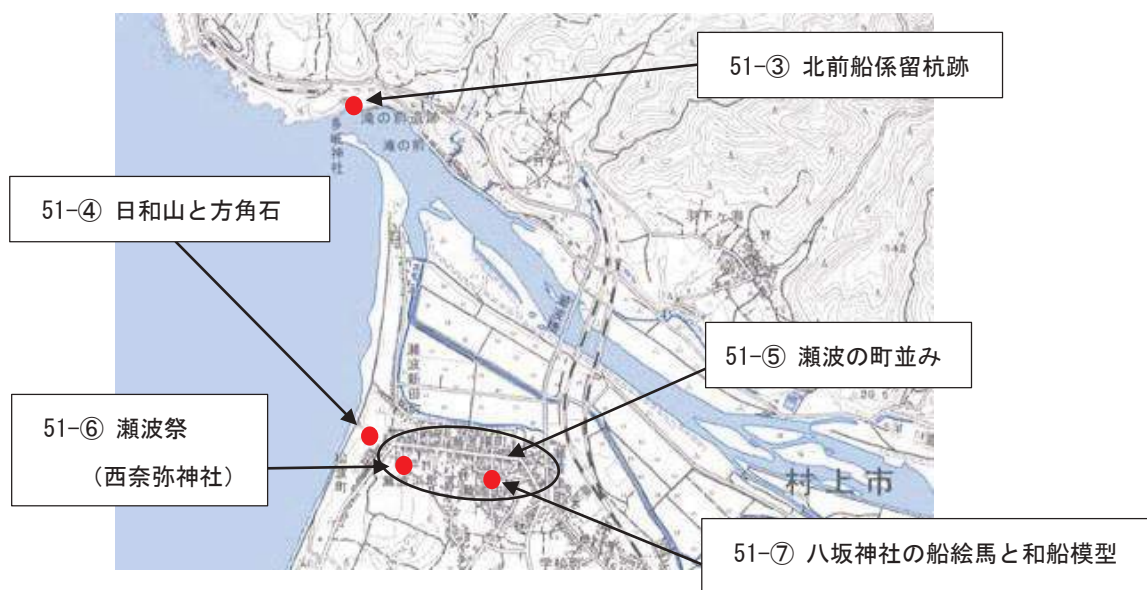
市町村の位置図（村上市）



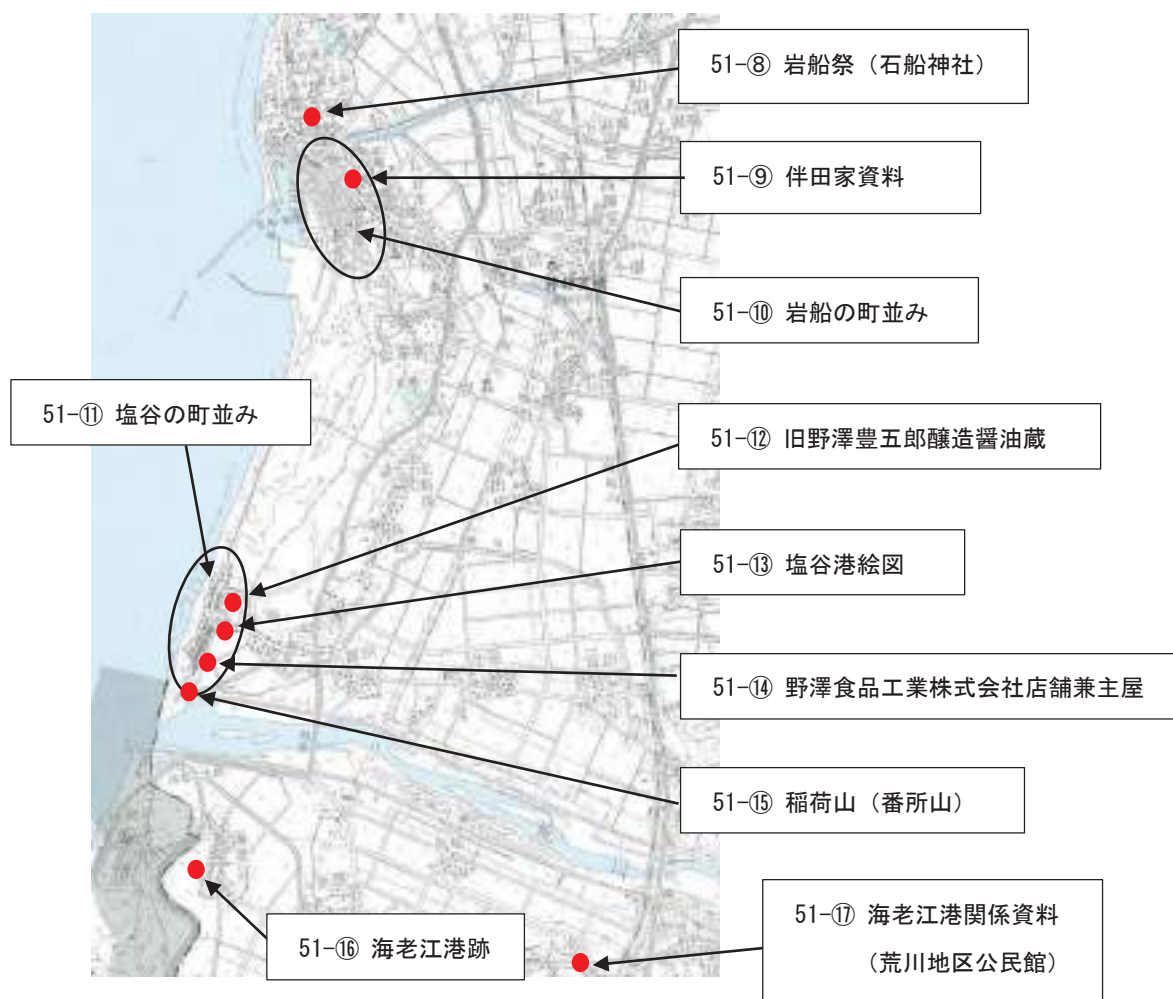
構成文化財の位置図（村上市） 拡大図①



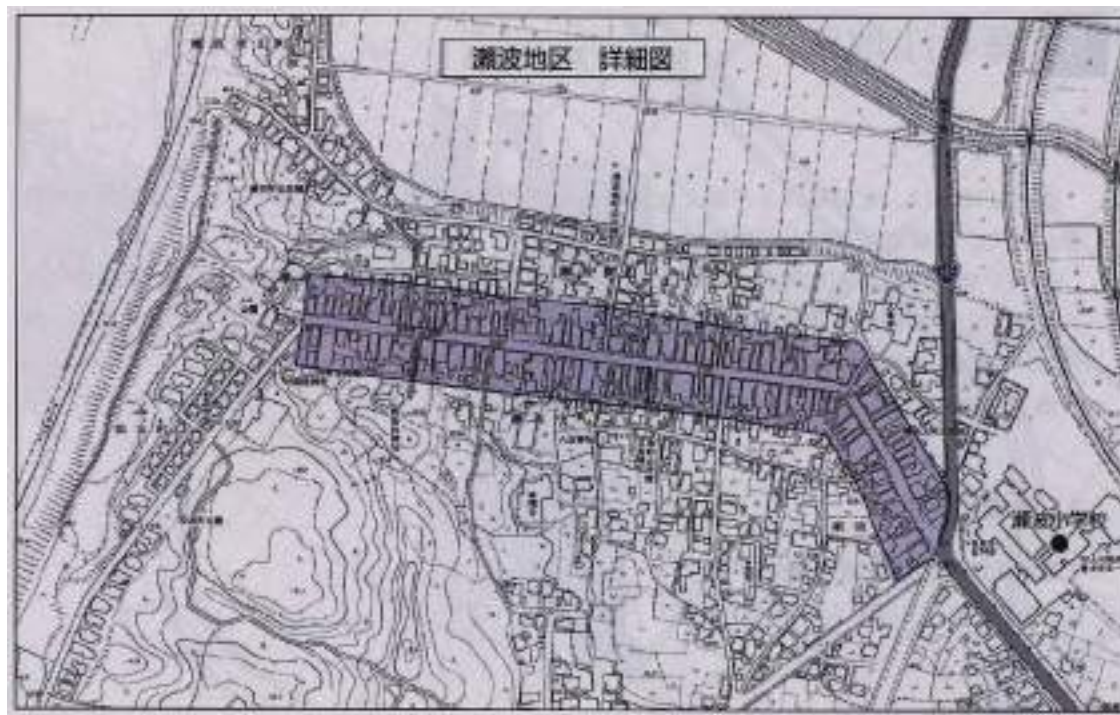
拡大図②



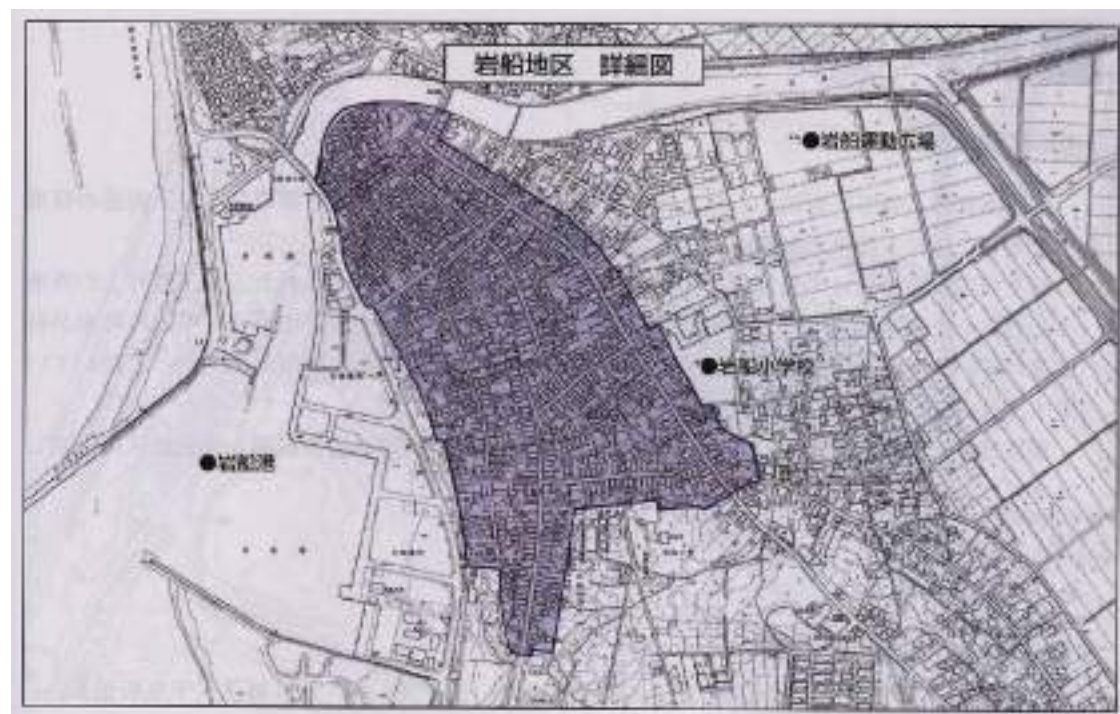
拡大図③



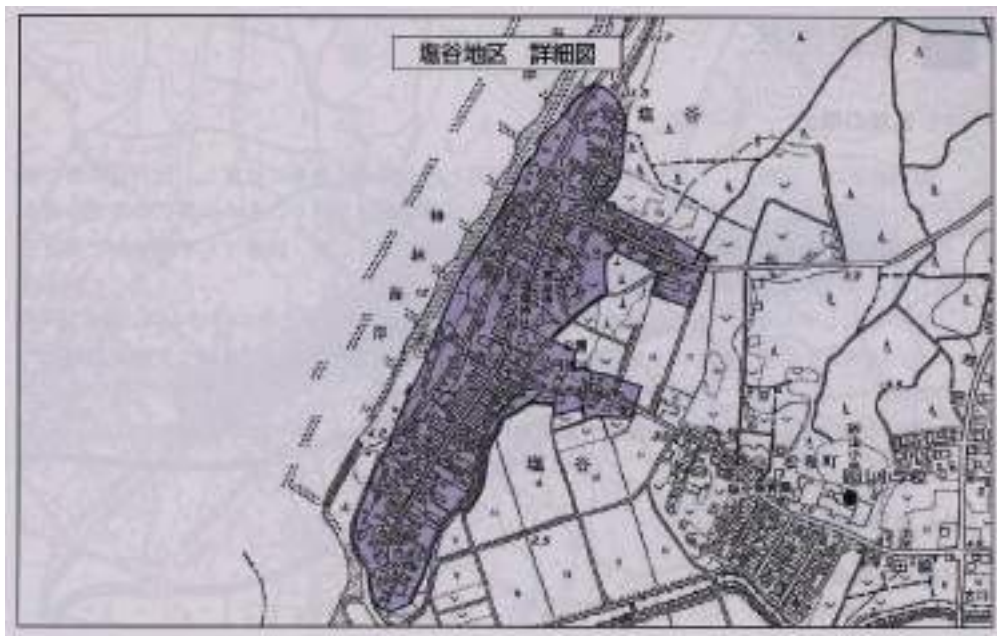
51-⑤ 瀬波の町並み（拡大図）



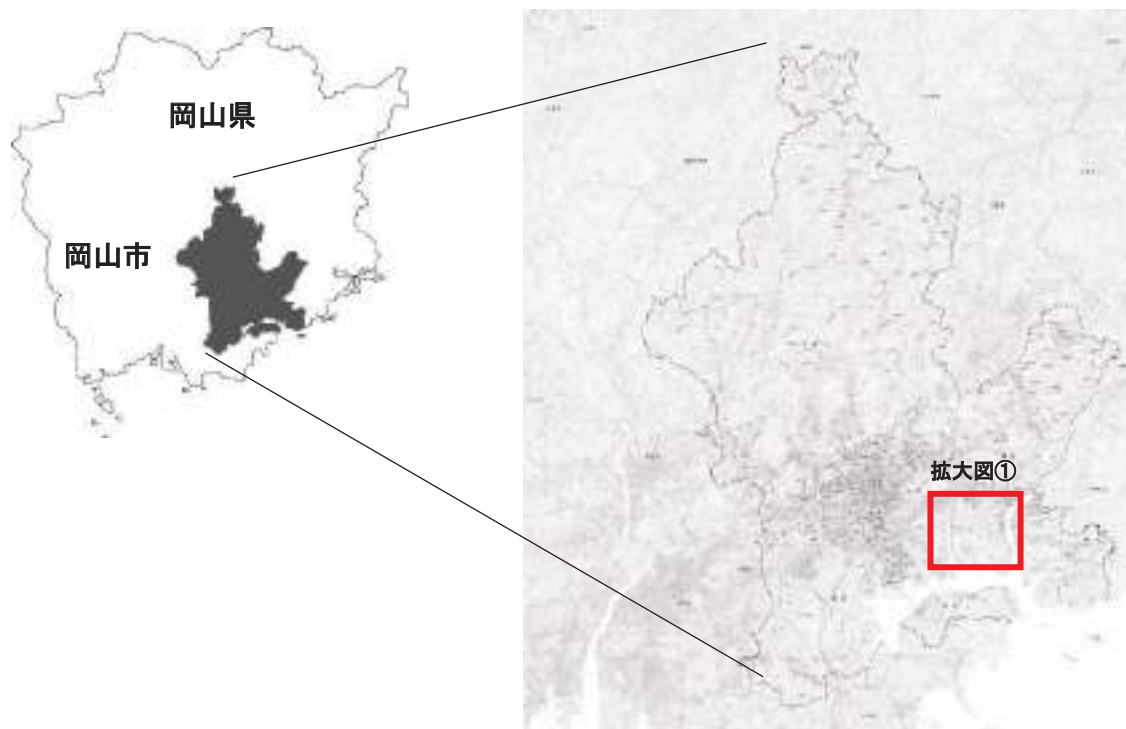
51-⑩ 岩船の町並み（拡大図）



51-⑪ 塩谷の町並み（拡大図）

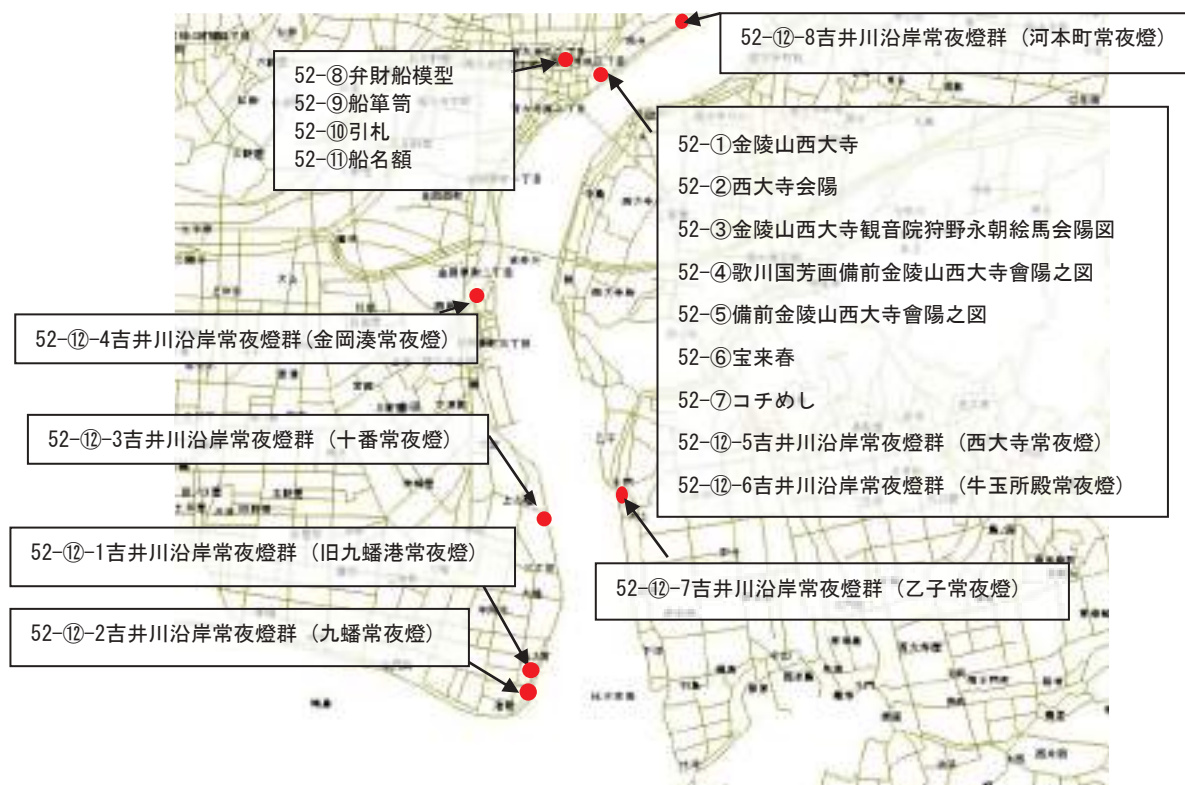


市町村の位置図（岡山市）



構成文化財の位置図（岡山市）

拡大図①



ストーリー

にしまわり

江戸時代、北海道・東北・北陸と西日本を結んだ西廻り航路は経済の大動脈であり、この航路を利用した商船は北前船と呼ばれました。北前船は、米をはじめとした物資の輸送から発展し、船主自身が寄港地で仕入れた多種多様な商品を、別の寄港地で販売する買い積み方式により利益をあげたことから「動く総合商社」と形容されています。日本海や瀬戸内海沿岸に残る数多くの寄港地・船主集落は、北前船の壮大な世界を今に伝えています。

山を仰ぐ港と山に抱かれる港

北前船が寄港する港にはどんな特徴があったのでしょうか。立地から見ると大きく二つに分けられます。

一つは、山を借景として大きな川の河口に位置する「山を仰ぐ」港です。日本海から仰ぐ名山は、古くから航海の目印となり、その近く

に港を築いています。これらの港は江戸時代には、上方への年貢米の積出港となり、領内の穀倉地帯を流れる大河の河口に米倉、番所などが整備されました。名山を仰ぎ大河に抱かれる港が、日本海を経由し

て北日本と上方を結ぶ西廻り航路の基盤となり、各地へとつながりました。そこでは、夕日に輝く雄大な自然と港が一体化する名画のような景色や、山から見下ろす美しい港のパノラマに出会うことができます。

もう一つは、山と海の間のわずかな平坦地に位置する「山に抱かれる」港です。一度の航海で巨万の富が得られる北前船が頻繁に行き交うようになると、風待ち港も含め多くの寄港地が整備されました。砂丘の多い日本海沿岸では、山と海に挟まれたわずかな平坦地を利用し、コンパクト

な港や集落を築いています。古い建物や荷揚げ場、船止めの杭など、北前船によりもたらされた、文化遺産が集約された

町並を歩いて回ることができます。

一攫千金・のこぎり商いが育んだ港町

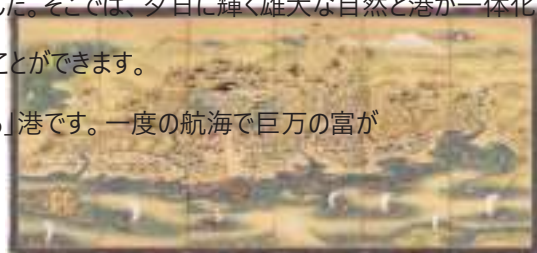
北前船での商いはなぜ、大きな利益が得られたのでしょうか。

それは、当時の国内の地域間価格差によるためです。例えば、北海道で大量に獲れる鮭は、西日本では綿を栽培するための肥料として高く売れました。一方、西日本と北日本で衣類の生産技術の差から、西日本の古着が北日本では高価な商品となりました。上方に鮭を売って空になった船に古着を積み込み、北日本で売る、押して引いて木を切るのこぎり

のように行きも帰りも商売をする北前船は「のこぎり商い」とも呼ばれました。



山を仰ぐ港（酒田市）



当時の町の賑わい（松前町）

港を中心とした特徴的な町割り（酒田市）

一航海千両、と言われた北前船が生み出す富は莫大であり、藩と連動して年貢の積み出しを行う大きな港

のみならず、人口の少ないコンパクトな港や集落にも経済的繁栄をもたらしました。

北前船により発展した港には、廻船問屋^{かいせんどんや}や商家、蔵など、大規模な建物が残されています。町は、小路に沿って家が軒を連ね、小路はそのほとんどが海に向かう特徴的な町割りを見せています。船乗りに安らぎと

解放を与えた花街や、日和を見た小高い山、航海の安全を祈った神社仏閣など、北前船がもたらした機能が整えられています。そこには、封建下にあって近隣の稲作を中心とした農村や、その基盤上にある城下には見られない、海上輸送という手段を手にした商人たちの築いた町があります。想像もできないほど高い塀や、敷地内に多くの土蔵を持つ豪壮な屋敷を見て、「こんな所になぜ、こんな大きなお屋敷が」と言った、驚きや発見に出会うことができます。



船主達が築いた町（加賀市）

「板子一枚下は地獄」に生きた男たちが運んだもの・残したもの

熟練の操船技術を持つ船乗りにとっても、嵐にあえば「板子一枚下は地獄」の恐怖にさらされます。商品が無事に運べば多額の利益を得られる北前船も沈んでしまえば一巻の終わり、全財産を失う船主もありました。危険と隣り合わせの航海は、安全を神仏の庇護に求め、寄港地の中心や小高い丘には神社や寺院があり、港と並行に寺院が建ち並ぶ町もあります。そこ



では、航海の無事を祈願した船絵馬や船模型、中にはちょんまげを奉納した「髷額」が奉納されています。また、境内には遠く離れた国名や問屋名

危険な航海の様子（加賀市）

が刻まれた玉垣、石灯籠、手水鉢などが寄進されています。船を安定させる底荷・バラストとして運ばれた石の中には、神社や参道の石段に利用され、雨に濡れると神秘的な輝きを見せる笏谷石があります。社寺には船主や問屋らが寄進した、良質な木材を使用し優美な彫刻を持つ社殿や堂宇も見られ、船乗りが神輿を寄進したことを起源とした祭り、京都から伝わったとされる祭りも行われています。

北前船の寄港地・船主集落にある格調の高い神社仏閣の多くは、北前船の船主、船乗りらの篤い信仰に支えられていたことが分かります。



北前船が帆を上げて現代に残した文化交流

北前船は生活必需品に加え、雛人形などの高級品、そして様々な文化を運んでいます。天候に左右される北前船の航海は、「風待ち」という文化により、出港までの間、料亭や茶屋などでの一時の出会いと別れと共に、そこで唄われる民謡など各地の芸能が船乗りたちによって伝わっていき

ました。代表的なのが、「おけさ」や「あいや節」などと呼ばれる哀調を 今でも賑わう港の祭り（秋田市）

帯びた節回しを持つ民謡です。この民謡は熊本で生まれた「ハイヤ節」が船乗りの間で歌い継がれ、北前船により日本海沿岸の港町に広まり、各地に根付いた芸能として親しまれています。

和食を代表する「昆布だし」食文化も生まれました。北海道から京都や大阪に運ばれた物に昆布があります。この地で昆布は「昆布だし」に磨かれ、日本のだし文化として現代の和食の基本になっています。他に

は凍結に強い赤瓦が運ばれたことにより、北国の防災力が向上し、綿の肥料となる 鮭や古着が行き交うことにより、衣服の質が格段に良くなりました。北前船は日本人の衣・食・住の生活環境向上に大きな役割を果たしたのです。

歴史の魅力を持つ町は数多くありますが、北前船の寄港地・船主集落は、立地や町のつくり、祭り・芸能や神社仏閣の雰囲気など、他の「歴史の息づく町」とはかなり違う趣を感じることができます。そこは、日本海の荒波を越え、人・物・文化を運んだ多くの男たちの夢が紡いだ歴史情緒に出会える異空間なのです。

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
1-①	函館山	未指定	北前船の船乗りたちが出港前に日和をみた場所。	北海道函館市
1-②	はこだてぶぎょうしょあと 箱館奉行所跡	特別史跡 ごりょうかく 五稜郭跡内	北前船で運ばれたとされる しゃくだにいし 笏谷石が礎石に使われていた奉行所。	北海道函館市
1-③	たかだや 高田屋屋敷跡	未指定	北前船で財をなした高田屋の屋敷跡。	北海道函館市
1-④	たかだや 高田屋本店跡	未指定	北前船で財をなした高田屋が商売の拠点を置いた店舗跡。	北海道函館市
1-⑤	いつくしまじんじや 巖島神社	未指定	加賀橋立の北前船主が寄進した鳥居がある神社。	北海道函館市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
2-①	ふくやまは と ば 福山波止場	未指定	北前船のバラストとして積まれた みかげいし 御影石の角柱や、船止め用の杭が残る防 波堤。	北海道松前町
2-②	おき くちやくしよあと 沖 口役所跡	未指定	港に出入りする北前船を取締った役所 の跡。	北海道松前町
2-③	まつまえびょうぶ 松前屏風	道有形 (絵画)	北前船で財をなした近江の豪商・岡田家 が描かせた屏風。18 世紀中ごろの松前 城下の地割り・建物・風俗が描かれてい る。	北海道松前町
2-④	松本家土蔵及び松本 家資料	町有形 (建造物 古文書)	北前船の船頭であった松本家の土蔵。 史資料には、航海日誌など北前船交易を 示す文書資料や、船名額などがある。	北海道松前町
2-⑤	ふくやまじょうかまち 福山城下町遺跡	未指定	かいせんどんや 北前船の廻船問屋や船主などが集住し た町跡。	北海道松前町
2-⑥	りゅううんいん 龍 雲院	国重文 (建造物)	北前船で運ばれたとされる越前瓦が葺 かれている本堂や龍神堂がある寺院。	北海道松前町
2-⑦	まつまえはんしゅまつまえけぼしよ 松前藩主松前家墓所	国史跡	しやくだにいし 北前船で運ばれたとされる 笏 谷石で造 られた石廟がある松前藩主・松前家の墓 所。	北海道松前町
2-⑧	まつまえおき あげおんど 松前沖揚げ音頭	町無形民俗	北前船の主要な移出産物であるニシン を捕る際、漁師達が唄った掛け声歌。	北海道松前町
2-⑨	なんせん ず え ま 難船図絵馬	町有形民俗	北前船の船頭が安全祈願のため奉納し た絵馬。	北海道松前町
2-⑩	まつまえぎおん 松前祇園ばやし	道無形民俗	北前船交易で来た近江商人達がもたら したとされる祭り。	北海道松前町

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
3-①	ひよりやま 日和山	未指定	北前船の船乗りたちが出港前に日和を見た場所。 いわきさん ようはいしょ 岩木山の遥拝所でもある。	青森県 鰺ヶ沢町
3-②	城の下の荷揚げ場跡	未指定	北前船に水を積んだ井戸跡がある奉行所下の荷揚げ場跡。	青森県 鰺ヶ沢町
3-③	おざきしゅぞうさかぐら 尾崎酒造酒蔵	未指定	北前船で搬送する海産物の集積に用いた蔵。現在は酒蔵に利用。	青森県 鰺ヶ沢町
3-④	まるにしおや 丸二塩屋資料	未指定	北前船主との交易で財をなした鰺ヶ沢を代表する ふなどんや まるにしおや ふなはた 船問屋・丸二塩屋の船旗や文書資料など。	青森県 鰺ヶ沢町
3-⑤	あじがさわまち え ず 鰺ヶ沢町絵図	未指定	北前船で繁栄した鰺ヶ沢の賑わいを描いた町絵図類。	青森県 鰺ヶ沢町
3-⑥	せいちょうあじがさわじん く 正調鰺ヶ沢甚句	町無形民俗	北前船によって秋田・北陸地方からもたらされたとされる盆踊り。 「鰺ヶ沢くどき」と共に伝承されている。	青森県 鰺ヶ沢町
3-⑦	あじがさわしらはちまんぐう たいさい 鰺ヶ沢白八幡宮 の 大祭 行事	県無形民俗 町無形民俗	北前船によって上方からもたらされた祭り。 みこしとぎょ にんぎょう や ま 神輿渡御、人形山車、各種芸能が上方文化の影響を受けている。	青森県 鰺ヶ沢町
3-⑧	しらはちまんぐう 白八幡宮絵馬群	町有形 (歴史資料)	大坂や北陸地方の北前船主らが奉納した船絵馬。 ふなえま	青森県 鰺ヶ沢町
3-⑨	しらはちまんぐうたまがき 白八幡宮玉垣	町有形 (歴史資料)	西日本や北陸地方、鰺ヶ沢の北前船主らが建立した御影石の玉垣。 みかげいし たまがき	青森県 鰺ヶ沢町
3-⑩	しらはちまんぐうごしんとう 白八幡宮御神灯	未指定	西日本や北陸地方、鰺ヶ沢の北前船主らが建立した御神灯。 ごしんとう	青森県 鰺ヶ沢町
3-⑪	じょうとうひ 常灯碑	町有形 (歴史資料)	北前船の航海の目印であった常灯明 じょうとうみょう (灯台) の記念碑。	青森県 鰺ヶ沢町

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
3-⑫	がんぎょうじ 願行寺	未指定	福井県沖で沈没した北前船から流れつ いた漂流材を用いて建立した本堂、北前 船に積まれてきた御影石 みかげいし を用いた石畳 の参道がある寺院。	青森県 鰺ヶ沢町
3-⑬	らいしょうじ 来生寺	未指定	北前船に積まれてきた御影石 みかげいし を用いた 石畳の参道がある寺院。	青森県 鰺ヶ沢町
3-⑭	くじらもち 鯨餅	未指定 (無形)	京菓子を起源とし、北前船によって伝 えられた食文化。かつては町内に多く の鯨餅店があった。現在も営業を続け る「村上屋」は船問屋・村上又兵衛を 初代とする。創業以来、近年まで餅の 包装紙を山形県酒田市、竹皮の紐を福 井県越前市から取り寄せていた。	青森県 鰺ヶ沢町

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
4-①	ひよりみやま 日和見山跡	町史跡	北前船の船乗りたちが出港前に日和をみた場所。	青森県深浦町
4-②	えんかくじ 円覚寺奉納海上信仰資料	国有形民俗	北前船の船乗り達が航海安全を祈願して奉納した船絵馬や髻額。 ふね え ま まげがく	青森県深浦町
4-③	えんかくじほうきょういんとう 円覚寺宝篋印塔	県重宝 (建造物)	北前船により運ばれたとされる 笏谷石 しゃくだにいし で造られた供養塔。	青森県深浦町
4-④	いわさきたけみかづち ふな え ま 岩崎武甕槌神社船絵馬	町有形民俗	奉納された北前船の船絵馬。 ふな え ま	青森県深浦町
4-⑤	かすが さめりょうえがく 春日神社「鮫漁絵額」	町有形 (絵画)	北前船の船乗りが描かれている縦 9 7 cm、横 1 5 4 cmの大型絵馬。	青森県深浦町
4-⑥	いっぽんくい 港の一本杭	町史跡	北前船が安全に入港・出港する際に利用した杭。	青森県深浦町
4-⑦	いわさきたけみかづち 岩崎武甕槌神社石鳥居	町史跡	北前船により運ばれたとされる石材で造られた鳥居。	青森県深浦町
4-⑧	ゆきあいざき 行合崎	町名勝	北前船交易のために深浦湊へ出入りした船舶が交差した事で命名された岬。	青森県深浦町
4-⑨	とりいざき 鳥居崎	町名勝	岩礁の一部が鳥居の形をしていることから北前船の船乗りたちが名づけたといわれている岬。	青森県深浦町

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
5-①	たかしみず 高清水公園の五輪塔	未指定	北前船をはじめ港に入る船の目印であった。文化年間の地震で崩れ、現在は復元されている。小高い丘にあり、港と男鹿三山の良き展望地である。	秋田県秋田市
5-②	秋田街道絵巻	県有形 (歴史資料)	北前船と北前船でにぎわう港の様子を描いた絵巻。	秋田県秋田市
5-③	秋田風俗絵巻	県有形 (絵画)	北前船と北前船でにぎわう港の様子を描いた絵巻。	秋田県秋田市
5-④	ことひらじんじゃこまいぬ 金刀比羅神社狛犬	県有形 (美術工芸)	北前船の廻船問屋の氏神を勧請した神社であり、廻船問屋、船乗りの信仰を集めた。 しやくだにいし 笏谷石の参道がある。	秋田県秋田市
5-⑤	ほうとうじ 寶塔寺石造り五重塔	市有形 (建造物)	難破を免れた西日本の北前船が難を逃れたお礼に大阪から船で運び奉納したと伝えられる石製の五重塔。	秋田県秋田市
5-⑥	つちざきしんめいしやさい ひきやま 土崎神明社祭の曳山行事	国無形民俗	宝永元年(1704)、北前船の船乗りが土崎神明社に神輿を寄進したことがはじまりとされる。戻り曳山で奏でられるあいや節は、北前船により伝えられたハイヤ節が起源とされる。	秋田県秋田市
5-⑦	だいしょうじ 大正寺おけさ	未指定	北前船の寄港地、秋田・土崎港に注ぐ雄物川を 20 キロ以上遡った大正寺に伝承される、ハイヤ節が起源とされ北前船によりもたらされた芸能。	秋田県秋田市
5-⑧	昆布の手すき加工技術	未指定	北前船で運ばれた昆布の加工技術。	秋田県秋田市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
6-①	ひよりやま 日和山公園	市名勝	北前船の船乗りたちが出港前に日和をみた場所。港が一望できる小高い山で、常夜燈や方角石が現存する。	山形県酒田市
6-②	きゅうあぶみや 旧 鑑屋	国史跡	北前船で財をなした廻船問屋「鑑屋」の店舗、家屋。	山形県酒田市
6-③	ほんまけ 本間家本邸	県有形 (建造物)	北前船で財をなした、豪商・本間家の邸宅。	山形県酒田市
6-④	さんのう 山王くらぶ	国登録有形 (建造物)	北前船の船主や、商人たちが利用した料亭。	山形県酒田市
6-⑤	そうまや 相馬屋主屋	国登録有形 (建造物)	北前船の船主や、商人たちが利用した料亭。	山形県酒田市
6-⑥	ほんましべっていいえん 本間氏別邸庭園 かくぶえん (鶴舞園)	国名勝	北前船で運ばれた各地の銘石で造られた池泉回遊式庭園。冬期間の港湾労働者の失業対策として築造された。	山形県酒田市
6-⑦	さいどうまくえ おすわり 塞道絵幕 (大壽和里 大祭事) さかいこうごあんどうしゆくえん 一酒井侯御安堵祝宴一	市有形民俗	北前船で繁栄した酒田港の様子が描かれた幕絵。	山形県酒田市
6-⑧	さかたさんのうさいさいいよう 酒田山王祭祭礼用 かめかさほこ 亀笠鉾	市有形民俗	北前船で財をなした、豪商・本間家が京都の人形師に作らせ、北前船で運んだ笠鉾。	山形県酒田市
6-⑨	さかたそでのうら こやのはま 酒田袖之浦 ・ 小屋の浜 のず 之図	市有形 (歴史資料)	北前船で繁栄した酒田港の様子が描かれた絵図。	山形県酒田市
6-⑩	ひな 雛めぐり	未指定	北前船で運ばれたとされる、贅を尽くした雛人形を見て回る風習。	山形県酒田市
6-⑪	さんきょそうこ 山居倉庫	国史跡	北前船で上方へ運ぶため、各地から集められた米の集積保管庫。現在も使われている。	山形県酒田市

ストーリーの構成文化財一覧表

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
7-①	ひよりやま 日和山	未指定	北前船の水先案内（水戸教）のために日和を見た場所。現在も住吉神社や方角石が残されている。	新潟県新潟市
7-②	さいとう 旧齋藤家別邸（旧齋藤氏別邸庭園）	国名勝	北前船で財をなした齋藤家が大正期に建てた別荘。特に庭園は、海浜部の砂丘を巧みに利用し、平地にありながら深山幽谷の趣を醸し出している。	新潟県新潟市
7-③	えんきかん 燕喜館（旧齋藤家住宅）主屋	国登録有形 (建造物)	北前船で財をなした齋藤家が明治期に建てた邸宅。杉の四方柱、紫檀・黒檀が多く使われるなど、贅を凝らした造りとなっている。	新潟県新潟市
7-④	きゅうおざわけ 旧小澤家住宅	市有形 (建造物)	北前船に関わる廻船業にも携わった商家・小澤家の店舗兼住宅。かつての新潟町における町家の典型例である。	新潟県新潟市
7-⑤	にほん ぶよう いちやまりゅう 日本 舞踊 市山流 ふるまちげいぎ (古町芸妓)	市無形 (芸能)	北前船の隆盛で全国屈指の花街となった新潟・古町を支える芸妓の芸の基礎。	新潟県新潟市
7-⑥	みなといなり 湊稻荷神社 がんかけこまいぬ 願懸け高麗犬	市有形民俗	かつての船つなぎ場近くにある湊稻荷神社の狛犬。なじみの北前船船頭たちが長く湊にとどまるよう、遊女たちが高麗犬をまわして願をかけたと伝えられる。	新潟県新潟市
7-⑦	みなとまつり 新潟まつり（湊祭・住吉祭）	未指定	北前船などの航海の安全を祈り、海の神である住吉神を祀るため始まったとされる祭。	新潟県新潟市

ストーリーの構成文化財一覧表

7-⑧	にいがたぶぎょうかわむらながたか 新潟奉行川村修就 関 係 資料	県有形 (歴史資料)	北前船寄港地として繁栄した湊町新潟 かわむらながたか の様子を初代奉行川村修就が記録させ た資料。幕末の習俗や湊祭の様子など について詳細な記録を残している。	新潟県新潟市
-----	---	---------------	--	--------

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
7-⑨	おおふなえま 大船絵馬	県有形民俗	千石船四十隻を有するなど、北前船で隆 盛を誇った市島次郎吉家が、新潟湊にお ける御城米（幕領の年貢米）積み出しの 様子を極彩色で描かせて、新潟町の鎮 守、白山神社に奉納した絵馬。	新潟県新潟市
7-⑩	ことひらじんじやなんせんちょうこく 金刀比羅神社難船彫刻 えま 絵馬	市有形民俗	持ち船が遭難から救われたことに感謝し て、北前船の廻船問屋・鈴木弥五左衛門 が奉納した絵馬。絵馬では珍しい彫刻の 手法が用いられている。	新潟県新潟市
7-⑪	ことひらじんじやほうのう 金刀比羅神社奉納 もけいわせん 模型和船	国有形民俗	北前船船主や船頭が海上安全を願って奉 納した船の模型。新潟町のほか、県内外 各地からの奉納品が見られ、北前船で栄 えた新潟湊の様相を示している。	新潟県新潟市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
8-①	てらどまり 寺泊港の集落	未指定	北前船がもたらす富により人口集中が進んだ海岸沿の集落。 家並みがぎっしりと建ち並び小路が入り込む独特の町並み。	新潟県長岡市
8-②	てらどまり 寺泊おけさ	未指定	北前船により伝えられた熊本のハイヤ節が起源とされる芸能。	新潟県長岡市
8-③	しょうとくじていえん 聖徳寺庭園	市名勝	北前船で運ばれた大和の石と京都の庭師で築いた庭園。	新潟県長岡市
8-④	しらやまひめじんじゃふなえま 白山媛神社船絵馬	国有形民俗	北前船船主たちが奉納した 52 枚の ふなえま 船絵馬。	新潟県長岡市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
9-①	加賀市加賀橋立伝統的 建造物群保存地区	国重伝建	北前船の船主集落。船主邸 14 棟、船頭 邸 7 棟が現存する。船板を利用した壁 板、北前船で運ばれた笏谷石赤瓦が特 徴。	石川県加賀市
9-②	旧酒谷長兵衛家住宅	市有形 (建造物)	橋立地区内に現存する最大の北前船主 邸。北前船の隆盛を示す豪壮な建物。	石川県加賀市
9-③	北前船主敷蔵六園 (旧酒谷長一郎家住宅)	国登録有形 (建造物)	北前船主邸。庭園には北前船で運ばれた 各地の名石が残る。	石川県加賀市
9-④	忠谷家住宅	国重文 (建造物)	北前船主忠谷家の邸宅。天保年間の建 築。	石川県加賀市
9-⑤	三国仏壇 (冬仏壇夏仏 壇) 附 仏具類一式	市有形 (工芸品)	橋立の北前船主邸に置かれた大小 2 つ の仏壇。家主 (船主) のいない夏と戻っ てきた冬で大小の仏壇を使いわけた。	石川県加賀市
9-⑥	瀬越町白山神社所蔵 船絵馬	市有形 (歴史資料)	北前船の船乗りたちが奉納した絵馬。北 前船の船乗り達の信仰心が現れたも の。	石川県加賀市
9-⑦	出水神社	未指定	橋立の北前船主たちにより奉納された 鳥居や玉垣が残る神社。	石川県加賀市
9-⑧	福井別院 橋立支院	未指定	橋立の北前船主達による寄附により建 立した神社。	石川県加賀市
9-⑨	山中節	市無形民俗	北前船の船乗り達が山中温泉で歌った 民謡。松前追分が起源とされる。	石川県加賀市
9-⑩	北前船主関連 古文書群	歴史資料 未指定	北前船の商売に関わる仕切書などの取 引記録、造船作事、書簡などの文書 群。20 件の家の文書群。	石川県加賀市
9-⑪	北前船の里資料館所蔵の 北前船関係資料	歴史資料 未指定	北前船主酒谷長兵衛家を活用した北前 船の里資料館で所蔵する船模型や船箆 箆、方位磁石や船鑑札など、北前船に 関する資料。	石川県加賀市

ストーリーの構成文化財一覧表

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
10-①	にしん ぐら 旧 鯉 蔵	市有形 (建造物)	江戸時代、蝦夷地から北前船で搬送され た 鯉 を収納した大型土蔵。	福井県敦賀市
10-②	すぎき たかとうろう 洲崎の高燈籠	県史跡	敦賀湊の出入りする北前船の目印として 享和 2 年 (1802) に建てられた日本海 側最古の石積み灯台。	福井県敦賀市
10-③	おおわだ 旧大和田銀行本店社屋	国登録 (建造物)	北 前 船 で 財 を な し た 廻船問屋 ・ おおわだそうしち 大和田荘七が明治 2 5 年 (1892) に創業 した大和田銀行の本店社屋。	福井県敦賀市
10-④	ひきたふながわ 疋田舟川	未指定 (史跡)	北前船で搬送された荷物を、琵琶湖水運 を活用して輸送するために、文化 1 2 年 (1815) に整備された運河の遺構。	福井県敦賀市
10-⑤	敦賀のおぼろ昆布製造技 術	国登録 (無形民俗文化 財)	北前船で運ばれた昆布を職人が手作業 で帯状に薄く削る「おぼろ昆布」の製 造技術。	福井県敦賀市
10-⑥	ふなえま 船絵馬群 (八幡神社 北前 船図絵馬ほか)	市有形 (歴史資料) 【北前船図絵	北前船主や船頭が航海の安全を祈って 市内各所の神社に奉納した絵馬。	福井県敦賀市
10-⑦	常宮神社奉納物	未指定 (歴史資料)	越前河野浦の右近権左衛門をはじめと する多くの北前船主が航海の安全を祈 って奉納した石灯籠や手水鉢。	福井県敦賀市
10-⑧	氣比神宮大鳥居扁額 へんがく	未指定 (歴史資料)	北前船主として財をなした加賀瀬越の 大家七平が奉納した北陸総鎮守氣比神 宮大鳥居の扁額。	福井県敦賀市
10-⑨	せんちゅうおきてこころえしよ 船 中 掟 心得 書	市有形 (歴史資料)	敦賀の北前船主、立石吉兵衛が書き記 した。船頭や水主の順守すべき掟、船 の守り神である船玉明神を崇敬するこ となどが記されている。	福井県敦賀市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
10-⑩	氣比神宮祭礼の山車 ^{やま}	市有形 (歴史資料) 【山車 6 基中 3 基】	北前船主をはじめとする敦賀の有力町衆達が、氣比神宮の祭礼の際に曳き出した山車。江戸時代には数十基もの山車が曳き出されたという記録もあり、敦賀湊の繁栄ぶりを伝えている。	福井県敦賀市
10-⑪	西福寺 御影堂	国重文 (建造物)	文化5年(1808)上棟。建設に際して、檀徒であった敦賀の北前船主・山本(網屋)伝兵衛が多額の出資をし、材木を手船で大坂から廻送するなど「大施主」として貢献した。	福井県敦賀市
10-⑫	今村公寵筆 「松に蔦紅葉図屏風」	未指定 (美術工芸品)	越前一の宮氣比神宮に嘉永4年(1851)に奉納された大屏風。裏面に出資をした敦賀湊の町衆や全国各地の北前船主、商人達の名が列記されている。	福井県敦賀市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
11-①	うこんけ 右近家住宅	未指定	日本海五大船主の一つである北前船主・右近権左衛門家の邸宅。	福井県 南越前町
11-②	うこんけ 旧右近家住宅 西洋館	国登録有形 (建造物)	日本海五大船主の一つである北前船主・右近権左衛門家の別荘。右近家本宅の背後の高台に建てられている。	福井県 南越前町
11-③	中村家住宅	国重文 (建造物)	北陸有数の北前船主・中村三之丞家の邸宅。江戸時代に廻国巡見使の御宿も勤めた。	福井県 南越前町
11-④	ふなえまじんえい 船絵馬仁恵丸	町有形 (絵画)	河野の八幡神社に奉納された、北前船船主・右近家の持ち船「仁恵丸」を描いた船絵馬。背景には住吉神社と高燈籠が描かれており、全国でも珍しいものである。	福井県 南越前町

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
12-①	ひよりやま 日和山	未指定	北前船の船乗りたちが出港前に日和をみた場所。北海道で 2 番目に灯台が建設され、北前船航海の目印ともなった。	北海道小樽市
12-②	きゅうきたはまちくそうこぐん 旧北浜地区倉庫群 (旧右近倉庫、 きゅうひろうみそうこ 旧 広海倉庫、 きゅうますだそうこ 旧増田倉庫、 きゅうおおいえそうこ 旧大家倉庫、旧小樽倉庫)	未指定	北前船の船主が北前船で運んだ物品の保管のために建造した大規模な倉庫群。	北海道小樽市
12-③	きゅうかいようてい 旧 魁陽亭	未指定	北前船の船主や商人たちが利用した料亭。	北海道小樽市
12-④	すみよしじんじゃ 住吉神社奉納物	未指定	北前船の船主である大家七平及び広海二三郎が寄進した第一鳥居や船乗りらが寄進した手水鉢など。	北海道小樽市
12-⑤	ふなえま 船絵馬群 えびすじんじゃ (恵美須神社、徳源 りゅうじんだう 寺龍神堂、 しおやじんじゃ 塩谷神社)	未指定	北前船の船主らが航海の安全を祈願し、 ふなえま 奉納した船絵馬。	北海道小樽市
12-⑥	こしゃしん 北前船関係古写真	未指定	明治 30 年代以前の北前船及びゆかりの市街地などの写真群。	北海道小樽市
12-⑦	にしかわけもんじょ 西川家文書	市指定 (美術工芸品、 歴史資料)	北前船の廻船業を営んだ西川家の文書。 かいせん	北海道小樽市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
13-①	ながの 旧長野商店	市有形 (建造物)	北前船で財をなした商家長野商店の店舗、石蔵。	北海道石狩市
13-②	かつぼうきんだい 割烹金大亭	未指定 (建造物)	北前船の船主や商人たちが利用した料亭。	北海道石狩市
13-③	こたん 古潭神社御神輿	未指定 (民俗)	ひさよしまる 北前船 (久吉丸) の船主が奉納した御神輿。	北海道石狩市
13-④	あつた ふなえま 厚田神社船絵馬	未指定 (民俗)	北前船の船主らが奉納した船絵馬。 ふなえま	北海道石狩市
13-⑤	はちまん 石狩八幡神社鳥居	未指定 (建造物)	北前船で運ばれた御影石の鳥居。	北海道石狩市
13-⑥	べんてんしゃこまいぬ 石狩弁天社狛犬	市有形 (民俗)	北前船の航海安全を祈願して奉納された笏	北海道石狩市
13-⑦	しらとり 旧白鳥番屋 (石狩市はまます郷土資料館)	市有形 (建造物)	北前船が運んだニシン [※] 粕を生み出した漁場建築。	北海道石狩市
13-⑧	はまますおきあ 浜益沖揚げ音頭	未指定 (無形)	北前船が運んだニシンを獲る漁民の労働歌。	北海道石狩市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
14-①	じょうやとう 浜町の常夜燈	町指定史跡	北前船で財を成した豪商野村家によって建立された燈籠。	青森県 野辺地町
14-②	まつしや こと ひ ら ぐ う ほんでん 末社金刀比羅宮本殿	県重宝	北前船の海上安全を祈願するために町内の廻船問屋たちによって勧請寄進された社。	青森県 野辺地町
14-③	旧野村家住宅離れ あんざいしょ (行在所) 蔵付き	国登録有形 (建造物)	北前船で財を成した豪商野村治三郎の別邸。	青森県 野辺地町
14-④	北前船関係資料群	一部町指定 有形	古文書や和磁石など北前船関係資料群。	青森県 野辺地町
14-⑤	北前船船乗りの墓及び ぎ ぼ し 擬宝珠	未指定	野辺地湊までの航海中や在町中に亡くなった北前船船乗りの墓並びに各地の北前船主たちが寄進した擬宝珠。	青森県 野辺地町
14-⑥	北前船が運んだ石造物	未指定	北前船でバラストとして積まれてきた瀬戸内海で採れた石を使用した石造物。	青森県 野辺地町
14-⑦	ぎおん のへじ祇園まつり	未指定	北前船によって京都からもたらされた祭り。	青森県 野辺地町
14-⑧	かわらけつめい 河原決明の茶がゆ	未指定	北前船で上方から伝えられたとされる、河原決明を焙じて作ったお茶で炊いた茶がゆ。	青森県 野辺地町

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
15-①	きさかた 象潟郷土資料館北前船 関係資料	県指定有形（紙 本着色象潟図屏 風）	北前船と塩越湊などが描かれた「紙本 着色象潟図屏風」、北前船が使用し た「四爪碇」など。	秋田県 にかほ市
15-②	ゆりなんぶかいがんず 由利南部海岸図	県指定有形	本荘由利地域南部の海岸図で、北前船寄 港地の金浦湊、三森湊、平沢湊が描か れている。	秋田県 にかほ市
15-③	おき ぼうぐい 沖の棒杭	未指定	北前船が安全に入港・出港する際に利用 した石の杭。	秋田県 にかほ市
15-④	しおこしみなと 塩越湊周辺の ふなえまぐん 船絵馬群	未指定	北前船の船主や船乗りたちによって奉 納された約 130 点の船絵馬。「永久 丸」の船絵馬は秋田県最古。	秋田県 にかほ市
15-⑤	ことひらじんじゃ 金刀比羅神社のまげ絵 馬	未指定	北前船の船乗りたちが航海安全を祈願 して奉納したまげ絵馬。	秋田県 にかほ市
15-⑥	ひえじんじゃ さんのうとりい 日枝神社の山王鳥居と さんのうさるぞう 山王猿像	未指定	北前船の廻船問屋・中津屋が寄進した鳥 居と船頭井口が奉献した対の猿像。	秋田県 にかほ市
15-⑦	ひらいずみほんぽ 飛良泉本舗	未指定	北前船の廻船問屋と酒造業で財を成し た酒の蔵元。貴重な北前船関係資料が 遺っている。	秋田県 にかほ市
15-⑧	こうしょうじべんでんまる 高昌寺弁天丸	市指定有形民俗	明治初期の典型的な北前船の模型。秋田 藩の御用船を高昌寺住職が救助したた めに贈られた由来がある。	秋田県 にかほ市
15-⑨	ほうがくいし にかほ市内の方角石	県指定史跡 (4基中2基) 市指定史跡 (4基中1基)	ひよりやま 日和山にある方位が刻まれた石で、北 前船の船乗りたちが出港前に日和を判 断した。	秋田県 にかほ市
15-⑨-1	おき しまほうがくいし 沖の島方角石	県指定史跡	金浦湊（旧金浦町）の近くにある ひよりやま 日和山（沖の島）にある方角石。	秋田県 にかほ市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
15-⑨-2	ちょうはもりほうぐいし 丁刃森方角石	県指定史跡	平沢湊（旧仁賀保町）の近くにある ひよりやま 日和山（丁刃森）にある方角石。 ほうぐいし	秋田県 にかほ市
15-⑨-3	え び す も り ほうぐいし 恵比寿森方角石	市指定史跡	ひよりやま 三森湊（旧仁賀保町）の近くの日和山 （恵比寿森）にあった方角石。現在は ほうぐいし 仁賀保勤労青少年ホームに保管。	秋田県 にかほ市
15-⑨-4	さんのうもりほうぐいし 三王森方角石	未指定	三森湊（旧仁賀保町）の近くにある ひよりやま 日和山（三王森）にある方角石。 ほうぐいし	秋田県 にかほ市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
16-①	たぬまけどぞう 田沼家土蔵	国登録有形 (建造物)	北前船で財をなした商人田沼家の屋敷に残る江戸時代の土蔵。	秋田県男鹿市
16-②	ふなかんざつ 船鑑札	未指定	北前船で財をなした商人田沼家に残る鑑札。	秋田県男鹿市
16-③	しんざん ごしやでん 真山神社五社殿落書き (墨書)	県有形 (建造物)	北前船の船乗り達が航海安全を祈願して社殿に残した落書き。	秋田県男鹿市
16-④	かいなんいれいひ 海難慰霊碑	未指定	北前船の海難者を慰霊した碑。 (平沢・船川・脇本)	秋田県男鹿市
16-⑤	すごろく ふなえま 双六の船絵馬	市有形 (歴史資料)	北前船の船主や船乗りが航海安全を祈願し、奉納した船絵馬。 (他 中間口・椿・角間崎)	秋田県男鹿市
16-⑥	ふなかわぶし あきたふなかつぶし 船川節 (秋田船方節)	未指定	北前船の船乗りへのお座敷唄が元となった民謡。	秋田県男鹿市
16-⑦	すずき しげたか じひつぽん 鈴木 重孝 自筆本 きぬぶるい 「絹 篩」	県有形 (古文書)	北前船が寄港した海岸と江戸時代後期の村々を記した書物と図絵。 (船越 鈴木家所蔵)	秋田県男鹿市
16-⑧	碇	未指定	北前船で使用された碇。 (寒風山展望台 展示)	秋田県男鹿市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
17-①	はちまんじんじゃごしんとう 八幡神社御神燈	未指定	北前船主との交易で財をなした大坂 の廻船問屋 ^{かいせん} らが建立した御神燈。	秋田県能代市
17-②	ひよりやま ひよりやまほうがくいし 日和山 (日和山方角石)	市指定民俗	北前船の船乗りたちが出港前に日和 をみた場所。日本で二番目に古い 方角石 ^{ほうがくいし} も現存している。	秋田県能代市
17-③	こうきゅうじ ひきうす 光久寺 (挽き臼の墓)	未指定	天保の大飢饉時に能代で米を振る舞 い、その後そば屋を開業した瀬戸内 海塩飽島の北前船船員、紙谷仁蔵 ^{かみやにぞう} の 慰霊碑。	秋田県能代市
17-④	ふなえま 恵比須神社船絵馬	未指定	北前船の船主らが奉納した船絵馬 ^{ふなえま} 。	秋田県能代市
17-⑤	のしろふなうた 能代舟唄	未指定	北前船により伝えられた島根方面の 「出雲節」が起源とされる船唄。	秋田県能代市
17-⑥	能代凧 (べらぼう凧)	市指定民俗	北前船の船乗りたちが腹に顔を描い た踊りが起源。北前船の灯台代わり にも使ったといわれる。	秋田県能代市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
18-①	ふるゆき 古雪の町並み	未指定	北前船により繁栄した古雪湊（本荘藩）周辺の町並み。	秋田県 由利本荘市
18-②	しんざん しんざん ひよりやま 新山（日和山）	未指定	北前船の船乗りたちが出航前に日和をみた場所。子吉川河口付近北側に位置する。	秋田県 由利本荘市
18-③	しんざんじんじゃ しんざんじんじゃ 新山神社奉納物	未指定	北前船の運航の安全を祈願した石灯籠や石製鳥居が奉納されている。	秋田県 由利本荘市
18-④	いしわき 石脇湊の御番所跡	未指定	北前船により繁栄した子吉川沿いに残る番所跡。（大渡口御番所跡・西ノ口御番所跡ほか）	秋田県 由利本荘市
18-⑤	いしわきえず 石脇絵図	未指定	北前船により繁栄した子吉川沿いの様子を描いた絵図。	秋田県 由利本荘市
18-⑥	いしわき 石脇の町並み	未指定	北前船により繁栄した石脇湊（亀田藩）周辺の町並み。酒・醤油・味噌等の醸造が盛んであった。	秋田県 由利本荘市
18-⑦	稲荷神社	未指定	北前船で財をなした廻船問屋佐藤家の氏神としてまつられた稲荷社。	秋田県 由利本荘市
18-⑧	いしわき 石脇さんぶつ	未指定	北前船の船乗りたちが石脇湊に伝えた儀式唄。	秋田県 由利本荘市
18-⑨	ほんじょう 本荘八幡神社奉納物	市有形 (歴史資料)	本荘八幡神社に北前船の船主らによって奉納された狛犬や船絵馬。	秋田県 由利本荘市
18-⑩	まつがさき 松ヶ崎八幡神社石製狛犬	県有形 (歴史資料)	松ヶ崎八幡神社に奉納、安置されており北前船により運ばれた狛犬。	秋田県 由利本荘市
18-⑪	本荘郷土資料館資料群	未指定	北前船で運ばれた越前瓦や、船だんす（懸硯）など北前船に係る資料群。	秋田県 由利本荘市
18-⑫	みやした 宮下神社の船絵馬	未指定	航海の無事を祈願し、北前船の船主らが奉納した船絵馬（市内最古・旧本荘市）。	秋田県 由利本荘市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
19-①	せいくろうけ 清九郎家	未指定 (重伝建地区)	北前船で財をなした宿根木有田久四郎家の邸宅	新潟県佐渡市
19-②	さんかくや 三角家	未指定 (重伝建地区)	壁板や船釘の使用に北前船造船技術の応用が伺える宿根木のランドマーク。	新潟県佐渡市
19-③	しゆくねぎはくさんじんじやいしとりい 宿根木白山神社石鳥居	市指定 (建造物)	北前船で尾道から運び込んだ花崗岩で作った神社の鳥居。	新潟県佐渡市
19-④	きさきじんじや ほんでん 木崎神社 (本殿)	県指定 (建造物)	金銀積出の風待ちの場所であり、北前船の出入りで賑わった小木町の鎮守。 拝殿には、北前船の船乗り等が安全祈願で奉納した船絵馬 ふなえま が掲げられている。	新潟県佐渡市
19-⑤	舟つなぎ石	市指定 (建造物)	沖に停泊する北前船から海岸に往来する伝馬船が係船のため綱を結んだ石。 尾道から運び込んだ花崗岩でできている。	新潟県佐渡市
19-⑥	ねんぶつばし 念仏橋及び石橋	市指定 (建造物)	北前船で尾道から運び込んだ花崗岩で作った石橋。	新潟県佐渡市
19-⑦	おぎ みなと こえ ず 小木 湊 古絵図	市指定 (歴史資料)	北前船で栄えていた幕末頃の小木港のようすが描かれている絵図。	新潟県佐渡市
19-⑧	さ ど だいかぐらぶがく 佐渡の大神楽舞楽	県指定 (無形民俗)	北前船の乗組員が航海の安全を祈って奉納した民俗芸能。	新潟県佐渡市
19-⑨	さ ど し しゆくね ぎ でんとうき 佐渡市 宿根 木 伝統的 けんぞうぶつぐんほぞん ち く 建造物群保存地区	国重伝建	船主や船頭、船大工などを中心に北前船に関わる者が居住した港町。	新潟県佐渡市
19-⑩	さ ど し おぎまち でんとうき 佐渡市 小木町 伝統的 けんぞうぶつぐんほぞん ち く 建造物群保存地区	国重伝建	北前船の寄港地として、物資の流通や、船乗りを相手とした商売で栄えた港町。	新潟県佐渡市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
20-①	よねやま 米山	未指定	北前船船主の航海の目印とされ、海上安全の信仰対象とされてきた山。	新潟県上越市
20-②	なおえつ 直江津の町並み	未指定	北前船で栄えた風情が色濃く漂う湊町の町並み。北前船がもたらした笏谷石 ^{しゃくだにいし} や御影石等が町なかにみられる。	新潟県上越市
20-③	なおえつ 旧直江津銀行	市指定 (建造物)	北前船で栄えた直江津の商工業を支えた明治期の銀行建物。	新潟県上越市
20-④	なおえつ 直江津の 海 上 信仰資料	市指定 (歴史資料)	北前船船主が航海安全を祈願して寺社に奉納した船絵馬・船型模型等。	新潟県上越市
20-⑤	北前船関連資料	県・市有形 (古文書) 未指定	北前船の交易による繁栄の様子を今に伝える古文書・船筆筒・船手形等。	新潟県上越市
20-⑥	すみよしじんじゃ 住吉神社奉納物	未指定	阿波藍を運ぶ北前船の航海安全と繁栄を祈願し、阿波国藍商人が寄進した石灯籠・手水鉢等。	新潟県上越市
20⑦	ことひらじんじゃいしどうろう 金刀比羅神社石灯籠	未指定	北前船により運ばれた、備後国尾道石工作の石灯籠。	新潟県上越市
20-⑧	やさかじんじゃ 八坂神社	未指定	北前船船頭や直江津の廻船業者等、町衆の信仰を集めた神社。尾道石工作の鳥居や筑前銘のある狛犬がある。	新潟県上越市
20-⑨	なおえつ たかだぎおんまつり 直江津・高田祇園祭の おたびしぎようじ やたいじゆんこう 御旅所行事と屋台巡行	県無形 (風俗慣習)	北前船は直江津に様々な生業を生み、その町衆に支えられた八坂神社の祭礼。神輿は高田城下町を巡幸する。	新潟県上越市
20-⑩	べいだいしゅう 米大舟	市無形 (民俗芸能)	北前船の船乗りにより伝えられた民謡。原曲は、出羽国の酒田節と伝えられる。	新潟県上越市
20-⑪	なおえ つ ふなかたがし 直江津舟方節	未指定	北前船の船乗りによって伝えられた民謡。原曲は島根県出雲地方の「出雲節」と伝えられる。	新潟県上越市

ストーリーの構成文化財一覧表

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
21-①	旧森家住宅	国重要文化財	北前船で財をなした、廻船問屋「旧森家」の邸宅。 かいせんどんや	富山県富山市
21-②	旧馬場家住宅	国登録文化財	北前船で財をなした、廻船問屋「旧馬場家」の邸宅。 かいせんどんや	富山県富山市
21-③	にしいわせすわしや 西岩瀬諏訪社の 大 けやき	県天然記念物	北前船が入港する際に目印にしたとされる大けやき。	富山県富山市
21-④	いわせ 岩瀬まだら	市無形民俗	北前船の船乗りなどにより九州から伝えられたとされる民謡等。	富山県富山市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
22-①	あきもとけ 旧秋元家 住 宅 (高岡市伏木北前船	市有形 (建造物)	かいせんどんや 北前船で財をなした廻船問屋・秋元家の住宅。	富山県高岡市
22-②	ふしきそつこうじょ 旧 伏木測候所 庁 舎 ・ そくふうとう 測風塔 (高岡市伏木気 象資料館)	国登録有形 (建造物)	かいせんどんや 廻船問屋出身・藤井能三が、北前船の安全確保を目的に私費を投じて設立した全国初の私立測候所。	富山県高岡市
22-③	ふしきじんじゃ 伏木神社	未指定	北前船の船主や船頭が、海上安全を祈って鳥居や燈籠、玉垣 ^{たまがき} などを奉納してきた神社。	富山県高岡市
22-④	ふしき じんじゃ しゅんきらい たいさい 伏木 神社 春季例 大祭 の祭礼行事	市無形民俗	北前船寄港の海岸鎮護・海上安全祈願のため曳山を建造した起源をもつ勇壮な行事。	富山県高岡市
22-⑤	ふしきほばしらおこしいわいうた 伏木帆柱起し祝 唄	未指定	出港準備は帆柱起しから始まる。北前船航海の安全祈願として歌われた船方節。	富山県高岡市
22-⑥	しょうこうじからもん 勝興寺唐門	国重文 (建造物)	京都から北前船によって運ばれてきたという伝説を有する唐門。	富山県高岡市
22-⑦	吉久 ^{きく} 重要伝統的建造物 群保存地区	国重伝建	加賀藩直営の米蔵が建てられ、伏木とともに発展した。今も藩政期以来の面影を残す町並み。	富山県高岡市
22-⑧	すがのけ 菅野家 住 宅	国重文 (建造物)	かいせんどんや 北前船で財をなした廻船問屋・菅野家の住宅。	富山県高岡市
22-⑨	たかおかいもの 高岡鋳物の製作用具及 び製品	国登録有形民俗	北前船交易で高岡から全国に出荷された塩釜・鯁釜など、高岡鋳物の製作に用いられた用具類とその製品。	富山県高岡市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
23-①	くろしま 輪島市黒島地区伝統的 建造物群保存地区	国重伝建	せんしゅしゅうらく 北前船の船主集落。下見板張り、黒瓦 が特徴。	石川県輪島市
23-②	かどみけ 旧角海家住宅	国重文 (建造物)	北前船で財をなした北前船主・角海家 の住宅。	石川県輪島市
23-③	しまてんりょうさい 黒島天領祭	市無形民俗	北前の船主が航海の安全を祈り寄進し た大神輿が原型となっている祭り。	石川県輪島市
23-④	ふなえま 北前船絵馬群	未指定	北前船の船主や船乗りたちが航海の安全 を祈願して奉納した絵馬。	石川県輪島市
23-⑤	イナウ奉納額	市有形 (歴史資料)	北前船の船主が、アイヌ民族の祭具を 持ち帰り、航海の安全を祈願して奉納 したもの。	石川県輪島市
23-⑥	すみよしじんじゃせきぞうとりい 住吉神社石造鳥居	市有形 (建造物)	北前船の船主が、小豆島産の御影石を 大阪で加工して運び、奉納したもの。	石川県輪島市
23-⑦	ひよりやま ほうがくいし 日和山の方角石	市史跡	北前船の船乗りたちが出航前に日和を みた場所で、方角をみるために用いら れた石。	石川県輪島市
23-⑧	の と 能登のまだら	県無形民俗	九州肥前の祝い唄が北前船の船乗りに より運ばれたといわれている民謡。	石川県輪島市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
24-①	すみよしじんじや 安宅住吉神社	未指定	北前船の船乗りたちが出港前に日和をみた「難関突破」の神社。	石川県小松市
24-②	ながおきこんごう くら 長沖金剛・蔵	国登録有形 (建造物)	北前船主松村家の離れを料亭の大広間「金剛」として移築。蔵は、北前船主瀬戸家が江戸末期に建てた船道具蔵。	石川県小松市
24-③	おきけ 沖家	未指定	北前船で財をなした安宅で最も栄えた かいせん 廻船問屋・沖家の邸宅。	石川県小松市
24-④	せ と け 瀬戸家	未指定	北前船で財をなした豪商・瀬戸家の邸宅。	石川県小松市
24-⑤	こめたに きっしょうあん 旧米谷銀行 (吉祥庵)	未指定	北前船で財をなした廻船問屋・米谷家が明治24 年に創業し、安宅の経済繁栄を支えた旧銀行 (現・北國銀行) 社屋。	石川県小松市
24-⑥	こうど 河道跡	未指定	北前船からの荷物運搬のために、河岸の舟着場から かいせんどんや 廻船問屋に敷設された道跡。	石川県小松市
24-⑦	すみよしじんじやふなえま 安宅住吉神社船絵馬	未指定	大阪などの北前船船主たちが航海安全を祈願して奉納した船絵馬。 ふなえま	石川県小松市
24-⑧	きしゅうさい 起舟祭	未指定	北前船の船出祝いを起源とし、北前船の船乗りから奉納された大 盃 (天保期奉納) を使用した祭礼。 だいさかずき	石川県小松市
24-⑨	安宅まつり	未指定	北前船で伝播された「帆柱おこし」に起源をもち、曳テンマ (曳伝馬船) 行事を行う祭礼。	石川県小松市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
25-①	旧岸名家住宅	国登録有形 (建造物)	北前船で財をなした材木商・ しんぼやそうすけ 新保屋惣助（岸名家）の住宅。	福井県坂井市
25-②	うおしろう 魚志楼（松崎家住宅）	国登録有形 (建造物)	北前船の船主や、商人が利用した花街 にある料理屋。	福井県坂井市
25-③	たきだんじ 瀧谷寺	国重文 (建造物)	北前船船主を多く輩出した新保地区の 有力者が北前船交易で得た財をもとに 寄進した建造物群。	福井県坂井市
25-④	みくにじんじゃざいしんもん 三國神社隨身門	県有形 (建造物)	三国湊が北前船で最盛期を迎えた江戸 末期から明治初期にかけ、有力な北前 船船主でもあった町衆が寄進した ろうもん 楼門。	福井県坂井市
25-⑤	しんぼ 新保春日神社	県有形 市有形 (建造物)	北前船の航海安全を祈願した本殿と北 前船船主らが奉納した石造物。	福井県坂井市
25-⑥	おおみなと 大湊神社	一部県有形 (建造物)	神社がある雄島は神宿る島として北前 船主から崇敬され、古来より船乗りの 信仰が篤い神社。 ほうかくいし 方角石がある。	福井県坂井市
25-⑦	三国港（旧阪井港）突堤 とつてい	国重文 (建造物)	北前船の出入りの妨げを改善するた め、九頭竜川河口に築造された西洋式突 堤。 くざりゅうがわ	福井県坂井市
25-⑧	ひよりやま 日和山	未指定	北前船の船乗りたちが出港前に日和を 見た場所。	福井県坂井市
25-⑨	北前船古文書群	一部市有形 (古文書)	北前船で財をなした豪商や北前船の船 主家に伝えられた廻船業に関する古文 書群。 かいせんぎょう	福井県坂井市
25-⑩	ふなえま 北前船船絵馬群	未指定	北前船の船主らが海上安全を祈願し、 自船を描き、神社に奉納した絵馬。	福井県坂井市
25-⑪	三国浦絵図	未指定	北前船により、繁栄した三国湊の様子 がわかる絵図。	福井県坂井市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
25-⑫	越前三国湊風景之図	未指定	北前船により繁栄した三国湊の様子が書かれた絵図。	福井県坂井市
25-⑬	三国仏壇	未指定	三国湊の工芸品で、北前船により せんしゅうらく はしたて 船主集落の加賀橋立などに運ばれた。	福井県坂井市
25-⑭	三国箆笥 (船箆笥)	未指定	江戸時代から明治時代にかけて、三国で作られ、北前船の航海時に使用された必需品。	福井県坂井市
25-⑮	しゃくだにいし 笏谷石関連古文書群	未指定	石を扱っていた廻船問屋に伝わる北前 船で流通したしゃくだにいし 笏谷石に関する古文書群。	福井県坂井市
25-⑯	みくにじんじゃ 三國神社例大祭 (三国祭) と山車屋台	県無形民俗一部 市有形 (工芸品)	北前船交易により繁栄した三国湊の有力な北前船船主でもあった町衆が山車 や ま 人形や舟神輿などを奉納した祭り。	福井県坂井市
25-⑰	なんぼや踊り唄	県無形民俗	北前船の船乗りによって、南部地方から伝わった唄。	福井県坂井市
25-⑱	いざき	市無形民俗	北前船船頭・水主の祝い唄で、起舟の船 か こ きしゅう 祝いの席で唄われた。	福井県坂井市
25-⑲	三国節	市無形民俗	北前船の船頭の船唄として発祥したとも言われる三国の座敷歌。	福井県坂井市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
26-①	古河屋別邸・庭園	県有形 (建造物)	北前船で財をなした廻船問屋・古河屋の別邸で、小浜藩主酒井家も愛した庭がある。	福井県小浜市
26-②	旧料亭酔月 すいげつ	未指定 (重伝建地区)	北前船の船主や、商人たちが利用した茶屋町にある明治時代の料亭。	福井県小浜市
26-③	旧料亭蓬嶋楼 ほうとうろう	未指定 (重伝建地区)	北前船の船主や、商人たちが利用した茶屋町にある明治時代の料亭。	福井県小浜市
26-④	旧旭座 あさひざ	市有形 (建造物)	北前船の船主や商人たちが利用した明治時代の旧芝居小屋。	福井県小浜市
26-⑤	八幡神社奉納物	未指定 (重伝建地区)	北前船の船主や商人が航海の安全を祈願して寄進した灯籠・玉垣・船模型	福井県小浜市
26-⑥	広嶺神社奉納物	未指定	北前船の船主や商人が航海の安全を祈願して寄進した灯籠・玉垣・船模型	福井県小浜市
26-⑦	宗像神社奉納物	未指定	北前船の船主や商人が航海の安全を祈願して寄進した灯籠・玉垣・船模型	福井県小浜市
26-⑧	旧小浜港の町並み	未指定	北前船によって繁栄した旧小浜港の町並み	福井県小浜市
26-⑨	若狭瓦だるま窯	未指定	良質な特産品かつ船舶のバラストとして北前船により北国に運ばれた若狭瓦の窯跡。	福井県小浜市
26-⑩	奉納船と神体船	市有形民俗	北前船の船主が、各神社に航海安全を願って奉納した船舶模型。	福井県小浜市
26-⑪	北前船古文書群	一部市有形	北前船船主や商人たちが遺した古文書群。	福井県小浜市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
27-①	旧三上家住宅	国重文	宮津幡を代表する豪商で北前船で財をなした「元結屋」三上家の邸宅。	京都府宮津市
27-②	日吉神社	本殿：府指文有形（建造物） 拝殿：府登録有形（建造物）	北前船で財をなした「袋屋」田中勘兵衛や、「大津屋」山本善次が船祈祷をした神社。	京都府宮津市
27-③	わきのみやじんじゃ たまがき 和貴宮神社の玉垣	未指定	北前船主「 ^{ぜにやごへい} 銭屋五兵衛」などの名前が記された ^{たまがき} 玉垣が奉納された神社。	京都府宮津市
27-④	^{ゆらこんびら} 由良金毘羅神社	未指定	北前船の船頭を多く出した由良地区の船頭衆の信仰を集め、 ^{ふなえま} 船絵馬が奉納された神社。	京都府宮津市
27-⑤	^{しんはま} 新浜の町並み（花街）	未指定	北前船の寄港地として繁栄した宮津港の花街。	京都府宮津市
27-⑥	^{ふなえま} 由良の船絵馬群	府登録 (有形民俗)	北前船の船頭たちにより、由良の ^{こんびらじんじゃ} 金毘羅神社、 ^{てるくにじんじゃ} 照国神社、 ^{たまつかさじんじゃ} 玉司神社に奉納された ^{ふなえま} 船絵馬。	京都府宮津市
27-⑦	三上家文書	府指定 (古文書)	北前船で財をなした「元結屋」三上家の ^{かいせん} 古文書群。廻船業に関連する史料を含む。	京都府宮津市
27-⑧	加藤家文書	未指定	北前船の船頭・加藤長助の航海日記や大福帳。	京都府宮津市
27-⑨	宮津おどり	未指定	花街・新浜で歌われた「宮津節」や「あいやえ踊り」「松坂踊り」で構成。「あいやえ踊り」はハイヤ節が起源とされ北前船によりもたらされた芸能。	京都府宮津市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
28-①	すみよしいたいしゃ 住吉大社	国宝 (建造物) 国 重文 (建造物) など	大坂に到着した北前船の船頭たちが参詣した神社。	大阪府大阪市
28-②	すみよしいたいしゃ 住吉大社の石灯籠群	未指定	住吉大社の境内に立ち並ぶ 600 基あま りの石灯籠。北前船ゆかりの廻船業者 かいせん が奉納したものも多い。	大阪府大阪市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
29-①	神戸大学海事博物館北前船収蔵資料	未指定	北前船の和船模型をはじめ、和船の部分実物、船大工の板図や大工道具類、航路図や海路図屏風、絵馬など。	兵庫県神戸市
29-②	べんざいせん みぬめじんじゃ 敏馬神社 べんざいせんえま 「弁財船絵馬」	市指定有形 (民俗)	北前船の船主らが航海安全を祈願して奉納した。	兵庫県神戸市
29-③	神戸海洋博物館 北前船収蔵資料	未指定	北前船のイカリや船筆筒、ハカリ、筆箱など。	兵庫県神戸市
29-④	たかだやかへい 高田屋嘉兵衛 献上 灯籠	未指定	北前船で財をなした高田屋嘉兵衛が海上交通安全を祈って献上した灯籠。	兵庫県神戸市
29-⑤	くらくまつえもん 苦楽松右衛門の墓	未指定	北前船の船主であり、帆布の製造法を発明した工楽松右衛門の墓。	兵庫県神戸市
29-⑥	たかだやかへい 高田屋嘉兵衛 本店 跡地	未指定	北前船で財をなした高田屋が商売の拠点をおいた店舗跡。	兵庫県神戸市
29-⑦	まいこえんめいじぞう 舞子延命地蔵 (たたき地蔵)	未指定	北前船で財をなした北風荘右衛門などが航海の安全を祈願して造営した地蔵。	兵庫県神戸市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
30-①	くらくまつえもん 工楽松右衛門 旧 宅	市史跡	北前船船主であり、帆布の製造法を発明した工楽松右衛門の旧宅。	兵庫県高砂市
30-②	たかごほりかわいせき 高砂堀川遺跡	未指定	北前船が寄港した高砂港の物流をになった堀川遺構。	兵庫県高砂市
30-③	高砂地区歴史的景観 形成地区	未指定	江戸時代の町割りに町屋・社寺・近代建築等が建ちならぶ。北前船も寄港した港町。	兵庫県高砂市
30-④	じょうやとう 常夜灯 (高 砂 神 社)	未指定	北前船も寄港した高砂港の高砂神社にある常夜灯。	兵庫県高砂市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
31-①	ひよりやま 日和山	未指定	北前船の船乗りたちが出港前に日和を見た場所。常夜灯の一部が現存する。	兵庫県 新温泉町
31-②	いよなが 為世永神社	未指定	北前船の船主や船乗りたちが航海の安全を祈願した神社。全国の船主が寄進した玉垣、灯籠がある。	兵庫県 新温泉町
31-③	しょごくさんりゅうまんじ 諸谷山龍満寺	未指定	諸寄港沖で難波した北前船の乗組員たちを弔った寺院。	兵庫県 新温泉町
31-④	東藤田家母屋	未指定	北前船で財をなした廻船問屋・藤田家の邸宅。	兵庫県 新温泉町
31-⑤	ちゅうふじたけ 中藤田家母屋	未指定	北前船で財をなした廻船問屋・藤田家の邸宅。	兵庫県 新温泉町
31-⑥	みちもりけ 道盛家母屋	未指定	北前船で財をなした廻船問屋・西川家の邸宅。	兵庫県 新温泉町
31-⑦	けいりゅうくわいと 北前船係留杭跡	未指定	北前船が安全に入港・出港する際に利用した杭の跡。	兵庫県 新温泉町
31-⑧	いよなが 為世永神社例祭・ (祇園祭 ・ 麒麟 獅子舞)	町無形 (民俗芸能)	北前船で財をなした廻船問屋たちが財政支援し、現代まで伝えられている京都祇園祭に由来する祭礼。	兵庫県 新温泉町
31-⑨	いよなが ふなえま 為世永神社船絵馬	町有形 (絵画)	北前船の船主や船乗りが航海安全を祈願して奉納した。	兵庫県 新温泉町
31-⑩	北前船航路図	町有形 (絵画)	北前船の船頭をしていた日浦家に伝わる航路図。	兵庫県 新温泉町
31-⑪	せんめいがく 北前船船名額	町有形 (工芸)	廻船問屋をしていた石塚家の北前船に掲げられていた船名や祝語を記した額。	兵庫県 新温泉町

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
32-①	さこし 坂越の町並み	未指定	北前船により繁栄した坂越港周辺の古い町並み。	兵庫県赤穂市
32-②	きゅうさこしうらかいしよ 旧坂越浦会所	市有形 (建造物)	北前船寄港地・坂越浦の船舶管理を行っていた会所。	兵庫県赤穂市
32-③	おおさけ 大避神社奉納物	未指定	かいせん 廻船業者が航海安全を祈願して奉納した船絵馬・石造物（灯籠・鳥居など）等。	兵庫県赤穂市
32-④	くろさきぼしよ 黒崎墓所	県史跡	航海中に死亡した人を埋葬した場所で、出羽・越後・能登など北前船に関連する人物が確認できる。	兵庫県赤穂市
32-⑤	いきしま 生島	未指定	さこし 坂越湾に浮かぶ小島で、寄港した北前船の廻船が風よけとして島影を利用。	兵庫県赤穂市
32-⑥	ふなちんぎんじょうほう 船賃銀定法	市有形 (古文書類)	さこし 坂越を起点に全国 72 港までの船衆賃銀が板に朱漆書きされたもので、廻漕先には、北前船の活動範囲が記されている。	兵庫県赤穂市
32-⑦	さこし 坂越の船祭	国無形民俗	かつては廻船の水主達が船団を曳航する櫓伝馬の漕ぎ手を務めるなど、近世廻船業の繁栄とともに伝承されてきた。	兵庫県赤穂市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
33-①	つしはちまんじんじゃ 都志八幡神社奉納物	未指定	北前船の船乗りに崇拝され、石灯籠が奉納される。また、高田屋嘉兵衛がロシアに捕えられた際、無事を祈願して寄進された隨身門がある。	兵庫県洲本市
33-②	たかだやかへい 高田屋嘉兵衛邸宅跡	未指定	北前船で財をなした豪商高田屋嘉兵衛の邸宅跡。	兵庫県洲本市
33-③	つし 都志の町並み	未指定	北前船主たちが軒を連ねた港町に、江戸時代の地割りを伝える細い路地が残る。	兵庫県洲本市
33-④	高田屋関連資料群	未指定	北前船主・高田屋の北前船に関連する資料群。	兵庫県洲本市
33-⑤	つし 都志八幡神社 おんふなうた 御船歌	未指定	北前船の船乗りに崇拝された都志八幡神社で奉納される船歌。	兵庫県洲本市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
34-①	かろ 賀露神社	未指定	北前船船主が集住する賀露に鎮座する神社。尾道石工の御神灯や船絵馬・船模型、錨などが奉納されている。	鳥取県鳥取市
34-②	いんしゅうたかくさぐんかろみなと 因州高草郡加路湊 絵図	未指定	北前船等の大型船が停泊していたことを示す、鳥取城下の玄関口であった賀露港の江戸時代末期の絵図。	鳥取県鳥取市
34-③	かろ 賀露神社 春季祭礼 行事	県無形民俗	北前船を 1 / 5 で模した二隻の屋台（天保 4 年）を含む、賀露神社の 2 年に一度の大祭。	鳥取県鳥取市
34-④	かみこうじじんじゃ 上小路神社	未指定	日和見山にある神社。尾道石工製の鳥居の部材が残されている。	鳥取県鳥取市
34-⑤	かろ 賀露港の町割り	未指定	北前船船主が集住する港町。小路のほとんどが海に向かう町割りがよく残されている。	鳥取県鳥取市
34-⑥	とりがしま 鳥ヶ島	未指定	かろ 賀露港に出入りした北前船の係留地。物資の揚げ降ろしをした場所。	鳥取県鳥取市
34-⑦	けたぐんあしざきなつどまり 気多郡芦崎夏泊 両 りょううらみなとえず 浦 湊 絵 図	未指定	北前船で繁栄した芦崎（現・鳥取市あおや 青谷町）を描いた江戸時代の絵図。	鳥取県鳥取市
34-⑧	みなと 湊 神社の奉納物	未指定	北前船船主が集住する芦崎に鎮座する神社。常夜灯、狛犬、舟形の神輿が残されている。	鳥取県鳥取市
34-⑨	芦崎の町並み	未指定	八軒屋と呼ばれた北前船船主が軒を連ねていた港町。船主集落の町割りを良く残している。	鳥取県鳥取市
34-⑩	つだ 津出し路地	未指定	北前船から荷揚げされた、あるいは北前船に搬入される物資を運んだ通路。	鳥取県鳥取市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
35-①	とのうら 外ノ浦の町並み	未指定	北前船の風待ち港。深い入り江に沿って船主集落が展開していた。	島根県浜田市
35-②	ひよりやまほうがくいし 日和山方角石	市史跡	北前船の船乗りたちが出港前に日和山で風向きや潮の流れを確認した方角石。	島根県浜田市
35-③	とうがねうらよりながはまうらにいたるかいがん 自唐鐘浦至長浜浦海岸絵	市有形 (古文書)	かいせんとんや 廻船問屋・米屋が、出入りする北前船や停泊場所を描かせた絵図。	島根県浜田市
35-④	しょこくおんきやくせんちよう 諸国御客船帳	市有形 (古文書)	港に出入りした北前船を国別、地域別に整理し、船型(彩色)や積荷・揚荷などを記した顧客名簿。	島根県浜田市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
36-①	^{しもつ} 下津井町並み保存地区	未指定	北前船による綿花、ニシン粕の取引で繁栄した港町。	岡山県倉敷市
36-②	^{おぎの} 旧荻野家母屋・ ^{しもつ} 鯨蔵（むかし下津井回船問屋）	未指定	北前船で財を成した ^{おぎの} 荻野家の邸宅。現在は、北前船に関する資料を展示している。	岡山県倉敷市
36-③	^{しもつ} 下津井節	未指定	^{しもつ} 港町下津井に伝わる岡山県を代表する民謡。北前船の船頭達によって広まり唄い継がれてきた。	岡山県倉敷市
36-④	^{ぎおん} 祇園神社の奉納物	未指定	北前船の商人たちが寄進した ^{たまがき} 玉垣。 ^{しもつ} 下津井港を見下ろす岬の上に位置する。	岡山県倉敷市
36-⑤	^{しもつ} 下津井祇園文書	市有形 (古文書)	北前船の寄港地として賑わった商港の繁栄ぶりを示す文書。	岡山県倉敷市
36-⑥	^{のぎ} 旧野崎家住宅	国重文 (建造物)	「塩田王」と呼ばれた北前船船主の野崎武左衛門の邸宅。	岡山県倉敷市
36-⑦	旧 野崎浜灯 明 台	市指定	野崎浜に出入りする北前船の安全を守るための灯台。	岡山県倉敷市
36-⑧	玉島町並み保存地区	未指定	北前船と高瀬舟の水運により、備中綿を売買する拠点となり、「西の浪速」と呼ばれるほど繁栄した港町。	岡山県倉敷市
36-⑨	^{ゆのき} 旧柚木家住宅 ^{さいそうてい} (西爽亭)	国登録有形 (建造物)	北前船船主であった柚木家の邸宅。北前船に関する文書が残り、往時の港町の繁栄を知ることができる。	岡山県倉敷市
36-⑩	^{はぐる} 羽黒神社の奉納物	未指定	北前船の商人たちが航海の安全を祈願して奉納した ^{ふなえま} 船絵馬や ^{たまがき} 玉垣。	岡山県倉敷市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
37-①	港町尾道の町並み	未指定	北前船の寄港地として繁栄した瀬戸内海最大級の港町。北前船の寄港とともに、港の埋立等が行われ、拡大した。	広島県尾道市
37-②	浄土寺	国宝他	北前船等の商人からの信仰を集めた寺院。常夜燈 ^{じょうやとう} や北前船絵馬 ^{ふなえま} 、港町の繁栄を表す尾道絵屏風が残っている。	広島県尾道市
37-③	すみよしじんじゃ 住吉神社（尾道） の奉納物	未指定	北前船の商人たちが寄進した玉垣 ^{たまがき} や常夜燈 ^{じょうやとう} 。昆布などの初セリや住吉祭、尾道みなと祭の会場ともなる。	広島県尾道市
37-④	いつくしまじんじゃ 厳島神社の玉乗 り狛犬 ^{こまいぬ}	未指定	北前船の底荷として、寄港地へ運ばれた尾道石工製の花崗岩の石造物。玉乗り狛犬 ^{こまいぬ} は、日本海側の寄港地にも点在する。	広島県尾道市
37-⑤	うらえびょうぶ 尾道浦絵屏風	未指定	北前船が寄港し、繁栄した江戸時代の尾道浦と尾道水道に船が停泊する様子が描かれた絵図。	広島県尾道市
37-⑥	せとだ 港町瀬戸田の町並み	未指定	沖乗り航路の北前船が寄港した港町。廻船業 ^{かいせん} で繁栄した堀内家塩蔵等 ^{ほりうちけしおぐら} が残っている、港町の風情をみることができる。	広島県尾道市
37-⑦	旧大浜崎通航潮流 信号所施設	国重文	北前船が活動していた明治時代に設置された信号所施設で、北前船を含む多くの船舶航行の安全を守っていた。	広島県尾道市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
38-①	呉市豊町御手洗伝 統的建造物群保存 地区	国重伝建	北前船も往来した風待ち・潮待ちの港町。商家や蔵などが建ち並び小路のほとんどが海に向かう特徴的な町並み。	広島県呉市
38-②	わかえびすや 若胡子屋跡	県史跡	北前船船主や商人たちが利用した茶屋。花街の隆盛を示す豪壮な建物。	広島県呉市
38-③	すみよしじんじゃ 住吉神社	県重文 (建造物)	北前船の商人たちが信仰した神社。境内地には北前船の船主や問屋らが寄進した玉垣が見られる。	広島県呉市
38-④	えびすじんじゃ 恵美須神社	県重文 (建造物)	北前船を迎えるように海に向いて造られた鳥居や北前船の廻船問屋が寄進した灯籠が見られる。	広島県呉市
38-⑤	ちさごはととたかどうろう 千砂子波止と高燈籠	未指定	北前船の港町としての発展を支えた全長 65 間 (約 120m) の大波止。広島藩が御手洗の港を拡張するために築造した。	広島県呉市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
39-①	加茂港周辺の町並み	未指定	北前船で栄えた当時の町割りがそのまま残っている加茂の町並み。	山形県 鶴岡市
39-②	いしなざかけ 石名坂家住宅主屋・蔵	国登録有形	北前船船主の家屋及び蔵。	山形県 鶴岡市
39-③	じょうぜんじ つりがね さんもん 浄 禅寺の釣鐘と山門	未指定 (工芸品) (建造物)	北前船で財をなした商人たちから寄進された釣鐘と総ケヤキ造りの山門。	山形県 鶴岡市
39-④	ぜんぼうじごひやくらかんどう 善寶寺五百羅漢堂 と とうろうぐん 燈籠群	国登録有形 (建造物) 未指定 (工芸品)	北前船で財をなした商人たちの寄進によって建てられた五百羅漢堂と 531 体の仏像と、松前（北海道）や越後（新潟県）、山形県内陸部など全国の商人たちの名が刻まれた燈籠群。	山形県 鶴岡市
39-⑤	致道博物館所蔵の北前船関連資料群	未指定 (歴史資料)	北前船船主により奉納された船舶模型 や 船絵馬、四 爪 錨、出 船 手 形、 船鑑札、船簞笥等	山形県 鶴岡市
39-⑥	かすがじんじや ふな え ま ぐん 春日神社 の 船絵馬群 こまいぬ と狛犬	未指定 (有形民俗) (彫刻)	松前（北海道）を代表する豪商栖原家から奉納された船絵馬と、丹後（京都府）の廻船問屋から奉納された狛犬。	山形県 鶴岡市
39-⑦	きょうどしりょうかんしやう 郷土資料館所蔵 の きたまえぶねかんれんしりょうぐん 北前船関連資料群	未指定 (古文書) (歴史資料) (工芸品) (有形民俗)	加茂の廻船問屋と全国各地の商人との取引内容が記録された客船帳や船往来手形、加茂港での積荷の実態がわかる往来帳などの古文書のほか、港絵図や船簞笥、印章類、船旗など、関係資料が数多く所蔵されている。	山形県 鶴岡市
39-⑧	りゅうぐうじ ほんどう みずぶね 龍宮寺の本堂と水舟	未指定 (建造物)	本堂は北前船船主の石名坂金六が再建したもので、屋根瓦と本堂前の水舟に名前が確認できる。	山形県 鶴岡市

ストーリーの構成文化財一覧表

39-⑨	しょうりんじ さんもん 少林寺の山門	未指定 (建造物)	山門は北前船で長い間活躍した船の舟柱や板を再利用して造られている。	山形県 鶴岡市
39-⑩	かも ざ かとうげどう 加茂坂峠道	未指定 (史跡)	加茂と庄内各地を結ぶ加茂坂峠道は物流の重要な道であったが難所であったため、北前船交易が盛んであった文化年間に、出羽三山湯殿山派の僧であった鉄門海によって新道が開削された。	山形県 鶴岡市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
39-⑪	ひなにんぎょう ひな がし 雛人形・雛菓子	未指定 (工芸品) (無形民俗)	城下町鶴岡には、北前船によって上方から、参勤交代等によって江戸から、様々な物資と文化が流入し、京と江戸、東西の^{ひな}雛文化が同時に成立・融合している。 鶴岡市内の多くの旧家には、秀逸な^{ひな}雛人形や^{ひな}雛道具が伝わっており、北前船で運んだことが墨書された収納木箱なども残されている。 また、^{ひな}雛人形に供えられる^{ひな}雛菓子も京と江戸の菓子文化から独自の発展を遂げ、盛菓子や生菓子で様々な縁起物や在来野菜・果物などが職人の技によって作られた。	山形県 鶴岡市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
40-①	つまいり 妻入りの街並	未指定 (伝統的建造物 群)	北前船の寄港地、佐渡の金銀荷揚げ地として繁栄した出雲崎の町並み。	新潟県
40-②	きゅうとまりや 旧 泊屋	未指定 (建造物)	北前船で財をなした廻船問屋・泊屋佐野家の邸宅。船着き場や蔵などが現存する。	新潟県 出雲崎町
40-③	ふなえま 船絵馬群	町有形民俗 一部未指定 (民俗)	北前船の船主らが航海の安全を祈願し、奉納した船絵馬。	新潟県
40-④	ともはた 艦旗	未指定 (歴史資料)	廻船問屋・八木家に伝わる艦旗。	新潟県
40-⑤	天領の里時代館 北前船収蔵資料	未指定 (歴史資料)	豪商・敦賀屋、熊木屋の文書の他、船模型、船鑑札、船仏壇、四爪錨など北前船関連資料が多数収蔵されている。	新潟県 出雲崎町
40-⑥	出雲崎おけさ	町無形民俗	既存のおけさと北前船により伝えられた九州牛深のハイヤ節とが融合した民謡。	新潟県 出雲崎町
40-⑦	お船歌	町無形民俗	北前船を新造した際など、船祝いの席などで唄われた民謡。	新潟県
40-⑧	舟つなぎ石	未指定 (史跡)	北前船が係留するときに船のもやいを繋いだ石。梵杭とも呼ばれている。	新潟県

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
41-①	銭屋五兵衛家 ねんねんどめつたりとめちよう 年々留附留帳	県指定 (古文書)	北前船で財をなした豪商・銭屋家の家訓や盛時の動向を伝える、五兵衛肉筆の日記。	石川県金沢市
41-②	専長寺 しょうはんしゃ 松 帆 樹	市指定 (建造物)	北前船で財をなした豪商・銭屋五兵衛隠居所の茶室。北前船で運ばれた仏具や庭石が残る。	石川県金沢市
41-③	中山家関係資料	県指定 (歴史資料)	北前船により繁栄した宮腰の歴史を顕す、町の年寄役家に伝わる資料。	石川県金沢市
41-④	観田家住宅・主屋・西塀・西蔵	国登録 (建造物)	北前船で財をなした廻船問屋・湊屋左太郎の住宅。 かいせんどんや	石川県金沢市
41-⑤	かないわ 金石こまちなみ 保存区域	市指定 (金沢市こまちなみ保存条例)	北前船により繁栄した宮腰の古い町並み。町家や廻船問屋が往時の風情を醸す。 かいせんどんや	石川県金沢市
41-⑥	大野湊神社関係資料 (大絵馬)	市指定 (歴史資料)	北前船により繁栄した宮腰が描かれた巨大な絵馬。	石川県金沢市
41-⑦	本龍寺 鐘楼	市指定 (建造物)	北前船船主が寄進した鐘楼。境内には銭屋五兵衛の墓も静在。	石川県金沢市
41-⑧	あわがきはちまんじんじゃ 栗崎八幡神社 奉納絵馬額面	市指定 (有形民俗)	北前船で財をなした豪商・木谷藤右衛門らが寄進した絵馬群。	石川県金沢市
41-⑨	紙本著色 れんこしんけいのず 蓮湖真景之図	市指定 (美術工芸品)	大野川の東西の岸を描いた 2 巻計 3 3 尺の絵巻物。北前船船主たちの家々が描かれている。	石川県金沢市
41-⑩	大野こまちなみ 保存区域	市指定	北前船により繁栄した大野の古い町並み。	石川県金沢市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
42-①	はまのみやてんまんぐう 浜の宮天満宮 の しんぎゅう 神牛	未指定 (有形・彫刻)	越前や加賀の北前船船主が奉納した 牛の石像。	兵庫県姫路市
42-②	たんぽ 湛保	未指定 (記念物・遺跡)	北前船の寄港が容易となるよう ほしか ふじたゆうえもん 干鰯問屋 藤田佑右衛門が築造した 船繋場。	兵庫県姫路市
42-③	中島家住宅	未指定 (姫路市都市景観 重)	北前船で財をなした廻船問屋・中島 かいせんだんや 家の邸宅。	兵庫県姫路市
42-④	しょうぼうじ からど 正法寺の唐戸	未指定 (有形・歴史資 料)	播磨の古手商奈良屋と北前船による 取引を頻繁にしていた豪商・本間家 が寄進した唐戸。	兵庫県姫路市
42-⑤	くしょごりようてんじんしゃ 九所御霊天神社 の たまがき 玉垣	未指定 (記念物・遺跡)	北前船の商人たちが航海の安全を祈 願して奉納した玉垣。奥羽地方の商 人「米竹清右衛門」などの名前があ る。	兵庫県姫路市
42-⑥	北前船古文書群	未指定 (有形・古文書)	中島家等の北前船で財をなした豪商 に伝えられた廻船業等に関する古文 かいせん 書群。	兵庫県姫路市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
43-①	むろつ 室津の町並み	未指定 (伝統的建造物群)	北前船で栄えた当時の様子を伝える むろつ 室津の町並み。	兵庫県 たつの市
43-②	むろつかいえきかん 室津海駅館	市有形(建造物)	北前船で財をなした廻船問屋・三木 かいせんどんや 半四郎(嶋屋)の住宅。	兵庫県 たつの市
43-③	石仏	未指定 (有形文化財)	北前船で財をなした廻船問屋・三木半 かいせんどんや 四郎が古刹見性寺に奉納した西国三十三所霊場の石仏。	兵庫県 たつの市
43-④	もやい石	未指定 (記念物)	むろつ 室津に入港した北前船が係留するときに船のもやいを繋いだ石。	兵庫県 たつの市
43-⑤	ひよりやま 日和山	未指定 (記念物)	北前船の船乗りたちが、出港前に日和を見た場所。	兵庫県 たつの市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
44-①	旧塩田家土蔵	未指定 (建造物)	北前船で財をなした廻船問屋・多度津七福神「塩田家（煙草屋）」が北前船の積み荷を集積した倉庫。	香川県 多度津町
44-②	合田家住宅	町有形 (建造物)	北前船で財を成した廻船問屋・多度津七福神「合田家（島屋）」の住宅。	香川県 多度津町
44-③	旧朝日屋旅館 (竹田家住宅)	未指定 (建造物)	北前船航路を利用して金毘羅参詣をした講が利用した宿泊施設。	香川県 多度津町
44-④	金刀比羅神社 (須賀の金毘羅さん)	未指定 (建造物)	北前船航路を利用した金毘羅参詣の起点となった神社の一つ。	香川県 多度津町
44-⑤	厳島神社	未指定 (建造物)	北前船の航海安全を祈願するために設置された神社。	香川県 多度津町
44-⑥	白鬚神社	未指定 (建造物)	北前船航路を利用した金毘羅参詣の起点となった神社の一つ。	香川県 多度津町
44-⑦	恵比須神社	未指定 (建造物)	北前船の商人たちが、航海の安全と商売繁盛を祈願して建立した神社。	香川県 多度津町
44-⑧	金毘羅鳥居	町有形 (建造物)	北前船航路によって栄えた金毘羅街道、一の鳥居。	香川県 多度津町
44-⑨	金毘羅燈籠群	一部町有形 (建造物)	北前船航路によって栄えた金毘羅街道周辺に設置された常夜燈（22 基）。	香川県 多度津町
44-⑩	多度津湊	未指定 (建造物・土木遺産)	北前船を停泊させるために整備された港湾施設。	香川県 多度津町
44-⑪	東浜・西浜・本通の町並み	未指定 (伝統的建造物群)	北前船によって繁栄した金毘羅街道沿いの町並み。	香川県 多度津町

ストーリーの構成文化財一覧表

44-⑫	多度津町立資料館 北前船関連資料群	県有形民俗 一部未指定（古 文書・歴史資料 等）	かいせん ひょうがや 廻船業「日向屋」が奉納した弁才船模 型の他、関連文書や往時の多度津の図 絵など北前船関連資料が多数収蔵され ている。	香川県 多度津町
------	----------------------	-----------------------------------	--	-------------

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
45-①	竹原市竹原地区 伝統的建造物群保 存地区	国重伝建地区	北前船の商人による塩の買い付けなど で繁栄した竹原の町並み。	広島県竹原市
45-②	旧吉井家住宅	市重文	北前船の船乗りたちが宿泊した竹原一 の塩問屋の邸宅。	広島県竹原市
45-③	常夜灯群	未指定 (建造物)	北前船の入港の目印となった常夜灯。	広島県竹原市
45-④	市立竹原書院図 書館資料群	未指定 (歴史資料)	北前船の商人たちとの交易記録や塩の 販売量等を記した古文書類。	広島県竹原市
45-⑤	しほんちゃくしよくたけはら え びょう 紙本著色竹原絵屏風	市重文	北前船の商人による塩の買い付けなど で繁栄した竹原の町並みを描いた絵屏 風。繫留する北前船も描かれている。	広島県竹原市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
46-①	ふじつか 藤塚神社	未指定 (建造物)	北前船主等が信仰した神社。	石川県白山市
46-②	ふじつか 藤塚神社奉納物	未指定 (有形民俗)	北前船主等が航行の安全等を祈願、 奉納した奉納額や北前船の模型等。	石川県白山市
46-③	ごんしゅ 御酒	市無形民俗	北前船主の起舟の行事等で歌われた 歌。	石川県白山市
46-④	おかえり祭り	県無形民俗	ふじつか 藤塚神社の春季祭。 おたびしょ 御旅所には北前 船主が寄進した神輿が鎮座し、北前 船で各地に運ばれた美川仏壇の技術 で作られた台車 だいくるま が練り歩く。	石川県白山市
46-⑤	みかわぶつだん 美川仏壇	未指定 (工芸技術)	北前船での航海に耐えるよう錆下地 と 堆 こ く 黒 の 技法が用いられた仏 壇。	石川県白山市
46-⑥	ぬかづけ ふぐの卵巣の糠漬	未指定 (無形民俗)	北前船で運ばれてきた食材をもとに 加工した発酵食品。江戸時代から伝 わる珍味で猛毒の「ふぐの卵巣」を 無毒化する。	石川県白山市
46-⑦	石川ルーツ交流館 北前船関係資料	一部市有形 (古文書)	せんしゅしゅうらくもとよしまち 北前船主集落本吉町関連古文書群 と北前船関係資料。	石川県白山市
46-⑧	いまみなと 今 湊神社	一部市有形 (建造物)	北前船主等が信仰した神社。	石川県白山市
46-⑨	くれたけ 呉竹文庫所蔵資料	一部市有形 (古文書)	北前船主熊田家の収集資料及び北前 船主集落である湊町 みなとまち に関連した古文 書群。	石川県白山市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
47-①	ふくらとうだい 旧福浦灯台	県有形 (史跡)	北前船が目印にした、日本最古の木造灯台。	石川県志賀町
47-②	ひよりやま 日和山	県有形 (史跡)	北前船の船乗りたちが、出向前に日和を見た場所。	石川県志賀町
47-③	ほうがくいし (せきぞう 方角石 (石造 ほういばん 方位盤)	町有形 (建造物)	北前船の船乗りたちが出向前に日和山 で風向きや潮の流れを確認した方角石	石川県志賀町
47-④	北前船関連資料群	未指定 (歴史資料)	「さどや 佐渡屋客船帳」「腰巻地藏」「四爪錨」 「極楽坂」「金毘羅神社拝殿向拝の龍飾彫刻」など北前船関連資料が現存する。	石川県志賀町
47-⑤	ふなえま 奉納船絵馬群	町有形 (絵画)	北前船の船主らが航海の安全を祈願し、奉納した船絵馬。	石川県志賀町
47-⑥	めぐり (けいせんこう 繫船孔)	町有形 (民俗)	北前船が係留するときに船のもやいを繫いだ岩 (岩をくり抜いたもの) 。	石川県志賀町
47-⑦	ふくら 福浦祭り	町無形 (民俗)	北前船の航海安全を祈った猿田彦神社の祭り。 かいじょうとぎょ 海上渡御及び仮装・手踊りは北前船で賑わった当時の名残りを強く残している。	石川県志賀町

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
48-①	めしのけ 食野家邸宅跡	未指定 (埋蔵文化財)	北前船で財をなした豪商・ めしのけ 食野家の本宅跡。屋敷跡、古絵図、井戸枠、松等が残る。	大阪府泉佐野市
48-②	いろは蔵通り	未指定 (建造物)	船主たちが海岸沿いに建てた蔵群。沖中士が船待ち時に競った力石も残る。	大阪府泉佐野市
48-③	さいほうじ 西法寺	未指定 (建造物)	豪商・ めしのけ 食野家が建立した浄土真宗の菩提寺。船主専用の鼓楼門、奉納經典がある。	大阪府泉佐野市
48-④	かすがじんじゃ 春日神社	未指定 (建造物)	北前船の船主や商人が航海の安全を祈願して奉納した灯籠や こまいぬ 狛犬が残る神社。	大阪府泉佐野市
48-⑤	みょうじょうじほんしょう 妙浄寺梵鐘	市有形 (工芸)	豪商・ からかねけ 唐金家が航海の安全を祈願して奉納した鐘。	大阪府泉佐野市
48-⑥	さのうら 旧佐野浦の町並み	一部市有形 (建造物)	北前船の船主・商人により泉州一の賑わいをみせた旧佐野浦の町並み。商店街には めしのけ 食野家家紋を屋号にした商店も残る。	大阪府泉佐野市
48-⑦	の で ぼ ち 野出墓地	未指定・市有形 (彫刻)	北前船で財をなした豪商・ めしのけ 食野家や唐金家の墓所、寄港の目印となった の での さん まい まつ 「野出の三昧松」が現存する。	大阪府泉佐野市
48-⑧	めしのいっとう 食野一統資料群	未指定 (歴史資料)	豪商・食野・唐金・ やぐらけ 矢倉家たち（食野一統）が遺した古文書群。歴史館いずみさの所蔵。	大阪府泉佐野市
48-⑨	ぜんとくじ 禅徳寺船主資料群	市指定 (歴史資料)	めしのけ 豪商食野家が奉納した品々。仏像や船主の肖像画等がある。	大阪府泉佐野市
48-⑩	ふとん太鼓	未指定 (無形民俗)	北前船により、東瀬戸内地方や淡路島よりもたらされた飾り山車。豊漁・安全祈願として春日神社の夏祭りで使われる。	大阪府泉佐野市

ストーリーの構成文化財一覧表

48-⑪	佐野くどき（佐野踊り）	市指定 （無形民俗）	江戸時代、食野家の庭先で紀州藩主に披露したのが始まりの町場の口説節。船主「食野長者」の出世歌が語り継がれている。	大阪府泉佐野市
48-⑫	な か み じんじや ほうのう 奈加美神社 の 奉納 べんざいせん 弁財船	未指定 （歴史資料）	船主が中庄の奈加美神社に奉納した江戸期の北前船模型。	大阪府泉佐野市
48-⑬	とうみょうがだけ 燈明ヶ岳 (いぬなきさんしっぽう 犬鳴山七宝 りゅうじ 瀧寺)	府指定 （名勝）	燈明ヶ岳は、大阪湾を航行する船が方向を見立てる山であった。燈明ヶ岳を行場とする七宝瀧寺は食野家の寄進した石塔等が残る。	大阪府泉佐野市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
48-⑭	きゅうさといけていたく 旧里井家邸宅 きたしょうじていべつてい (北庄司邸別邸)	未指定 (建造物)	かいせんどんや 湊浦の廻船問屋であった里井家の邸宅。現在は日根野の北庄司邸別邸にその一部が移築されている。室内には南画家の日根対山の襖絵や障壁画が残る。	大阪府泉佐野市
48-⑮	さといけもんじょぐん 里井家文書群	未指定 (歴史資料)	かいせんどんや 湊浦の廻船問屋であった里井家に残る文書群。かいせん 廻船業の経営に関する文書や船手形、みほのせき みほのせき 三保関(美保関)の印のある 船 改切手などが残る。	大阪府泉佐野市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
49-①	お お た ぶ ぎょこう げんろく 大多府 漁港 元禄 ぼうはてい 防波堤	国登録有形	北前船をはじめ参勤交代の御座船や大型 かいせん 廻船が寄港する岡山藩公儀の港・大多府 港の防波堤	岡山県備前市
49-②	とうろうどう せきるい 灯籠堂の石塁	市指定 (記念物)	北前船をはじめ参勤交代の御座船や大型 かいせん 廻船が寄港する岡山藩公儀の港・大多府 港への道しるべの灯籠堂の石塁	岡山県備前市
49-③	お お い ど 大井戸	市指定 (記念物)	北前船をはじめ参勤交代の御座船や大型 かいせん 廻船が寄港する岡山藩公儀の港・大多府 港にある飲料水提供用の井戸	岡山県備前市
49-④	じんくろうけんしょう ひ 甚九郎顕彰碑	市指定 (記念物)	北前船で財をなした日生の廻船業者田淵 かいせん 屋末友甚九郎の碑	岡山県備前市
49-⑤	北前船の模型（備前 市加子浦歴史文化 館）	未指定	北前船やはしけの模型など	岡山県備前市
49-⑥	かたかみはっけい 片上八景 （ゑびすや荒木旅 館）	未指定	北前船が寄港し係留されている片上港近 辺の様子を描いた絵図	岡山県備前市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
50-①	きたまえぶねのぼりばた 北前船幟旗	未指定 (工芸品)	坂尻の船主家に伝わる船の幟旗。 55cm×313cm	福井県美浜町
50-②	こんびらじんじやのぼりばた 金毘羅神社幟旗	未指定 (工芸品)	坂尻の船主家の敷地内に祀られる金毘羅神社の幟旗。①と同じ船名入り	福井県美浜町
50-③	ふなえま 船絵馬	未指定 (工芸品)	久々子の船主が明治39年(1906)に大阪絵馬藤に描かせたもの。自身が歴代所有した3隻の船が並べて描かれている。	福井県美浜町
50-④	ふなだんす 船簞笥	未指定 (工芸品)	久々子の船主所蔵のもの。③と所蔵者同じ。	福井県美浜町
50-⑤	ほういじしん 方位磁針	未指定 (工芸品)	久々子の船主(③④と同じ)所蔵。「敦賀郡三島住 嘉道野利七藤原重道」の銘があり、敦賀の船頭から譲り受けたといわれている。	福井県美浜町
50-⑥	きたまえぶねかんれんもんじょ 北前船関連文書	未指定 (歴史資料)	美浜町久々子の船主所蔵。③～⑤と所蔵者同じ。海員名簿(明治36年～)、船舶運転士免状(明治31年)、門司税関の許可書等。	福井県美浜町
50-⑦	かいしんず 海深図	未指定 (歴史資料)	久々子の北前船主が所蔵していたもの。明治の大阪の銅版画家「響泉堂」「若林春水堂」等が作成したもの。③～⑥と所蔵者同じ。	福井県美浜町
50-⑧	さききじんじやござぶね 佐支神社御座船	未指定 (工芸品)	久々子の佐支神社に奉納された御座船。③～⑥の船主が神社改築の際に自身の船「宇波西丸」を模して作らせたもの。	福井県美浜町

ストーリーの構成文化財一覧表

50-⑨	せんめいふだ 船名札	未指定 (工芸品)	早瀬の船主所蔵のもの。同家の船が松前から島根・外の浦まで寄港していた記録がある。	福井県美浜町
50-⑩	かいじょうあんぜん き ふだ 海上安全木札	未指定 (工芸品)	早瀬の船主所蔵（⑤と同じ）。山形・龍澤山善宝寺のもの。	福井県美浜町
50-⑪	早瀬の町並み (早瀬第19号から21号)	未指定 (伝統的 建造物)	早瀬区は若狭湾に面し、近世の港町の区割りが残る。船主の屋敷や江戸末期建築の寺院、造り酒屋などの建築が見られる。	福井県美浜町
50-⑫	わたなべひろこ 渡辺弘子 ぬの え 布絵ミュージアム きたまえぶねしゅうぞうしりょう 北前船収蔵資料	未指定 (工芸品)	北前船主の子孫に伝わった古文書や船簞笥、方位磁針などの資料。	福井県美浜町

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
50-⑬	ひよしじんじゃ 日吉神社 ほうのう わ せん 奉納和船	未指定 (工芸品)	日吉神社は寄港地・船主集落 ^{せんしゅしゅうらく} として栄えた早瀬に所在する。船主たちからも信仰を集め、境内に北前船を模した模型船が安置されている。	福井県美浜町
50-⑭	ひよしじんじゃ 日吉神社 ひきやま みこし 曳山・神輿	未指定 (工芸品)	曳山・神輿は日吉社の祭事である子供歌舞伎(町指定文化財)・水無月祭でそれぞれ用いられ、曳山建造時の記録や神輿に祀られる神鏡に寄進者として船主や廻船問屋 ^{かいせんどんや} の名が記される。	福井県美浜町
50-⑮	はやせ く 早瀬区 じょうや とう 常夜灯	未指定 (工芸品)	早瀬区内の高台に祀られる石造の常夜灯は19世紀に建立されており、海上の船からの目印となっていた。	福井県美浜町
50-⑯	はやせ く もんじょ 早瀬区有文書	未指定 (歴史資料)	船改、水夫の申合せ書、出羽等の相場、難船記録など、180点を超える早瀬区内の文書群。	福井県美浜町
50-⑰	にゅうこんび ら じんじゃ 丹生金毘羅神社 え ま ぐん 船絵馬群	未指定 (工芸品)	若狭地方の海運業者の信仰を集めており、美浜町に寄贈された分も含めた船絵馬 ^{ふなえま} 、その他の絵馬等が奉納されている。	福井県美浜町

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
51-①	さんぼく ふなえま 山北地区の船絵馬 群 (宝蔵寺船絵馬ほか)	市指定 (歴史資料)	北前船の船乗りたちが航海の安全を祈願して各社寺に奉納した船絵馬群	新潟県村上市
51-②	かみかいふ ふなえま 上海府地区の船絵馬群 (早川寺船絵馬ほか)	未指定	北前船の船乗りたちが航海の安全を祈願して各社寺に奉納した船絵馬群	新潟県村上市
51-③	北前船係留杭跡	未指定	北前船を係留するために瀬波港 (三面川河口) で使用された杭跡	新潟県村上市
51-④	ひよりやま ほうがくいし 日和山と方角石	未指定	北前船の船乗りたちが出港前に日和を見た場所で、方角石が現存する	新潟県村上市
51-⑤	せなみ 瀬波の町並み (瀬波上町から瀬波浜町)	未指定	北前船が寄港する港町で村上城下の物資移送拠点としても栄えた瀬波町の町並み	新潟県村上市
51-⑥	せなみ 瀬波祭	未指定	北前船が寄港する港町として栄えた瀬波町にある西奈弥神社の祭りで、船を御神体として乗せた屋台が引き出される	新潟県村上市
51-⑦	ふなえま 八坂神社の船絵馬と和船 模型	一部市指定 (歴史資料)	北前船の船乗りたちが航海の安全を祈願して江戸時代後期から明治時代に八坂神社に奉納した船絵馬と和船模型	新潟県村上市
51-⑧	いわふねまつり 岩船祭	県指定 (無形民俗)	北前船が寄港する港町として栄えた岩船町にある石船神社 (いわふねじんじゃ) の祭りで、船を御神体として乗せた屋台が引き出される	新潟県村上市

ストーリーの構成文化財一覧表

51-⑨	ぼんだけ 伴田家資料	未指定	北前船が寄港する港町として栄えた いわふね 岩船町で江戸時代に庄屋を務めた伴田 家に伝わる港関係資料	新潟県村上市
51-⑩	いわふね 岩船の町並み (いわふね 岩船地蔵町からいわふね 岩船縦 新町)	未指定	北前船が寄港する港町として栄えた いわふね 岩船町の町並みで、港へ通じる狭い小 路が多く残る	新潟県村上市
51-⑪	しおや 塩谷の町並み (しおや 塩谷 1 区から 7 区)	未指定	北前船が寄港する港町として栄えた しおや 塩谷町の町並みで、通り沿いに切妻屋 根・妻入りの建物が並ぶ	新潟県村上市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
51-⑫	旧野澤 ^{とよごろう} 豊五郎醸造醤油蔵	国登録有形 (建造物)	^{しおや} 塩谷町で醸造業を営み、北前船で醤油を北海道へ販売していた野澤家の醸造蔵	新潟県村上市
51-⑬	^{しおや} 塩谷港絵図	市指定 (歴史資料)	北前船が寄港した ^{しおや} 塩谷港の江戸時代末期の様子を描いた絵図	新潟県村上市
51-⑭	野澤食品工業株式会社 店舗兼主屋	国登録有形 (建造物)	北前船が寄港する港町として栄えた ^{しおや} 塩谷で江戸時代に庄屋を務め、廻船業 ^{かいせん} や醸造業を営んでいた野澤家の主屋	新潟県村上市
51-⑮	稲荷山 (番所山)	未指定	北前船が寄港した ^{しおや} 塩谷港を管理する村上藩の番所が設置されていた場所	新潟県村上市
51-⑯	^{え び え} 海老江港跡	未指定	北前船が寄港した ^{え び え} 海老江港の跡	新潟県村上市
51-⑰	^{え び え} 海老江港関係資料	未指定	北前船が寄港した ^{え び え} 海老江港に関する江戸時代後期から明治時代の資料	新潟県村上市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
52-①	きんりょうざんさいだいじ 金陵山西大寺	市指定 (本堂)	北前船の拠点港であった兵庫随一の かいせんだんや 廻船問屋 北風家が祝主を務めた金陵 山西大寺会陽が開催されている寺院	岡山県岡山市
52-②	さいだいじ えよう 西大寺会陽	国無形民俗	北前船の拠点港であった兵庫随一の かいせんだんや 廻船問屋 北風家が祝主を務めた祭り	岡山県岡山市
52-③	きんりょうざんさいだいじ かのんのいん 金陵山西大寺観音院 かのうえいちよう え ま え よう ず 狩野永朝 絵馬会陽図	市指定 (絵画)	北前船の拠点港であった兵庫随一の かいせんだんや 廻船問屋 北風家が祝主を務めた西大 寺会陽が描かれた絵図	岡山県岡山市
52-④	うたがわ く に よし が び ぜ ん きん りょうざん 歌川国芳画 備前金陵山 さいだいじえようのず 西大寺會陽之図	未指定	北前船の拠点港であった兵庫随一の かいせんだんや 廻船問屋 北風家が祝主を務めた西大 寺会陽と各地の北前船寄港地の船が描 かれた絵図	岡山県岡山市
52-⑤	び ぜ ん 備前 きんりょうざんさいだいじえようのず 金陵山西大寺會陽之図	未指定	北前船の拠点港であった兵庫随一の かいせんだんや 廻船問屋 北風家が祝主を務めた西大 寺会陽と弁財船や高瀬舟が描かれた絵 図	岡山県岡山市
52-⑥	ほうらいしゆん 宝来春	未指定	西大寺会陽に合わせてふるまわれる、 昆布を使った澄まし雑煮	岡山県岡山市
52-⑦	コチめし	未指定	西大寺会陽宝木争奪前にはだか衆にふ るまわれる、昆布を使ったかけ汁とコ チのほぐし身をご飯にかけて食べる郷 土料理で、今でも祭りに食べられて いる	岡山県 岡山市

ストーリーの構成文化財一覧表

52-⑧	べざいせん もけい 弁財船 模型	未指定	北前船の拠点港であった兵庫随一の かいせんだんや 廻船問屋 北風家と取引をしていた丸 野幸吉郎が船主を務めた金幸丸の弁財 船模型	岡山県岡山市
52-⑨	ふなだんす 船簞笥	未指定	舟運に使われ、当地に残る簞笥	岡山県岡山市
52-⑩	ひきふだ 引札	未指定	北前船が描かれた、当地の清酒醸造元 の引札	岡山県岡山市
52-⑪	せんめいがく 船名額	未指定	かいせんだんや 当地の廻船問屋が所有していた廻船の かいせん 船名を記した額	岡山県岡山市
52-⑫	よしいがわえんがんじょうやとうぐん 吉井川沿岸常夜燈群	—	北前船の航行、また高瀬舟の吉井川舟 運の安全のための目印となった常夜燈 じょうやとう のうち 9 基	岡山県 岡山市
52- ⑫- 1	きゅうくばんこうじょうやとう 旧九幡港常夜燈	県近代化遺産	設置時期：幕末～明治初期（推定） 設置場所（予定）：岡山市東区九幡※ 現在、九幡地区の高潮・耐震対策工事 のため同常夜燈は解体保存中であり、 令和 7 年度中に復旧設置予定	岡山県 岡山市
52- ⑫- 2	くばんじょうやとう 九幡常夜燈	未指定	設置時期：明治 6 年（1873 年） 設置場所：岡山市東区九幡	岡山県 岡山市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
52- ⑫-3	じゅうばんじょうやとう 十 番 常 夜 燈	未指定	設置時期：寛政 6 年（1794 年） 設置場所：岡山市東区九幡 対岸の乙子常夜燈と対で機能し、吉井川の航行の安全、乙子渡しの目印ともされていた	岡山県 岡山市
52- ⑫-4	かなおかみなとじょうやとう 金 岡 湊 常 夜 燈	未指定	設置時期：文化 2 年（1805 年） 設置場所：岡山市東区金岡東町 江戸時代から昭和初期まで蔵元のあった金岡湊は高瀬舟の寄港によっても賑わった	岡山県 岡山市
52- ⑫-5	さいだいじじょうやとう 西 大 寺 常 夜 燈	未指定	設置時期：嘉永 3 年（1850 年） 設置場所：岡山市東区西大寺中	岡山県 岡山市
52- ⑫-6	ごおうしょでんじょうやとう 牛 玉 所 殿 常 夜 燈 (2 基)	未指定	設置時期：天明 4 年（1784 年） 設置場所：岡山市東区西大寺中 現在は、明治 13 年に創建された金陵山西大寺牛玉所殿の入口に 2 基が対で設置されている	岡山県 岡山市
52- ⑫-7	おとごじょうやとう 乙 子 常 夜 燈	県近代化遺産	設置時期：明治 7 年（1874 年） 設置場所：岡山市東区乙子 対岸の十番常夜燈と対で機能し、吉井川の航行の安全、乙子渡しの目印ともされていた	岡山県 岡山市
52- ⑫-8	こうもとちょうじょうやとう 河 本 町 常 夜 燈	未指定	設置時期：天保 7 年（1836 年） 設置場所：岡山市東区西大寺東	岡山県 岡山市

構成文化財の写真一覧

1-① 函館山



1-④ 高田屋本店跡



1-② 箱館奉行所跡



1-⑤ 厳島神社



1-③ 高田屋敷跡



構成文化財の写真一覧

2-① 福山波止場



2-④ 松本家土蔵及び松本家資料



2-② 沖口役所跡



2-⑤ 福山城下町遺跡



2-③ 松前屏風



構成文化財の写真一覧

2-⑥ 龍雲院



2-⑨ 難船図絵馬



2-⑦ 松前藩主松前家墓所



2-⑩ 松前祇園ばやし



2-⑧ 松前沖揚げ音頭



構成文化財の写真一覧

3-① 日和山



3-③ 尾崎酒造酒蔵



3-② 城の下の荷揚げ場跡



3-④ 丸二塩屋資料



3-⑤ 鯨ヶ沢町絵図



構成文化財の写真一覧

3-⑥ 正調鯨ヶ沢甚句



3-⑨ 白八幡宮玉垣



3-⑦ 鯨ヶ沢白八幡宮の大祭行事



3-⑩ 白八幡宮御神灯



3-⑧ 白八幡宮絵馬群



3-⑪ 常灯碑



構成文化財の写真一覧

3-⑫ 願行寺



3-⑬ 来生寺



3-⑭ 鯨餅



構成文化財の写真一覧

4-① 日和見山跡



4-④ 岩崎武甕槌神社船絵馬



4-② 円覚寺奉納海上信仰資料



4-⑤ 春日神社「鮫漁絵額」



4-③ 円覚寺宝篋印塔



4-⑥ 港の一本杭



構成文化財の写真一覧

4-⑦ 岩崎武甕槌神社石鳥居



4-⑨ 鳥居崎



4-⑧ 行合崎



構成文化財の写真一覧

5-① 高清水公園の五輪塔



5-② 秋田街道絵巻



5-③ 秋田風俗絵巻



構成文化財の写真一覧

5-④ 金刀比羅神社狛犬



5-⑦ 大正寺おけさ



5-⑤ 寶塔寺石造り五重塔



5-⑧ 昆布の手すき加工技術



5-⑥ 土崎神明社祭の曳山行事



構成文化財の写真一覧

6-① 日和山公園



6-④ 山王くらぶ



6-② 旧鎧屋



6-⑤ 相馬屋主屋



6-③ 本間家本邸



6-⑥ 本間氏別邸庭園(鶴舞園)



構成文化財の写真一覧

6-⑦ 塞道絵幕（大壽和里大祭事）－酒井侯御安堵祝宴－



6-⑧ 酒田山王祭祭礼用亀笠鉾



6-⑩ 雛めぐり



6-⑨ 酒田袖之浦・小屋之浜之図



6-⑪ 山居倉庫



構成文化財の写真一覧

7-① 日和山



7-④ 旧小澤家住宅



7-⑤ 日本舞踊市山流 (古町芸妓)



7-② 旧齋藤家別邸



7-⑥ 湊稲荷神社願懸け高麗犬



7-③ 燕喜館



7-⑦ 新潟まつり (湊祭・住吉祭)



構成文化財の写真一覧

7-⑧ 新潟奉行川村修就関係資料



7-⑪ 金刀比羅神社奉納模型和船



7-⑨ 大船絵馬



7-⑩ 金刀比羅神社難船彫刻絵馬



構成文化財の写真一覧

8-① 寺泊港の集落



8-③ 聖徳寺庭園



8-② 寺泊おけさ



8-④ 白山媛神社船絵馬



構成文化財の写真一覧

9-① 加賀市加賀橋立伝統的建造物群
保存地区



9-④ 忠谷家住宅



9-② 旧酒谷長兵衛家住宅



9-⑤ 三国仏壇（冬仏壇 夏仏壇）
附仏具類一式



9-③ 旧北前船主屋敷蔵六園（旧酒谷長一
郎家住宅）



9-⑥ 瀬越町白山神社所蔵船絵馬



構成文化財の写真一覧

9-⑦ 出水神社



9-⑩ 北前船主関連古文書群



9-⑧ 福井別院 橋立支院



9-⑪ 北前船の里資料館所蔵の北前船関係資料



9-⑨ 山中節



構成文化財の写真一覧

10-① 旧鯉蔵



10-④ 疋田舟川



10-② 洲崎の高燈籠



10-⑤ 敦賀のおぼろ昆布製造技術



10-③ 旧大和田銀行本店社屋



10-⑥ 船絵馬群

(八幡神社 北前船図絵馬ほか)



構成文化財の写真一覧

10-⑦常宮神社奉納物



10-⑩氣比神宮例祭の山車



10-⑧氣比神宮大鳥居扁額



10-⑨船中掟心得書



構成文化財の写真一覧

10-⑪-a 西福寺御影堂（外観）



10-⑪-b 西福寺御影堂（内部・外観）



10-⑪-c 西福寺御影堂（内部・須弥壇）



10-⑫-a 今村公龍筆「松に蔦紅葉図屏風」 （全景）



10-⑫-b 今村公龍筆「松に蔦紅葉図屏風」
（右隻）



10-⑫-c 今村公龍筆「松に蔦紅葉図
（左隻）



構成文化財の写真一覧

10-⑫-d 今村公寵筆「松に蔦紅葉図屏風」
(屏風裏面 諸国精志人名記)



10-⑫-e 今村公寵筆「松に蔦紅葉図屏風 (両隻)

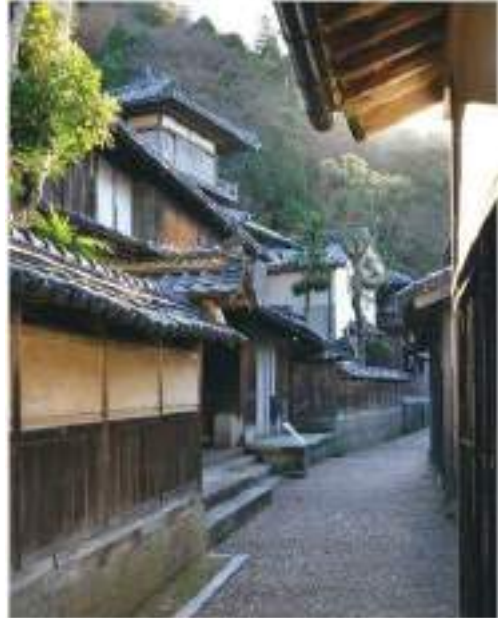


構成文化財の写真一覧

11-① 右近家住宅



11-③ 中村家住宅



11-② 旧右近家住宅 西洋館



11-④ 船絵馬仁恵丸



構成文化財の写真一覧

12-① 日和山



12-④ 住吉神社奉納物（第一鳥居ほか）



12-② 旧北浜地区倉庫群（旧大家倉庫ほか）



12-⑤ 船絵馬群（龍徳寺金比羅殿ほか）



12-③ 旧魁陽亭



12-⑥ 北前船関係古写真



構成文化財の写真一覧

12-⑦ 西川家文書



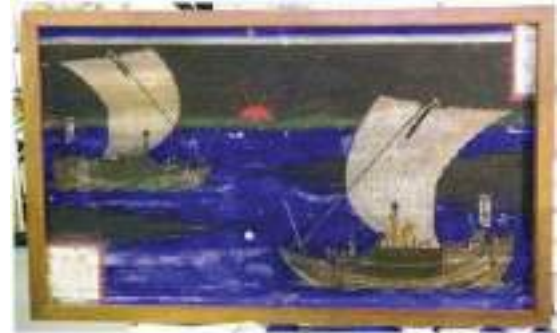
構成文化財の写真一覧

ながの
13-① 旧長野商店



あつた

13-④ 厚田神社船絵馬



かつほうきんだいてい
13-② 割烹金大亭



はちまん
13-⑤ 石狩八幡神社鳥居



こたん
13-③ 古潭神社御神輿



べんてんしゃこまいぬ
13-⑥ 石狩弁天社狛犬



構成文化財の写真一覧

- 13-⑦ しらとり 旧白鳥番屋
(石狩市はまます郷土資料館)



- 13-⑧ はまます おき あ 浜益沖揚げ音頭



構成文化財の写真一覧

14-① 浜町の常夜燈



14-④ 北前船関係資料群



14-② 末社金刀比羅宮本殿



14-⑤ 北前船船乗りの墓及び擬宝珠



14-③ 旧野村家住宅離れ（行在所）蔵付き



14-⑥ 北前船が運んだ石造物



構成文化財の写真一覧

14-⑦ のへじ祇園まつり



14-⑧ 河原決明の茶がゆ



構成文化財の写真一覧

15-① 象潟郷土資料館北前船関係資料
(紙本着色象潟図屏風)



15-② 由利南部海岸図



15-③ 沖の棒杭



15-④ 塩越湊周辺の船絵馬群



構成文化財の写真一覧

15-⑤ 金刀比羅神社のまげ絵馬



15-⑦ 飛良泉本舗



15-⑧ 高昌寺弁天丸



15-⑥ 日枝神社の山王鳥居と山王猿像



15-⑨ にかほ市内の方角石

15-⑨-1 沖の島方角石



構成文化財の写真一覧

15-⑨-2 丁刃森方角石



15-⑨-3 恵比寿森方角石



15-⑨-4 三王森方角石



構成文化財の写真一覧

16-① 田沼家土蔵



16-④ 海難慰霊碑



16-② 船鑑札



16-⑤ 双六の船絵馬



16-③ 真山神社五社殿



16-⑥ 船川節



構成文化財の写真一覧

16-⑦ 鈴木重孝自筆本「絹飾」



16-⑧ 碇



構成文化財の写真一覧

17-① 八幡神社御神燈



17-④ 恵比須神社船絵馬



17-② 日和山（日和山方角石）



17-⑤ 能代舟唄



17-③ 光久寺（挽き臼の墓）



17-⑥ 能代風（べらぼう風）



構成文化財の写真一覧

18-① 古雪の町並み



18-④ 石脇湊の御番所跡（大渡口御番所跡）



18-② 新山（日和山）
（本荘漁港（旧古雪湊）から見た新山）



18-⑤ 石脇絵図



18-③ 新山神社奉納物



18-⑥ 石脇の町並みさいや（齋彌酒造店付近）



構成文化財の写真一覧

18-⑦ 稲荷神社



18-⑩ 松ヶ崎八幡神社石製狛犬



18-⑧ 石脇さんぶつ



18-⑪ 本荘郷土資料館資料群

(旧金比羅神社の鬼瓦及びびへう書き部分)



18-⑨ 本荘八幡神社奉納物



18-⑫ 宮下神社の船絵馬 (市内最古)



構成文化財の写真一覧

19-① 清九郎家



19-④ 木崎神社 (本殿)



19-② 三角家



19-⑤ 舟つなぎ石



19-③ 宿根木白山神社 (石鳥居)



19-⑥ 念仏橋及び石橋



構成文化財の写真一覧

19-⑦ 小木湊古絵図



19-⑧ 佐渡の大神楽舞楽

(宿根木 大蛇太夫)



19-⑨ 佐渡市宿根木伝統的建造物群保存地区



19-⑩ 佐渡市小木町伝統的建造物群保存地区



構成文化財の写真一覧

20-① 米山



20-④ 直江津の海上信仰資料（船絵馬）



20-② 直江津の町並み



20-⑤ 北前船関連資料



20-③ 旧直江津銀行



構成文化財の写真一覧

20-⑥ 住吉神社奉納物



20-⑨ 直江津・高田祇園祭の御旅所行事と
屋台巡行



20-⑩ 米大舟



20-⑦ 金刀比羅神社石灯籠



20-⑪ 直江津舟方節



20-⑧ 八坂神社



構成文化財の写真一覧

21-① 旧森家住宅



21-④ 岩瀬まだら



21-② 旧馬場家住宅



21-③ 西岩瀬諏訪社の大けやき



構成文化財の写真一覧

22-① 旧秋元家住宅



22-④ 伏木神社春季例大祭の祭礼行事



22-② 旧伏木側候所庁舎・測風塔



22-⑤ 伏木帆柱起し祝唄



22-③ 伏木神社



22-⑥ 勝興寺唐門



構成文化財の写真一覧

22-⑦ 吉久重要伝統的建造物群保存地区



22-⑧ 菅野家住宅



22-⑨ 高岡鋳物の製作用具及び製品



構成文化財の写真一覧

23-① 輪島市黒島伝統的建造物群保存地区



23-④ 北前船絵馬群



23-② 旧角海家住宅



23-⑤ イナウ奉納額



23-③ 黒島天領祭



23-⑥ 住吉神社石造鳥居



構成文化財の写真一覧

23-⑦ 日和山の方角石



23-⑧ 能登のまだら



構成文化財の写真一覧

24-① 安宅住吉神社



24-③ 沖家



24-② 長沖 金剛



24-④ 瀬戸家



24-② 長沖 蔵



24-⑤ 旧米谷銀行 (吉祥庵)



構成文化財の写真一覧

24-⑥ 河道跡



24-⑧ 起舟祭



24-⑥ 河道跡



24-⑨ 安宅まつり



24-⑦ 安宅住吉神社船絵馬



構成文化財の写真一覧

25-① 旧岸名家住宅



25-④ 三國神社隨身門



25-② 魚志楼 (松崎家住宅)



25-⑤ 新保春日神社



25-③ 瀧谷寺



25-⑥ 大湊神社



構成文化財の写真一覧

25-⑦ 三国港（旧阪井港）突堤



25-⑩ 北前船船絵馬群



25-⑧ 日和山



25-⑪ 三国浦絵図



25-⑨ 北前船古文書群



25-⑫ 越前三国湊風景之図



構成文化財の写真一覧

25-⑬ 三国仏壇



25-⑯ 三國神社例大祭（三国祭）と山車屋台



25-⑰ なんぼや踊り唄



25-⑭ 三国筆筒（船筆筒）



25-⑱ いざき



25-⑮ 笏谷石関連古文書群



25-⑲ 三国節



構成文化財の写真一覧

26-① 古河屋別邸・庭園



26-④ 旧旭座



26-② 旧料亭酔月



26-⑤ 八幡神社



26-③ 旧料亭蓬嶋楼



26-⑥ 広嶺神社



構成文化財の写真一覧

26-⑦ 宗像神社



26-⑩ 奉納船と神体船



26-⑧ 旧小浜港の文化的景観



26-⑪ 北前船古文書群



26-⑨ 若狭瓦だるま窯



構成文化財の写真一覧

27-① 旧三上家住宅



27-② 日吉神社



27-④ 由良金毘羅神社



27-③ 和貴宮神社の玉垣



27-⑤ 新浜の町並み（花街）



構成文化財の写真一覧

27-⑥ 由良の船絵馬群



27-⑨ 宮津おどり



27-⑦ 三上家文書



27-⑧ 加藤家文書



構成文化財の写真一覧

28-① 住吉大社



28-② 住吉大社の石灯籠群



構成文化財の写真一覧

29-① 神戸大学海事博物館北前船収蔵資料



29-④ 高田屋嘉兵衛献上灯籠



29-② 敏馬神社「弁財船絵馬」



29-⑤ 苦楽松右衛門の墓



29-③ 神戸海洋博物館北前船収蔵資料



29-⑥ 高田屋嘉兵衛本店跡地



構成文化財の写真一覧

29-⑦ 舞子延命地蔵



29-⑦ 舞子延命地蔵玉垣



構成文化財の写真一覧

30-① 工楽松右衛門旧宅



30-④ 常夜灯 (高砂神社)



30-② 高砂堀川遺跡



30-③ 高砂地区歴史的景観形成地区



構成文化財の写真一覧

31-① 日和山



31-④ 東藤田家母屋



31-② 為世永神社



31-⑤ 中藤田家母屋



31-③ 諸谷山龍満寺



31-⑥ 道盛家母屋



構成文化財の写真一覧

31-⑦ 北前船係留杭跡



31-⑨ 為世永神社船絵馬



31-⑧ 為世永神社例祭



31-⑩ 北前船航路図



31-⑪ 北前船船名額



構成文化財の写真一覧

32-① 坂越の町並み



32-④ 黒崎墓所



32-② 旧坂越浦会所



32-⑤ 生島



32-③ 大避神社



32-⑥ 船賃銀定法



構成文化財の写真一覧

32-⑦ 坂越の船祭



構成文化財の写真一覧

33-① 都志八幡神社奉納物



33-② 高田屋嘉兵衛邸宅跡



33-③ 都志の町並み



33-④ 高田屋関連資料群



33-⑤ 都志八幡神社御船歌



構成文化財の写真一覧

34-① 賀露神社



34-③-2 賀露神社春季祭礼行事



34-② 因州高草郡加露港絵図



34-④ 上小路神社



34-③-1 賀露神社春季祭礼行事



34-⑤ 賀露港の町割り



構成文化財の写真一覧

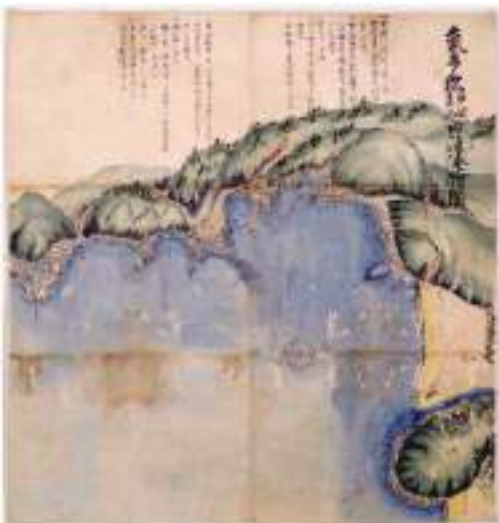
34-⑥ 鳥ヶ島



34-⑨ 芦崎の町並み



34-⑦ 鳥取県立博物館所蔵 気多郡芦崎夏泊両浦湊絵図



34-⑩ 津出し路地



34-⑧ 湊神社の奉納物



構成文化財の写真一覧

35-① 外ノ浦の町並み



35-④ 諸国御客船帳



35-② 日和山方角石



35-③ 自唐鐘浦至長浜浦海岸絵図



構成文化財の写真一覧

36-① 下津井町並み保存地区



36-④ 祇園神社の奉納物



36-② 旧荻野家母屋・練蔵
(むかし下津井回船問屋)



36-⑤ 下津井祇園文書



36-③ 下津井節



36-⑥ 旧野崎家住宅



構成文化財の写真一覧

36-⑦ 旧野崎浜灯明台



36-⑩ 羽黒神社の奉納物



36-⑧ 玉島町並み保存地区



36-⑨ 旧柚木家住宅（西爽亭）



構成文化財の写真一覧

37-① 港町尾道の町並み



37-④ 厳島神社の玉乗り狛犬



37-② 浄土寺（船絵馬）



37-⑤-1 尾道浦絵屏風



37-⑤-2 尾道浦絵屏風（部分拡大）



37-③ 住吉神社（尾道）の奉納物



37-⑥ 瀬戸田の町並み（堀内家塩蔵）



構成文化財の写真一覧

37-⑦-1 旧大浜埼通航潮流信号所施設全景



37-⑦-4 昼間潮流信号機



37-⑦-2 大浜埼灯台



37-⑦-5 検潮器浪除塔



37-⑦-3 通航信号塔



構成文化財の写真一覧

38-① 呉市豊町御手洗伝統的建造物群
保存地区



38-④ 恵美須神社



38-② 若胡子屋跡



38-⑤ 千砂子波止と高燈籠



38-③ 住吉神社



構成文化財の写真一覧

39-① 加茂港周辺の町並み



39-③ 浄禅寺の釣鐘と山門（写真は山門）



39-② 石名坂家住宅母屋・蔵



39-④ 善寶寺五百羅漢堂と燈籠群
（写真は寄進された堂内の羅漢像）



39-③ 浄禅寺の釣鐘と山門（写真は釣鐘）



39-④ 善寶寺五百羅漢堂と燈籠群（写真は燈籠）



構成文化財の写真一覧

39-⑤ 致道博物館所蔵の北前船関連資料群
(写真は船舶模型)



39-⑧ 龍宮寺の本堂と水舟 (写真は本堂屋根瓦)



39-⑥ 春日神社の船絵馬群と狛犬 (写真は船絵馬)



39-⑨ 少林寺の山門



39-⑦ 郷土資料館所蔵の北前船関連資料群
(写真は往来帳及び御客簿)



39-⑩ 加茂坂峠道



構成文化財の写真一覧

39-⑪ 雛人形・雛菓子（荘内神社所蔵、加茂秋
野善助家の雛人形）



39-⑪ 雛人形・雛菓子



構成文化財の写真一覧

40-① 妻入りの街並



40-④ 艦旗



40-② 旧泊屋



40-⑤ 天領の里時代館北前船收藏資料



40 - ③ 船絵馬群



40-⑥ 出雲崎おけさ



構成文化財の写真一覧

40-⑦ お船歌



40-⑧ 舟つなぎ石



構成文化財の写真一覧

41-① 銭屋五兵衛家 年々留附留帳



41-④ 観田家住宅・主屋・西塀・西蔵



41-② 専長寺 松帆櫓



41-⑤ 金石こまちなみ保存区域



41-③ 中山家関係資料



41-⑥ 大野湊神社関係資料（大絵馬・部分）



構成文化財の写真一覧

41-⑦ 本龍寺 鐘樓



41-⑩ 大野こまちなみ保存区域



41-⑧ 栗崎八幡神社 奉納絵馬額面



41-⑨ 紙本著色蓮湖真景之図



構成文化財の写真一覧

42-① 浜の宮天満宮の神牛



42-④ 正法寺の唐戸



42-② 湛保



42-⑤ 九所御霊天神社の玉垣



42-③ 中島家住宅



42-⑥ 北前船古文書群



構成文化財の写真一覧

43-① 室津の町並み



43-④ もやい石



43-② 室津海駅館



43-⑤ 日和山



43-③ 石仏



構成文化財の写真一覧

44-① 旧塩田家（煙草屋）土蔵



44-④ 金刀比羅神社（須賀の金毘羅さん）



44-② 合田家住宅（島屋）



44-⑤ 巖島神社



44-③ 旧朝日屋旅館（竹田家住宅）



44-⑥ 白鬚神社



構成文化財の写真一覧

44-⑦ 恵比須神社



44-⑩ 多度津港



44-⑧ 金毘羅鳥居



44-⑪ 東浜・西浜・本通の町並み



44-⑨ 金毘羅燈籠群



44-⑫ 多度津町立資料館北前船関連資料群



構成文化財の写真一覧

45-① 竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区



45-③ 常夜灯群



45-② 旧吉井家住宅



45-④ 市立竹原書院図書館資料群



45-⑤ しほんちゃくしよくたけはら え びょうぶ
紙本著色竹原絵屏風



構成文化財の写真一覧

46-① 藤塚神社



46-④ おかえり祭り



46-② 藤塚神社奉納物



46-⑤ 美川仏壇



46-③ 御酒



46-⑥ ふぐの卵巣の糠漬



構成文化財の写真一覧

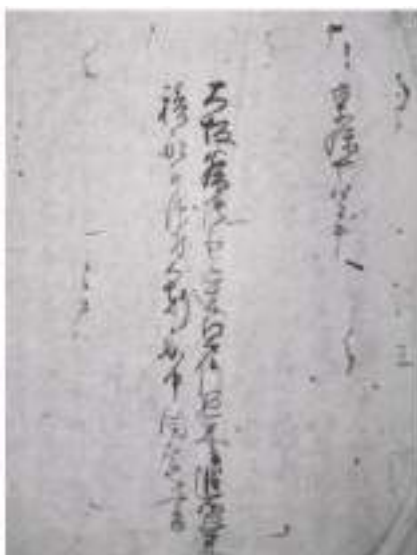
46-⑦ 石川ルーツ交流館
北前船関係資料



46-⑧ 今湊神社



46-⑨ 呉竹文庫所蔵資料



構成文化財の写真一覧

47-① 旧福浦灯台



47-④ 北前船関連資料群



47-② 日和山



47-⑤ 奉納船絵馬群



47-③ 方角石（石造方位盤）



47-⑥ めぐり（繫船孔）



構成文化財の写真一覧

47-⑦ 福浦祭り



構成文化財の写真一覧

48-① 食野家邸宅跡



48-④ 春日神社



48-② いろは蔵通り



48-⑤ 妙浄寺梵鐘



48-③ 西法寺



48-⑥ 旧佐野浦の町並み



構成文化財の写真一覧

48-⑦ 野出墓地



48-⑩ ふとん太鼓



48-⑪ 佐野くどき (佐野踊り)



48-⑧ 食野一統資料群



48-⑫ 奈加美神社の奉納弁財船



48-⑨ 禅徳寺船主資料群



48-⑬ 燈明ヶ岳 (犬鳴山七宝瀧寺)



構成文化財の写真一覧

48-⑭ 旧里井家邸宅(北庄司邸別邸)



48-⑮ 里井家文書群



構成文化財の写真一覧

49-① 大多府漁港元禄防波堤



49-② 灯籠堂の石塁



49-③ 大井戸



49-④ 甚九郎顕彰碑



49-⑤ 北前船の模型（加子浦歴史文化館）



49-⑥a 片上八景（ゑびすや荒木旅館）



49-⑥b 片上八景（北前船拡大写真）



構成文化財の写真一覧

50-①北前船幟旗



50-③船絵馬



50-④ 船筆筒



50-②金毘羅神社幟旗



50-⑤ 方位磁針



50-⑥ 北前船関連文書



構成文化財の写真一覧

50-⑦ 海深図



50-⑩ 海上安全木札



50-⑧
佐支神社御座船



50-⑪
早瀬の町並み



50-⑨ 船名札



50-⑫a 渡辺弘子布絵ミュージアム
北前船収蔵資料 船往来



構成文化財の写真一覧

50-⑫b 船簞笥



50-⑭b 水無月祭・神輿



50-⑮ 早瀬区 常夜灯



50-⑬ 日吉神社 奉納和船



50-⑭a 日吉神社 曳山・神輿
子供歌舞伎・曳山



50-⑯ 早瀬区有文書
船大御改二付船持人別帳



構成文化財の写真一覧

50-⑯b 仲間申合一札之事

(博奕・酔狂二付廻船仲間約定)



50-⑰ 丹生金毘羅神社 船絵馬群



構成文化財の写真一覧

51-① 山北地区の船絵馬群



51-④a 日和山と方角石



51-② 上海府地区の船絵馬群



51-④b 日和山と方角石



51-③ 北前船係留杭跡



51-⑤ 瀬波の町並み



構成文化財の写真一覧

51-⑥ 瀬波祭



51-⑧ 岩船祭



51-⑦a 八坂神社の船絵馬と和船模型



51-⑨ 伴田家資料



51-⑦b 八坂神社の船絵馬と和船模型



51-⑩ 岩船の町並み



構成文化財の写真一覧

51-⑪ 塩谷の町並み



51-⑭ 野澤食品工業株式会社店舗兼主屋



51-⑫ 旧野澤豊五郎醸造醤油蔵



51-⑮a 稻荷山（番所山）



51-⑬ 塩谷港絵図



51-⑮b 稻荷山から見た塩谷の町並み



構成文化財の写真一覧

51-⑯ 海老江港跡



51-⑰ 海老江港関係資料



構成文化財の写真一覧

52-①金陵山西大寺



52-④歌川国芳画備前金陵山西大寺會陽之図



52-②西大寺会陽



52-⑤備前金陵山西大寺會陽之図



52-③金陵山西大寺観音院狩野永朝絵馬会陽図



52-⑥宝来春



構成文化財の写真一覧

52-⑦コチめし



52-⑩引札



52-⑧弁財船 模型



52-⑪船名額



52-⑨船筆筒



52-⑫ 吉井川沿岸常夜燈群

52-⑫-1 旧九幡港常夜燈 (移設前)



構成文化財の写真一覧

52-⑫-1 旧九幡港常夜燈（移設後の計画写真／令和7年度末移設予定）



52-⑫-2 九幡常夜燈



52-⑫-3 十番常夜燈



52-⑫-4 金岡湊常夜燈



52-⑫-5 西大寺常夜燈



52-⑫-6 牛玉所殿常夜燈



構成文化財の写真一覧

52-⑫-7 乙子常夜燈



52-⑫-8 河本町常夜燈



日本遺産を通じた地域活性化計画

認定番号	日本遺産のタイトル
39	荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～

(1) 将来像 (ビジョン)

これまでの経緯

「北前船」を通じた地域間連携は、2007年から自治体や企業が「北前船フォーラム」を各地で開催してきたことから始まり、2017年の日本遺産認定につながる。

日本遺産認定を機に、北前船フォーラムに参画してきた認定11市町で、北前船日本遺産推進協議会（以下「協議会」という）を設立した。

あわせて、同フォーラムをサポートしてきた民間企業が連携し、北前船交流拡大機構（以下「機構」という）を立ち上げた。

この6年間で認定自治体を増やし活動の幅を広げてきたことから、協議会と機構を含む民間とで連携した取り組みを更に進め、事業の質をより高めていく。

※参考：協議会と民間が連携して実施してきた事業例

●観光事業化・物産振興

- ・「北前船寄港地の周遊ルート」旅行商品の造成・販売
- ・石川県加賀市「加賀橋立北前船ツーリズム」
- ・海外インバウンド交流機会の創出会議（日中11都市交流）
- ・海外との「北前船日本遺産オンライン商談会」（台湾、タイ、豪州と認定自治体）
- ・「北前船ブランドショップ」開店（東京交通会館）
- ・寄港地観光物産プロモーション（羽田空港、高槻松坂屋、銀座駅、東京交通会館）

●普及啓発

- ・「北前船こども交流プロジェクト（日本財団公募プロジェクト）」

●情報編集・発信

- ・北前船寄港地フォーラム

目指す姿

北前船の寄港地・船主集落は各々が北前船とのかかわり方によって異なる歴史情緒を持ち、『各々の自治体が、他の日本遺産構成自治体内のみならず北前船寄港地・船主集落内においても他の「歴史の息づく町」とは違う趣を持つ』ことを特徴としている。それは他の地域との比較や組み合わせで、より明確に発揮される特徴である。

よって本計画をベースに、認定自治体が各々の特徴を磨き上げ、複数の地域の組み合わせや連携の工夫で、他の地域とは異なりかつ一つの地域だけでは実現できない価値を創出する。それらを北前船のストーリーと共に国内外に発信するとともに、観光誘客や物産振興に主体的に取り組んでいく状態を目指す。

北前船によって現代に受け継がれてきたモノと北前船との関係を見える状態にできれば、それらが地域の人々の頭の中で結びつく。それを契機に地域住民あるいは事業者がその価値を再認識し「北前船ストーリー」を身近に感じ、さらにその奥深さに触れ自らその歴史や背景を学ぶことで、地域外の人々や観光客に「北前船とは何か、とその魅力」について発信することができるようになる。観光や特産品を通じた地域住民との交流で、来訪者は「北前船の存在と荒波の海に人生を賭けた先人達の生き様」を知り、その残した町並みや今に受け継がれる様々な文化に触れる。その来訪者のサポートを通じて、地域住民や事業者が「わがまちに住むこと」に誇りと愛着を持つことにつなげる。

取り組みごとの展開

■ブロック毎の協議会活動を本格化

日本遺産を活用した交流人口の拡大・観光誘客等について、協議会が取りまとめたの実施では十分には行き届かないところがあり、また一つの市町の活動では限界もあることから、周辺の市町が連携して活動するニーズが高まってきた。

この流れを受け、2022年から始めた「エリア毎に5つのブロックに分けての活動」を本格化していく。また、他ブロックとの連携も含め対象エリアに縛られない柔軟な取り組みも実施していく。あわせて先進的な取り組みの情報やデータを見える化し、タイムリーに共有・横展開することでパフォーマンスの底上げを目指す。

また、ブロック内をとりまとめるリーダーの役割をブロック内での持ち回りで運営し、将来的に全ての自治体がブロックリーダーを経験し、日本遺産に対して主体的に向き合い活動していく状態になることを目指す。

■機構を含む民間との連携

機構には、北前船寄港地フォーラムの開催、観光誘客、物産振興といった、これまでの活動で築いてきた実績や知見、人脈も含めた連携のネットワーク基盤があり、協議会がそれらを活用できたことが日本遺産北前船の認知度向上に大きく貢献した。引き続き、機構と二人三脚で進めていく。

また情報発信の場としての北前船フォーラム開催数は2022年度末で32回を数え、各地域の普及啓発にも貢献してきた。

さらに情報編集・発信は民間の協力のもと、構成文化財がどこに何があるのかを一元的に管理している。こうして全国各地で共有し誰もがアクセスできる環境を整え、観光誘客や物産振興、普及啓発や人材育成にも幅広く活用してきた。今後は、SNS等の活用方法も含め、より高いレベルでタイムリーかつコスト効率の良い情報編集・発信を目指す。

■特徴の磨き上げ、地域の組み合わせや連携の工夫

北前船ストーリーから派生する多種多様な有形無形の文化や様々な商品は各地に特徴をもたせた。これらの事・物をテーマにサブストーリーを抽出し、活用する。

地域に親和性のあるサブストーリーは地域の人々の頭の中で結びつきやすく、そのテーマに興味がある層に訴求することで来訪する地域に選んでもらうことにつなげる。

(2) 地域活性化計画における目標

※各目標に対し、複数の指標を設定可

目標①：地域住民や国内外からの来訪者が日本遺産のストーリーに触れ、その魅力を体験すること						
指標①－A：北前船日本遺産関連施設への観光客入館者数（単位：人）						
年度	実績			目標		
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
数値	436,312	296,387	430,283	550,000	600,000	650,000
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	・圏域内外の来訪者が北前船ストーリーとその寄港地としての歴史や歩みに触れることができる施設であること。					
	・かつ入館者数が把握可能な施設であること。					
	・地域の偏りが生じないように、各ブロックから2施設ずつ 計10施設を選定とする。					
	・自治体や施設からの入館者数報告を集計する。					
	・コロナ禍前の2019年度（596,150人）を基準とし、2024年度に上回る目標とする。					
	ブロック	日本遺産関連施設				
	北海道・青森	小樽市総合博物館（小樽市） 道の駅 松前 北前船（松前町）				
	東北・新潟	旧齋藤家別邸（新潟市） 佐渡国小木民族博物館・千石船（佐渡市）				
	北陸	北前船廻船問屋森家（富山市） 北前船の里資料館（加賀市）				
関西	御食国若狭おばま食文化館（小浜市） 工楽松右衛門旧宅（高砂市）					
中国・四国	尾道美術館（尾道市） むかし下津井廻船問屋（倉敷市）					
・合わせて、北前船データベースでの紹介や北前船旅行商品への組み込み等も行い、入館数の目標達成の一助とする。						

目標②：地域において日本遺産のストーリーが誇りに思われること						
指標②－A：自治体住民アンケート「まちに住みたい」と感じる住民の割合（単位：％）						
年度	実績			目標		
	2020	2021	2022	2023	2024	2025

数値	70	70	68	70	73	75
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	・2017 年度策定の地域活性化計画の目標「まちに住み続けたい」と感じる住民の割合を目標として継続することで、推移を把握する。 ・「地域において日本遺産のストーリーが誇りに思われる」割合を把握するにあたり、シリアル型において、各自治体の住民アンケートで把握できる項目として最も妥当であることから、目標値とする。 ・アンケート結果の平均値を算出する。 ・これまで 70%で推移しているところから、目標値は最終年度で 75%まで伸ばすことを目指す。					

目標②：地域において日本遺産のストーリーが誇りに思われること						
指標②－B：小中学生に対する「北前船」を含むワークショップの回数（単位：回）						
年度	実績			目標		
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
数値	439	448	502	458	463	468
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	・日本遺産関連のワークショップを継続することで、地域で日本遺産ストーリーに触れる次世代の人数を着実に増やす。 ・2020 年度実績を起点に、前年度以上の実施回数を積みあげていく。					

目標③：日本遺産を活用した事業により、経済効果が生じること						
指標③－A：協議会と連携した民間企業での特産品売上額（単位：千円）						
年度	実績			目標		
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
数値	—	—	17,315	5,000	6,000	7,000
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	・寄港地各地の特産品を販売する民間企業が、東京交通会館に北前船ブランドショップを 2022 年にオープン。また、2023 年度に E コマースの売り場を整備する方向で検討中。 ・上記の北前船ブランドショップ、E コマースに加え、日本遺産フェスティバル等のイベント出店等での産品販売における売上額を目標とし、事業者報告を集計する。 ・目標値は 2022 年度から毎年、前年比 1,000 千円の増加を目指す。					

目標③：日本遺産を活用した事業により、経済効果が生じること						
指標③－B：北前船寄港地関連の旅行商品の観光送客数（単位：人）						
年度	実績			目標		
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
数値	139	363	109	1,800	2,300	2,800
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法		・ 民間事業者の JR 東日本びゅうツーリズム、日本旅行で取り扱う「北前船寄港地関連の旅行商品」の送客総数を集計する。 ・ 国内旅行について、JR 各社や JAL/ANA の事業計画では 2022 年度末時点でコロナ禍前の 8～9 割程度までの回復を見込むことを踏まえ、2019 年度（2,281 人）水準を 2024 年度に上回る目標とする。 ※旅行商品（例） 1）JR 東日本びゅうツーリズム&セールス 村上に残る食文化や北前船により繁栄を極めた酒田の歴史に触れる『車窓からの景色を愉しむ「羽越本線」郷土料理や海の幸も味わう沿線の魅力満喫 2 日間』 2）日本旅行 江戸の経済動脈・北前船の寄港地を一筆書きでめぐる北陸の海岸線を辿るうみ旅 3 日間 北前船の寄港地下津井の町並みと瀬戸内海周遊クルーズ日帰り				

目標④：日本遺産のストーリー・構成文化財の持続的な保存・活用が行われること						
指標④－A：日本遺産関連事業の協力団体数（単位：団体）						
年度	実績			目標		
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
数値	132	169	180	179	184	189
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法		・ 各地域で日本遺産関連事業を実施する協力団体数につき、2021年度を起点に、5団体／年の増加を目指す。 ・ 自治体からの報告数値で集計する。 ※参考：添付資料② 自治体別 協力団体 一覧				

目標⑤：地域への経済効果も含め広く波及効果が生じること		
指標⑤－A：北前船寄港地自治体の観光客入込数（単位：千人）		
年度	実績	目標

	2020	2021	2022	2023	2024	2025
数値	115,502	121,221	108,513	170,000	200,000	230,000
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	・各自治体報告の観光入込客数を集計。 ・目標③-B と連動し、コロナ禍前の 2019 年度（193,168 千人）水準を 2024 年度に上回る目標とする。					

目標⑤：地域への経済効果も含め広く波及効果が生じること						
指標⑤-B：北前船寄港地自治体の外国人延べ宿泊者数（単位：千人）						
年度	実績			目標		
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
数値	3,358	404	2,471	10,000	15,000	21,000
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	・各自治体が市内宿泊施設から報告の外国人宿泊者数を取りまとめたものを集計。 ・外国人の訪日需要について、JAL/ANA の事業計画では 2022 年度末時点でコロナ禍前の 5～6 割程度の回復に止まる見込みであることを踏まえ、コロナ禍前の 2019 年度（20,438 千人）水準を 2025 年度に上回る目標とする。					

(3) 地域活性化のための取組の概要

協議会全体としての取り組みとブロックでの活動、機構や民間の活用を通じて地域活性化につなげる。

■協議会運営：5つのブロックでの活動を本格化

協議会と各ブロックで活動計画を策定・共有し、エリア特性に応じた日本遺産活用と地域活性化を目指す。

戦略立案と進捗管理

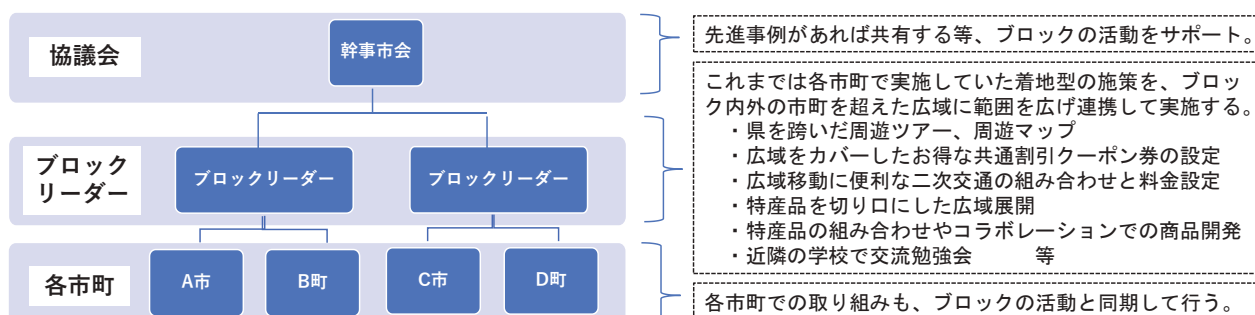
幹事市会が年度ごとの全体計画を策定し、実行の進捗管理の役割を担う。
あわせて、各ブロックで活動計画を策定する。活動計画に基づき、必要な予算は協議会からの配賦と各自治体からの拠出で賄う等、ブロックでの活動を推進する。
合わせて自治体業務や関連コストが増加しないよう、運営ノウハウについては協議会がサポートする。

※参考：協議会の会議体

- ・総会 定期総会1回／年、（必要に応じ臨時総会）
- ・幹事市会（←ブロックリーダー市をメンバーに追加）定例3回／年、臨時数回／年
- ・ブロック会議（←新設） 幹事市会を受けて各ブロックで開催

これまでの協議会は、全国一律での活動が中心であったが、今後は各市町が範囲をブロック内外の地域に広げて地域共通の取り組みを加える等、これまでの各市町の活動に上乗せすることでパフォーマンスを上げていく。

■パフォーマンスの高さを上げる施策（例）



人材育成

各市町で、ガイド人材の育成、北前船に携わる地域プレイヤーとしての事業者の支援、ブロック内で地域をまとめるプロデューサーを育成する。

民間企業が主体となる活動や自治体の独自活動も活発化していくことから、協議会も含めた各活動がバラバラに進むことのない様、全体の活動を俯瞰し方向付けしていく役割としてプロデューサー（※）を置く。

（※）プロデューサー：民間から登用（北前船交流拡大機構、ANA 総合研究所 等）、

普及啓発

シニア市民への普及啓発は、各自治体でセミナーを実施する等の市民レベルの活動を通じて、当該市民をリソースとした地元ガイド養成に繋げていく。

今後は、若年層市民をターゲットにした普及啓発の取り組みを進める。地元教育機関との協力関係を更に深め若年層における啓蒙を図り、若年層の力による全国への発信（SNS等）を強化するとともに、当該活動を通じシビックプライドの涵養も図っていく。

また、サマースクールや教育旅行等の再開にあたり、「探求型学習の素材」として「日本遺産北前船」活用を促していく。

※実施例「北前船子どもフェリー使節団」

小樽市とつながりの深い日本遺産「北前船寄港地・船主集落」認定地（新潟市、金沢市、小松市、加賀市）を訪問し、いろいろな北前船遺産を見学。加賀市では交流会を実施する。

整備：各自治体の行政計画との一体的推進

各自治体における実施例や先進事例を参考に、各自治体で必要な整備や支援等の対応を実施していく。特にインバウンド対応や広域での人材育成は、統一感を持った対応につなげることを目指す。

※実施例

- ・交通の要所も含めたインフォメーション機能の充実
- ・まち歩きガイドの育成、モデルコース作成
- ・古民家を改修し、宿泊施設や飲食店へ再利用
- ・周遊きっぷや循環バス、レンタサイクルの導入
- ・外国語誘導サインの整備
- ・観光スポットに屋外フリー Wi-Fi の整備 等

※計画例

- ・文化財保存活用地域計画、文化観光推進法に基づく拠点計画・地域計画
- ・歴史文化基本構想、歴史的風致維持向上計画
- ・観光戦略プラン

■機構を含む民間との連携強化

民間事業者との連携において中核となる機構は、その実績から「スポーツ文化ツーリズムアワード2020 文化ツーリズム賞」「第11回共同通信社『地域再生大賞』優秀賞（2020年度）」等を受賞している。これまでも交通事業者や旅行会社が実施するディステーションキャンペーン等に合わせ、北前船に関する情報や旅行商品を各事業者の誌面に掲載するなど、様々な活動例を残している。こういった機構のノウハウやネットワークを今後も活用し、北前船ストーリーやサブストーリー体験の事業化等につなげていく。

観光誘客

広い知的好奇心を持つ層をターゲットに、ツアーコンセプトである「北前船ストーリー全体を文脈とした観光コンテンツの紹介」について、大手旅行会社と連携し展開してきた。2019年度には2,281人の集客実績を残したが、コロナ禍の影響で2021/22年度については殆どのツアーがキャンセルとなり集客には繋がっていない。

2025年には大阪万博が予定され、多くのインバウンド需要が想定される。北前船のストーリーとサブストーリーは、遺跡とその背景にあるストーリーを観光資源にして成功している海外の事例に近いと考えられるため、自治体が主体的に多言語対応を含めたハード面の整備を充実していく。あわせて、ソフト面では、これまでのツアーコンセプトに、例えば食文化といった北前船に纏わる多様なサブストーリーを体験できるコンテンツを上乗せする。そのコンテンツを磨き上げ、「ウリ」として商品化し、体験型商品として訴求する。周遊ルート上の他の日本遺産や観光スポットとコラボレートさせる等、「差別化」についても旅行会社と知恵を出し合い具体化していく。「ウリ」と「差別化」を、知的好奇心を持つターゲットに訴求していく。

また、地元観光企業と大手旅行社、及び交通系企業等と連携し協力を得ることで二次交通の改善につなげ、着地型ツアーでも観光客が不自由なく移動できる環境整備を進めていく。

物産振興

機構のネットワークで、2022年に「北前船ブランドショップ」を有楽町交通会館にオープンし、各地産品の認知度向上と販売活動を開始した。他のアンテナショップとは異なり「北前船ストーリー」をテーマとして顧客に訴えるべく、北海道や日本海、瀬戸内海などの海を想起させる装飾と、各寄港地における特産品を取り揃えている。2023年2月から2号店を展開済みであり、販売スペースの倍増により各地産品のラインナップも112品目から215品目へと拡大した。

加えてEコマースのスキームを整えウェブサイトでの売り場を作っていくことで、販売チャネルを拡大と、リアル店舗にはない酒類や冷凍、冷蔵品などの販売につなげる。

自治体は、「北前船」のストーリーに共感し特産品を扱う地域の生産者や事業者を開拓しサポートする。自治体と協議会が連携し、特産品に適したプロモーション方法や販売業者とマッチングさせ、国内外の消費者に届ける体制を構築する。過去にも、地元商工会議所との連携で“首都圏で売れる商品”の開発を行い、北前船ブランドショップでの販売に結び付けた。こうした知見を駆使し、今後はEコマースでも更なる成功事例を積み上げ、各地の物産振興への意欲を引き出すことを目指す。まずは特産品販売の量的拡大を目指し、将来的には協議会として収入を得られるよう「北前船ブランド」やロゴの使用料や、一定量の販売を前提にしたコミッションの導入についても検討する。また、日本遺産フェスティバルをはじめとした各地のイベントにも物販ブースを出店し、各地の特産品の販売機会を増やしていく。

各地の特産品が、現代の情報通信技術や物流インフラを活用して、リアルとEコマースの両面から消費者に届く状態を作り出す。

情報編集・発信

民間の協力を得ながら、集中して情報を取り扱い、北前船として一貫性や統一性のある品質を提供してきた。協議会のホームページ上で「北前船に関する動画や小説」「認定自治体の紹介」「旅行案内」「ニュースやパンフレット」等の包括的な案内を随時掲載・更新し、北前船ストーリーへのスムーズなアクセスを進めてきた。合わせて、構成文化財をデータベース化し、広く公開してきた。

今後は、データベースに「文化観光拠点施設」「サブストーリー」等のコンテンツも加え内容を充実する。データベースの汎用性を高め、旅行会社の商品造成やガイド向け、観光客向けの事前案内にも活用する。活用によって“観光素材や文化財への理解を深め、旅の満足度を引き上げる”ことに繋げ、旅行の魅力を高める効果を狙う。更に、観光インフラの柱であるガイド機能の強化に向けて、オンラインセミナーや学芸員セミナーを通じた現地ガイド育成にも活用していく。

北前船寄港地フォーラム

2023年2月の開催で32回を数えた。フォーラムは開催場所となる自治体が主催し、機構がサポートする形で運営している。

毎回、北前船の寄港地や過去の開催市町から多くの首長も参加し、自ら行政の取り組みを紹介し、首長同士も直接情報や意見を交換する等、自治体間交流・連携の貴重な場となっている。

今後も様々な場でフォーラムを開催し、北前船の普及啓発と地域連携の有効な場作りとして継続していく。

■特徴の磨き上げ、地域の組み合わせや連携の工夫

地域の組み合わせや連携の工夫において、上記の北前船の運んだ代表的文化財と言える昆布を例にとると

○ ユネスコ無形文化遺産にも登録され世界からも注目される「和食」

→ 和食を代表する「昆布だし」

→ 昆布は北海道から「北前船」で運ばれていた

→ 昆布を切り口に、北海道から北陸、京都、沖縄・・・のような展開ができる。

このように「世の中で話題のテーマ」や「現存する町並みや有形無形の文化財の特徴」をサブストーリーとして抽出し、北前船のストーリーの理解をより深めながら、特徴を磨き上げる。

サブストーリーと地域とを結び付けることで、訪れた人々がより興味深く「北前船のストーリーに触れ体験する」ことができる。

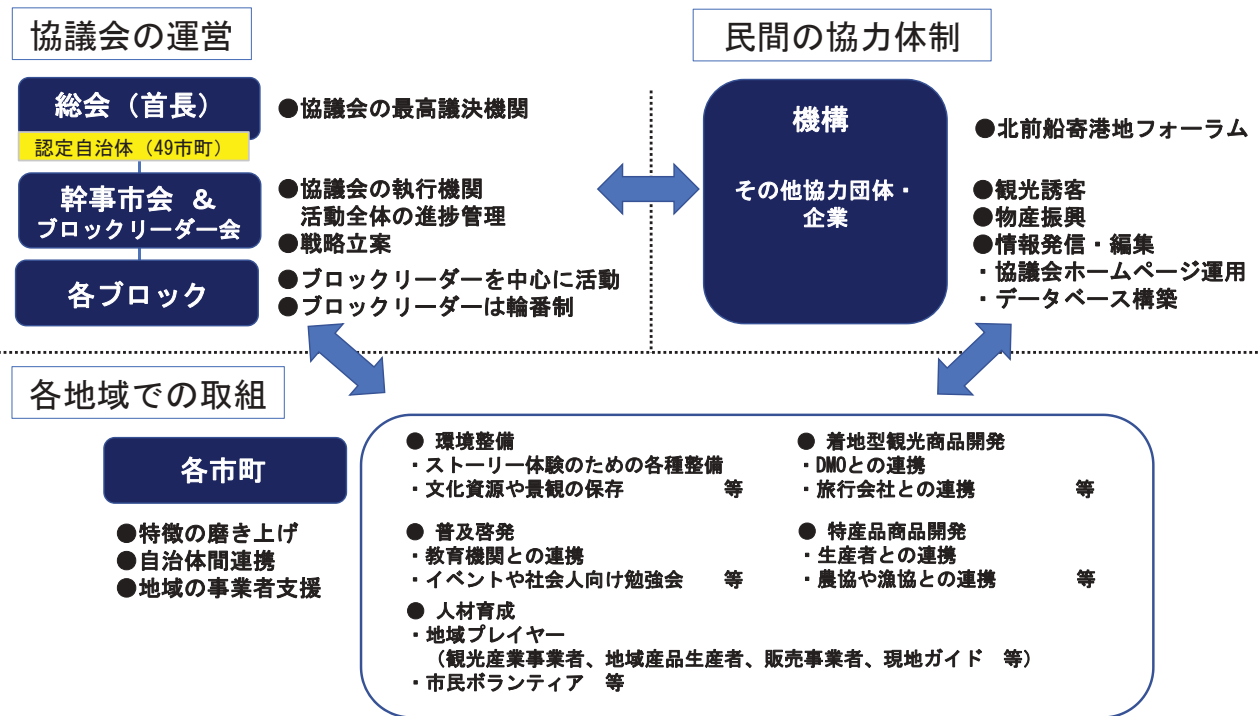
また、サブストーリーから更に派生する別のサブストーリー（※）を抽出し、また違った文化財ツーリズムにつなげる。こうした地域の連携が、北前船を中心とした同心円状に広がっていく好循環螺旋的發展を目指す。

※別のサブストーリー例：和食を供する際の「食器」→「陶磁器」→ 石川県の「九谷焼」→ 北前船で北海道に渡った「九谷焼」が小樽の美術館で展示

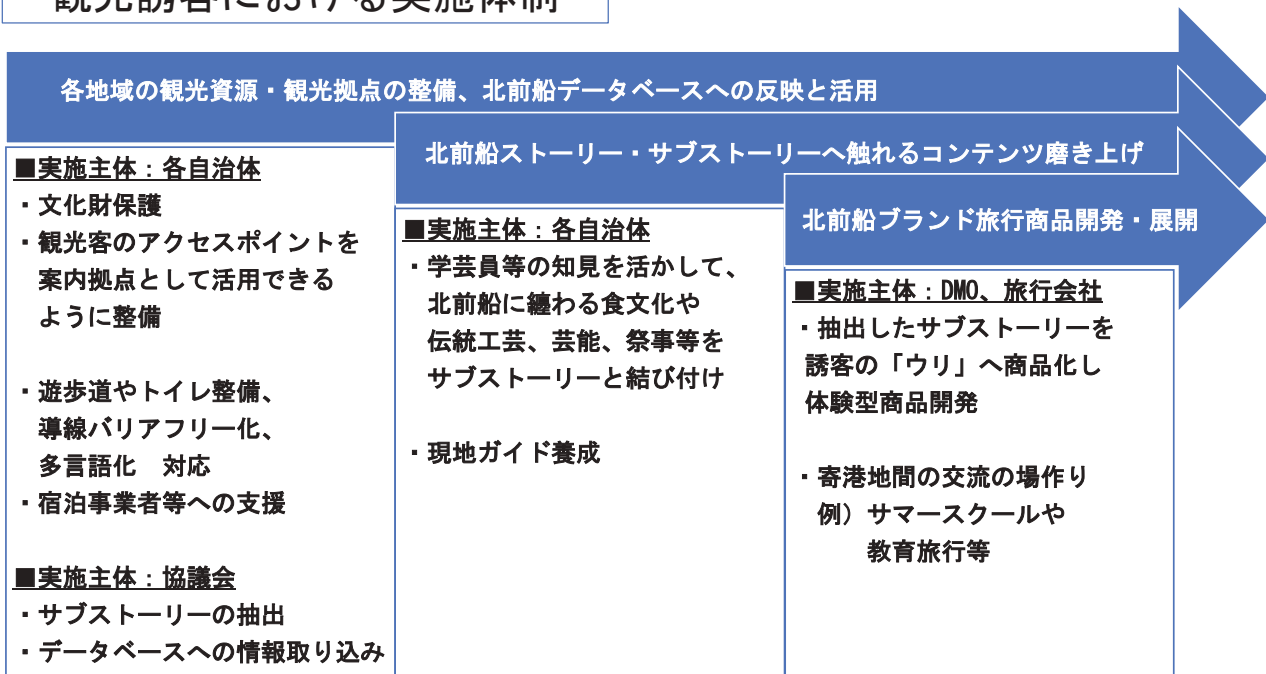
(4) 実施体制

協議会と各市町及び民間との関係と、事業における実施体制を図示する。

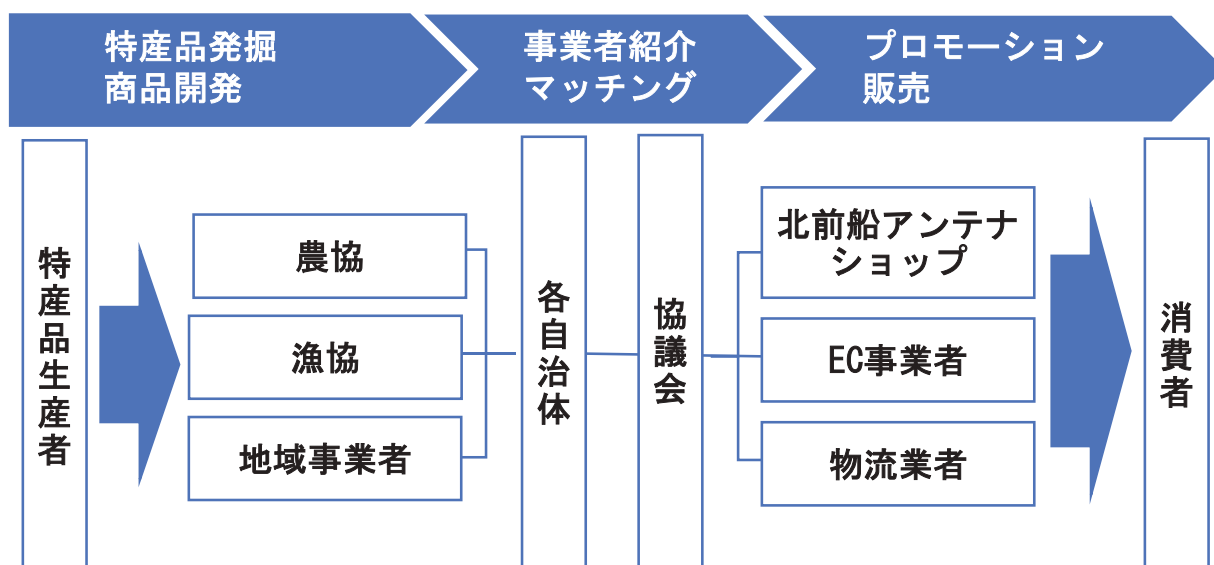
※参考：添付資料② 自治体別 協力団体 一覧



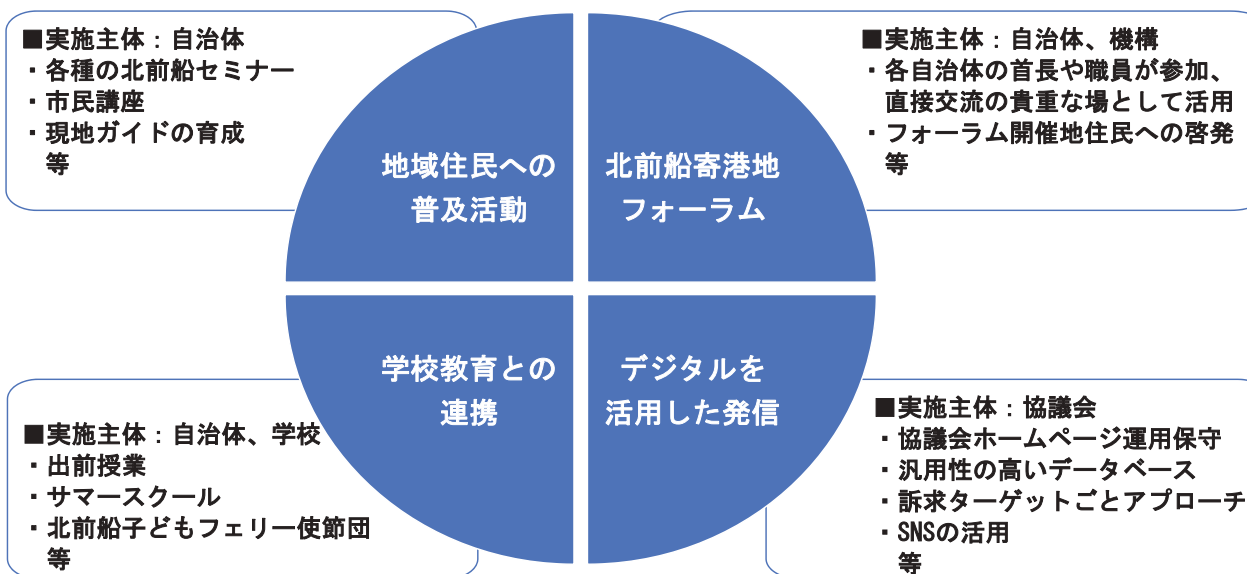
観光誘客における実施体制



物産振興における実施体制



普及啓発、情報編集・発信における実施体制



〔人材育成・確保の方針〕

各地域で活躍している民間事業者から、地域プレイヤーの役割を果たす人材を輩出できるよう、各自治体と課題認識を共有しプレイヤーをリスト化する。候補者の裾野を広げるべく、観光誘客や物産振興を通じて地元の事業者を支援する。

自治体の学芸員が中心に、北前船データベースを活用したオンラインセミナー等の機会を通じて、ストーリーを伝えるガイドを養成する。

北前船データベースを活用し、教育機関と連携しながら、次世代への普及啓発を推進していく。

(5) 日本遺産の取組を行う組織の自立・自走

協議会が全体をとりまとめしつつ、各地域で自治体と民間が連携して事業を創出し、拡大・発展することで地域に還元していくことを目指す。また、北前船ブランドを冠した事業収入の一部を、コミッションとして協議会に還元するスキームを構築する。

■ストーリーを体験できる事業（＝北前船ブランド化）の創出と継続

北前船ストーリー及びサブストーリーを活用した事業の創出に向けて、各地域において自治体と事業者が連携し、自分たちの地域で何を「ウリ」にして事業化し、どういう収益化の方法をとるべきか等の「事業の種」を見つけることから始める。

事前に双方の期待役割を共有し、商品開発等に知恵を出し合い、各自治体での告知やイベント出展等の機会を活用し、双方が協力して事業運営にあたることを目指す。

事業を通じて商工会議所やDMO等との連携を深め、地元観光業者や物産販売業者を活性化活動へ巻き込み裾野を広げながら、地域プレイヤーを育成していく。

事業の芽が出てくれば、機構のネットワークも活用し「着地型の旅行商品」の取扱拡大、「北前船ブランド」の物産はリアル店舗での販売に加えEコマース展開での商圈拡大やコスト管理といった事業継続のフェーズにつなげていく。

観光誘客：着地型の旅行商品作り

北前船ストーリーおよびサブストーリーを誘客の一助としてどう活用し、当地への来訪者を増やし、滞在時間を延ばし、消費額を引き上げるかを、機構と大手旅行会社で連携して検討する。

また自分たちの地域は、どういう客層をターゲットに据えるか、そのターゲットに満足してもらいリピートに繋げるために必要なことと優先順位についても、各地域のDMOと自治体で連携して具体的に検討する。

自治体と事業者の期待役割は以下の通り。

自治体：日本遺産構成文化財の保存活用や関連施設の環境整備を計画的に実施する。

事業者・DMO：事業継続に必要な環境整備の実施に合わせ、その活用及び収益化について具体化する。

そうして作り上げた「着地型の旅行商品」を、既に実績のある大手旅行会社や交通事業者に供給し、マーケットに訴求していく。

物産振興：特産品から売れる商品へ

北前船ストーリーおよびサブストーリーと、地域の特産品との結びつきを具現化し、他の特産品との組み合わせで新しい商品を開発する等「売れる商品としての価値を創出」し、北前船ブランドとしてマーケットに訴求していく。

自治体と事業者の期待役割は以下の通り。

①自治体：地域の特産品とその生産者の発掘、事業者へ紹介する。

②事業者：既存の北前船ブランドショップの知見を活かし、特産品をどう差別化し、どういう価値を消費者に提供するか、どういう客層をターゲットに据えるか、販売方法をどうするか、等について検討し、事業化する。「北前船ブランド商品」をマーケットで

販売した際には協議会としてコミッションを得ることにより組織の自立・自走に繋げていく。

(6) 構成文化財の保存と活用の好循環の創出に向けた取組

文化財の保存状態や周辺環境の整備を、各自治体で統一感を持って対応していく。

■文化財の調査研究

構成文化財を北前船ストーリーに連なる遺産として未来に残し、地域の特色ある文化財としてサブストーリーを抽出するため、各市町において調査・研究、保存に取り組んでいく。

また、北前船にまつわる食や伝統工芸、芸能、言語、信仰、祭事等の多様な文化についても、関係機関と協力してそれぞれの調査・研究を進めながら、各地域の文化を「ストーリー・サブストーリーと結び付けた保存」につなげていく。

例) 敦賀市が、令和4年度「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業に採択。

■景観保全

まちなみや建物といったシンボリックな文化財について、今後も継続して保全する。同じ役割ながら各地に点在する日和山や方角石といった文化財については、各地域ならではの特徴について調査し、特徴と共に保全する。

■観光拠点との一体的運営

保存した構成文化財を観光資源として活用すべく、観光拠点や交通結節点 等での案内環境を整備する。

■デジタルでの保存と活用

構成文化財をエリア毎・種類別に整理し、一元的に管理・把握できるよう、2022年度にデジタルでデータとして整備し「北前船データベース」を構築した。2023年度以降では更に日本遺産関連施設等の追加で内容を充実させ価値を高めていく。

合わせて、デジタルで保存した文化財を人材育成や教育素材としての活用しながら、デジタルにおける保存と活用の好循環を作っていく。

(7) 地域活性化のために行う事業

(7) - 1 組織整備

(事業番号 1 - A)

事業名	事業運営体制の整備		
概要	計画の円滑な実施に向け、関係者間の連携と全体の方向性を整えながら事業を推進する体制を構築する。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	協議会の運営 ・ 幹事市会で進捗管理する ・ ブロック毎の活動を増やしていく	・ 総会では、認定自治体の首長が目標や活動計画の内容を共有し、事業を推進する。 ・ 節目に幹事市会を開催し、全体活動の進捗を管理・承認する。 ・ 全体の方向性に基づき、各ブロックで効果的・効率的な事業を実施する。 ・ ブロックリーダーは輪番制とし、各自治体が主体的に取り組む。	協議会
②	各地域の事業者との連携	各自治体で地域事業者をリスト化し、支援する体制を強化する。	各自治体
③	プロデューサーの設置	広域かつ多くの自治体をまとめ、同じ方向へ導く役割を担う機能として設置する。	協議会
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2020	北前船日本遺産協議会 関連事業協力団体（者）数。		132 団体
2021			169 団体
2022			180 団体
2023	同上		179 団体
2024	同上		184 団体
2025	同上		189 団体
事業費	2023 年：2,000 千円 2024 年：2,000 千円 2025 年：2,000 千円		
継続に向けた事業設計	ブロック毎の活動を活発化し、北前船交流拡大機構と連携して、北前船のストーリーに共感しブランドを活用してビジネスにつなげる意欲のある民間事業者を増やしていく。		

(7)－2 戦略立案				
(事業番号2－A)				
事業名		自治体の活動量や事業の取扱高を増やす		
概要		北前船の日本遺産ストーリーを各自治体・事業者が活用する上で、活動状況や情報の共有と進捗管理を行う場として会議を開催する。		
	取組名		取組内容	実施主体
①	幹事市＆ブロックリーダーで、協議会活動の進捗管理		各ブロックの活動状況や事業展開に応じて、先進事例の横展開や関係先への協力要請等を行い、それぞれの活動の底上げを行う。	協議会
②	各事業の取扱高の向上		関係する民間の事業者（交通事業者、旅行会社、物流・物販会社等）と連携して、各事業の取扱量を増やし、顧客単価の上昇につなげる施策を展開する。	協議会 事業者
③	協議会と事業者との進捗共有		協議会と民間の事業者とで定期的に情報共有する場を持つ。	協議会 事業者
年度		事業評価指標		実績値・目標値
2020		幹事市＆ブロックリーダー会議の開催回数 （期初、中間、期末、臨時）		4回
2021				4回
2022				5回
2023		同上		5～6回
2024		同上		5～6回
2025		同上		5～6回
事業費		2023年：2,000千円 2024年：2,000千円 2025年：2,000千円		
継続に向けた事業設計		地域活性化計画における目標と協議会の活動や事業について、幹事市とブロックリーダー市で定期的に進捗確認し情報共有する。 協議会は計画と進捗のギャップを分析し、可能な限り早期にカバーする、もしくは修正計画を立案する。		

(7) - 3 人材育成

(事業番号 3 - A)

事業名	日本遺産を活用する人材の育成と支援。		
概要	日本遺産を活用する人材の育成・確保のため、ガイド人材の育成・確保、地域で事業を行うプレイヤー支援、プロデューサー人材を増やしていく。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	ストーリーを理解したガイドの育成	各地の学芸員が中心になって、ストーリーについても解説できるガイド育成に向け、座学や研修を実施する。	自治体
②	地域プレイヤーの支援	観光産業や特産品の生産者等、地域で事業を営むプレイヤーの支援を行う。	自治体
③	地域プロデューサーの育成	機構と連携し、既に地域で活躍している地域プレイヤーや市民ボランティアの人材をリスト化し、地域をまとめるプロデューサーの担い手となる人材を増やしていく。	協議会
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2020	北前船日本遺産ストーリーをガイドする人材の数。		517 人
2021			481 人
2022			593 人
2023	同上		550 人
2024	同上		600 人
2025	同上		650 人
事業費	2023 年 : 800 千円 2024 年 : 800 千円 2025 年 : 800 千円		
継続に向けた事業設計	地域プレイヤーの一員として、ガイドが活躍できる環境作りと、継続的な育成に取り組む。		

(7) - 4 整備			
(事業番号 4 - A)			
事業名		日本遺産ストーリーを体験するための環境整備。	
概要		ストーリー体験に必要となる施設や、観光客の導線（駅、空港、観光案内所 等）を整備する。	
	取組名	取組内容	実施主体
①	ストーリーに触れ体験するコンテンツへ案内する環境の整備	文化財や景観・コンテンツに関する案内において、案内看板をはじめ、QR コードやアプリ、web マップ等のデジタルも活用する。	自治体 各施設
②	まち歩きモデルルート の整備と案内	異空間を体験する町並みをはじめとした建物や文化財をめぐるモデルルートを設定し、まち歩きマップを整備する。	同上
③	アクセス環境の整備	二次交通として、循環バスやレンタサイクルを整備する。	同上
④	インバウンド対応	インバウンド向けの体験観光の整備として、 ①既存の外国語パンフレット・マップ・動画素材などのツールを整理し、外国語版のポータルサイトに加える ②観光情報を案内する場所等への外国語対応スタッフを配置する 等の対応を進める。 各地域共通で利用できる内容は、協議会が一括で対応する等でコスト効率を高める。	同上
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2020	北前船日本遺産関連施設への観光客入館者数		436,312 人
2021			296,387 人
2022			430,283 人
2023	同上		500,000 人
2024	同上		550,000 人
2025	同上		600,000 人
事業費		2023 年：50,000 千円 2024 年：50,000 千円 2025 年：50,000 千円	
継続に向けた 事業設計		各自治体における実施例を協議会でとりまとめ、先進事例を各自治体に共有する。 地域内の自治体間で計画を共有しながら進めていく。	

(事業番号 4-B)

事業名		サブストーリーの抽出と環境整備	
概要		構成文化財をまとめたデータベースを活用し、サブストーリーの抽出と活用方法を策定、あわせて web サイトに反映、更新する。	
	取組名	取組内容	実施主体
①	サブストーリーの抽出	食や伝統工芸、芸能、言語、信仰、祭事といった北前船によって運び伝えられた各文化について、「世の中で話題のテーマ」や「現存する町並みや有形無形の文化財の特徴」をサブストーリーとして抽出する。	協議会
②	サブストーリーの活用	サブストーリーと地域の構成文化財との結びつき、サブストーリーを体験できるコンテンツを整理し商品化する。	同上
③	サブストーリーのプロモーション	サブストーリーの内容や連携先に合わせて、観光誘客や物産振興に親和性の高いターゲットを選定し、プロモーションをかけていく。	同上
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2020	オンラインセミナー（勉強会、意見交換会）開催数		
2021			
2022			5 回
2023	同上		4～5 回
2024	同上		4～5 回
2025	同上		4～5 回
事業費	2023 年：600 千円 2024 年：600 千円 2025 年：600 千円		
継続に向けた事業設計	データベースとオンラインセミナーの場を活用し、学芸員を中心にサブストーリー抽出に関する勉強会や意見交換会を実施する。各地域での関連情報を幅広く共有するとともに、民間とも連携しサブストーリーのプロモーションを実施し観光誘客や物産振興につなげる。		

(7)－5 観光事業化				
(事業番号5－A)				
事業名		ストーリー・サブストーリーを体験できる商品の造成・販売		
概要		既存の周遊型旅行商品に、多様なストーリーを体験できるコンテンツを上乗せし、知的好奇心を持つターゲット層に訴求する。		
	取組名		取組内容	実施主体
①	各地域での「ウリ」作り		各地域で誘客の核となる「ウリ」作りと、それを体現するコンテンツの磨き上げを、旅行会社と連携して行う。	自治体 旅行会社
②	誘客コンテンツの体験を組み込んだ着地型観光商品開発		①のコンテンツを体験できるモデルルートに、ガイドをセットにした企画として商品化する。	同上
③	差別化にむけた検討		①の「ウリ」や②の体験での「北前船の特徴」に、他の日本遺産や観光スポットを組み合わせた周遊商品として企画造成する。	旅行会社
④	ターゲットへの訴求と販売		これまでの北前船関連旅行商品の参加者の特性を参考にターゲット層を設定し、旅行会社を通じて訴求していく。	旅行会社
年度		事業評価指標		実績値・目標値
2020		北前船寄港地関連の旅行商品の造成・販売。		139名（送客数）
2021				363名
2022				109名
2023		同上		1,800名
2024		同上		2,300名
2025		同上		2,800名
事業費		2023年：2,400千円 2024年：2,400千円 2025年：2,400千円		
継続に向けた事業設計		地域の「ウリ」と体験コンテンツ、ガイド活用等により、回遊性の向上、地域内消費の増加につなげる。		

(7) - 6 普及啓発			
(事業番号 6 - A)			
事業名	北前船の認知度向上とシビックプライド醸成につながる教育・普及啓発の実施。		
概要	学校教育との連携、北前船フォーラム等の機会を通して、地域内において北前船ストーリーの認知度向上と普及啓発を行う。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	学校教育との連携	教育機関と連携しながら、北前船日本遺産ストーリーの入門編として、オンラインセミナーやサマースクール等の機会を、地域の小中学校へ提供する。 合わせて、「夏休みの自由研究テーマ」で各地域の北前船について研究する等の展開を増やしていく。	自治体
②	北前船フォーラムの活用	2022 年までに国内外で 31 回を数えたフォーラムの機会を活用し普及啓発に努める。	機構
③	各地での講演・講座の実施	大妻女子大や獨協大学、東海大学、NHK文化センター等で実績をふまえ、学生や市民向けの啓発を継続する。	自治体
④	日本遺産フェスティバルをはじめとした各イベントでの PR。	様々なイベント機会を通じて、プロモーションと地域の特産品販売と連携して行う。	協議会 自治体
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2020	自治体住民アンケート「まちに住みたい」と感じる住民の割合（単位：％）		70%
2021			70%
2022			66%
2023	同上		70%
2024	同上		73%
2025	同上		75%
事業費	2023 年：800 千円 2024 年：800 千円 2025 年：800 千円		
継続に向けた事業設計	普及啓発においても、サブストーリーと各地域の日本遺産や観光スポットを組み合わせながら、相乗効果を狙っていく。		

(7)ー7 情報編集・発信				
(事業番号7ーA)				
事業名		北前船ブランドに関する情報発信方法の再構築。		
概要		協議会のホームページや、日本遺産北前船の構成文化財をまとめたデータベース、SNS といった既存の媒体の活用方法を見直す。		
	取組名	取組内容	実施主体	
①	Web サイトの継続的な更新	協議会で設置している web サイト（ホームページ・データベース）に、個別ストーリーの解説や観光情報を適宜、更新していく。合わせて、多言語化対応も行う。 協議会の web サイトと、連携している民間事業者の web サイトとの相互リンクで情報提供機会を増やす。	協議会	
②	SNS の情報発信 来訪者による投稿促進	各地域で来訪者による発信を促す仕掛けをすることで、訪問者とのエンゲージメント向上につなげる。 各 SNS の特性を活かし、上記①の web サイト更新をタイムリーに発信することで、サイトへの訪問者増につなげる。	協議会 各自治体	
③	自治体や民間事業者との連携	上記①の web サイト更新について、各自治体の広報誌やホームページ、SNS 等で情報発信し、地域住民向けにも情報提供する。	同上	
④	各種メディアを活用した情報発信	北前船フォーラムをはじめ各イベントの実施状況を、各メディアを通じて情報発信していく。	同上	
年度	事業評価指標		実績値・目標値	
2020	北前船ホームページの PV 数		182 千回	
2021			162 千回	
2022			179 千回	
2023	同上	200 千回		
2024	同上	220 千回		
2025	同上	240 千回		
事業費		2023 年：2,800 千円 2024 年：2,800 千円 2025 年：2,800 千円		
継続に向けた事業設計		SNS を含むデジタル施策は、各デジタルメディアのターゲットと役割を整理し、全体の方向性を揃えて展開していく。		

■添付資料①（各自治体の計画一覧）

自治体	計画名
鯉ヶ沢町	第6次鯉ヶ沢町長期総合計画
深浦町	第2期 深浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略
秋田市	県都『あきた』創生プラン推進計画
酒田市	酒田市総合計画 本間美術館を中核とした酒田湊町文化観光拠点計画（令和2年度～令和4年度）
新潟市	新潟市 新潟市総合計画 2030 新潟市文化創造交流都市ビジョン
長岡市	長岡市文化財保存活用地域計画
加賀市	第2次加賀市観光戦略プラン 加賀市歴史的風致維持向上計画 第2期加賀市教育振興基本計画 第2次加賀市総合計画中期実施計画 加賀市歴史文化基本構想
敦賀市	敦賀市文化財保存活用地域計画
南越前町	第2次南越前町総合計画後期基本計画
小樽市	小樽芸術村を中核とした小樽運河地区の文化観光推進拠点計画 第7次小樽市総合計画 小樽市第2次観光基本計画 第2期小樽市総合戦略 小樽市人口ビジョン 第2次小樽市都市計画マスタープラン 小樽市歴史文化基本構想
石狩市	第3次石狩市観光振興計画
野辺地町	第6次野辺地町まちづくり総合計画 第2期野辺地町まち・ひと・しごと創生総合戦略 第3期野辺地町教育振興基本計画
男鹿市	男鹿市総合計画
富山市	第2次富山市総合計画後期基本計画
高岡市	歴史的風致維持向上計画 第3期高岡市観光振興ビジョン 歴史文化基本構想
輪島市	輪島市文化財保存活用地域計画 第2次輪島市総合計画
小松市	小松市文化財保存活用地域計画（作成中）

坂井市	坂井市文化財保存活用地域計画 坂井市観光ビジョン戦略基本計画 三國グランドビジョン
小浜市	小浜市文化財保存活用地域計画
宮津市	文化財保存活用地域計画 第7次宮津市総合計画
神戸市	神戸市文化財保存活用地域計画
高砂市	第5次高砂市総合計画
新温泉町	新温泉町文化財保存活用地域計画 第2次新温泉町総合計画 新温泉町過疎地域持続的発展計画 新温泉町人口ビジョン及び新温泉町地方創生総合戦略
赤穂市	赤穂市歴史文化基本構想 赤穂市観光・移住定住戦略
鳥取市	鳥取市歴史文化基本構想
浜田市	文化財保存活用地域計画（作成中）
倉敷市	倉敷市歴史文化基本構想 倉敷市歴史文化保存活用計画
尾道市	尾道市歴史文化基本構想 尾道市歴史的風致維持向上計画 尾道市総合計画 尾道市文化財保存活用計画
呉市	呉市文化財保存活用地域計画
鶴岡市	第2次鶴岡市総合計画
金沢市	金沢市文化財保存活用地域計画
姫路市	姫路市総合計画 姫路市観光戦略プラン
たつの市	文化財保存活用地域計画（作成中） 第2次たつの市総合計画後期基本計画
多度津町	第6次多度津町総合計画後期基本計画
竹原市	歴史的風致維持向上計画
白山市	第2次白山市総合計画後期基本計画
志賀町	志賀町創生総合戦略 志賀町令和6年能登半島地震復興計画
泉佐野市	泉佐野市文化財保存活用地域計画 泉佐野市歴史文化基本構想
備前市	第3次備前市総合計画（第2期備前市まち・ひと・しごと創生総合戦略）

■添付資料②（自治体別 協力団体 一覧）

自治体	協力団体	数
函館市	・（一社）函館国際観光コンベンション協会 ・函館商工会議所	2
松前町	・（一社）北海道まつまえ観光物産協会 ・松前商工会 ・松前ガイド協会 ・松前旅館組合 ・松前飲食店組合	5
鱒ヶ沢町	・（株）杉澤興業（ホテルグランメール山海荘、鱒ヶ沢温泉水軍の宿） ・尾崎酒造 ・銘菓の店山ざき ・鯨餅本舗村上屋 ・白八幡宮 ・願行寺 ・来生寺 ・鱒ヶ沢町町内会 ・（一社）鱒ヶ沢町観光協会 ・鱒ヶ沢町商工会	10
深浦町	・（一社）深浦町観光協会 ・春光山円覚寺	2
秋田市	・（公財）秋田観光コンベンション協会 ・秋田商工会議所 ・秋田みなと振興会 ・港商友会 ・土崎みなと街づくり協議会	5
酒田市	・国土交通省東北地方整備局酒田港湾事務所 ・酒田商工会議所 ・酒田ふれあい商工会 ・（一社）酒田観光物産協会 ・酒田市商店街連合会 ・（公財）本間美術館 ・本立信成株式会社 ・（株）平田牧場	15

	・酒田市文化資料館光丘文庫 ・酒田市立資料館 ・東日本旅客鉄道株式会社 庄内統括センター ・全日本空輸（株） 庄内支店 ・日本郵便（株）酒田郵便局 ・酒田まちづくり開発（株） ・夢の倶楽協力会 ・有限会社チアーズ	
新潟市	・新潟シティガイド ・新潟観光コンベンション協会 ・新潟商工会議所 ・株式会社 NST 新潟総合テレビ ・日和山 5 合目 ・北陸ガス株式会社 ・株式会社堀川 ・株式会社本間組 ・沼垂ビール株式会社 ・新潟・市民映画館シネ・ウインド ・株式会社田中屋本店 ・有限会社新潟たけうち ・株式会社ケー・オー・ケー・ケー（ハミングツアー） ・株式会社トラベルマスターズ ・株式会社念吉	15
長岡市	・寺泊あかね通りの会	1
加賀市	・（一社）加賀市観光交流機構 ・加賀商工会議所 ・（一社）山中温泉観光協会 ・山代温泉観光協会 ・片山津温泉観光協会 ・山中商工会 ・株式会社まちづくり加賀 ・全国北前船研究会	8
敦賀市	・（一社）敦賀観光協会 ・観光ボランティアガイドつるが ・福井県昆布商工業協同組合	3
南越前町	・南越前町河野観光協会 ・南越前町商工会	2

小樽市	・（株）道新サービスセンター ・小樽道新文化センター ・北海道信用金庫 ・おたるご当地応援隊 ・（株）アートクリエイト ・（株）K00 ・うんがぷらす（株）	7
石狩市	・（一社）石狩観光協会 ・石狩郷土研究会 ・石狩ガイドボランティアの会 ・株式会社あい風	4
野辺地町	・（一財）野辺地町観光協会 ・野辺地町商工会 ・野辺地町歴史を語る会	3
男鹿市	・男鹿市観光協会 ・株式会社おが地域振興公社 男鹿 DMO「なまはげツーリズム」	2
能代市	・旧料亭金勇 ・能代まち歩き案内人の会 ・熊谷長栄堂 ・能代商工会議所 ・特定非営利活動法人能代観光協会	5 4
由利本荘市	・石脇案内人の会 ・本荘町歩き案内人の会	2
佐渡市	・小木ふれあいガイドの会	1
上越市	・（公社）上越観光コンベンション協会 ・上越商工会議所	2
高岡市	・高岡市観光協会 ・高岡商工会議所 ・土蔵造りのあるまちづくり協議会 ・金屋町まちづくり協議会 ・勝興町まちづくり協議会 ・吉久まちづくり協議会 ・近世高岡の文化遺産を愛する会 ・（一社）富山県西部観光者 水と匠	8
輪島市	・輪島市観光協会 ・門前町観光協会	2
小松市	・小松商工会議所 ・（一社）こまつ観光物産ネットワーク ・小松観光ボランティアガイドの会「ようこそ」	3

坂井市	・ 教育委員会事務局文化課 ・ 坂井市龍翔博物館 ・ (一社) DMO さかい観光局 ・ (一社) 三國會所	4
小浜市	・ 小浜地区まちづくり協議会 ・ 西津地区まちづくり協議会 ・ 小浜西組町並み協議会 ・ 御食国若狹倶楽部 ・ (株) まちづくり小浜 ・ (一社) 若狹おばま観光協会 ・ 小浜商工会議所 ・ (株) マツ勘 ・ 小浜市の歴史と文化を守る市民の会	9
宮津市	・ 天橋立観光協会 ・ 宮津商工会議所 ・ 京都府立郷土資料館 ・ 宮津市自治連合会 ・ 宮津市文化団体協議会 ・ 宮津市まち景観形成協議会 ・ 由良自治連合会 ・ 丹後海陸交通株式会社 ・ WILLERTRAINS 株式会社 ・ 株式会社天橋立 4season ・ 天橋作事組	11
大阪市	・ 住吉大社 ・ 住吉歴史案内人の会 ・ (株) 小倉屋山本	3
神戸市	・ 兵庫津日本遺産の会	1
高砂市	・ 高砂市観光交流ビューロー ・ 高砂商工会議所 ・ 高砂ボランティアガイド	3
新温泉町	・ 諸寄活性化委員会 ・ 山陰海岸ジオパーク推進協議会 ・ 麒麟トラベラーズ ・ ジオ sen. s 但馬因幡探求クラブ	4

赤穂市	・坂越まち並みを創る会 ・播州赤穂観光ガイド協会 ・さこし船岡を良くする会 ・播州赤穂の塩・ジオ研究会 ・赤穂観光協会 ・赤穂漁業協同組合 ・あこう魅力発信基地	7
洲本市	・高田屋嘉兵衛翁顕彰会 ・淡路島観光協会 ・（一財）五色ふるさと振興公社	3
鳥取市	・鳥取商工会議所 ・（一社）鳥取市観光コンベンション協会 ・（一社）麒麟のまち観光局	3
浜田市	・浜田商工会議所 ・浜田市観光協会 ・石見観光振興協議会 ・浜田市観光ボランティアガイドの会	4
倉敷市	・児島商工会議所 ・玉島商工会議所 ・（一社）倉敷観光コンベンションビューロー	3
尾道市	・尾道観光協会 ・尾道土産品協同組合 ・尾道浜問屋協同組合	3
呉市	・重伝建を考える会 ・呉商工会議所 ・呉広域商工会 ・（一社）呉観光協会	4
鶴岡市	・加茂地区自治振興会 ・宗教法人善寶寺 ・（公財）致道博物館 ・（一財）鶴岡市開発公社 ・鶴岡商工会議所 ・出羽商工会 ・（一社）DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー	7
出雲崎町	・出雲崎町観光協会 ・みなとまち町家の会	2
金沢市	・観光ボランティア「みやのこしこまち」	1
たつの市	・室津を活かす会 ・みつめて室津ボランティアガイド	3

	・ 観光協会御津支部	
白山市	・ 美川商工会 ・ 美川おかえりの会 ・ 美川振興会 ・ 美川御酒保存会 ・ 白山市観光連盟	5
志賀町	・ (一社) 志賀町観光協会 ・ 又次の会 (ボランティアガイド)	2
泉佐野市	・ 泉佐野商工会議所青年部 ・ (一社) KIX 泉州ツーリズムビューロー ・ (株) 向新 ・ ホテル日航関西空港 ・ パティスリー アン・スリール ・ じもっと合同会社 ・ 大阪タオル工業組合 ・ 泉佐野観光ボランティア協会 ・ (一社) 泉佐野シティプロモーション推進協議会 ・ ちぬうみ創生神楽実行委員会 ・ NPO 法人「泉州佐野にぎわい本舗」 ・ (一社) バリュー・リノベーションズ・さの ・ 大松商事合同会社 ・ 北庄司酒造 ・ 泉佐野経済クラブ ・ 泉佐野中央ライオンズクラブ ・ 西浦正和商店 ・ 泉佐野漁業協同組合 ・ 北中通漁業協同組合 ・ 泉佐野市観光協会 ・ み奈美亭 ・ 不動口館 ・ (株) オリエンタルベーカリー	23
備前市	・ 備前商工会議所 ・ (一社) 備前観光協会	2

日本遺産を通じた地域活性化計画

認定番号	日本遺産のタイトル
39	荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～

(1) 将来像 (ビジョン)

これまでの経緯

「北前船」を通じた地域間連携は、2007年から自治体や企業が「北前船フォーラム」を各地で開催してきたことから始まり、2017年の日本遺産認定につながる。

日本遺産認定を機に、北前船フォーラムに参画してきた認定11市町で、北前船日本遺産推進協議会（以下「協議会」という）を設立した。

あわせて、同フォーラムをサポートしてきた民間企業が連携し、北前船交流拡大機構（以下「機構」という）を立ち上げた。

この6年間で認定自治体を増やし活動の幅を広げてきたことから、協議会と機構を含む民間とで連携した取り組みを更に進め、事業の質をより高めていく。

※参考：協議会と民間が連携して実施してきた事業例

●観光事業化・物産振興

- ・「北前船寄港地の周遊ルート」旅行商品の造成・販売
- ・石川県加賀市「加賀橋立北前船ツーリズム」
- ・海外インバウンド交流機会の創出会議（日中11都市交流）
- ・海外との「北前船日本遺産オンライン商談会」（台湾、タイ、豪州と認定自治体）
- ・「北前船ブランドショップ」開店（東京交通会館）
- ・寄港地観光物産プロモーション（羽田空港、高槻松坂屋、銀座駅、東京交通会館）

●普及啓発

- ・「北前船こども交流プロジェクト（日本財団公募プロジェクト）」

●情報編集・発信

- ・北前船寄港地フォーラム

目指す姿

北前船の寄港地・船主集落は各々が北前船とのかかわり方によって異なる歴史情緒を持ち、『各々の自治体が、他の日本遺産構成自治体内のみならず北前船寄港地・船主集落内においても他の「歴史の息づく町」とは違う趣を持つ』ことを特徴としている。それは他の地域との比較や組み合わせで、より明確に発揮される特徴である。

よって本計画をベースに、認定自治体が各々の特徴を磨き上げ、複数の地域の組み合わせや連携の工夫で、他の地域とは異なりかつ一つの地域だけでは実現できない価値を創出する。それらを北前船のストーリーと共に国内外に発信するとともに、観光誘客や物産振興に主体的に取り組んでいく状態を目指す。

北前船によって現代に受け継がれてきたモノと北前船との関係を見える状態にできれば、それらが地域の人々の頭の中で結びつく。それを契機に地域住民あるいは事業者がその価値を再認識し「北前船ストーリー」を身近に感じ、さらにその奥深さに触れ自らその歴史や背景を学ぶことで、地域外の人々や観光客に「北前船とは何か、とその魅力」について発信することができるようになる。観光や特産品を通じた地域住民との交流で、来訪者は「北前船の存在と荒波の海に人生を賭けた先人達の生き様」を知り、その残した町並みや今に受け継がれる様々な文化に触れる。その来訪者のサポートを通じて、地域住民や事業者が「わがまちに住むこと」に誇りと愛着を持つことにつながる。

取り組みごとの展開

■ブロック毎の協議会活動を本格化

日本遺産を活用した交流人口の拡大・観光誘客等について、協議会が取りまとめたの実施では十分には行き届かないところがあり、また一つの市町の活動では限界もあることから、周辺の市町が連携して活動するニーズが高まってきた。

この流れを受け、2022年から始めた「エリア毎に5つのブロックに分けての活動」を本格化していく。また、他ブロックとの連携も含め対象エリアに縛られない柔軟な取り組みも実施していく。あわせて先進的な取り組みの情報やデータを見える化し、タイムリーに共有・横展開することでパフォーマンスの底上げを目指す。

また、ブロック内をとりまとめるリーダーの役割をブロック内での持ち回りで運営し、将来的に全ての自治体がブロックリーダーを経験し、日本遺産に対して主体的に向き合い活動していく状態になることを目指す。

■機構を含む民間との連携

機構には、北前船寄港地フォーラムの開催、観光誘客、物産振興といった、これまでの活動で築いてきた実績や知見、人脈も含めた連携のネットワーク基盤があり、協議会がそれらを活用できたことが日本遺産北前船の認知度向上に大きく貢献した。引き続き、機構と二人三脚で進めていく。

また情報発信の場としての北前船フォーラム開催数は2022年度末で32回を数え、各地域の普及啓発にも貢献してきた。

さらに情報編集・発信は民間の協力のもと、構成文化財がどこに何があるのかを一元的に管理している。こうして全国各地で共有し誰もがアクセスできる環境を整え、観光誘客や物産振興、普及啓発や人材育成にも幅広く活用してきた。今後は、SNS等の活用方法も含め、より高いレベルでタイムリーかつコスト効率の良い情報編集・発信を目指す。

■特徴の磨き上げ、地域の組み合わせや連携の工夫

北前船ストーリーから派生する多種多様な有形無形の文化や様々な商品は各地に特徴をもたせた。これらの事・物をテーマにサブストーリーを抽出し、活用する。

地域に親和性のあるサブストーリーは地域の人々の頭の中で結びつきやすく、そのテーマに興味がある層に訴求することで来訪する地域に選んでもらうことにつながる。

（２）地域活性化計画における目標

※各目標に対し、複数の指標を設定可

目標①：地域住民や国内外からの来訪者が日本遺産のストーリーに触れ、その魅力を体験すること

指標①－Ａ：北前船日本遺産関連施設への観光客入館者数（単位：人）

年度	実績			目標		
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
数値	436,312	296,387	430,283	550,000	600,000	650,000

指標・目標値の設定の考え方及び把握方法

- ・圏域内外の来訪者が北前船ストーリーとその寄港地としての歴史や歩みに触れることができる施設であること。
- ・かつ入館者数が把握可能な施設であること。
- ・地域の偏りが生じないように、各ブロックから2施設ずつ 計10施設を選定とする。
- ・自治体や施設からの入館者数報告を集計する。
- ・コロナ禍前の2019年度（596,150人）を基準とし、2024年度に上回る目標とする。

ブロック	日本遺産関連施設
北海道・青森	小樽市総合博物館（小樽市） 道の駅 松前 北前船（松前町）
東北・新潟	旧齋藤家別邸（新潟市） 佐渡国小木民族博物館・千石船（佐渡市）
北陸	北前船廻船問屋森家（富山市） 北前船の里資料館（加賀市）
関西	御食国若狭おばま食文化館（小浜市） 工楽松右衛門旧宅（高砂市）
中国・四国	尾道美術館（尾道市） むかし下津井廻船問屋（倉敷市）

・合わせて、北前船データベースでの紹介や北前船旅行商品への組み込み等も行い、入館数の目標達成の一助とする。

目標②：地域において日本遺産のストーリーが誇りに思われること

指標②－Ａ：自治体住民アンケート「まちに住みたい」と感じる住民の割合（単位：％）

年度	実績			目標		
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
数値	70	70	68	70	73	75

指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	・2017年度策定の地域活性化計画の目標「まちに住み続けたい」と感じる住民の割合を目標として継続することで、推移を把握する。 ・「地域において日本遺産のストーリーが誇りに思われる」割合を把握するにあたり、シリアル型において、各自治体の住民アンケートで把握できる項目として最も妥当であることから、目標値とする。 ・アンケート結果の平均値を算出する。 ・これまで70%で推移しているところから、目標値は最終年度で75%まで伸ばすことを目指す。
---------------------	--

目標②：地域において日本遺産のストーリーが誇りに思われること						
指標②－B：小中学生に対する「北前船」を含むワークショップの回数（単位：回）						
年度	実績			目標		
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
数値	439	448	502	458	463	468
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	・日本遺産関連のワークショップを継続することで、地域で日本遺産ストーリーに触れる次世代の人数を着実に増やす。 ・2020年度実績を起点に、前年度以上の実施回数を積みあげていく。					

目標③：日本遺産を活用した事業により、経済効果が生じること						
指標③－A：協議会と連携した民間企業での特産品売上額（単位：千円）						
年度	実績			目標		
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
数値	—	—	17,315	5,000	6,000	7,000
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	・寄港地各地の特産品を販売する民間企業が、東京交通会館に北前船ブランドショップを2022年にオープン。また、2023年度にEコマースの売り場を整備する方向で検討中。 ・上記の北前船ブランドショップ、Eコマースに加え、日本遺産フェスティバル等のイベント出店等での産品販売における売上額を目標とし、事業者報告を集計する。 ・目標値は2022年度から毎年、前年比1,000千円の増加を目指す。					

目標③：日本遺産を活用した事業により、経済効果が生じること						
指標③－B：北前船寄港地関連の旅行商品の観光送客数（単位：人）						
年度	実績			目標		
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
数値	139	363	109	1,800	2,300	2,800
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	・ 民間事業者の JR 東日本びゅうツーリズム、日本旅行で取り扱う「北前船寄港地関連の旅行商品」の送客総数を集計する。 ・ 国内旅行について、JR 各社や JAL/ANA の事業計画では 2022 年度末時点でコロナ禍前の 8～9 割程度までの回復を見込むことを踏まえ、2019 年度（2,281 人）水準を 2024 年度に上回る目標とする。 ※旅行商品（例） 1）JR 東日本びゅうツーリズム＆セールス 村上に残る食文化や北前船により繁栄を極めた酒田の歴史に触れる『車窓からの景色を愉しむ「羽越本線」郷土料理や海の幸も味わう沿線の魅力満喫 2 日間』 2）日本旅行 江戸の経済動脈・北前船の寄港地を一筆書きでめぐる北陸の海岸線を辿るうみ旅 3 日間 北前船の寄港地下津井の町並みと瀬戸内海周遊クルーズ日帰り					

目標④：日本遺産のストーリー・構成文化財の持続的な保存・活用が行われること						
指標④－A：日本遺産関連事業の協力団体数（単位：団体）						
年度	実績			目標		
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
数値	132	169	180	179	184	189
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	・ 各地域で日本遺産関連事業を実施する協力団体数につき、2021年度を起点に、5団体／年の増加を目指す。 ・ 自治体からの報告数値で集計する。 ※参考：添付資料② 自治体別 協力団体 一覧					

目標⑤：地域への経済効果も含め広く波及効果が生じること						
指標⑤－A：北前船寄港地自治体の観光客入込数（単位：千人）						
年度	実績			目標		
	2020	2021	2022	2023	2024	2025

数値	115, 502	121, 221	108, 513	170, 000	200, 000	230, 000
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法		・各自治体報告の観光入込客数を集計。 ・目標③-B と連動し、コロナ禍前の 2019 年度（193, 168 千人）水準を 2024 年度に上回る目標とする。				

目標⑤：地域への経済効果も含め広く波及効果が生じること						
指標⑤-B：北前船寄港地自治体の外国人延べ宿泊者数（単位：千人）						
年度	実績			目標		
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
数値	3, 358	404	2, 471	10, 000	15, 000	21, 000
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法		・各自治体が市内宿泊施設から報告の外国人宿泊者数を取りまとめたものを集計。 ・外国人の訪日需要について、JAL/ANA の事業計画では 2022 年度末時点でコロナ禍前の 5～6 割程度の回復に止まる見込みであることを踏まえ、コロナ禍前の 2019 年度（20, 438 千人）水準を 2025 年度に上回る目標とする。				

(3) 地域活性化のための取組の概要

協議会全体としての取り組みとブロックでの活動、機構や民間の活用を通じて地域活性化につなげる。

■協議会運営：5つのブロックでの活動を本格化

協議会と各ブロックで活動計画を策定・共有し、エリア特性に応じた日本遺産活用と地域活性化を目指す。

戦略立案と進捗管理

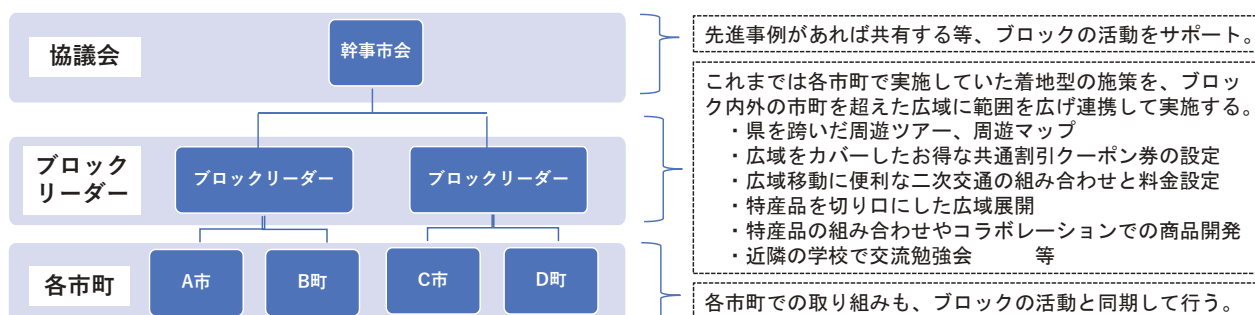
幹事市会が年度ごとの全体計画を策定し、実行の進捗管理の役割を担う。
あわせて、各ブロックで活動計画を策定する。活動計画に基づき、必要な予算は協議会からの配賦と各自治体からの拠出で賄う等、ブロックでの活動を推進する。
合わせて自治体業務や関連コストが増加しないよう、運営ノウハウについては議会がサポートする。

※参考：協議会の会議体

- ・総会 定期総会1回／年、（必要に応じ臨時総会）
- ・幹事市会（←ブロックリーダー市をメンバーに追加）定例3回／年、臨時数回／年
- ・ブロック会議（←新設） 幹事市会を受けて各ブロックで開催

これまでの協議会は、全国一律での活動が中心であったが、今後は各市町が範囲をブロック内外の地域に広げて地域共通の取り組みを加える等、これまでの各市町の活動に上乗せすることでパフォーマンスを上げていく。

■パフォーマンスの高さを上げる施策（例）



人材育成

各市町で、ガイド人材の育成、北前船に携わる地域プレイヤーとしての事業者の支援、ブロック内で地域をまとめるプロデューサーを育成する。

民間企業が主体となる活動や自治体の独自活動も活発化していくことから、協議会も含めた各活動がバラバラに進むことのない様、全体の活動を俯瞰し方向付けしていく役割としてプロデューサー（※）を置く。

（※）プロデューサー：民間から登用（北前船交流拡大機構、ANA 総合研究所 等）、

普及啓発

シニア市民への普及啓発は、各自治体でセミナーを実施する等の市民レベルの活動を通じて、当該市民をリソースとした地元ガイド養成に繋げていく。

今後は、若年層市民をターゲットにした普及啓発の取り組みを進める。地元教育機関との協力関係を更に深め若年層における啓蒙を図り、若年層の力による全国への発信（SNS等）を強化するとともに、当該活動を通じシビックプライドの涵養も図っていく。

また、サマースクールや教育旅行等の再開にあたり、「探求型学習の素材」として「日本遺産北前船」活用を促していく。

※実施例「北前船子どもフェリー使節団」

小樽市とつながりの深い日本遺産「北前船寄港地・船主集落」認定地（新潟市、金沢市、小松市、加賀市）を訪問し、いろいろな北前船遺産を見学。加賀市では交流会を実施する。

整備：各自治体の行政計画との一体的推進

各自治体における実施例や先進事例を参考に、各自治体で必要な整備や支援等の対応を実施していく。特にインバウンド対応や広域での人材育成は、統一感を持った対応につなげることを目指す。

※実施例

- ・交通の要所も含めたインフォメーション機能の充実
- ・まち歩きガイドの育成、モデルコース作成
- ・古民家を改修し、宿泊施設や飲食店へ再利用
- ・周遊きっぷや循環バス、レンタサイクルの導入
- ・外国語誘導サインの整備
- ・観光スポットに屋外フリー Wi-Fi の整備 等

※計画例

- ・文化財保存活用地域計画、文化観光推進法に基づく拠点計画・地域計画
- ・歴史文化基本構想、歴史的風致維持向上計画
- ・観光戦略プラン

■機構を含む民間との連携強化

民間事業者との連携において中核となる機構は、その実績から「スポーツ文化ツーリズムアワード2020 文化ツーリズム賞」「第11回共同通信社『地域再生大賞』優秀賞（2020年度）」等を受賞している。これまでも交通事業者や旅行会社が実施するディステーションキャンペーン等に合わせ、北前船に関する情報や旅行商品を各事業者の誌面に掲載するなど、様々な活動例を残している。こういった機構のノウハウやネットワークを今後も活用し、北前船ストーリーやサブストーリー体験の事業化等につなげていく。

観光誘客

広い知的好奇心を持つ層をターゲットに、ツアーコンセプトである「北前船ストーリー全体を文脈とした観光コンテンツの紹介」について、大手旅行会社と連携し展開してきた。2019年度には2,281人の集客実績を残したが、コロナ禍の影響で2021/22年度については殆どのツアーがキャンセルとなり集客には繋がっていない。

2025年には大阪万博が予定され、多くのインバウンド需要が想定される。北前船のストーリーとサブストーリーは、遺跡とその背景にあるストーリーを観光資源にして成功している海外の事例に近いと考えられるため、自治体が主体的に多言語対応を含めたハード面の整備を充実していく。あわせて、ソフト面では、これまでのツアーコンセプトに、例えば食文化といった北前船に纏わる多様なサブストーリーを体験できるコンテンツを上乘せする。そのコンテンツを磨き上げ、「ウリ」として商品化し、体験型商品として訴求する。周遊ルート上の他の日本遺産や観光スポットとコラボレートさせる等、「差別化」についても旅行会社と知恵を出し合い具体化していく。「ウリ」と「差別化」を、知的好奇心を持つターゲットに訴求していく。

また、地元観光企業と大手旅行社、及び交通系企業等と連携し協力を得ることで二次交通の改善につなげ、着地型ツアーでも観光客が不自由なく移動できる環境整備を進めていく。

物産振興

機構のネットワークで、2022年に「北前船ブランドショップ」を有楽町交通会館にオープンし、各地産品の認知度向上と販売活動を開始した。他のアンテナショップとは異なり「北前船ストーリー」をテーマとして顧客に訴えるべく、北海道や日本海、瀬戸内海などの海を想起させる装飾と、各寄港地における特産品を取り揃えている。2023年2月から2号店を展開済みであり、販売スペースの倍増により各地産品のラインナップも112品目から215品目へと拡大した。

加えてEコマースのスキームを整えウェブサイトでの売り場を作っていくことで、販売チャネルを拡大と、リアル店舗にはない酒類や冷凍、冷蔵品などの販売につなげる。

自治体は、「北前船」のストーリーに共感し特産品を扱う地域の生産者や事業者を開拓しサポートする。自治体と協議会が連携し、特産品に適したプロモーション方法や販売業者とマッチングさせ、国内外の消費者に届ける体制を構築する。過去にも、地元商工会議所との連携で“首都圏で売れる商品”の開発を行い、北前船ブランドショップでの販売に結び付けた。こうした知見を駆使し、今後はEコマースでも更なる成功事例を積み上げ、各地の物産振興への意欲を引き出すことを目指す。まずは特産品販売の量的拡大を目指し、将来的には協議会として収入を得られるよう「北前船ブランド」やロゴの使用料や、一定量の販売を前提にしたコミッションの導入についても検討する。

また、日本遺産フェスティバルをはじめとした各地のイベントにも物販ブースを出店し、各地の特産品の販売機会を増やしていく。

各地の特産品が、現代の情報通信技術や物流インフラを活用して、リアルとEコマースの両面から消費者に届く状態を作り出す。

情報編集・発信

民間の協力を得ながら、集中して情報を取り扱い、北前船として一貫性や統一性のある品質を提供してきた。協議会のホームページ上で「北前船に関する動画や小説」「認定自治体の紹介」「旅行案内」「ニュースやパンフレット」等の包括的な案内を随時掲載・更新し、北前船ストーリーへのスムーズなアクセスを進めてきた。合わせて、構成文化財をデータベース化し、広く公開してきた。

今後は、データベースに「文化観光拠点施設」「サブストーリー」等のコンテンツも加え内容を充実する。データベースの汎用性を高め、旅行会社の商品造成やガイド向け、観光客向けの事前案内にも活用する。活用によって“観光素材や文化財への理解を深め、旅の満足度を引き上げる”ことに繋げ、旅行の魅力を高める効果を狙う。更に、観光インフラの柱であるガイド機能の強化に向けて、オンラインセミナーや学芸員セミナーを通じた現地ガイド育成にも活用していく。

北前船寄港地フォーラム

2023年2月の開催で32回を数えた。フォーラムは開催場所となる自治体が主催し、機構がサポートする形で運営している。

毎回、北前船の寄港地や過去の開催市町から多くの首長も参加し、自ら行政の取り組みを紹介し、首長同士も直接情報や意見を交換する等、自治体間交流・連携の貴重な場となっている。

今後も様々な場でフォーラムを開催し、北前船の普及啓発と地域連携の有効な場作りとして継続していく。

■特徴の磨き上げ、地域の組み合わせや連携の工夫

地域の組み合わせや連携の工夫において、上記の北前船の運んだ代表的文化財と言える昆布を例にとると

○ ユネスコ無形文化遺産にも登録され世界からも注目される「和食」

→ 和食を代表する「昆布だし」

→ 昆布は北海道から「北前船」で運ばれていた

→ 昆布を切り口に、北海道から北陸、京都、沖縄・・・のような展開ができる。

このように「世の中で話題のテーマ」や「現存する町並みや有形無形の文化財の特徴」をサブストーリーとして抽出し、北前船のストーリーの理解をより深めながら、特徴を磨き上げる。

サブストーリーと地域とを結び付けることで、訪れた人々がより興味深く「北前船のストーリーに触れ体験する」ことができる。

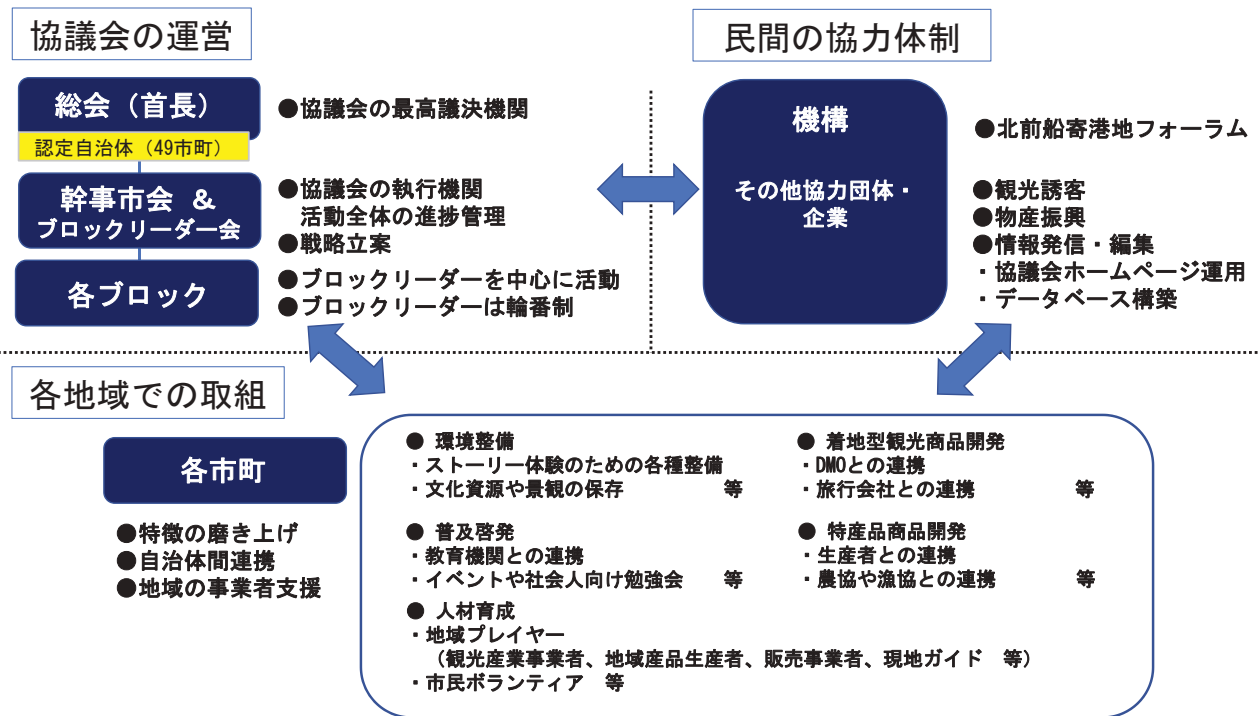
また、サブストーリーから更に派生する別のサブストーリー（※）を抽出し、また違った文化財ツーリズムにつなげる。こうした地域の連携が、北前船を中心とした同心円状に広がっていく好循環螺旋的發展を目指す。

※別のサブストーリー例：和食を供する際の「食器」→「陶磁器」→ 石川県の「九谷焼」→ 北前船で北海道に渡った「九谷焼」が小樽の美術館で展示

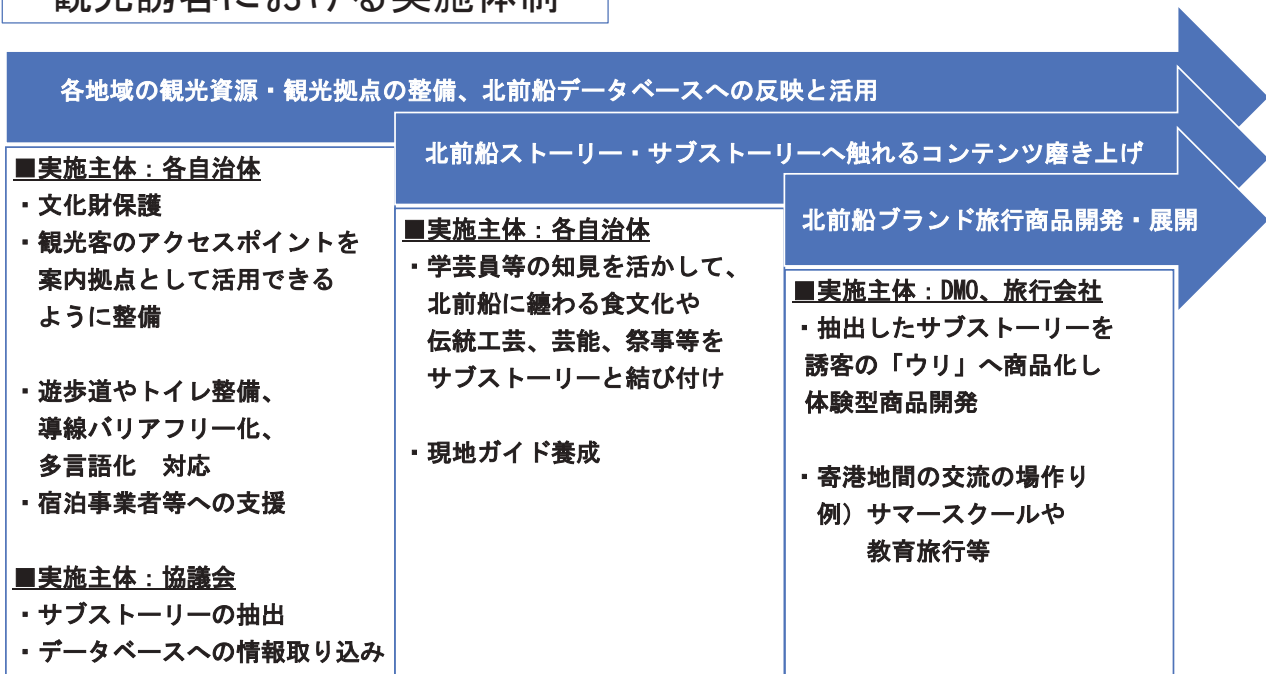
(4) 実施体制

協議会と各市町及び民間との関係と、事業における実施体制を図示する。

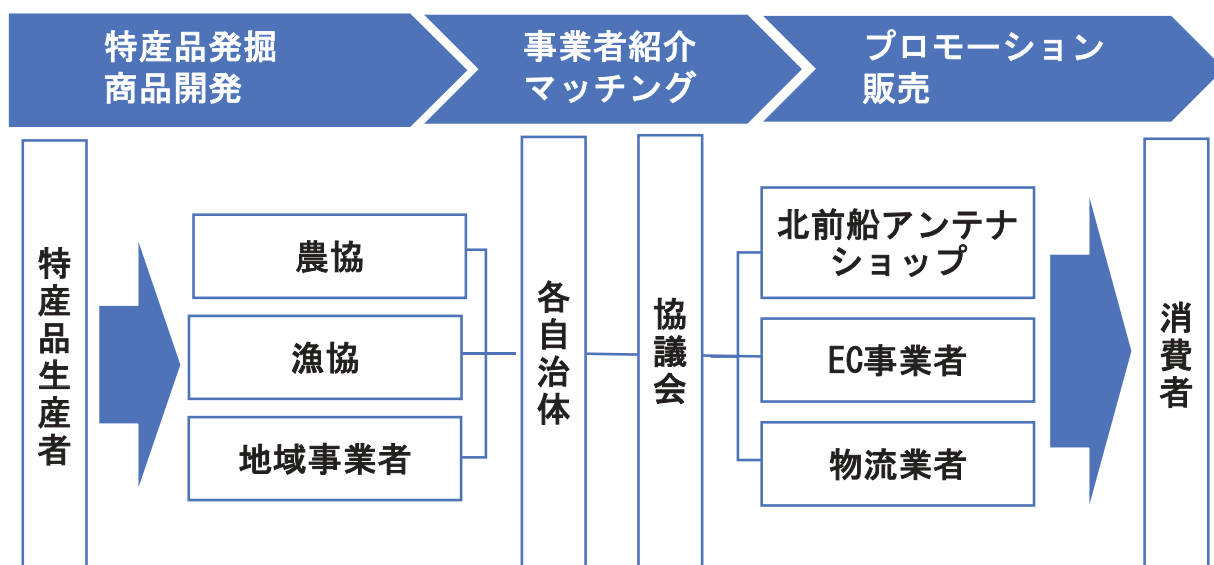
※参考：添付資料② 自治体別 協力団体 一覧



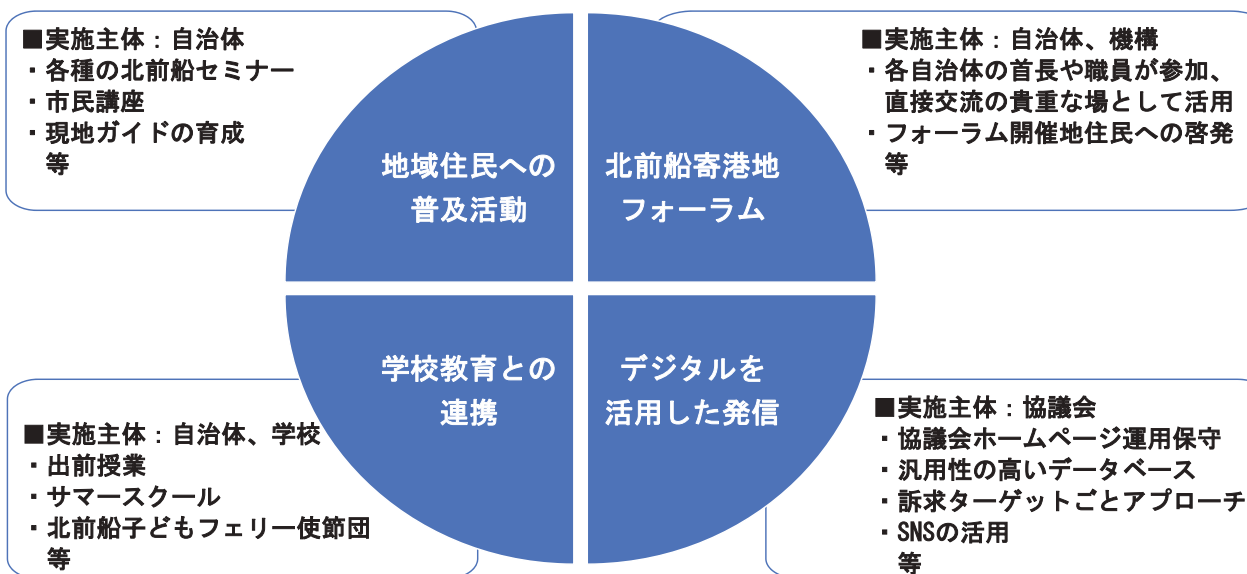
観光誘客における実施体制



物産振興における実施体制



普及啓発、情報編集・発信における実施体制



〔人材育成・確保の方針〕

各地域で活躍している民間事業者から、地域プレイヤーの役割を果たす人材を輩出できるよう、各自治体と課題認識を共有しプレイヤーをリスト化する。候補者の裾野を広げるべく、観光誘客や物産振興を通じて地元の事業者を支援する。

自治体の学芸員が中心に、北前船データベースを活用したオンラインセミナー等の機会を通じて、ストーリーを伝えるガイドを養成する。

北前船データベースを活用し、教育機関と連携しながら、次世代への普及啓発を推進していく。

(5) 日本遺産の取組を行う組織の自立・自走

協議会が全体をとりまとめしつつ、各地域で自治体と民間が連携して事業を創出し、拡大・発展することで地域に還元していくことを目指す。また、北前船ブランドを冠した事業収入の一部を、コミッションとして協議会に還元するスキームを構築する。

■ストーリーを体験できる事業（＝北前船ブランド化）の創出と継続

北前船ストーリー及びサブストーリーを活用した事業の創出に向けて、各地域において自治体と事業者が連携し、自分たちの地域で何を「ウリ」にして事業化し、どういう収益化の方法をとるべきか等の「事業の種」を見つけることから始める。

事前に双方の期待役割を共有し、商品開発等に知恵を出し合い、各自治体での告知やイベント出展等の機会を活用し、双方が協力して事業運営にあたることを目指す。

事業を通じて商工会議所やDMO等との連携を深め、地元観光業者や物産販売業者を活性化活動へ巻き込み裾野を広げながら、地域プレイヤーを育成していく。

事業の芽が出てくれば、機構のネットワークも活用し「着地型の旅行商品」の取扱拡大、「北前船ブランド」の物産はリアル店舗での販売に加えEコマース展開での商圈拡大やコスト管理といった事業継続のフェーズにつなげていく。

観光誘客：着地型の旅行商品作り

北前船ストーリーおよびサブストーリーを誘客の一助としてどう活用し、当地への来訪者を増やし、滞在時間を延ばし、消費額を引き上げるかを、機構と大手旅行会社で連携して検討する。

また自分たちの地域は、どういう客層をターゲットに据えるか、そのターゲットに満足してもらいリピートに繋げるために必要なことと優先順位についても、各地域のDMOと自治体で連携して具体的に検討する。

自治体と事業者の期待役割は以下の通り。

自治体：日本遺産構成文化財の保存活用や関連施設の環境整備を計画的に実施する。

事業者・DMO：事業継続に必要な環境整備の実施に合わせ、その活用及び収益化について具体化する。

そうして作り上げた「着地型の旅行商品」を、既の実績のある大手旅行会社や交通事業者に供給し、マーケットに訴求していく。

物産振興：特産品から売れる商品へ

北前船ストーリーおよびサブストーリーと、地域の特産品との結びつきを具現化し、他の特産品との組み合わせで新しい商品を開発する等「売れる商品としての価値を創出」し、北前船ブランドとしてマーケットに訴求していく。

自治体と事業者の期待役割は以下の通り。

①自治体：地域の特産品とその生産者の発掘、事業者へ紹介する。

②事業者：既存の北前船ブランドショップの知見を活かし、特産品をどう差別化し、どういう価値を消費者に提供するか、どういう客層をターゲットに据えるか、販売方法をどうするか、等について検討し、事業化する。「北前船ブランド商品」をマーケットで

販売した際には協議会としてコミッションを得ることにより組織の自立・自走に繋げていく。

(6) 構成文化財の保存と活用の好循環の創出に向けた取組

文化財の保存状態や周辺環境の整備を、各自治体で統一感を持って対応していく。

■文化財の調査研究

構成文化財を北前船ストーリーに連なる遺産として未来に残し、地域の特色ある文化財としてサブストーリーを抽出するため、各市町において調査・研究、保存に取り組んでいく。

また、北前船にまつわる食や伝統工芸、芸能、言語、信仰、祭事等の多様な文化についても、関係機関と協力してそれぞれの調査・研究を進めながら、各地域の文化を「ストーリー・サブストーリーと結び付けた保存」につなげていく。

例) 敦賀市が、令和4年度「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業に採択。

■景観保全

まちなみや建物といったシンボリックな文化財について、今後も継続して保全する。同じ役割ながら各地に点在する日和山や方角石といった文化財については、各地域ならではの特徴について調査し、特徴と共に保全する。

■観光拠点との一体的運営

保存した構成文化財を観光資源として活用すべく、観光拠点や交通結節点 等での案内環境を整備する。

■デジタルでの保存と活用

構成文化財をエリア毎・種類別に整理し、一元的に管理・把握できるよう、2022年度にデジタルでデータとして整備し「北前船データベース」を構築した。2023年度以降では更に日本遺産関連施設等の追加で内容を充実させ価値を高めていく。

合わせて、デジタルで保存した文化財を人材育成や教育素材としての活用しながら、デジタルにおける保存と活用の好循環を作っていく。

(7) 地域活性化のために行う事業

(7) - 1 組織整備

(事業番号 1 - A)

事業名	事業運営体制の整備		
概要	計画の円滑な実施に向け、関係者間の連携と全体の方向性を整えながら事業を推進する体制を構築する。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	協議会の運営 ・ 幹事市会で進捗管理する ・ ブロック毎の活動を増やしていく	・ 総会では、認定自治体の首長が目標や活動計画の内容を共有し、事業を推進する。 ・ 節目に幹事市会を開催し、全体活動の進捗を管理・承認する。 ・ 全体の方向性に基づき、各ブロックで効果的・効率的な事業を実施する。 ・ ブロックリーダーは輪番制とし、各自治体が主体的に取り組む。	協議会
②	各地域の事業者との連携	各自治体で地域事業者をリスト化し、支援する体制を強化する。	各自治体
③	プロデューサーの設置	広域かつ多くの自治体をまとめ、同じ方向へ導く役割を担う機能として設置する。	協議会
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2020	北前船日本遺産協議会 関連事業協力団体（者）数。		132 団体
2021			169 団体
2022			180 団体
2023	同上		179 団体
2024	同上		184 団体
2025	同上		189 団体
事業費	2023 年：2,000 千円 2024 年：2,000 千円 2025 年：2,000 千円		
継続に向けた事業設計	ブロック毎の活動を活発化し、北前船交流拡大機構と連携して、北前船のストーリーに共感しブランドを活用してビジネスにつなげる意欲のある民間事業者を増やしていく。		

(7) - 2 戦略立案				
(事業番号 2 - A)				
事業名		自治体の活動量や事業の取扱高を増やす		
概要		北前船の日本遺産ストーリーを各自治体・事業者が活用する上で、活動状況や情報の共有と進捗管理を行う場として会議を開催する。		
	取組名		取組内容	実施主体
①	幹事市＆ブロックリーダーで、協議会活動の進捗管理		各ブロックの活動状況や事業展開に応じて、先進事例の横展開や関係先への協力要請等を行い、それぞれの活動の底上げを行う。	協議会
②	各事業の取扱高の向上		関係する民間の事業者（交通事業者、旅行会社、物流・物販会社等）と連携して、各事業の取扱量を増やし、顧客単価の上昇につなげる施策を展開する。	協議会 事業者
③	協議会と事業者との進捗共有		協議会と民間の事業者とで定期的に情報共有する場を持つ。	協議会 事業者
年度	事業評価指標			実績値・目標値
2020	幹事市＆ブロックリーダー会議の開催回数 （期初、中間、期末、臨時）			4 回
2021				4 回
2022				5 回
2023	同上			5～6 回
2024	同上			5～6 回
2025	同上			5～6 回
事業費		2023 年：2,000 千円 2024 年：2,000 千円 2025 年：2,000 千円		
継続に向けた事業設計		地域活性化計画における目標と協議会の活動や事業について、幹事市とブロックリーダー市で定期的に進捗確認し情報共有する。 協議会は計画と進捗のギャップを分析し、可能な限り早期にカバーする、もしくは修正計画を立案する。		

(7) - 3 人材育成			
(事業番号3-A)			
事業名	日本遺産を活用する人材の育成と支援。		
概要	日本遺産を活用する人材の育成・確保のため、ガイド人材の育成・確保、地域で事業を行うプレイヤー支援、プロデューサー人材を増やしていく。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	ストーリーを理解したガイドの育成	各地の学芸員が中心になって、ストーリーについても解説できるガイド育成に向け、座学や研修を実施する。	自治体
②	地域プレイヤーの支援	観光産業や特産品の生産者等、地域で事業を営むプレイヤーの支援を行う。	自治体
③	地域プロデューサーの育成	機構と連携し、既に地域で活躍している地域プレイヤーや市民ボランティアの人材をリスト化し、地域をまとめるプロデューサーの担い手となる人材を増やしていく。	協議会
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2020	北前船日本遺産ストーリーをガイドする人材の数。		517 人
2021			481 人
2022			593 人
2023	同上		550 人
2024	同上		600 人
2025	同上		650 人
事業費	2023 年：800 千円 2024 年：800 千円 2025 年：800 千円		
継続に向けた事業設計	地域プレイヤーの一員として、ガイドが活躍できる環境作りと、継続的な育成に取り組む。		

(7) - 4 整備			
(事業番号4-A)			
事業名		日本遺産ストーリーを体験するための環境整備。	
概要		ストーリー体験に必要な施設や、観光客の導線（駅、空港、観光案内所等）を整備する。	
	取組名	取組内容	実施主体
①	ストーリーに触れ体験するコンテンツへ案内する環境の整備	文化財や景観・コンテンツに関する案内において、案内看板をはじめ、QRコードやアプリ、webマップ等のデジタルも活用する。	自治体各施設
②	まち歩きモデルルート の整備と案内	異空間を体験する町並みをはじめとした建物や文化財をめぐるモデルルートを設定し、まち歩きマップを整備する。	同上
③	アクセス環境の整備	二次交通として、循環バスやレンタサイクルを整備する。	同上
④	インバウンド対応	インバウンド向けの体験観光の整備として、 ①既存の外国語パンフレット・マップ・動画素材などのツールを整理し、外国語版のポータルサイトに加える ②観光情報を案内する場所等への外国語対応スタッフを配置する 等の対応を進める。 各地域共通で利用できる内容は、協議会が一括で対応する等でコスト効率を高める。	同上
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2020	北前船日本遺産関連施設への観光客入館者数		436,312人
2021			296,387人
2022			430,283人
2023	同上		500,000人
2024	同上		550,000人
2025	同上		600,000人
事業費		2023年：50,000千円 2024年：50,000千円 2025年：50,000千円	
継続に向けた事業設計		各自治体における実施例を協議会でとりまとめ、先進事例を各自治体に共有する。 地域内の自治体間で計画を共有しながら進めていく。	

(事業番号 4-B)

事業名		サブストーリーの抽出と環境整備	
概要		構成文化財をまとめたデータベースを活用し、サブストーリーの抽出と活用方法を策定、あわせて web サイトに反映、更新する。	
	取組名	取組内容	実施主体
①	サブストーリーの抽出	食や伝統工芸、芸能、言語、信仰、祭事といった北前船によって運び伝えられた各文化について、「世の中で話題のテーマ」や「現存する町並みや有形無形の文化財の特徴」をサブストーリーとして抽出する。	協議会
②	サブストーリーの活用	サブストーリーと地域の構成文化財との結びつき、サブストーリーを体験できるコンテンツを整理し商品化する。	同上
③	サブストーリーのプロモーション	サブストーリーの内容や連携先に合わせて、観光誘客や物産振興に親和性の高いターゲットを選定し、プロモーションをかけていく。	同上
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2020	オンラインセミナー（勉強会、意見交換会）開催数		
2021			
2022			5 回
2023	同上		4～5 回
2024	同上		4～5 回
2025	同上		4～5 回
事業費	2023 年：600 千円 2024 年：600 千円 2025 年：600 千円		
継続に向けた事業設計	データベースとオンラインセミナーの場を活用し、学芸員を中心にサブストーリー抽出に関する勉強会や意見交換会を実施する。各地域での関連情報を幅広く共有するとともに、民間とも連携しサブストーリーのプロモーションを実施し観光誘客や物産振興につなげる。		

(7) - 5 観光事業化				
(事業番号 5 - A)				
事業名		ストーリー・サブストーリーを体験できる商品の造成・販売		
概要		既存の周遊型旅行商品に、多様なストーリーを体験できるコンテンツを上乗せし、知的好奇心を持つターゲット層に訴求する。		
	取組名		取組内容	実施主体
①	各地域での「ウリ」作り		各地域で誘客の核となる「ウリ」作りと、それを体現するコンテンツの磨き上げを、旅行会社と連携して行う。	自治体 旅行会社
②	誘客コンテンツの体験を組み込んだ着地型観光商品開発		① のコンテンツを体験できるモデルルートに、ガイドをセットにした企画として商品化する。	同上
③	差別化にむけた検討		①の「ウリ」や②の体験での「北前船の特徴」に、他の日本遺産や観光スポットを組み合わせた周遊商品として企画造成する。	旅行会社
④	ターゲットへの訴求と販売		これまでの北前船関連旅行商品の参加者の特性を参考にターゲット層を設定し、旅行会社を通じて訴求していく。	旅行会社
年度	事業評価指標			実績値・目標値
2020	北前船寄港地関連の旅行商品の造成・販売。			139 名（送客数）
2021				363 名
2022				109 名
2023	同上			1, 800 名
2024	同上			2, 300 名
2025	同上			2, 800 名
事業費		2023 年：2, 400 千円 2024 年：2, 400 千円 2025 年：2, 400 千円		
継続に向けた事業設計		地域の「ウリ」と体験コンテンツ、ガイド活用等により、回遊性の向上、地域内消費の増加につなげる。		

(7) - 6 普及啓発			
(事業番号 6 - A)			
事業名	北前船の認知度向上とシビックプライド醸成につながる教育・普及啓発の実施。		
概要	学校教育との連携、北前船フォーラム等の機会を通して、地域内において北前船ストーリーの認知度向上と普及啓発を行う。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	学校教育との連携	教育機関と連携しながら、北前船日本遺産ストーリーの入門編として、オンラインセミナーやサマースクール等の機会を、地域の小中学校へ提供する。 合わせて、「夏休みの自由研究テーマ」で各地域の北前船について研究する等の展開を増やしていく。	自治体
②	北前船フォーラムの活用	2022 年までに国内外で 31 回を数えたフォーラムの機会を活用し普及啓発に努める。	機構
③	各地での講演・講座の実施	大妻女子大や獨協大学、東海大学、NHK文化センター等で実績をふまえ、学生や市民向けの啓発を継続する。	自治体
④	日本遺産フェスティバルをはじめとした各イベントでの PR。	様々なイベント機会を通じて、プロモーションと地域の特産品販売と連携して行う。	協議会 自治体
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2020	自治体住民アンケート「まちに住み続けたい」と感じる住民の割合（単位：％）		70%
2021			70%
2022			66%
2023	同上		70%
2024	同上		73%
2025	同上		75%
事業費	2023 年：800 千円 2024 年：800 千円 2025 年：800 千円		
継続に向けた事業設計	普及啓発においても、サブストーリーと各地域の日本遺産や観光スポットを組み合わせながら、相乗効果を狙っていく。		

(7) - 7 情報編集・発信			
(事業番号7-A)			
事業名	北前船ブランドに関する情報発信方法の再構築。		
概要	協議会のホームページや、日本遺産北前船の構成文化財をまとめたデータベース、SNS といった既存の媒体の活用方法を見直す。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	Web サイトの継続的な更新	協議会で設置している web サイト（ホームページ・データベース）に、個別ストーリーの解説や観光情報を適宜、更新していく。合わせて、多言語化対応も行う。 協議会の web サイトと、連携している民間事業者の web サイトとの相互リンクで情報提供機会を増やす。	協議会
②	SNS の情報発信 来訪者による投稿促進	各地域で来訪者による発信を促す仕掛けをすることで、訪問者とのエンゲージメント向上につなげる。 各 SNS の特性を活かし、上記①の web サイト更新をタイムリーに発信することで、サイトへの訪問者増につなげる。	協議会 各自治体
③	自治体や民間事業者との連携	上記①の web サイト更新について、各自治体の広報誌やホームページ、SNS 等で情報発信し、地域住民向けにも情報提供する。	同上
④	各種メディアを活用した情報発信	北前船フォーラムをはじめ各イベントの実施状況を、各メディアを通じて情報発信していく。	同上
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2020	北前船ホームページの PV 数		182 千回
2021			162 千回
2022			179 千回
2023	同上		200 千回
2024	同上		220 千回
2025	同上		240 千回
事業費	2023 年：2,800 千円 2024 年：2,800 千円 2025 年：2,800 千円		
継続に向けた事業設計	SNS を含むデジタル施策は、各デジタルメディアのターゲットと役割を整理し、全体の方向性を揃えて展開していく。		

■添付資料①（各自治体の計画一覧）

自治体	計画名
鱒ヶ沢町	第6次鱒ヶ沢町長期総合計画
深浦町	第2期 深浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略
秋田市	県都『あきた』創生プラン推進計画
酒田市	本間美術館を中核とした酒田湊町文化観光拠点計画
新潟市	新潟市 新潟市総合計画 2030 新潟市文化創造交流都市ビジョン
長岡市	長岡市文化財保存活用地域計画
加賀市	第2次加賀市観光戦略プラン 加賀市歴史的風致維持向上計画 第2期加賀市教育振興基本計画 第2次加賀市総合計画中期実施計画 加賀市歴史文化基本構想
敦賀市	敦賀市文化財保存活用地域計画
南越前町	第2次南越前町総合計画後期基本計画
小樽市	小樽芸術村を中核とした小樽運河地区の文化観光推進拠点計画 小樽市歴史文化基本構想 第7次小樽市総合計画
石狩市	第3次石狩市観光振興計画
野辺地町	第6次野辺地町まちづくり総合計画 第2期野辺地町まち・ひと・しごと創生総合戦略 第3期野辺地町教育振興基本計画
男鹿市	男鹿市 DX 推進計画(作成中)
富山市	第2次富山市総合計画後期基本計画
高岡市	歴史的風致維持向上計画 第3期高岡市観光振興ビジョン 歴史文化基本構想
輪島市	輪島市文化財保存活用地域計画 第2次輪島市総合計画
小松市	小松市文化財保存活用地域計画
坂井市	坂井市文化財保存活用地域計画 坂井市観光ビジョン戦略基本計画
小浜市	小浜市文化財保存活用地域計画
宮津市	文化財保存活用地域計画 第7次宮津市総合計画
神戸市	神戸市文化財保存活用地域計画

新温泉町	新温泉町文化財保存活用地域計画 第2次新温泉町総合計画 新温泉町過疎地域持続的発展計画 新温泉町人口ビジョン及び新温泉町地方創生総合戦略
赤穂市	赤穂市歴史文化基本構想 赤穂市観光・移住定住戦略
鳥取市	鳥取市歴史文化基本構想
浜田市	文化財保存活用地域計画(作成中)
倉敷市	倉敷市歴史文化基本構想 倉敷市歴史文化保存活用計画
尾道市	尾道市歴史文化基本構想 尾道市歴史的風致維持向上計画 尾道市総合計画 尾道市文化財保存活用計画
呉市	呉市文化財保存活用地域計画
鶴岡市	第2次鶴岡市総合計画
金沢市	金沢市文化財保存活用地域計画
姫路市	姫路市総合計画 姫路市観光戦略プラン
たつの市	文化財保存活用地域計画(作成中) 第2次たつの市総合計画後期基本計画
多度津町	第6次多度津町総合計画後期基本計画
竹原市	歴史的風致維持向上計画
白山市	第2次白山市総合計画後期基本計画
志賀町	志賀町創生総合戦略
泉佐野市	泉佐野市文化財保存活用地域計画 泉佐野市歴史文化基本構想

■添付資料②（自治体別 協力団体 一覧）

自治体	協力団体	数
函館市	・（一社）函館国際観光コンベンション協会 ・函館商工会議所	2
松前町	→松前観光協会 →松前物産協会 ・（一社）北海道まつまえ観光物産協会 ・松前商工会 ・松前ガイド協会	5

	・松前旅館組合 ・松前飲食店組合	
鰺ヶ沢町	・（株）社杉沢興業（ホテルグランメール山海荘、鰺ヶ沢温泉水軍の宿） ・尾崎酒造 ・銘菓の店山ざき ・鯨餅本舗村上屋 ・白八幡宮 ・願行寺 ・来生寺 ・鰺ヶ沢町町内会 ・（一社）鰺ヶ沢町観光協会 ・鰺ヶ沢町商工会	10
深浦町	・（一社）深浦町観光協会 ・春光山円覚寺	2
秋田市	・（公財）秋田観光コンベンション協会 ・秋田商工会議所 ・秋田みなと振興会 ・港商友会 ・土崎みなと街づくり協議会	5
酒田市	・国土交通省東北地方整備局酒田港湾事務所 ・酒田商工会議所 ・酒田ふれあい商工会 ・（一社）酒田観光物産協会 ・酒田市商店街連合会 ・（公財）本間美術館 ・本立信成株式会社 ・（株）平田牧場 ・酒田市立資料館 ・東日本旅客鉄道株式会社 庄内統括センター ・全日本空輸（株） 庄内支店 ・日本郵便（株）酒田郵便局 ・酒田まちづくり開発（株） ・夢の倶楽協力会 ・有限会社チアーズ	15
新潟市	・新潟シティガイド ・新潟観光コンベンション協会 ・新潟商工会議所	3
長岡市	・寺泊あかね通りの会	1

加賀市	・（一社）加賀市観光交流機構 ・加賀商工会議所 ・山中商工会 ・全国北前船研究会 ・株式会社まちづくり加賀 ・（一社）山中温泉観光協会 ・山城温泉観光協会 ・片山津温泉観光協会	8
敦賀市	・（一社）敦賀観光協会 ・観光ボランティアガイドつるが ・福井県昆布商工業協同組合	3
南越前町	・南越前町河野観光協会 ・南越前町商工会	2
小樽市	・（株）道新サービスセンター ・小樽道新文化センター ・北海道信用金庫 ・おたるご当地応援隊 ・（株）アートクリエイト ・（株）KOO ・うんがぶらす（株）	7
石狩市	・（一社）石狩観光協会 ・石狩郷土研究会 ・石狩ガイドボランティアの会 ・株式会社あい風	4
野辺地町	・（一財）野辺地町観光協会 ・野辺地町商工会	2
にかほ市	・にかほ市観光協会	1
男鹿市	・男鹿市観光協会	1
能代市	・旧料亭金勇 ・能代まち歩き案内人の会 ・熊谷長栄堂 ・能代商工会議所 ・特定非営利活動法人能代観光協会	5
上越市	・（公社）上越観光コンベンション協会 ・上越商工会議所	2

高岡市	・高岡商工会議所 ・近世高岡の文化遺産を愛する会 →住民全体の保存→まちづくり団体（山町筋、金屋町、勝興寺周辺） ・（一社）富山県西部観光者 水と匠 ・高岡市観光協会 ・土蔵造りのあるまちづくり協議会 ・金屋町まちづくり協議会 ・勝興町まちづくり協議会 ・吉久まちづくり協議会	8
輪島市	・輪島市観光協会 ・門前町観光協会	2
小松市	・小松商工会議所 ・こまつ観光物産ネットワーク ・小松観光ボランティアガイドの会「ようこそ」	3
坂井市	→教育委員会事務局文化課 →坂井市龍翔博物館 ・（一社）DMO さかい観光局 ・（一社）三國會所	2
小浜市	・小浜地区まちづくり協議会 ・西津地区まちづくり協議会 ・小浜西組町並み協議会 ・御食国若狭倶楽部 ・（株）まちづくり小浜 ・（一社）若狭おばま観光協会 ・小浜商工会議所 ・（株）マツ勘 ・小浜市の歴史と文化を守る市民の会	9
宮津市	・天橋立観光協会 ・宮津商工会議所 ・京都府立郷土資料館 ・宮津市自治連合会 ・宮津市文化団体協議会 ・宮津市まち景観形成協議会 ・由良自治連合会 ・丹後海陸交通株式会社 ・WILLERTRAINS 株式会社 ・宮津観光アテンダントまちなか案内人の会 ・宮津メディアセンター実行委員会 ・天橋作事組	12

大阪市	・（公社）関西・大阪 21 世紀協会 ・住吉大社 ・住吉歴史案内人の会 ・（株）小倉屋山本	4
神戸市	・兵庫津日本遺産の会	1
高砂市	・高砂市観光交流ビューロー ・高砂商工会議所 ・高砂ボランティアガイド	3
新温泉町	・諸寄活性化委員会 ・ジオ sen.s 但馬因幡探求クラブ	2
赤穂市	・坂越まち並みを創る会 ・播州赤穂観光ガイド協会 ・さこし船岡を良くする会 ・播州赤穂の塩・ジオ研究会 ・赤穂観光協会 ・赤穂漁業協同組合 ・あこう魅力発信基地	7
洲本市	・高田屋嘉兵衛翁顕彰会 ・淡路島観光協会 ・（一財）五色ふるさと振興公社	3
鳥取市	・鳥取商工会議所 ・（一社）鳥取市観光コンベンション協会 ・（一社）麒麟のまち観光局 →諸寄活性化委員会	3
浜田市	・浜田商工会議所 ・浜田市観光協会 ・石見観光振興協議会 ・浜田市観光ボランティアガイドの会	4
倉敷市	・児島商工会議所 ・玉島商工会議所 ・（一社）倉敷観光コンベンションビューロー	3
尾道市	・尾道観光協会・尾道土産品協同組合・尾道浜問屋協同組合	3
呉市	・重伝建を考える会 →呉市豊町観光協会 →呉商工会議所 ・呉広域商工会 ・（一社）呉観光協会	3

鶴岡市	・加茂地区自治振興会 ・宗教法人善寶寺 ・（公財）致道博物館 ・（一財）鶴岡市開発公社 ・鶴岡商工会議所 ・出羽商工会 ・（一社）DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー	7
出雲崎町	・出雲崎町観光協会 ・みなとまち町家の会	2
たつの市	・室津を活かす会 ・みつめて室津ボランティアガイド ・観光協会御津支部	3
白山市	・美川商工会 ・美川おかえりの会 ・美川振興会 ・美川御酒保存会 ・白山市観光連盟	5
志賀町	・（一社）志賀町観光協会 ・又次の会（ボランティアガイド）	2
泉佐野市	・泉佐野商工会議所青年部 ・（一社）KIX 泉州ツーリズムビューロー ・（株）向新 ・ホテル日航関西空港 ・パティスリー アン・スリール ・じもっと合同会社 ・大阪タオル工業組合 ・泉佐野観光ボランティア協会 ・（一社）泉佐野シティプロモーション推進協議会 ・ちぬうみ創生神楽実行委員会 ・NPO 法人「泉州佐野にぎわい本舗」	11
備前市	・備前商工会議所 ・（一社）備前観光協会	2